



唐土訓蒙圖彙
中

13
468
2



13
468
2



唐土訓蒙圖彙卷之五

人物 名の下に
之下 和名と附

人物

うき世帯の存続をかくる多し
懐いことありやいふも今も
この國してあんとあつて又
明治の人乃國とらむと云

大明

中華前代人物訓蒙圖

新考

大清

新考

大明ノ太祖大元ヲ山ニテ國ヲ建ル也
後李自成亂ヲコシテ終ニヒフ



韃靼ヨリ大明ヲ亡シテ國ヲヲ
大清トス日本正保ノ比ナリ



的刺普刺国

国ニ城池アリ田ヲ明空珠異冥ヲ出ス



哈蜜国

韃韃ト同シ

西番火州ノ東ナリ回回



吐蕃

假西蕃ト号ス本西蕃



住鞞国

西番南印度也象ノ背ニ屋ヲ立テ勇士ヲ載ス



馬羅國

此国異質生類香ヲ出ス



印都丹

国人身黒色地熱シテ雲ナシ



一臂国

西海ノ中ニ在リ其人一月一乳一手一身半体ナリ肩ヲ比ヘテ魚鳥ノ相合ヤ知シ



野人国

此国大山林アリ野人多シ男子モ婦ノ長ク貌ノ如シ木葉ヲ食フ



退波係黒和尚

摩訶訶羅國清淨卷五



此国城池房舎アリ羊馬ヲ出ス
林木甚多シ

七番耕山



此地馳牛ヲ出ス種田アリ

黒暗國

此地犀牛ヲ
出ス



憍國

月ニ至ル

此国西番ニアリ乳ヲ食テ
活トス應天府ヨリ行テ五



猴標國

一名抹判刺
國若別国ヨ
リ兵来レハ
衆ヲ猴コレヲ
防クニ法ア
リ敵テ来リ
侵サスト云



鳩尼羅國

此国乃千西番佛
牙石ノ出ル處
ナリ



入不國

此国城池種田アリ胡椒ヲ出ス



氏人國

建木西
ニアリ其
狀人ノ面
ニシテ魚
ノ身アリ
足ナシ
胸ヨリ上
ハ人ニ似
下ハ魚ニ
似タリ



西南夷



西南夷國ハ髮ヲ椎リ足ヲ跣ニシ
斑布ヲ衣也ヲ布ヲ刀ヲ帶ヒ
弩ヲ帶ス

西番國



一鬼方トイフ武丁ノ鬼方ヲ伐ツニ年
コレニ克トコレナリ城池房舎ナシ多
山林ノ内ニ坐入ノ肉ヲ食フ其國人
佛ニ奉スル者皆刺麻ト稱ス

越三蠻

此人舟ヲ室ト
スコレニ三種アリ
一魚鱗トス
二鱗鱗トス
三鱗鱗トス
トス木ヲ伐リ
果ヲトル



盤瓠

盤瓠ハ高辛ノ時ノ犬也ソノ時
責ケリ其將ヲ首ヲ
得ニ者ヲ婿トセシト
アリケルニ犬吳將軍ノ首ヲ銜テ來ケル事
有テアタヘラレ犬女ヲ首ヲ銜テ南山ニ入り六人ノ
子ヲウムソノ子孫漢蔓タルナリ



交趾

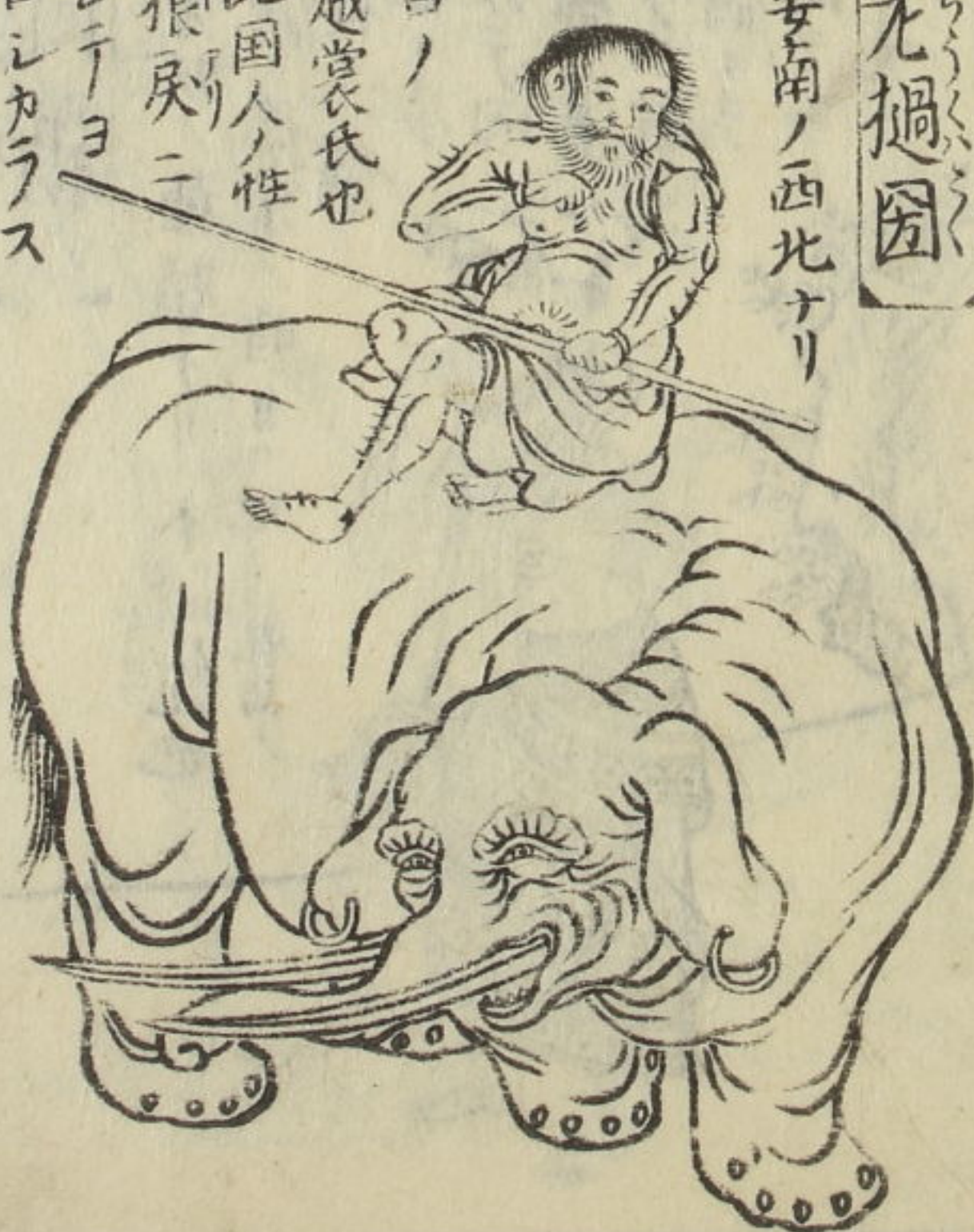
一名安南



此國人性
悍狡發ヲ
翦ニ跣足
テ醜シ賊
盜ヲ尚フ後漢ノ
馬援コレヲシタガヘタリ

老嫗

安南ノ西北ナリ



古ノ
感賞氏也
此國人ノ性
狼戾ニ
シテヨ
ロシカラス

真臘國

此地廣列ヨリ船ヲ登レ
北風十日ニシテ



此地
事真臘
風土記ト云ニ詳ナリ

賓重能



此地佛
書ニ言
王舎城
ナリ今ハ
石城ノ隸
ナリ
地主
出ル時馬ヤ
象ニ騎ル

哇國

此國東南
海嶼中
アリ飲食
木葉ヲ以
盛リキニツ
一三食ノ丸
草虫類ノ類
皆享ホテ
食ス



佛羅安國

此國ニ飛來ノ銅
神ニ個ノ六
曆アリ六月十五日
生ヲ
日



三佛齊國

南海ノ中ニ
アリ此地ニ
犀象珠璣
異寶悉集
ノ類ヲ產ス
泉加ヨリ
一月ニレテ
至ルナリ



回鶻

勿奴ノ種類ナリ本回紇也
唐ノ徳宗ノ時其地ノ
捷ノ鶻
知キテ
以テ回
鶻ニ易
ラル純
鶻音
同ヲ
ナリ



千闥國

此國人外
スレハ
火ヲ
以テ
化レ母ヲ
收テ葬ル其塚ハ沙ヲ以テ
作ル塚門ヲ守ル者ヲ沙門僧ト
稱スコレヨリ中国モ沙門ト稱ス



沙彌茶國

此地大
陽西ニ
波ル地
ナレハ晚ニ
至テ日ノ
没ル色雷雲
ノ如レ國王城
上ニ人ヲ聚テ
羅鳴ノ鼓
ヲ打テ混雜
サテテ小兒驚ク



大食勿拔國

此國多ク乳香樹ヲ出ス
皮ヲ研テコレヲトル



大食彌琶羅國

此國主ナレ豪キ者更ハ人ニ事ヲ主ル
國人獵ヲ好シ日々ニ獸ヲ射テ食ス



木蘭皮國

此國産スル所産
一粒ノ長三寸凡ノ圍
四五尺胡羊ノ高
三四尺尾ノ大
扇ノ如シ春
ニテハ腹ヲ
割テ膏ヲ取
テ敷テ再ヒ腹
ヲ縫ハヨク治ルナリ

女人國



唐土訓蒙圖卷五

烏衣國

此國
人
漢
人
見
レハ背行
面ヲ見セシ
マスコレヲミレハ
昂コレヲ殺ス

大閩婆國



麻離拔國

此地ニ異香
珍珠犀角象
牙珊瑚
琥珀
金銀ヲ
交易ス



狗國

毛ヲヒ衣ヲ
トズ物イ、
犬ノ如シ
女ハ三十人
ニテ能漢
語ヲナス



此國ノ人男ハ狗ニテ身ニ

孝臆國

客旅ヲ好ム
貌大
リ十



此國人ノ性質直ニナ

東印度國

此國
人性
強獵
殺伐マ
フヲ好ミ戰
死ヲ以テ
善終ヲ不祥
ストス



戰ノ具唯稍一色アリ

唐土訓蒙圖卷五

大食國 此国山谷之間ニ

橋アリ其人皆如シモノイワ
ズ只笑フニキリニ笑ハソノミ
出各花ス



默伽国 大食國ノ

祖師ニ蒲羅牛
ト云人ノ妻
荒野ニ在テ
男子ヲ生ス
洗フ水ナケ
六地ニ垂キ
水ヲ尋テ水ヲ取テ回テコレヲ
ニレハ脚ヲ以テ地ヲスル
ソレヨリ一ノ泉湧出テ甚
清シ



訶陵国

此国ノ人
木屋重
閣ヲ造
櫻皮ヲ
以テ蓋
酒食手
ヲ以テ
食フ



晏陀蜜国

此国ノ人身黒深ノ如シ
山蜜ト号ス



ヨク人ヲ食フ故ニ船人
敵テ岸ニ近ツカス

勿斯里国

此国雨ヲラス
天江アリテ溢
時ハ四日田ヲ
浸ス水退
テ耕ス
老人水ヨリ
出テ雪山
ヲ人ニ告
ルト云リ



南尼華羅国

此国ハ佛教ヲ奉トシ
牛ヲ養フ
牛ヲ養フ
以テ屋
壁ヲ
スル



大食勿斯羅国



此国ノ山ニ天生ノ果樹アリテ蒲盧ト
名付ク採リ食ヘシ其外産多シ

馬老日国

毎歳十二月
甲ヲキル者ト
衆人トタカハ
シメテ年ノ
豊儉ヲ占フ



可只國

コレ西番寶物ヲ出ス
処ナリ

唐土訓蒙國清卷班



波多羅國

此國男女皆刀ヲ佩テ行
人トムツニシカニサレハ刺殺シテ他所ニハ
シル一月ノ外ニナルトキハカニヒナシ



不刺國

西番ノウキ羊馬ノ出ル
処ナリ



三首國

此國夏后啓ノ北ニアリ



三身國

一首三身アリ

鑿齒國ノ東ニアリ其人



蒲其國

其國王金
冠ヲ戴キ
金銀ノ屋ヲ
飾ル



斯伽里野國

山上ニ穴アリテ火

出ツ國人火石ヲ穴
中ニ投レハ爆テ皆
碎ク此火モへ出テ
林木ヲヤカス石ヲ火



蒲家龍

海東
南ニ
アリ
國人
三ナ
頭ヲ
割ル
此國胡椒
香沉香丁
香白豆蔻
出ス



羽民國

海東
南岸
嶽南
三ノリ
毛羽
生ニテ
飛ニテ
毛遠ク
飛ニテ
アトリス
人ニ似テ卵生ス



都播國

此國
鐵勒
ノ別種
草ヲ
結テ
腐ニ
耕作
ヲレニ
ス百合
アリテ食トス
貂鹿皮鳥羽ヲ服トス



管斯期國

西
海南
上ノ
身
黒
漆
抑ニ
昔
商
奴
トテ
レテ
ヨク
忠
ス



聃耳國

無腹國ノ東ニアリ其人ノ身虎文アリ
耳長シテ腰ヲスク行トキハ手ニテ
耳ヲ持テ行ナリ



無腹國

海ノ東南ニアリ男ミナ
腹肚ナシ



交脛國

國人脚脛曲戾テ相交ル



巴遂山

南海内ニアリ黑人虎首ニテ両手ニ
蛇ヲ持テコレヲ啖フ



陽靈山神

此神ノ狀人ニ似テ
ニ首アリ名ケテ驕蟲トイフ



回回國

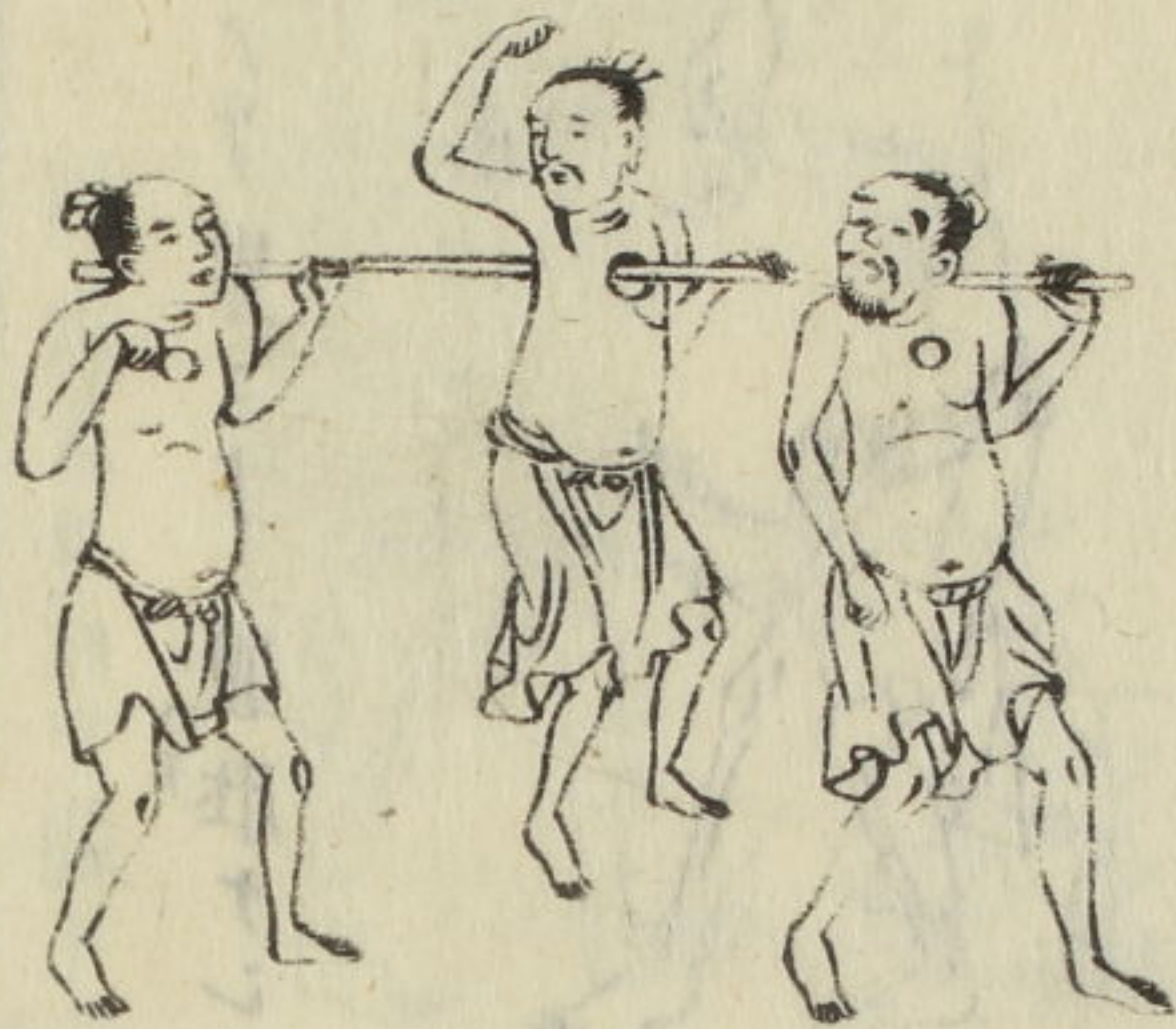
唐土訓蒙圖景卷五



國ニ城元宮室田香雨市アリ風土ハ
江淮ト異ナラス

穿胸國

盛海ノ東
ニアリ胸ニ
竅アリ尊
者ハ衣ヲ
サリ早者
ニ竹木ヲ
以テ胸ヲ
貫サレメテ
コレヲ擡ニ
ム



巢魯果訖

此國城池五穀アリ



結宿郎國

國ニ城池種田アリ黃頭仙人成道
セシ処ナリ



沙華公國

國東南海
中ニアリ其
人常ニ大
海ニ出テ人
ヲ奴レシト
ラヘテコレ
ヲ憐閣沙
國へ賣ナリ



阿黑騎



此國人ハ
魚ヲ折リ
活トス
國ニ馬
トシ

阿薩部

國人獵ヲナシ其肉ヲ重思且テ
石ヲ以テラシ汁ヲトリ米及ヒ草子ヲ肉ノ
汁ニ醸シテ酒トナヌコレヲ飲ハ醉フ



長毛國



此國
人身
ニ長
毛アリ
城池
種田
アリ
晋ノ永嘉四年此人ヲ獲タリ

大秦國 西方之番高麗之華其
王布帛以金字織出之纏頭
一此此地之珊瑚生焉



白遼國 此國珍寶多酥酪餅
因食之魚菜少金
銀玻璃等物產人雪布以頭
上纏之



緞漢國

永昌郡 南千五
百里之
アリ國
人尾ア
リ坐ス
ルトキハ
先地ヲ
ウカチ尾ヲサメテ後ニ安坐ス人
其尾ヲ折レハ卒然トメ死ス



單馬合

宋ノ慶元
二年ニ金
三椀金季
一柄ヲ此國
ヨリスハム
國ニ地主ア



柔利國 此國一目國ノ
東ニアリ



國人膝ヲ曲テ前ニ向フ一手
一足アリ

默伽臘國 國ニ主アリ珊瑚樹ヲ
出ス鉄ノ洞ヲ以テトルト云処ナリ



滅吉里

國人言語訶羅二似タリ 雁心天府
ヨリ四竹箇月ニ至ル



吉茲心厄國

此國ノ地
西北極ニ
近シテ
寒シ畜
牧駝馬
多シ



嶺南國



國海島上ニツリ

奇肌國



西風ニ乘シ豫初ニ至ル湯其車ヲ破ル

訶條國

金遼山

廟ニ石罽アリ人モ
飲食ノ
盡チント
スルトキ
コレニ向テ
礼ヲナス
トキハ飲
食悉ク
具ル



故臨國



國人黑色好テテヲ帶中國ノ人駭ニテ
往ハ大食ノ人必コヨリ小舟ニ易テ乘去ル

隴木節

昔日米番王ノ子都ヲ建テ
百姓住ス應天府ヨリ馬ニテ
半年ニ行ナリ



登流眉國

此國ノ人



無窮國

此國ノ人
肚腸ナレ
エラ食フ
穴ニ居ス
死シテ
ウツメハ
心移スマ
フタヒ人ト
ナル



三蠻國

此國ノ民
エラ食フ
外スル者
埋メトモ
心肝程
スメ後ニ
復化
シテ
人ト
ナル



不死國

此國人
色黒
レテ
死セス
不死樹
アリコ
ヲ食ハ
壽シキ赤泉アリ
コレヲ飲ハ不レ老



烏菴國

此國人民死罪アレハ殺サス
コレヲ空山ニウツス事ノウタカハンキフ
アレハ藥ヲ服スレハ清濁
自ラ驗アリ其事ノ輕重ニ
隨テ決断スルナリ



懸渡國

此地山溪
不通
土人
石ヲ
壘テ
室トス
水ヲ飲
ニ相引
テ手ヲ
接シテ
飲也



波斯國

此國人身ノ色黒
金花布ヲ以テ
身ニ纏フ
王ハ虎皮
ヲ以テ身ニ
蒙フ出ルト
キハ軟塊ニ
乘ル



攞枚力國

此國人五穀ヲ識ス
肉食ヲナス常ニキ
ニ割レテ血ヲトリ
乳ニ和シテ生
ヲノム
身ニ衣
ナシ腰
ヲ羊ノ
皮ニテ掩フ



日比吾國

此國實鉄ヲ産スコレヲ及トナセハ
玉ヲ切ル
泥ノ如シ



婆羅遮國

此國人狗ノ
頭像ノ面ヲ
並ハ服テ男
女晝夜歌
舞ヲ
ス



五溪蠻國

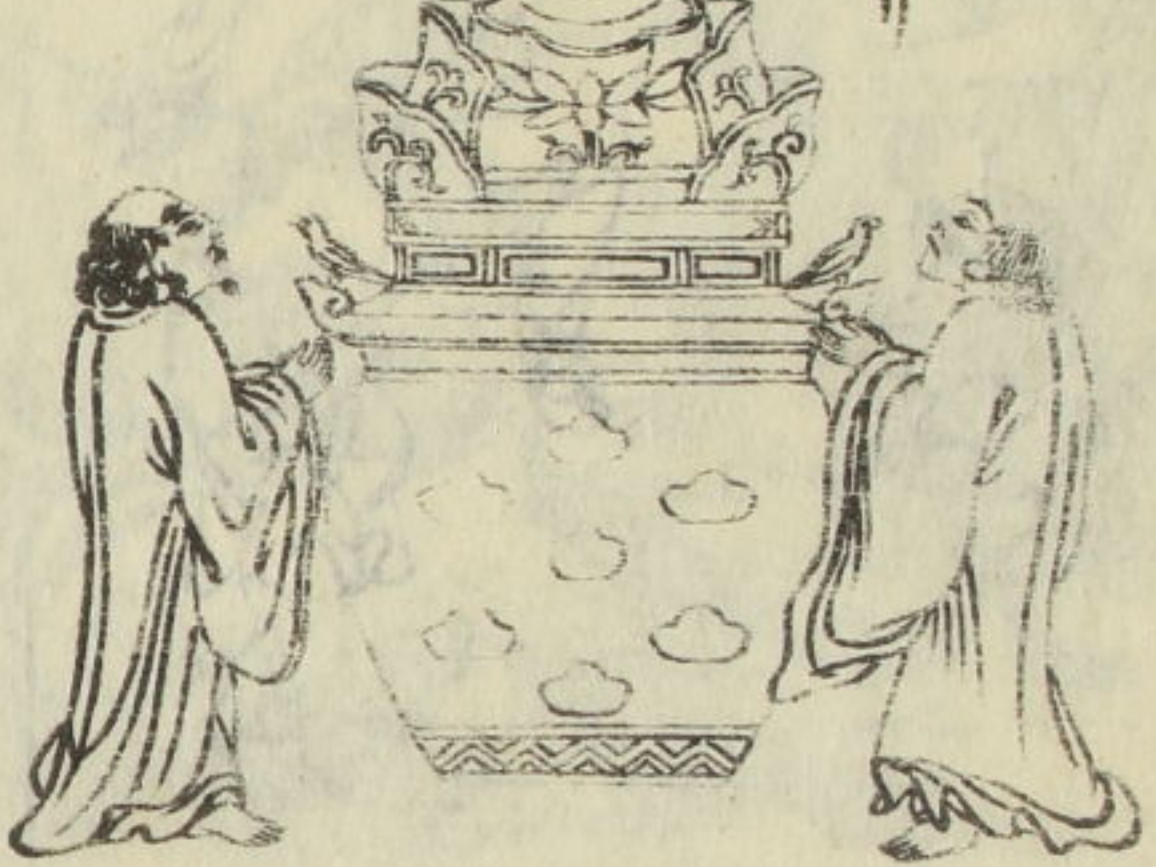
此國人
父母
死ニ
遇テ
鼓行
踏歌シ
親屬
ツリテ
産ヲ盡シテ
擲
フツクル



眉路骨國

此國七重ノ城アリ
黒光ノ石ヲ用テ

砌トス毛段ヲ
衣トシ肉麩ヲ
食トス金銀ヲ
錢トス



唐土訓家回三京卷五

麻嘉國

此國土人



其國神一稱シ
佛トス毎年比自來テ廟
ヲ拜ス

鐘山之神



名ヲ鞞ト言龍身人面ナリ
朝陽谷之神



水ノ伯
トス
虎ノ
身人
ノ面
ノ首
ノ足
ノ尾
ノ色
ナリ

藏國

此國城池屋舎アリ地ニ
大柳樹ノ産ス



登山之神

早耳ノ水ニ俞兒
ト云者アリ登山ノ
神ナリ長一尺餘
ニシテ黄冠黄衣
朱服シ馬ヲ走シ
齊ノ桓公ノ特曾
テ見ル西朝王ノ
君興レハ俞兒ア
ラハルト云リ



金神

左耳ニ青
蛇アリ兩ノ
龍ニ乘レリ
虎ノ爪ニメ
鉞ヲトル



コレ西方
ノ神
ノ收
ナリ

神陸

崑崙丘之神

一名堅
吾其狀
虎ノ身
人ノ面
九ノ首
九域ノ
事ヲ
司トル



鶴山之神

其狀鳥身龍
首古ニコレヲ
祠ル礼章
璧ヲ獻セリ



燭陸

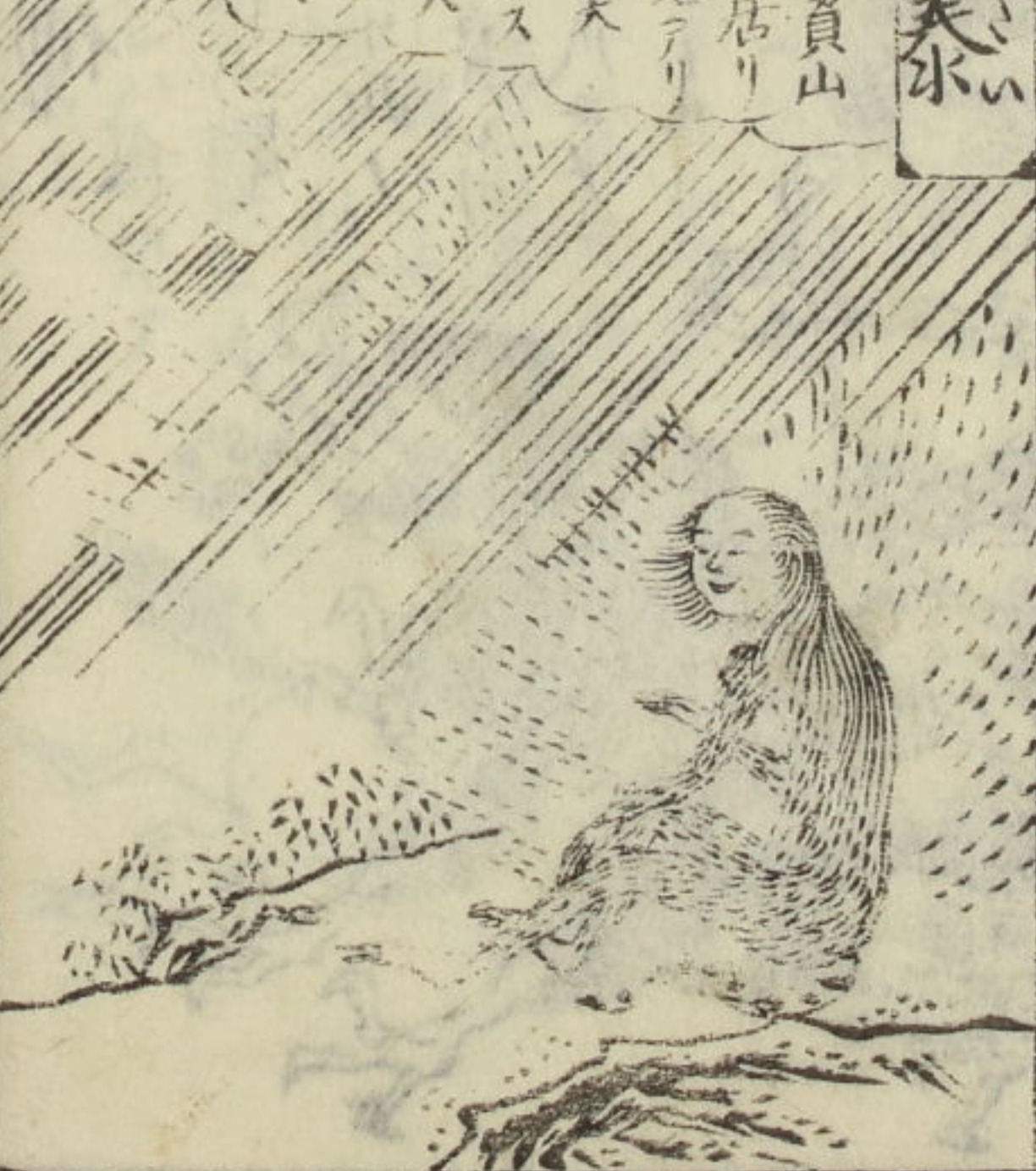
北海外燭山ノ神

身ノ長百里人面
龍ノ身赤色ナリ



禊表水

此神黃山ノ陽ニ居リ
出入光アリ
此神天
地ヲ動ス
甚ニ災
壺ヨク
亦ムラ
コレ雨ス
フフ
ラス



大者北之神

大人國ノ
北ニアリ
獸身人
面蛇耳
ヲ貫リ



強良

大荒山北極ノ外ニアリ
形ヲ御ム其
狀虎ノ首
人ノ身
四蹄
アリ



天山之神

狀皮囊ノ如シ
背ノ上赤黃
火ノ如シ
六足四
翼面目
ナシ名ヲ
帝江ト
イフ



相柳氏

崑崙ノ北柔利ノ
東ニアリ
共工ノ臣
ナリ九
首人面
蛇身也



唐土訓家圖彙卷之六

名の下に
和名と附

人事ひとこと 此部は武藝ぶげいのわいて農家の樂たのしみの
傀儡くわいらい草百戲くさひゃくげのわらひまでふらふ
のそて乃なこゝにふたな

法は總そう射や歩ふ



射法圖

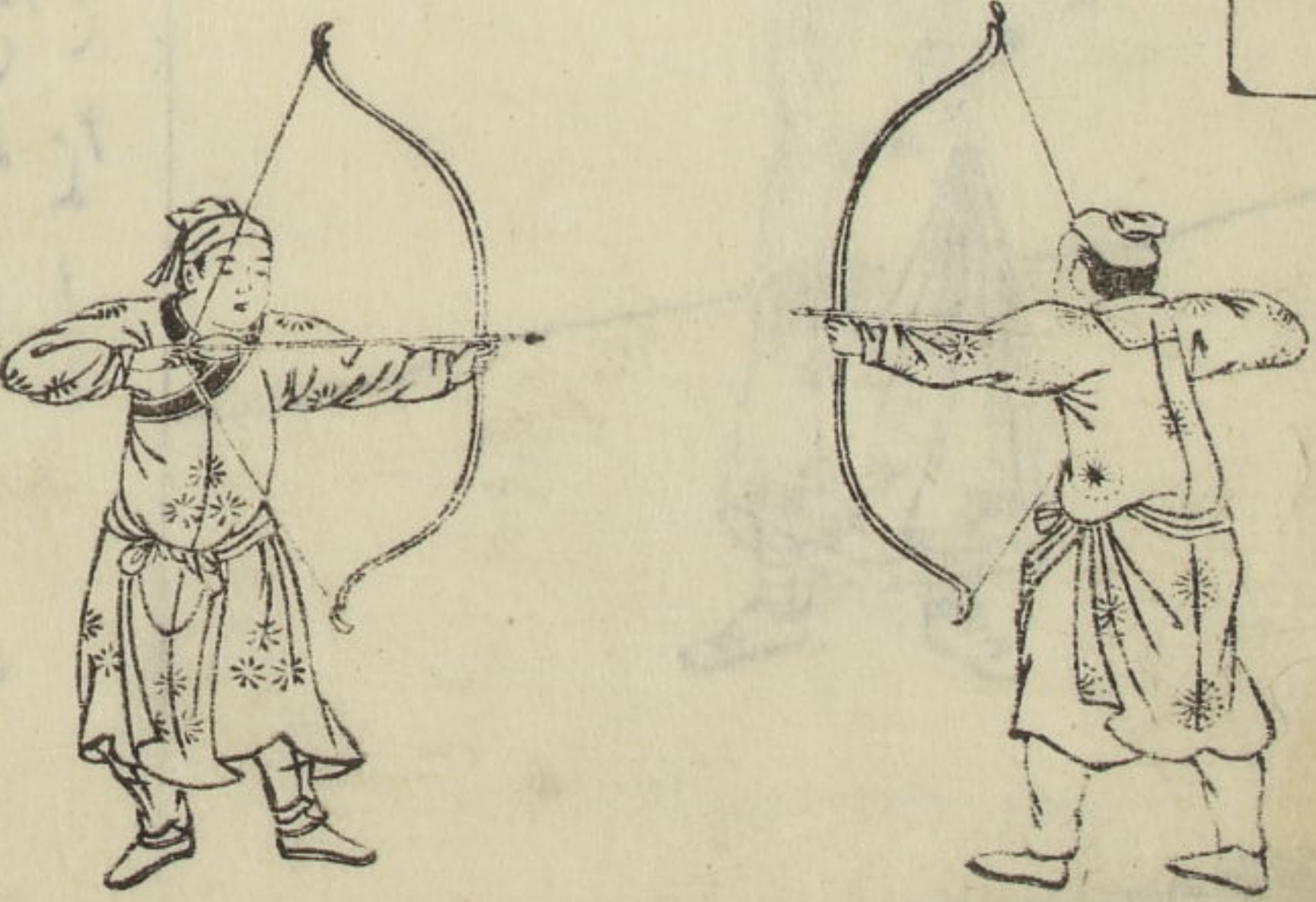
實握射圖



此法ハ弓と一こいひ引たてたる乃
肱と直りて弦月のあまきよ
らとくくめふせく月れさるの
とく光の通るよいさるはこ

同上

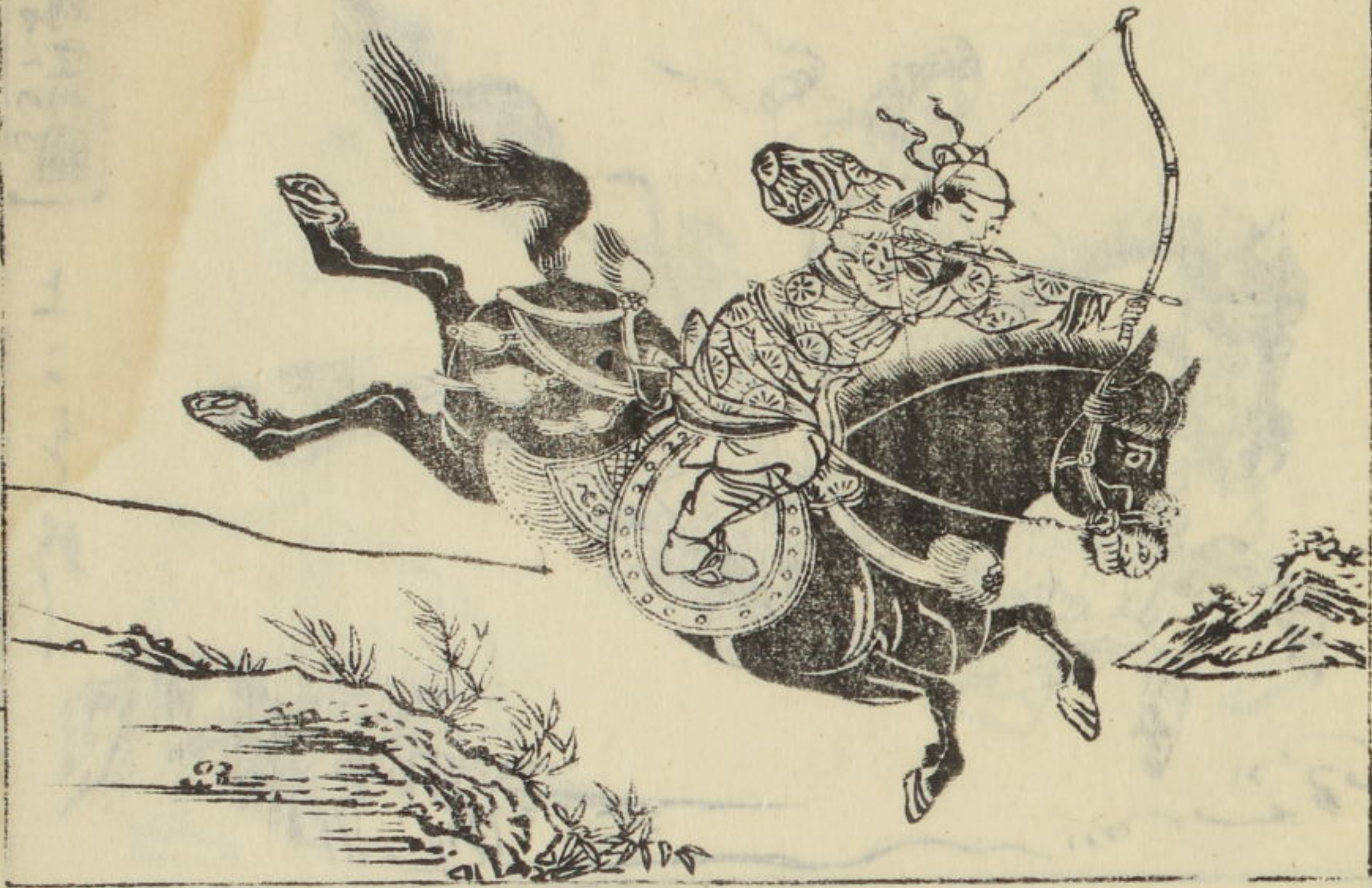
掌心推射圖



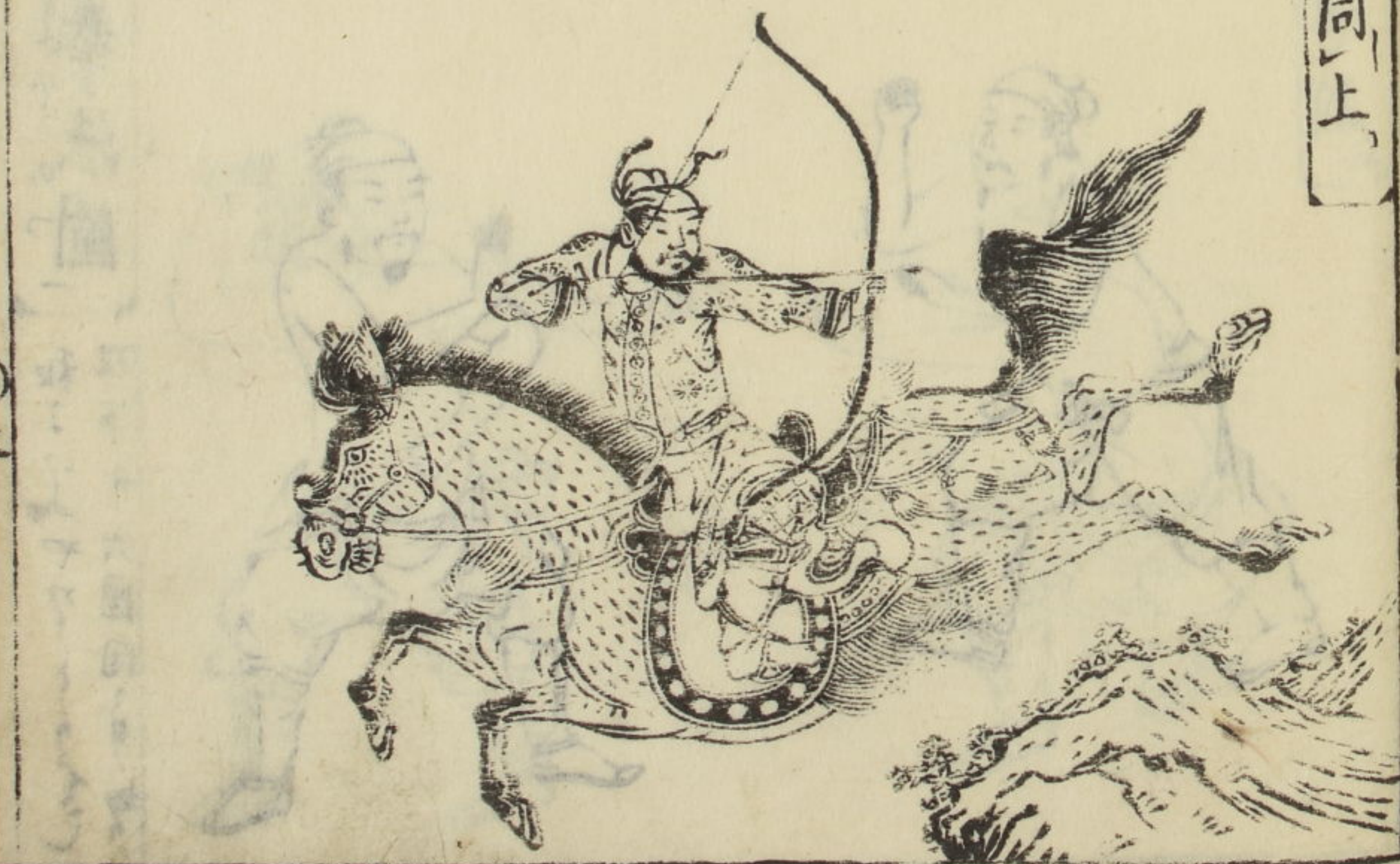
此法ハ弓と引たてたる肱のまがり
心と對し射の平々なりと衡乃
ぶくくにしてさらハ八分の
すなりとなり

馬射圖

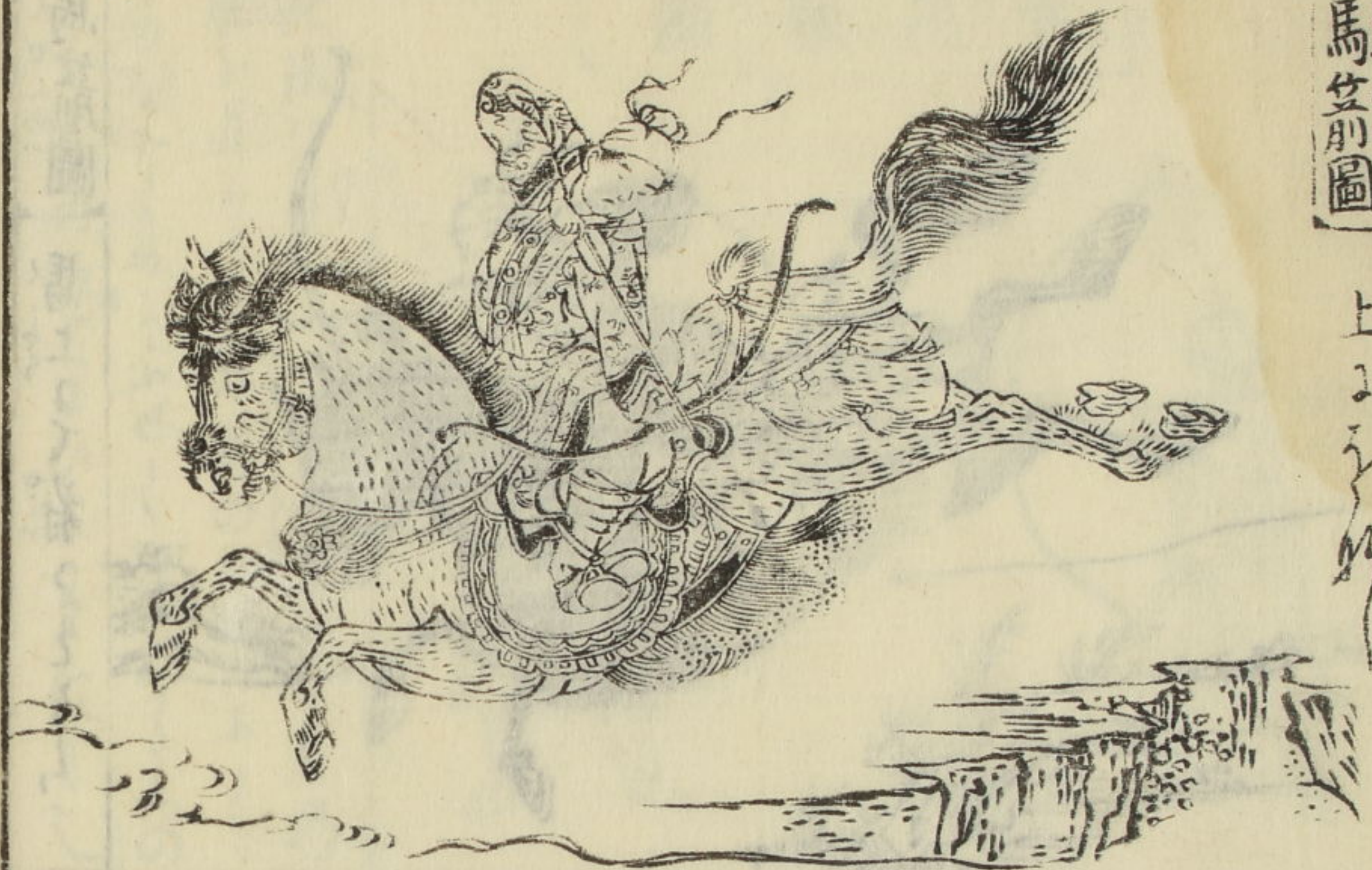
馬上にて射ることなり



同上



馬坐別圖



上より下

唐土習家圖三行卷六

拳法三



拳法三



拳法圖一



和より下ヤリトリてし
以下十六圖同る

拳法四



拳法五



拳法六



拳法七



唐古訓拳法卷六

三

拳法八



拳法九



拳法十



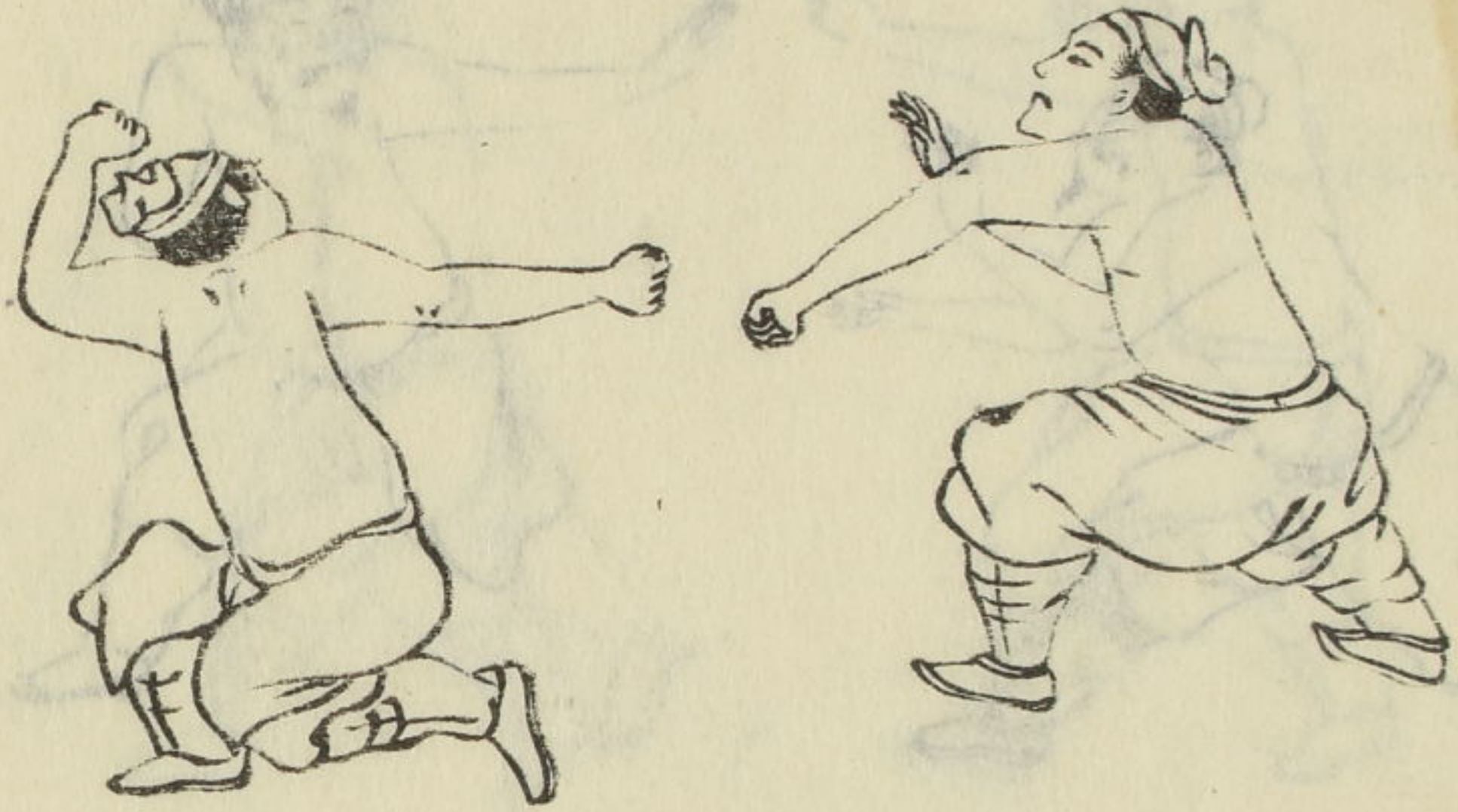
拳法十一



唐武宗皇帝御製
卷六

四

拳法二十



唐王訓蒙圖景卷六

拳法三十



五

拳法四十



拳法五十



勢 水 滴



勢 天 朝



勢 銀 踏



勢 欄 邊



勢 龍 騎



勢 地 耕 牛 鐵



勢 錦 地 鋪



勢 箏 旗 鐵



唐土部家國譜卷六

唐土部家國譜卷六

勢門鴻闖



勢針認人美



勢鼠捉猫靈



勢刀抱猿白



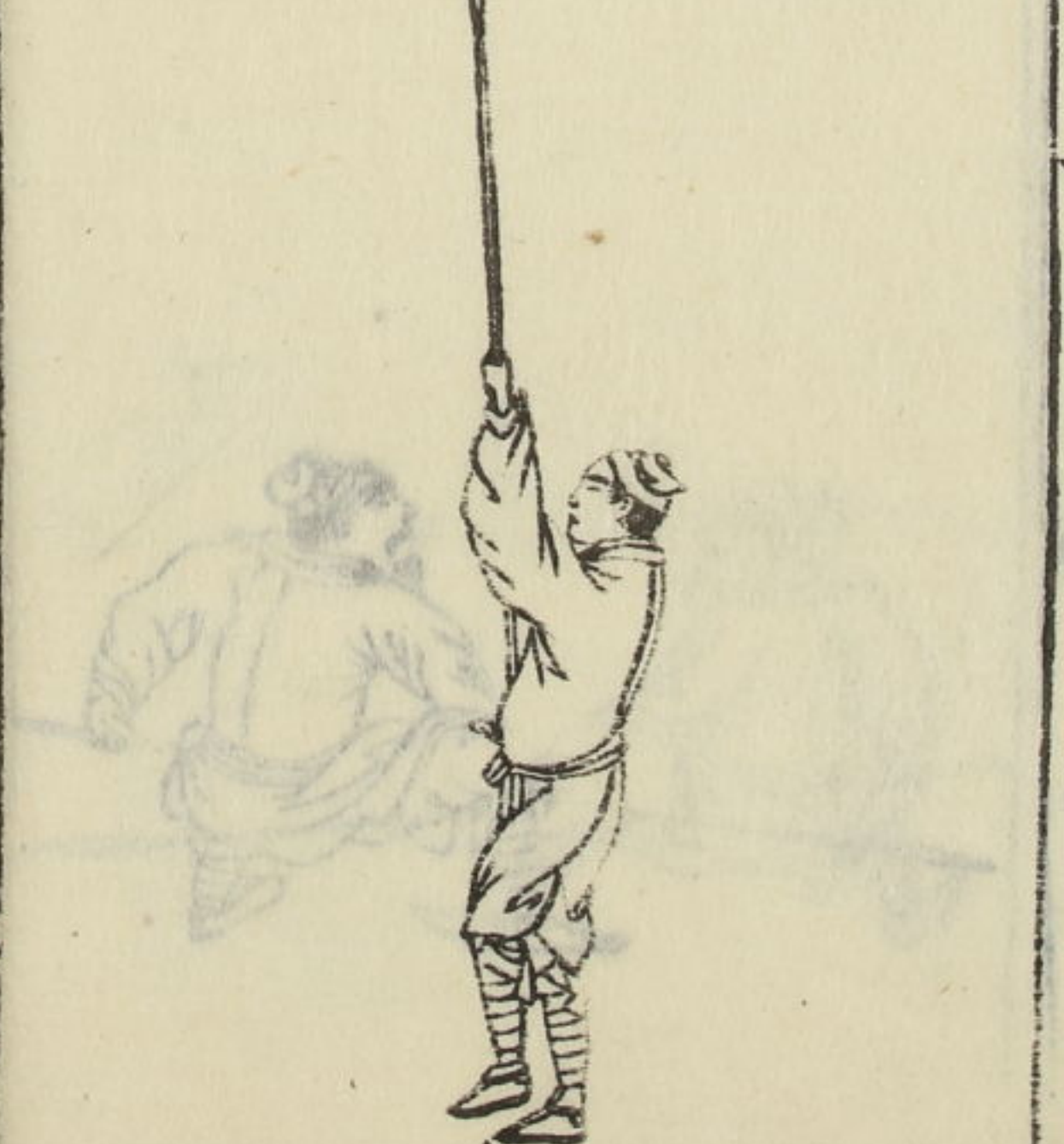
勢長虎伏



勢尾擺龍蒼



勢卵壓山太



勢琶琵琶



唐土言家國語卷六

勢せ路ろ指さ人に仙せん



勢せ衣い孔く開かい



習しゆ藤とう牌はい圖ず

牌はいハタテナリ取術とりじゆつの類るいニ

勢せ魚い釣つ公こう太たい



勢せ海かい塞さい山さん推お



唐たう五ご勢せ圖ず卷まき六む

勢せ牌はい滾がん



勢せ行ぎやう針しん



それ鑿くわうハ中華ちゆうわの昔むかし義裁ぎさい農のう千せん人にん
戈がと造つくり軒轅けんゆん槍しやうと作つくり諸葛しよかく
孔明けいめい始はじめて木きと以もつて槍しやうと作つくり
を以もつて頭かぶと以もつて其長そのちやう二丈にじやう或竹あるたけと
以もつて作つくる長ちやう二丈にじやう五ご尺せき蓋かき是こゝ日本にっぽん
の鑿くわうと相あひ似にたり日本にっぽんの鑿くわうの字じ
倭国わこくの制せいする處ところよりて鑿くわうと術じゆつと
同おなしくするものなり

勢せ鼓こ鷓し撲ぶく子こ鷓し

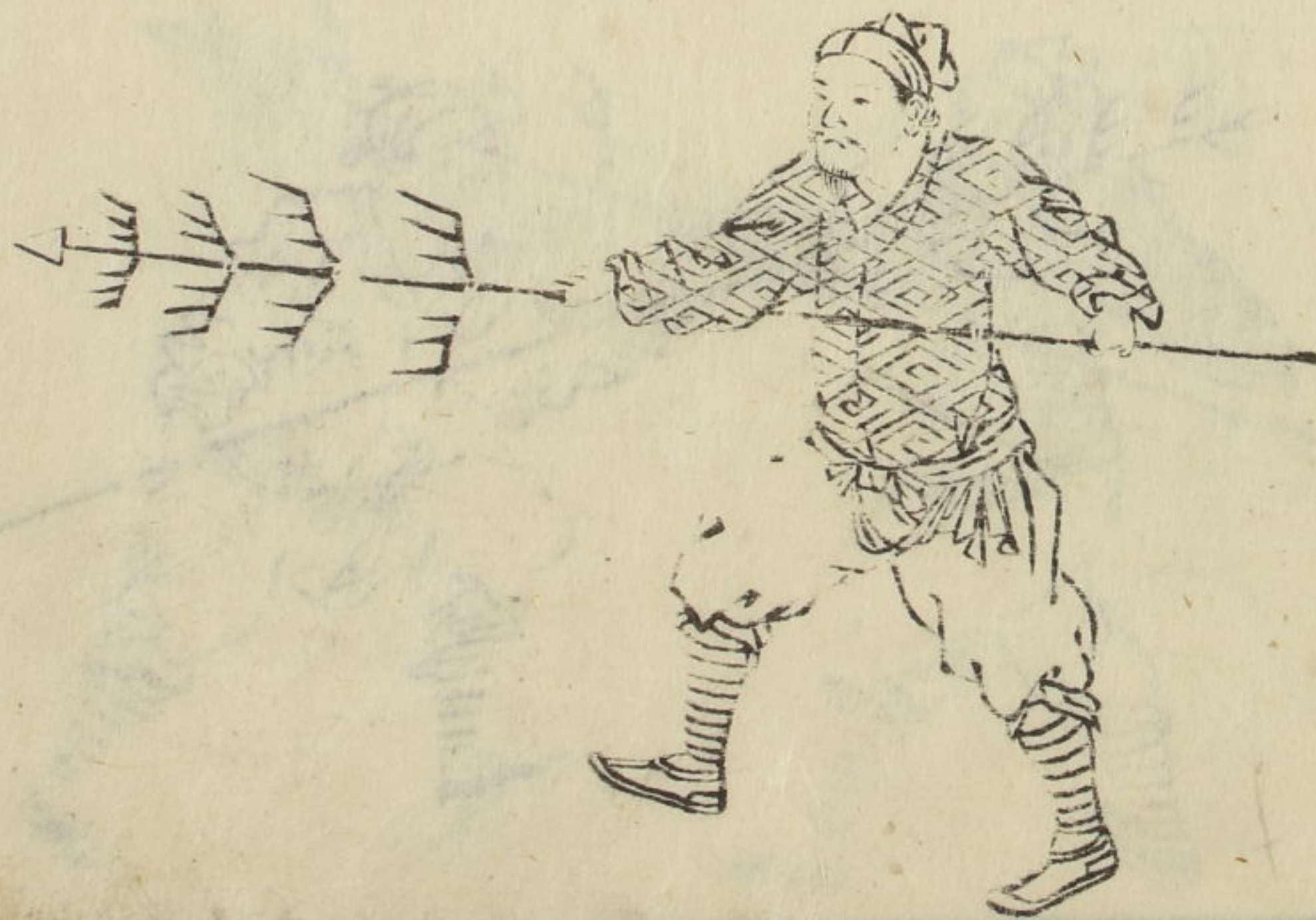


九く

勢 平 中



勢 龍 騎



羽日狼筈圖

竹の枝のまねと殊よてくろい 槍の長うねして敵の兵を
ふやく 器なりそのまりの術なり

勢 頭 野 雞 金



勢 伏 之 埋



勢 步 不 躍



勢 平 低



唐千部 武備 圖 卷 之 六

七

勢去下、開



勢退、歩、拗



勢開、釣



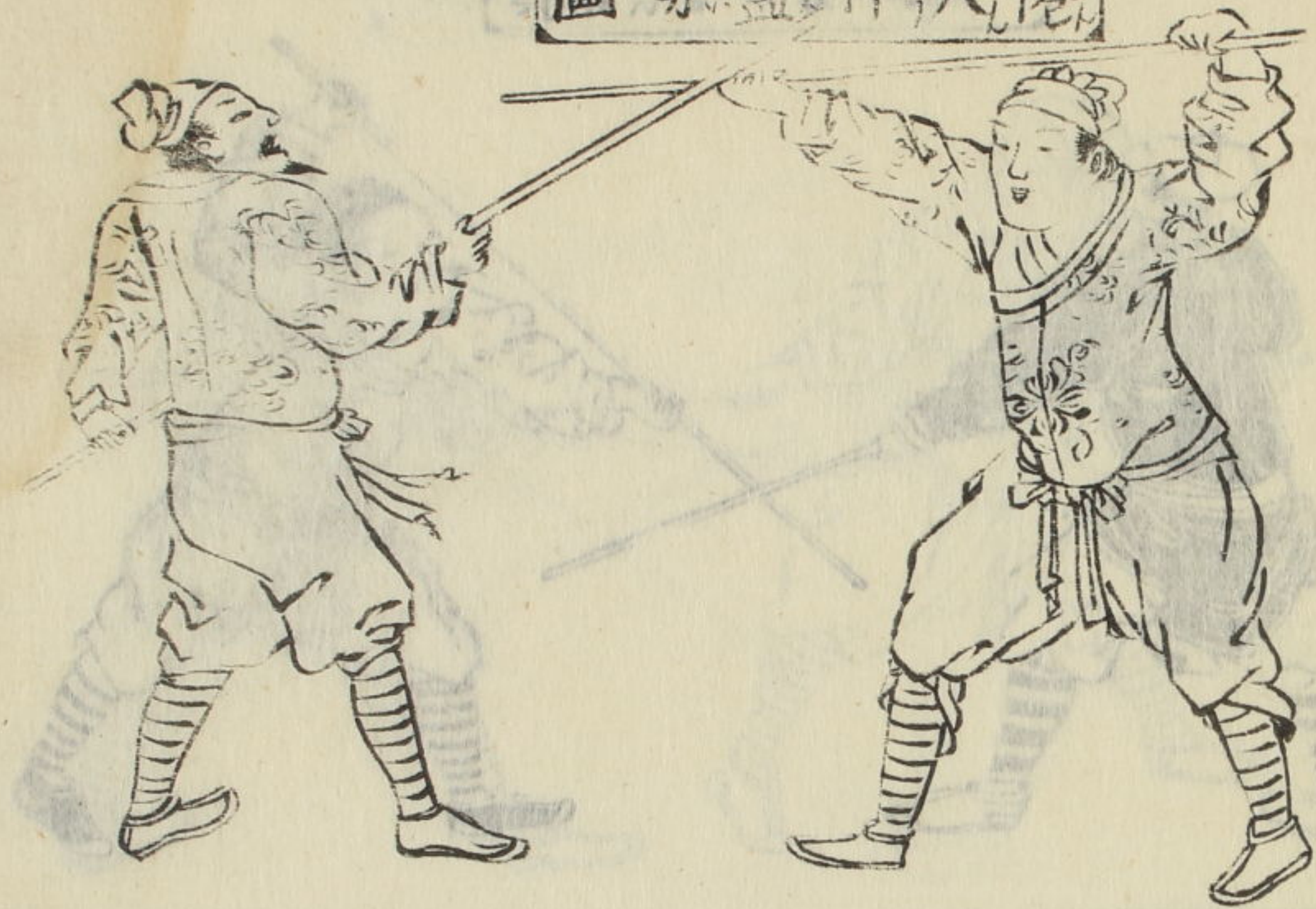
勢上、架



唐詩外傳卷八

十一

圖勢盤人棒人僊人



圖勢當大



棍法圖

唐土言家圖書卷六
和より上棒とつうととこ

圖勢當大



圖勢當小

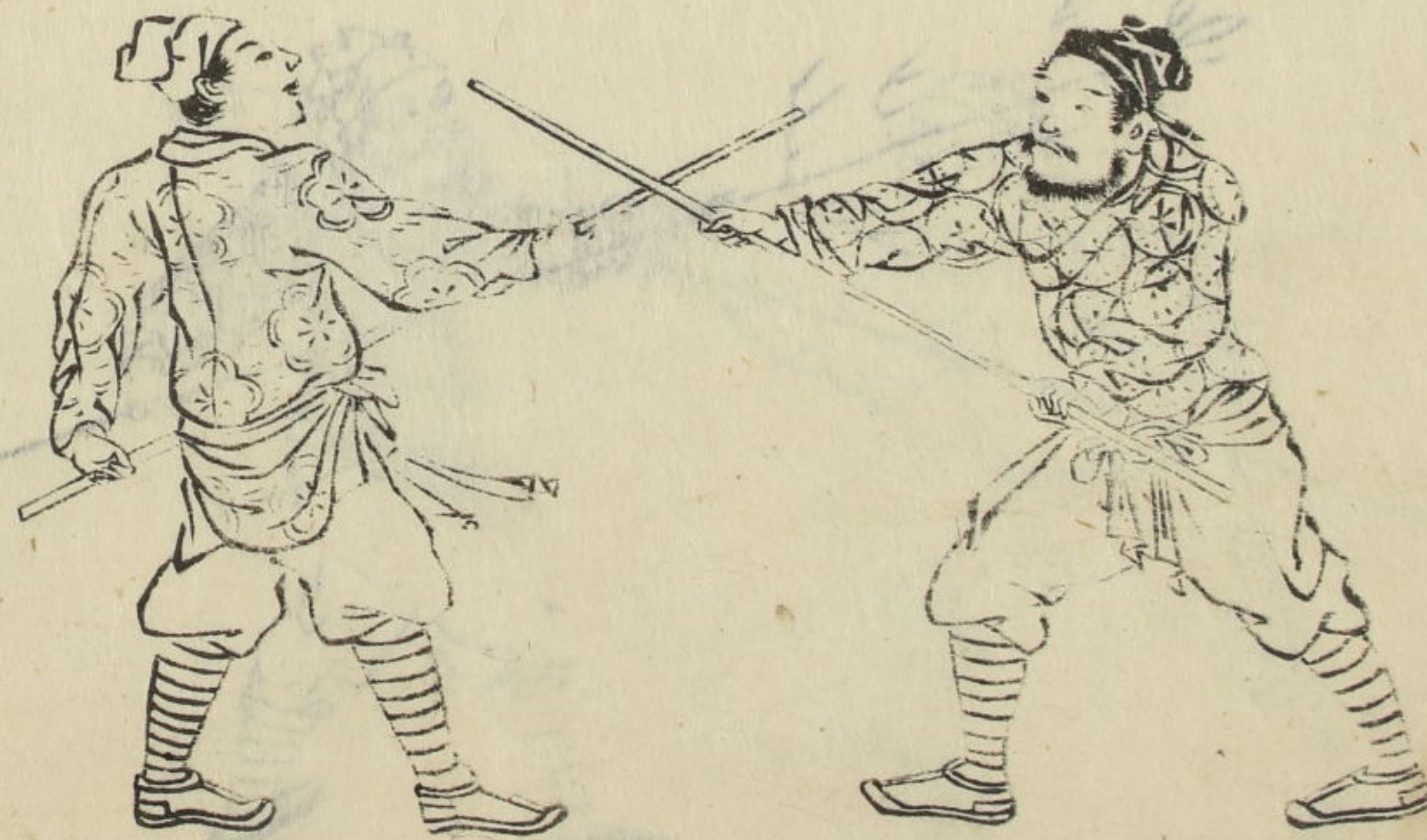


圖 勢 頭 回 馬 走

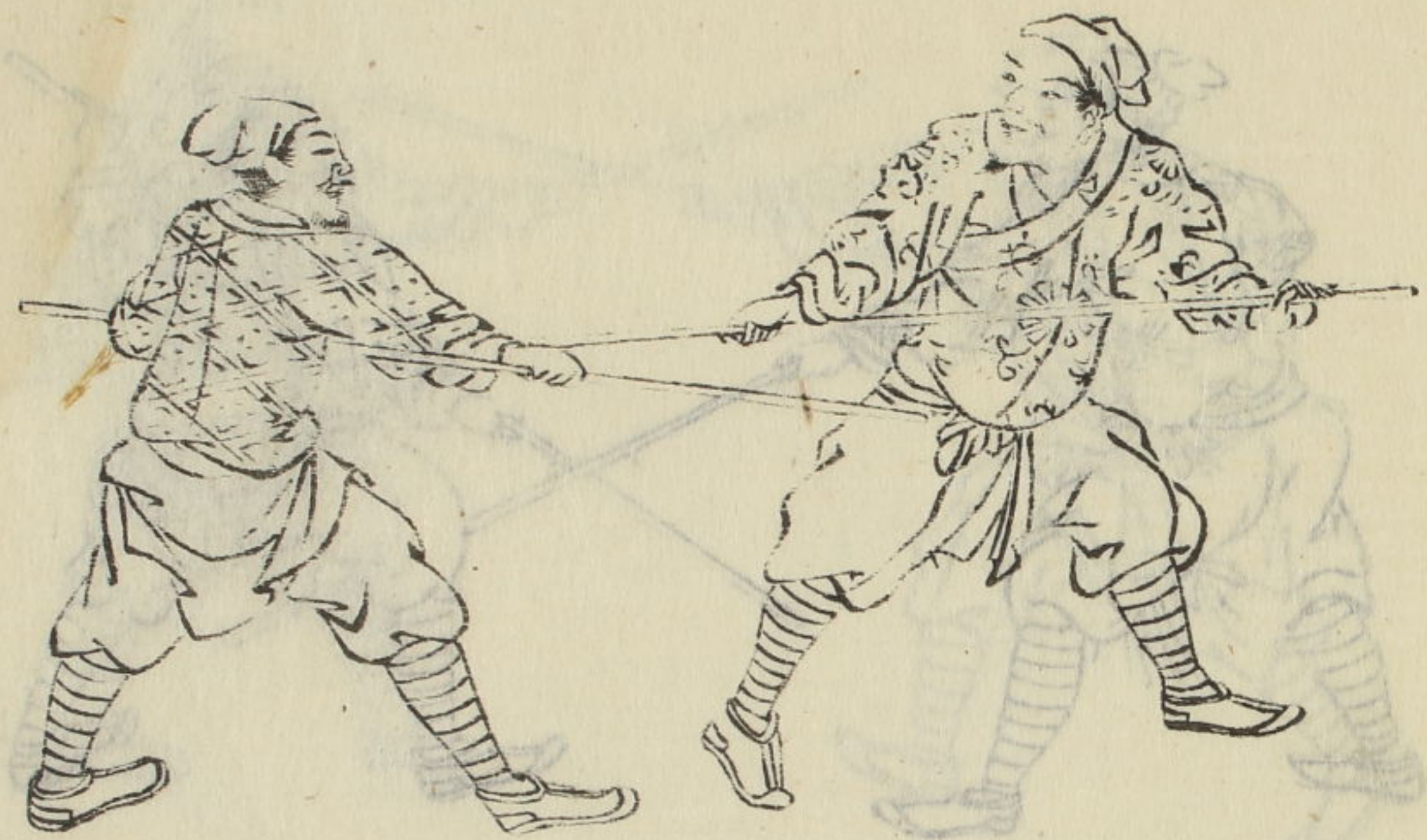


圖 勢 水 滴

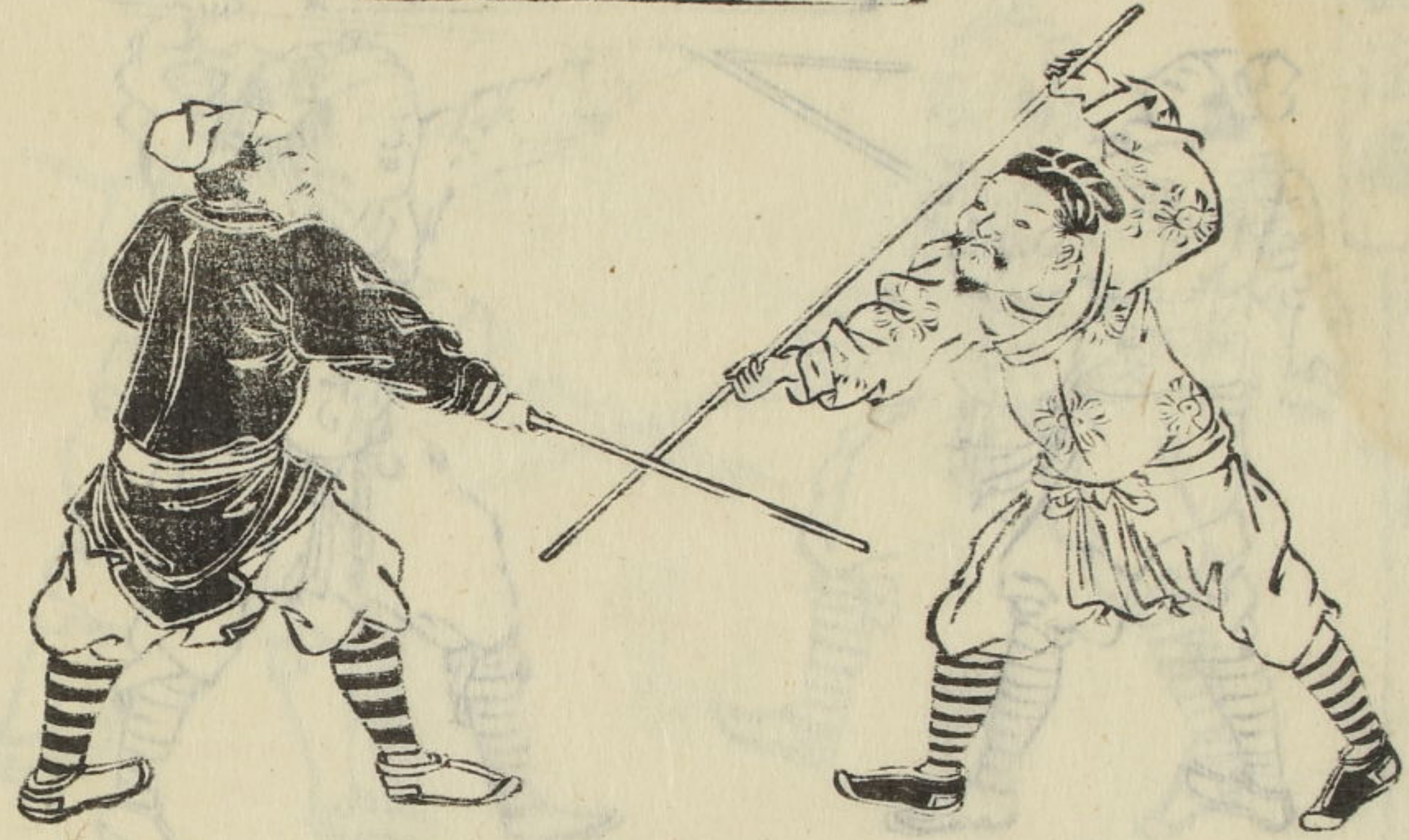


圖 勢 書 送 符 敵

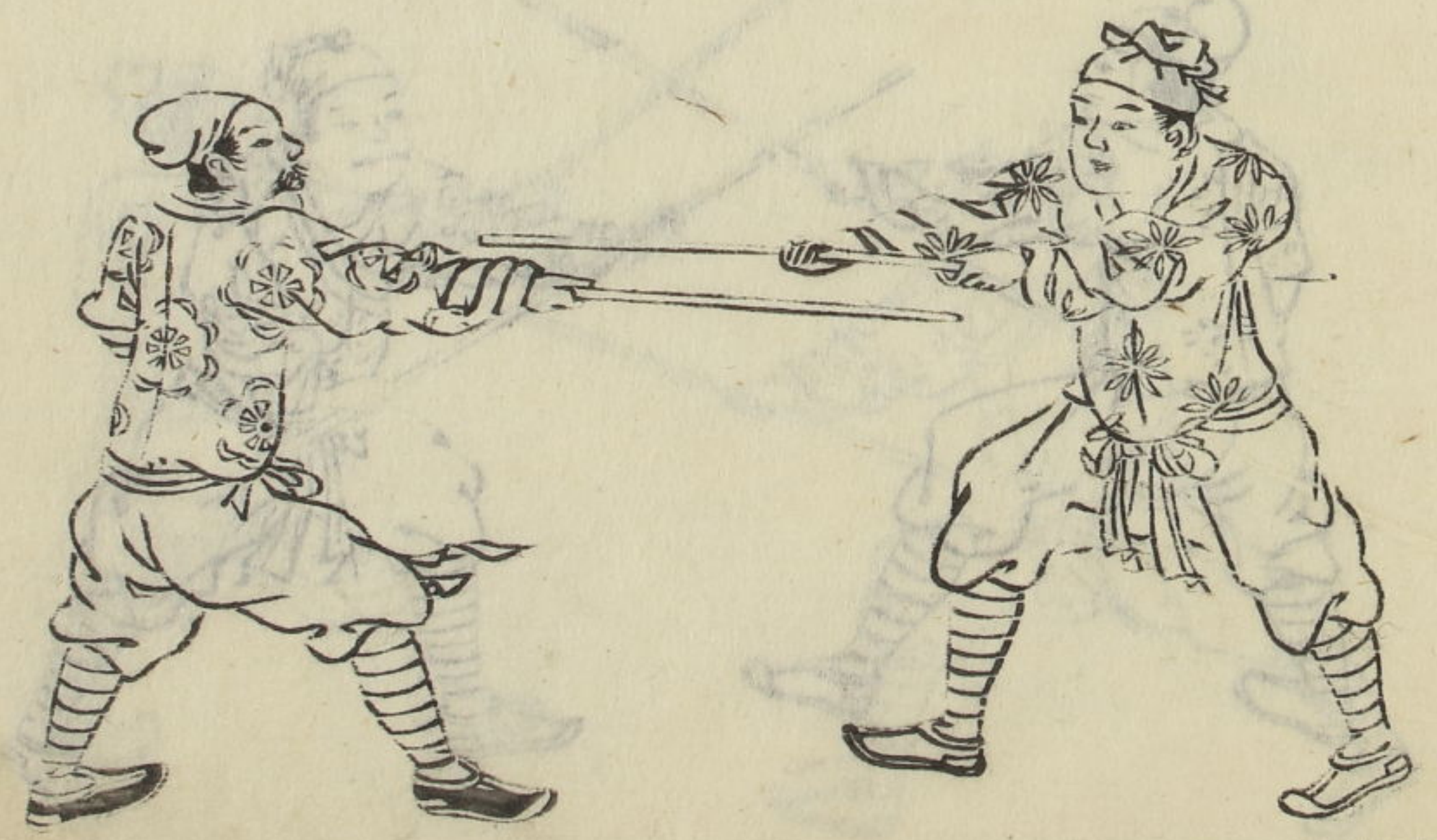
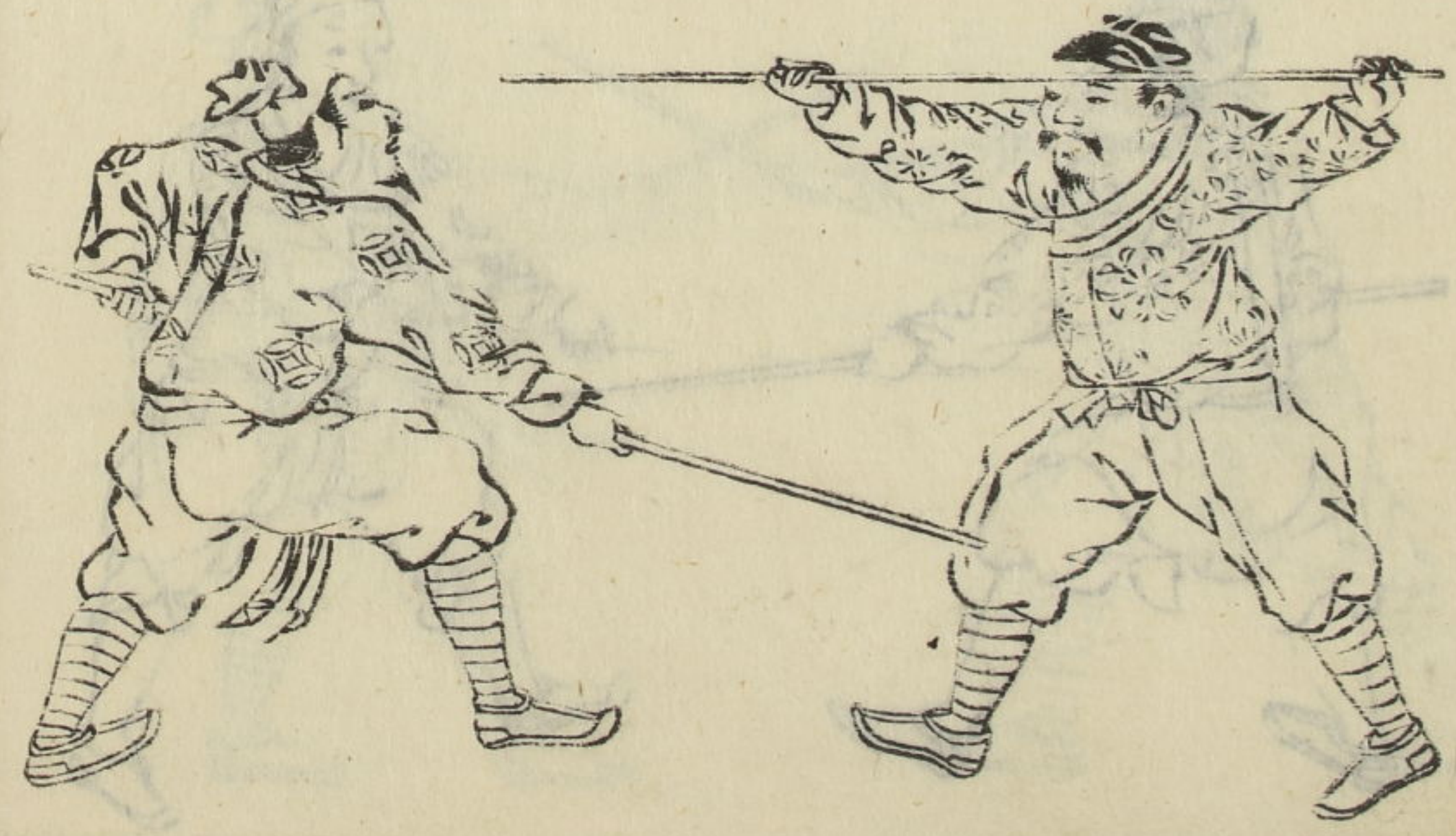


圖 勢 殺 眉 齋



唐土書 卷六

唐土書 卷六

唐土書 卷六

唐土書 卷六

圖ノ勢ノ腰ノ閃



圖ノ勢ノ頭ノ倒



圖ノ勢ノ穿ノ下



圖ノ勢ノ刺ノ上



武備要略卷六

六



撃手壞圖 あれ村民野老のたふし
 その具の木と以てはらう前廣く後
 鏡長き人四寸濶三寸具形履れ
 如し裁せんとすりぬ先一の壞と選の
 三四十歩子側て手中の壞と以て
 うらなけてあさる者と



擲鼓圖 擲とハ田の草とらう
 その時笑語して務と妨ん
 とらにうけ鼓をり

圖 勢 接 下



圖 勢 接 上





角抵圖 和角抵の事
すよよハ奉事の教をてらぐん



闘牛圖 闘牛の事
うーとこなちつと合
 せてうたふふをり

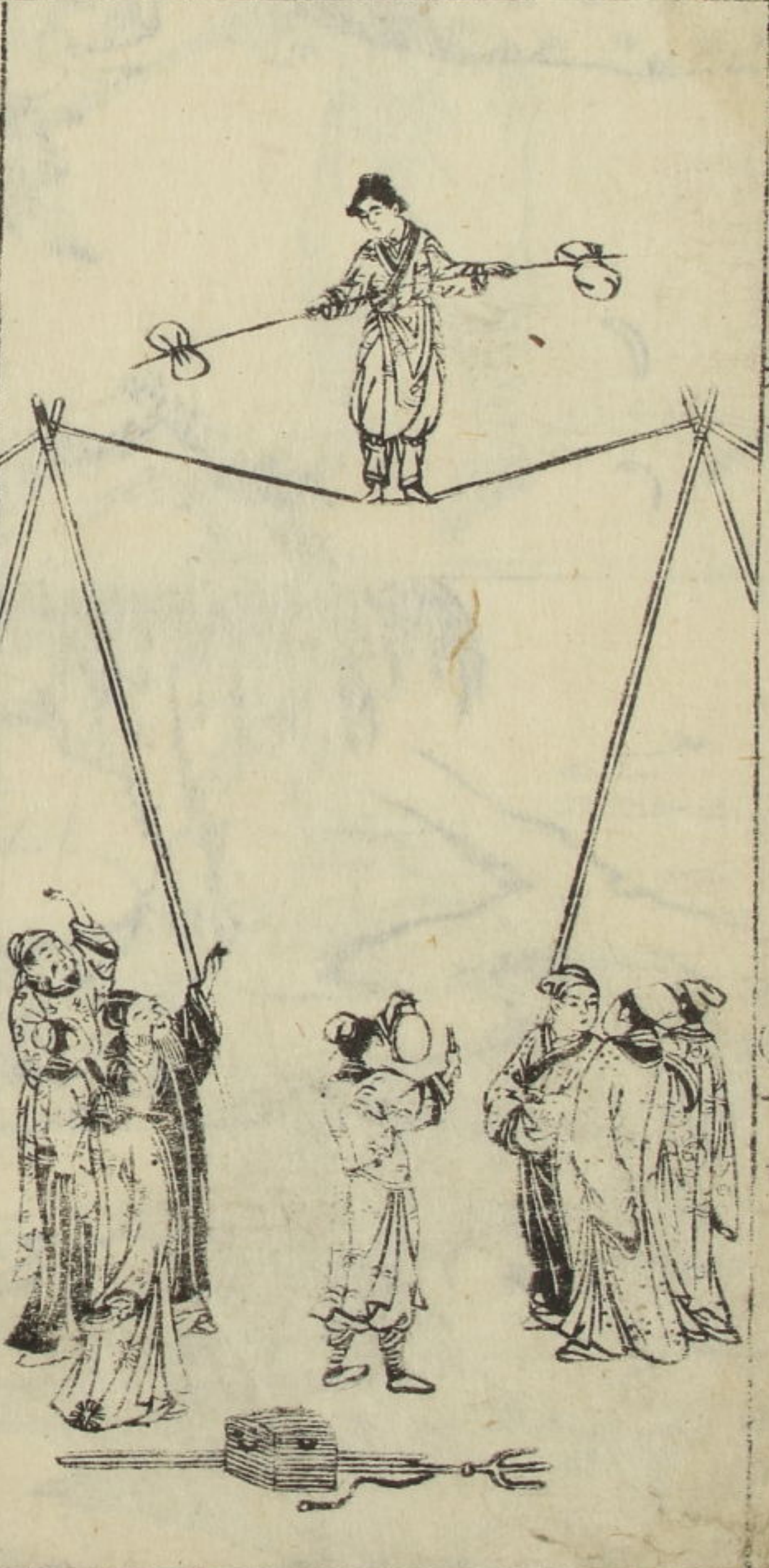
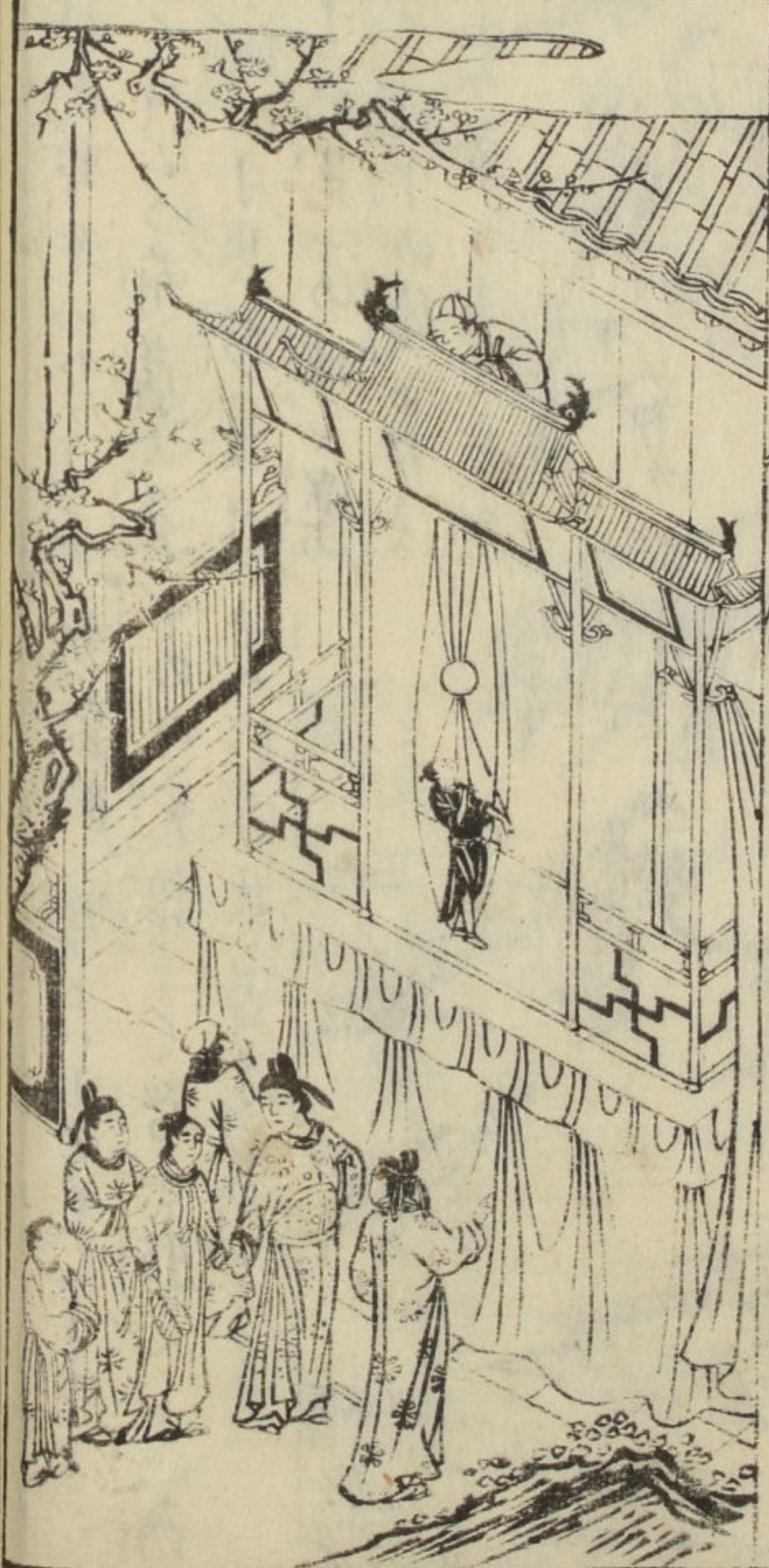
高組圖

ふれ和り
 りよけれ
 又よりお
 ぬきの
 類
 たり

傀儡圖

みれ和り
 りよけん
 おけん
 うらま
 教なり

唐土言夢圖卷六



關草圖

百の草
とけ合
せて
周の
三月
明の
あつ
す

關雞圖

とけ合
せ
周の
三月
明の
あつ
す



彈圖

和
乃
古
八
と
ゆ

蹴鞠圖

和
乃
古
八
と
ゆ



唐土訓蒙圖卷上

吞劍圖

今のよ
るうの
わらわ
の
数

弄甌圖

今のよ
れ
玉とり
の歌

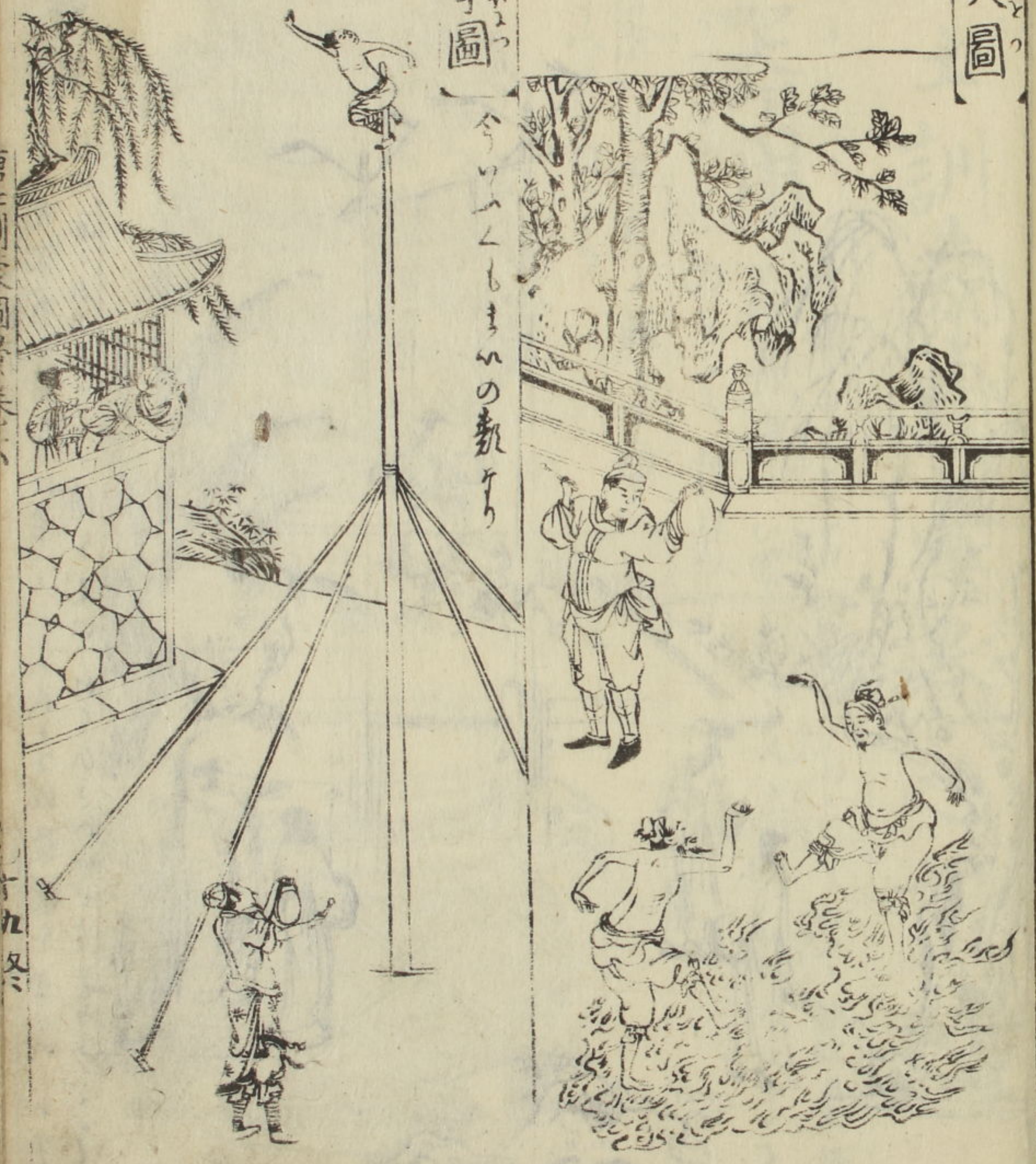
唐土昔家園景卷六



走火圖

縁等圖

今のよ
もまの
歌



十九又

鞦韆圖

北方或狄寒食の節に至ては、
 中丞これより上から、備を
 備へて、
 鞦韆を
 懸て、
 遊ばせり



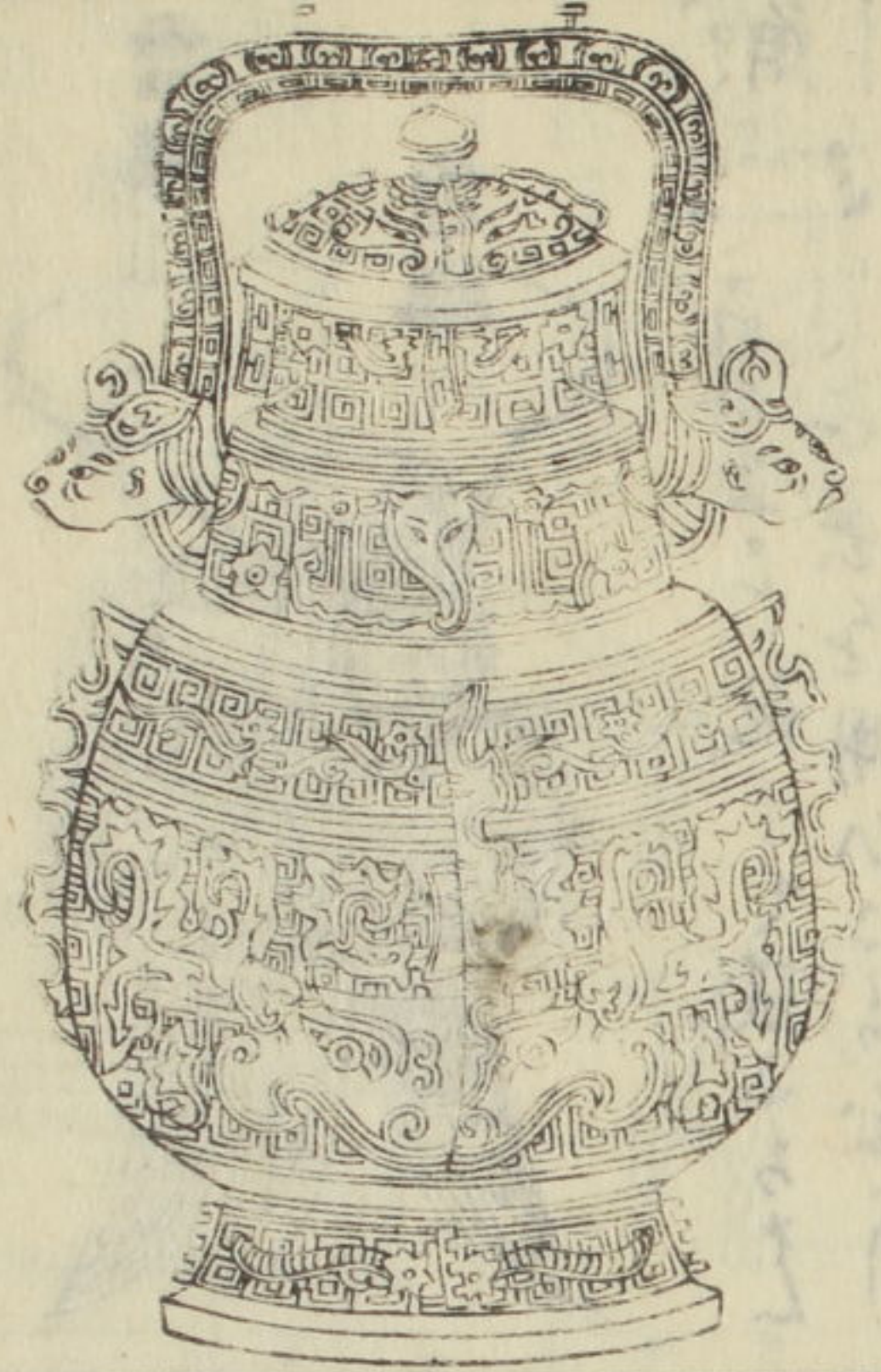
唐土訓蒙圖彙卷之七

器用 之一

器用

此部は、上古の器用、
 舟車、
 筆硯、
 文房の
 遊り、
 農具、
 兵

古器 上古林ノ酒とす
 うつものなり

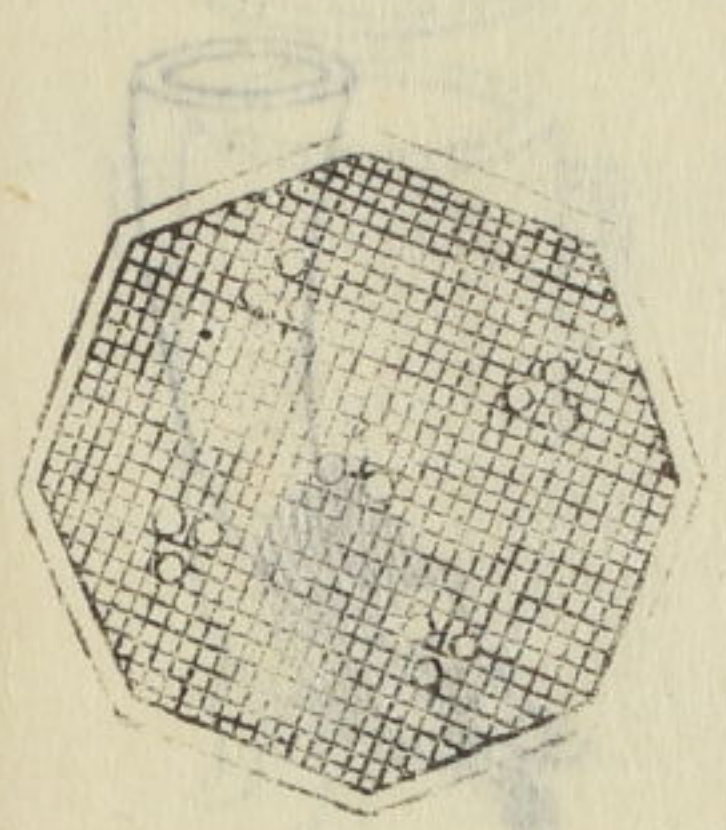
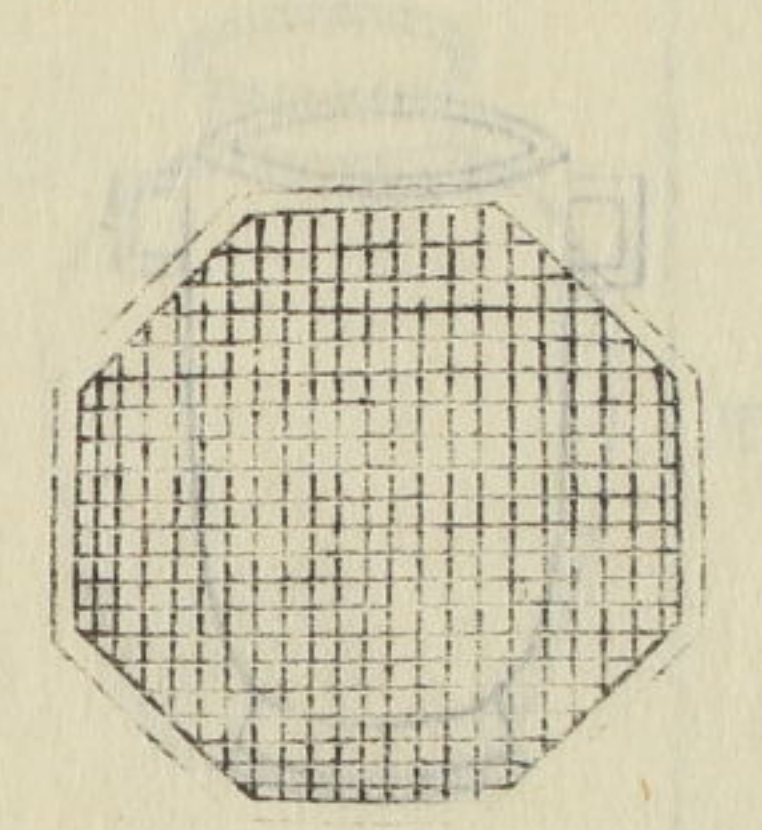


神と
 まつら
 こと
 酒
 と盛
 うつ
 もの



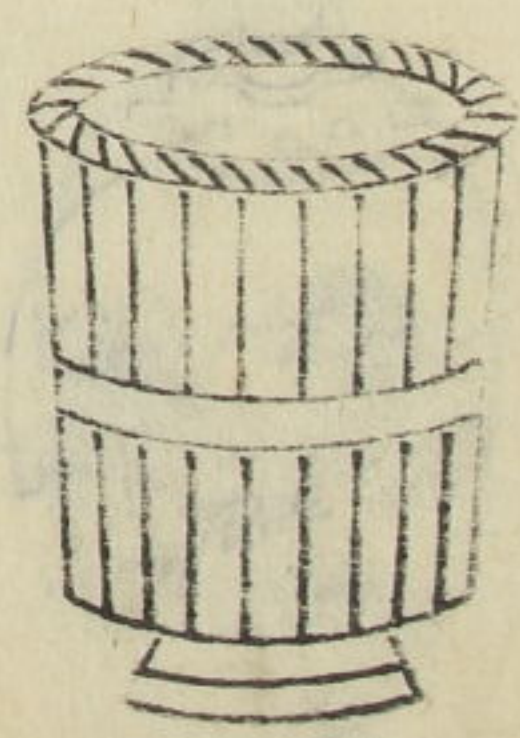
犧尊

のこしん中一り
物と飾り
るに赤漆を
用の象尊山
尊壹尊大
尊著尊を
同敷
疏布巾
の幕しこ二尺
二寸天地と
つにこれと用
畫布巾五色
の雲氣と畫
六葉の幕也
二尺の幅
りて圓なり



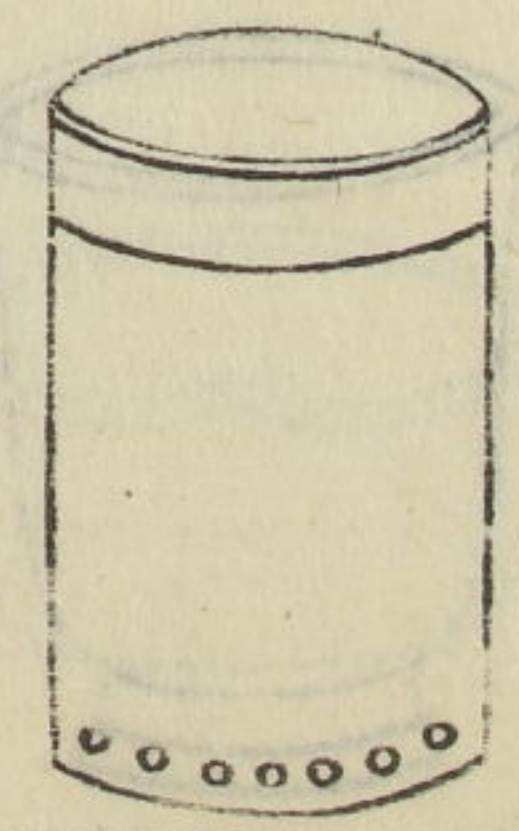
簋

とろくはく
十斗と斛といふ
十六斛と數
といふ



甄

以てこれとつ
厚さ五分唇
一寸七穴と穿
たり



柶

以てはく蒸と
和する器長二尺
博三寸
和云柶子ノ
類ナリ



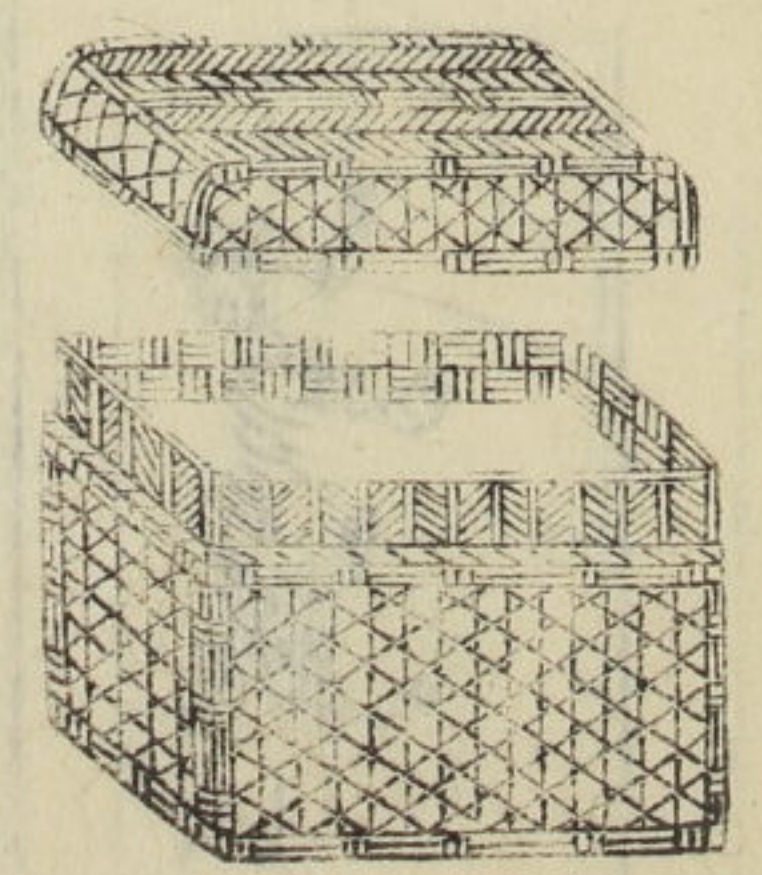
錡

と同一用と
なり
足かさといふ
といふ



篚

とろくはく
とつら長三
尺廣一尺深
六寸足の高
二寸



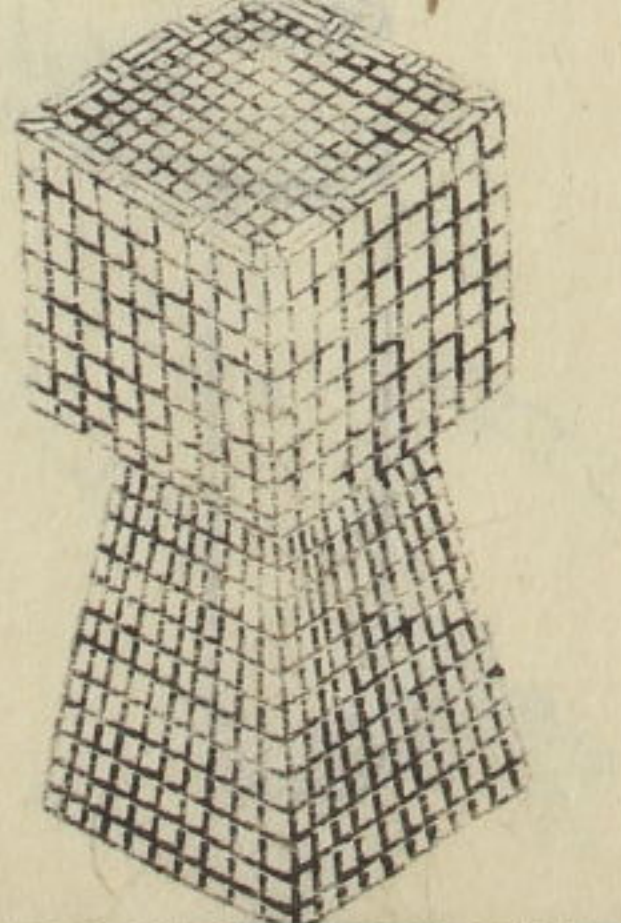
登

蒸とすい
もろし徑一
尺八寸高さ
二尺四寸



篚

といふこれを
つら祭祀の
うつもの也



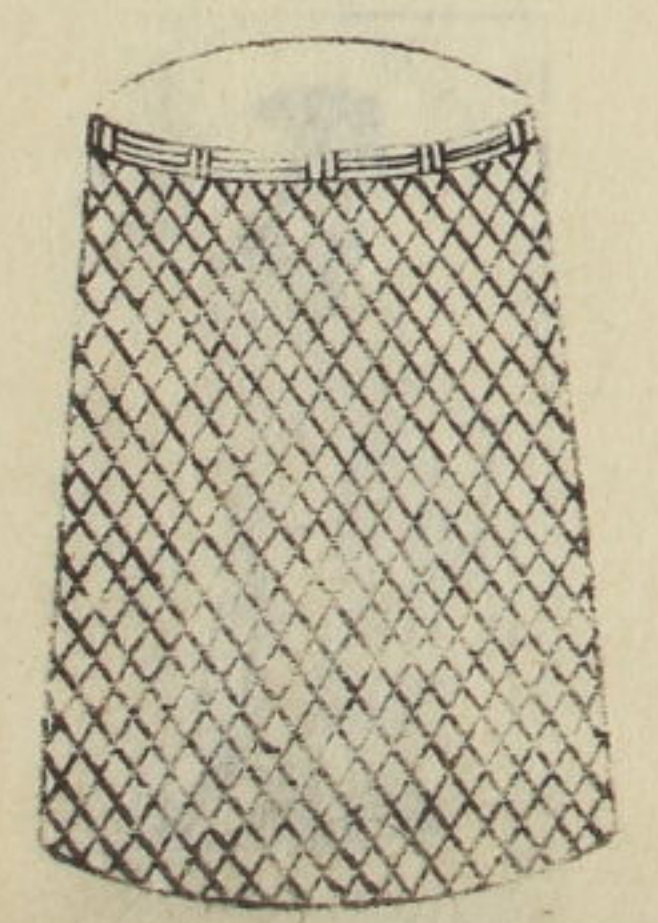
鑊

と煮いよの魚
腊といふの器
なり



篚

形圓かいて
長一五升と
受こし



形

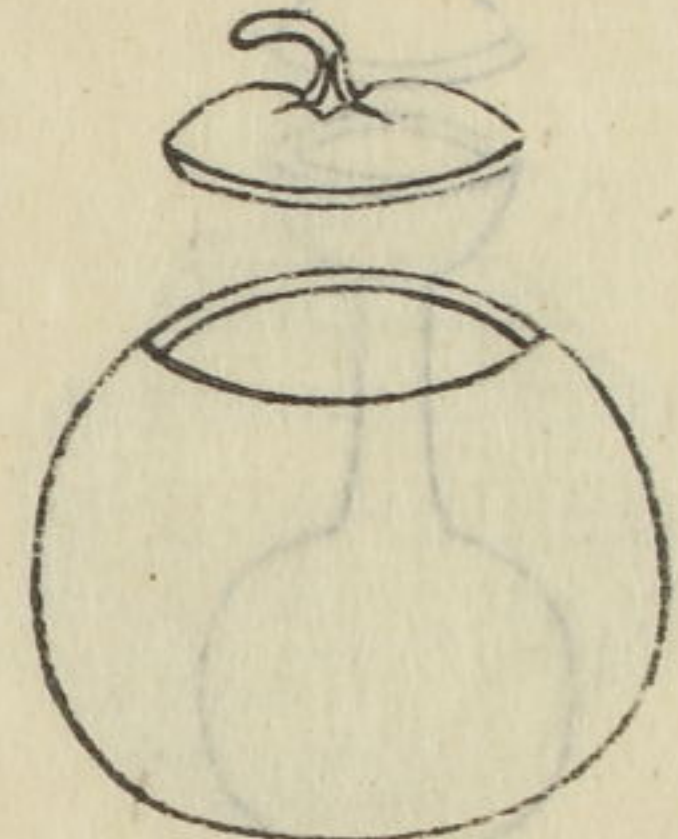
豆に似て早
爵と致し又
尊と兼る器
和の盃を
の類

甕樽 取
甕と割て様
と高く様
てこれと酌し

サ者 高さ

三尺口の後一
尺五寸口の後
二人盃とす
て洗入水とす
つて器なり

唐土製家器景表



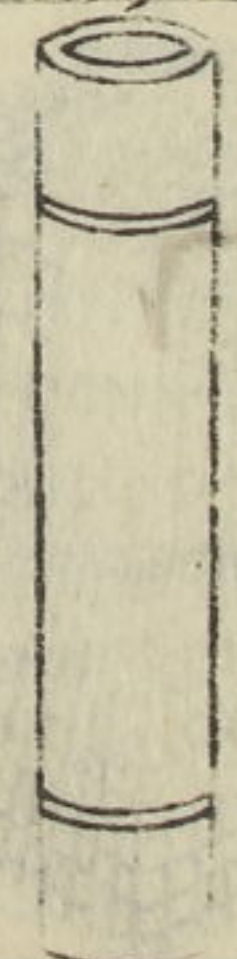
人節 合と

以てきり人
の圖と漆て土
固としてこれ
と用也

竹と
節 公卿
大夫采地の更
都鄙に用也

虎節 合と

以て節
虎の形と漆て
山節とす
これと用也



方明 木

四方の器を
上は奠るもの
なり

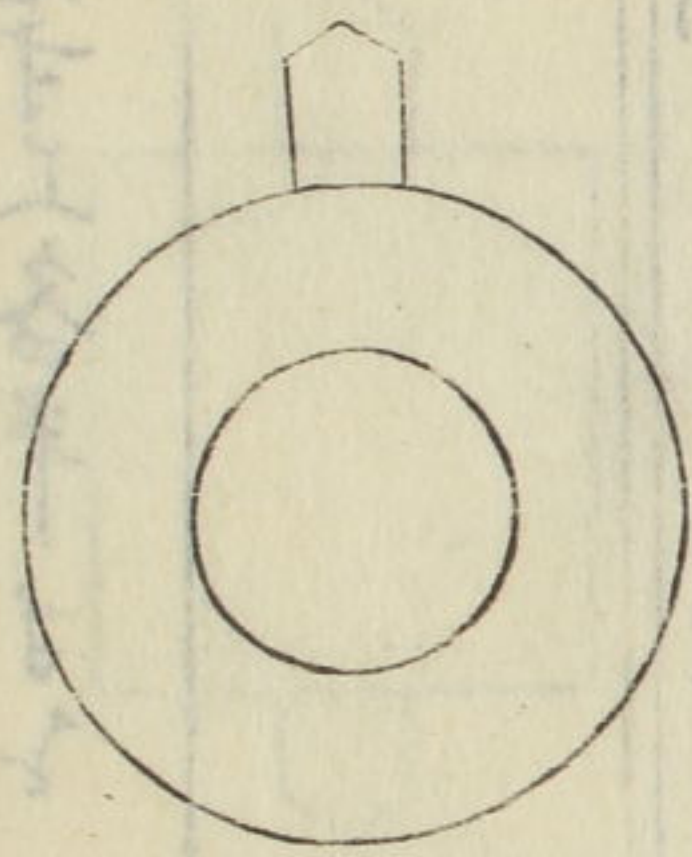
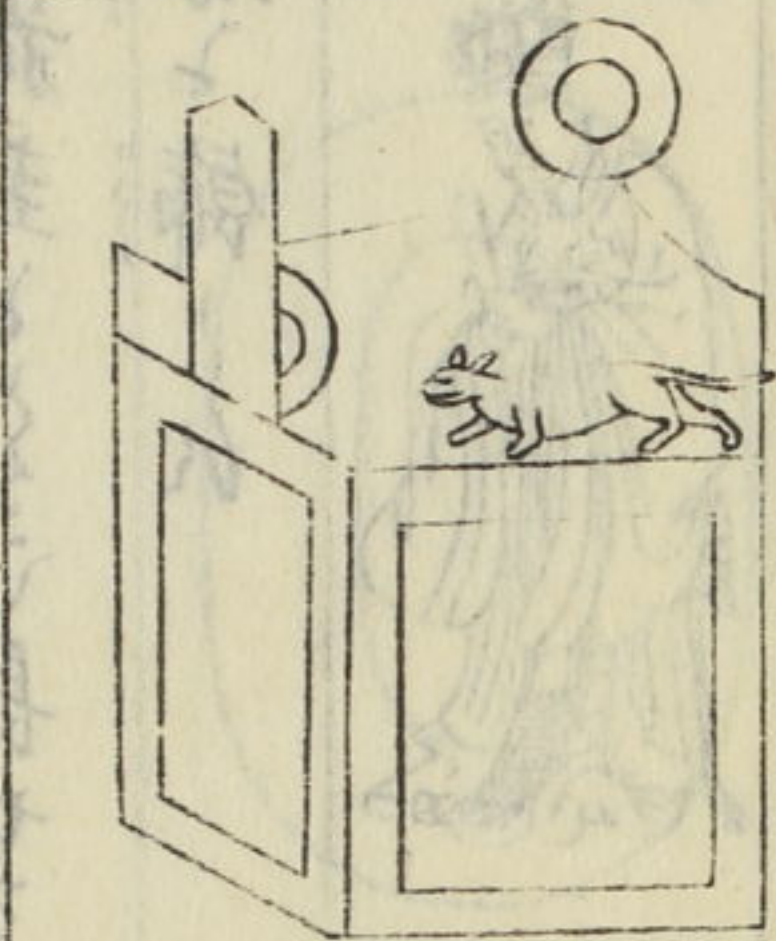
備 占

用の中尊

封壁 龍

封壁 員

かろと壁の
鏡とまじり
天地より
なり 祭と執
佐よりて



璋 射 半

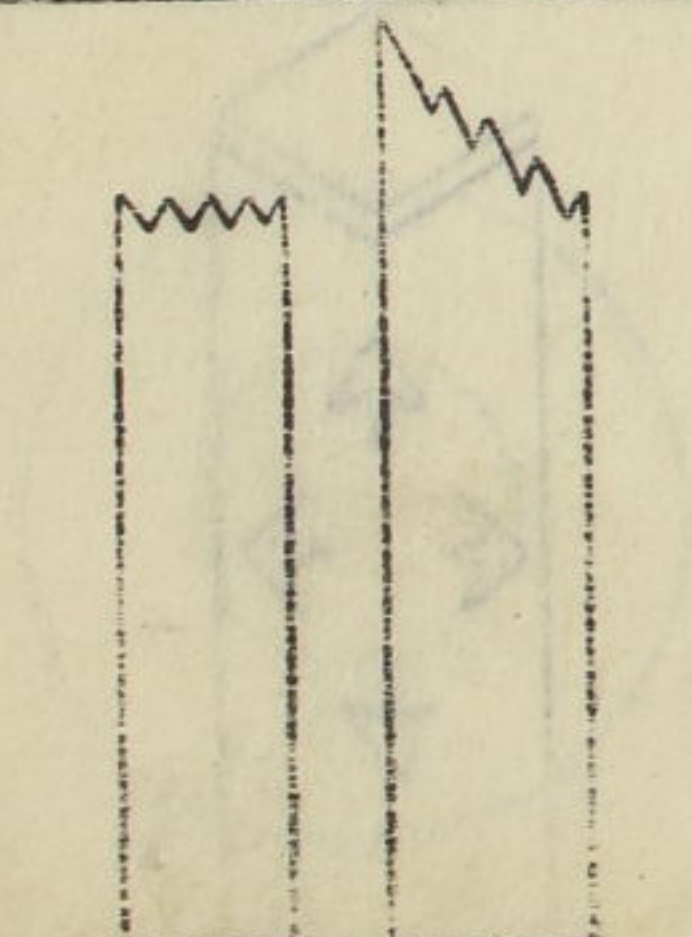
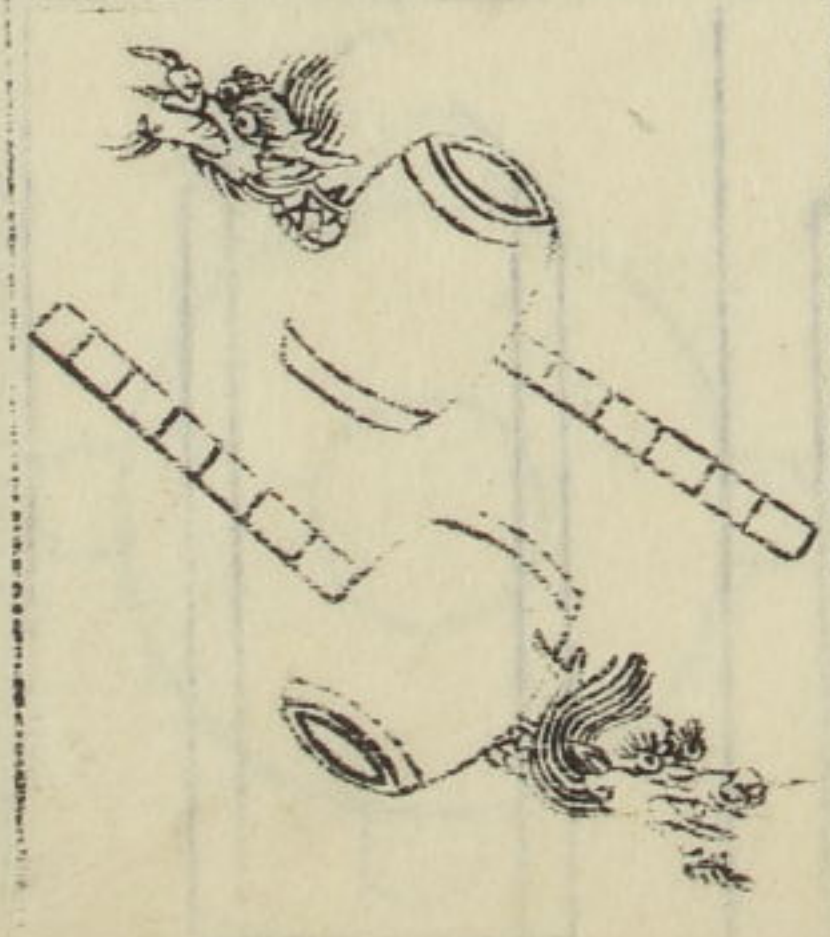
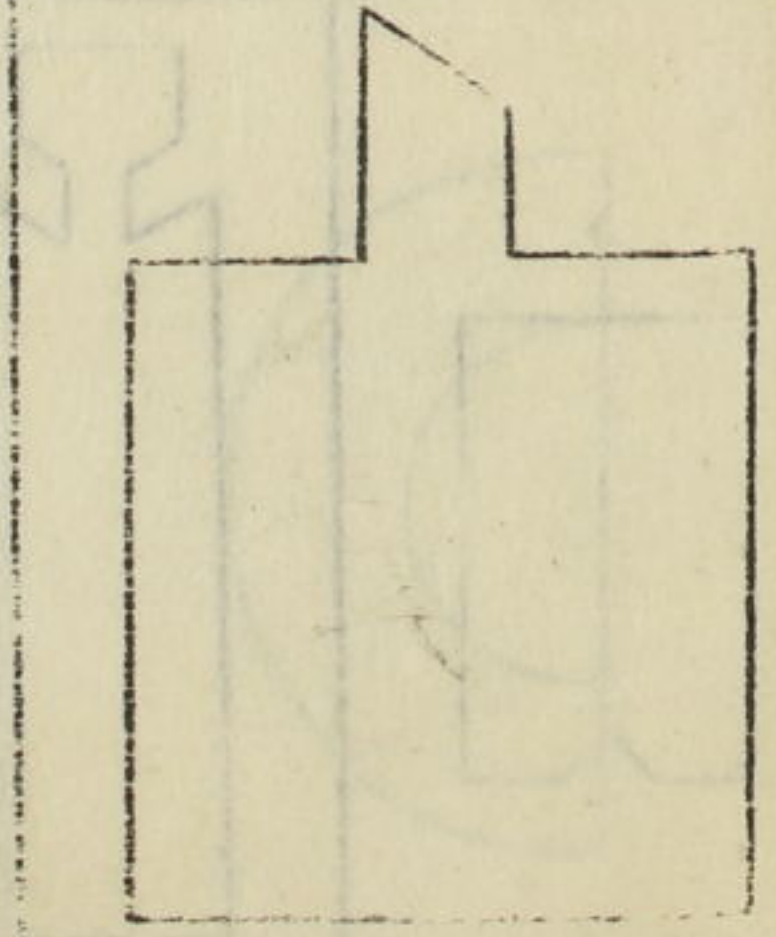
圭と璋と
斜に射と
と射と
邊璋 横

中璋

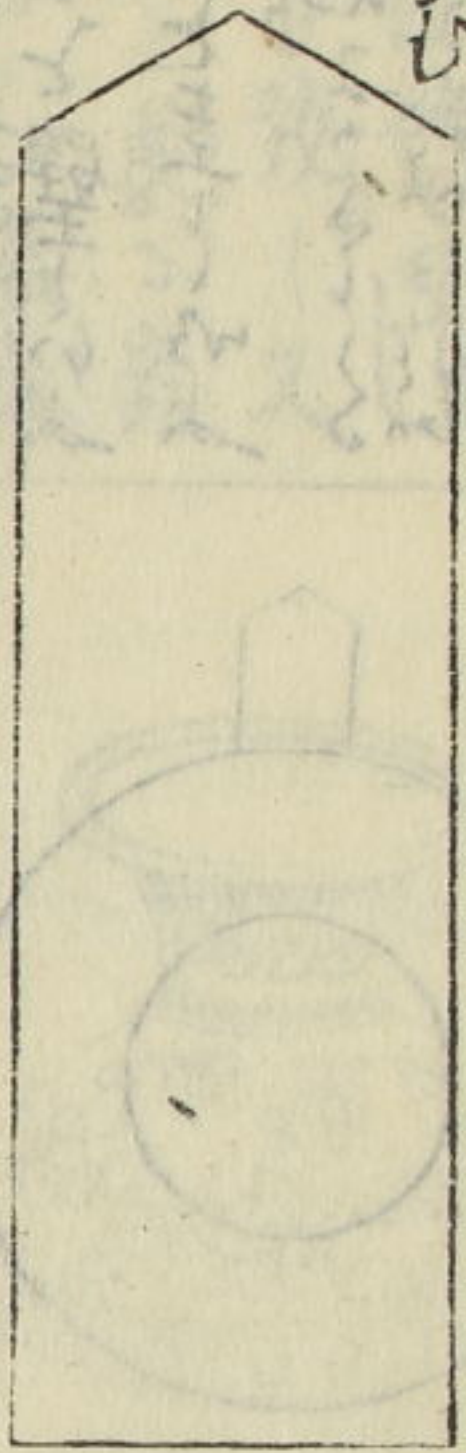
邊璋ハ七寸
中璋ハ九寸
山川の系に
封瓊大璋瓊
も同射

牙璋 中璋

牙璋ハ軍旅
に用の中璋ハ
小軍旅に用
なり



圭セハ 長九寸上各半寸と



信圭 諸侯信圭ととも長七寸
人形と琢る信と飾る

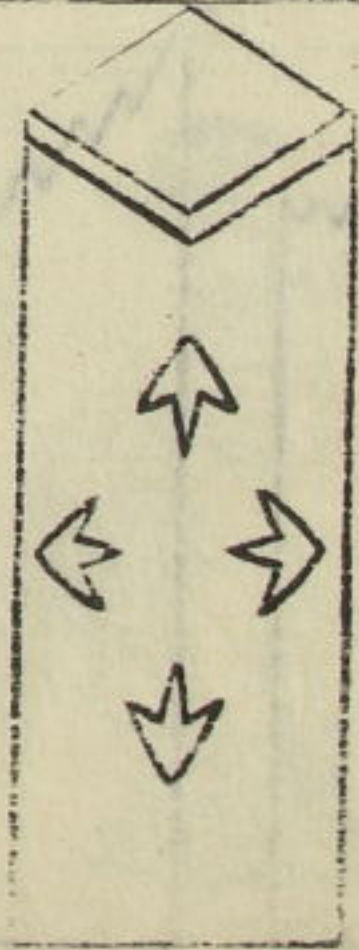


躬圭 伯ハ躬圭ととも長七寸
人形と琢る亦と飾る



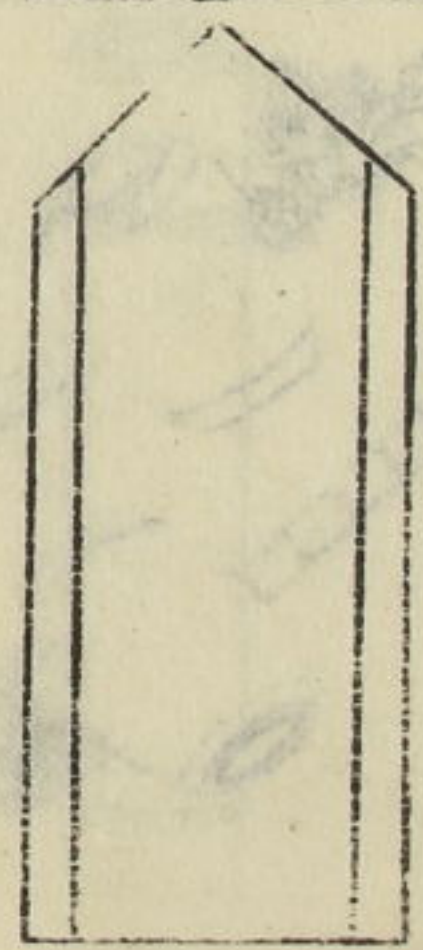
鎮圭 王ハ

長一尺二寸四の鎮山と以て琢る飾る



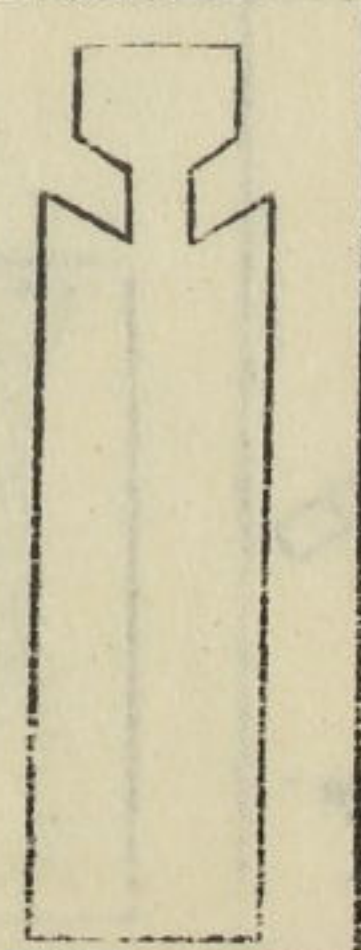
桓圭 公ハ

桓圭ととも長九寸雙植と琢る飾る



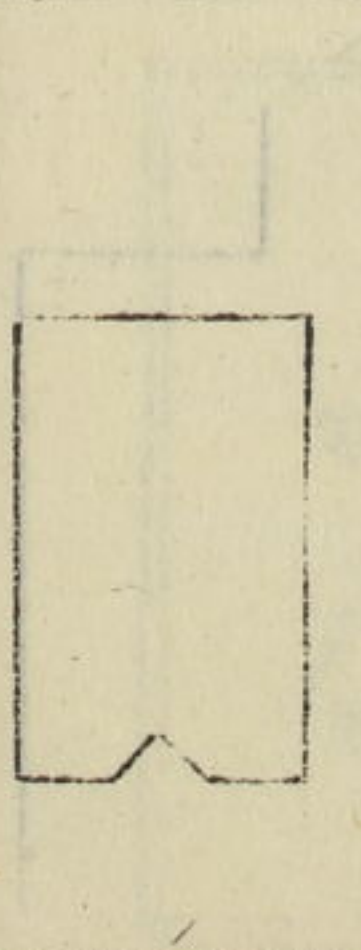
大圭 長

三尺天子と服る也



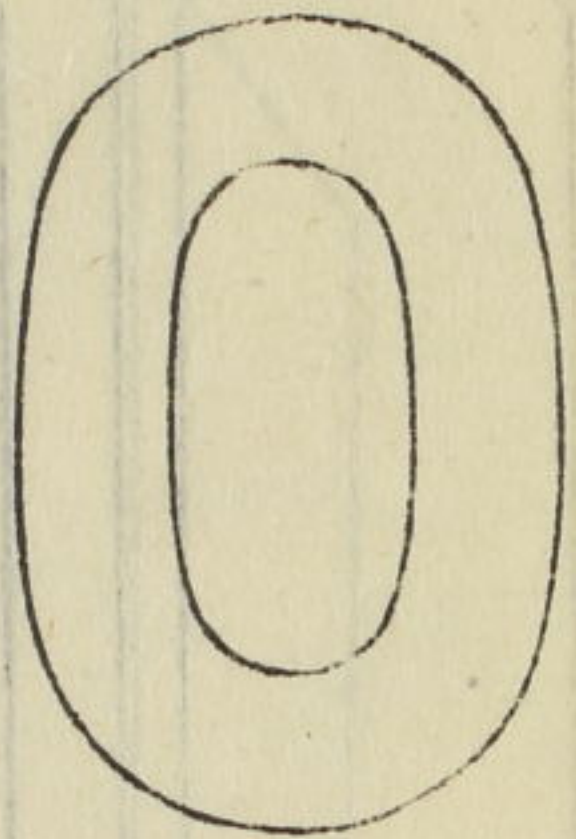
骨圭 長

四寸天子以て諸侯と朝



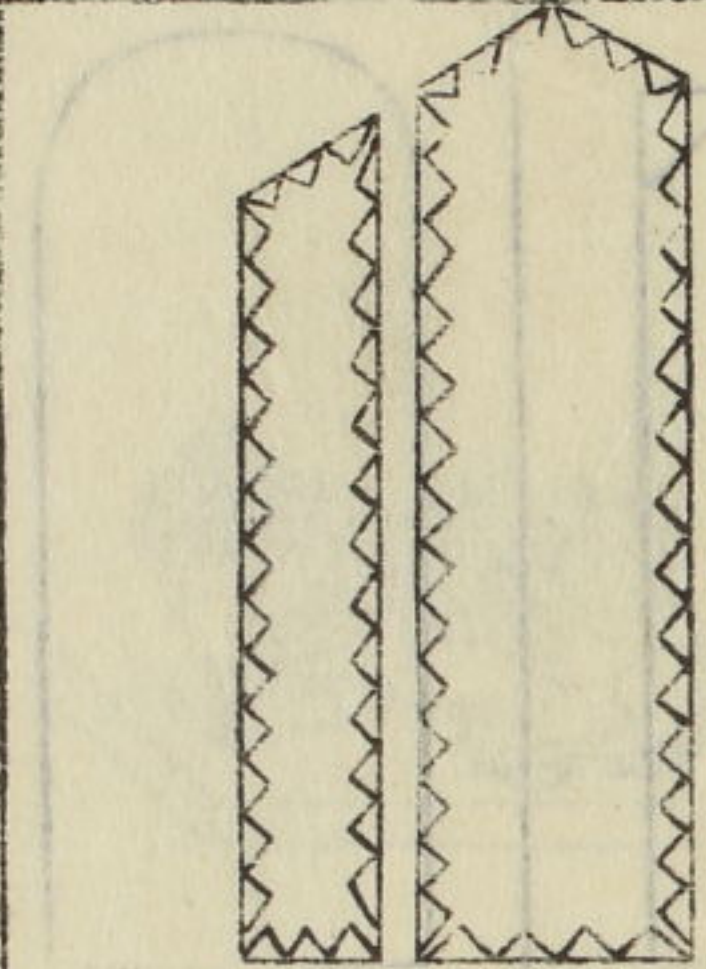
璧 長

三寸



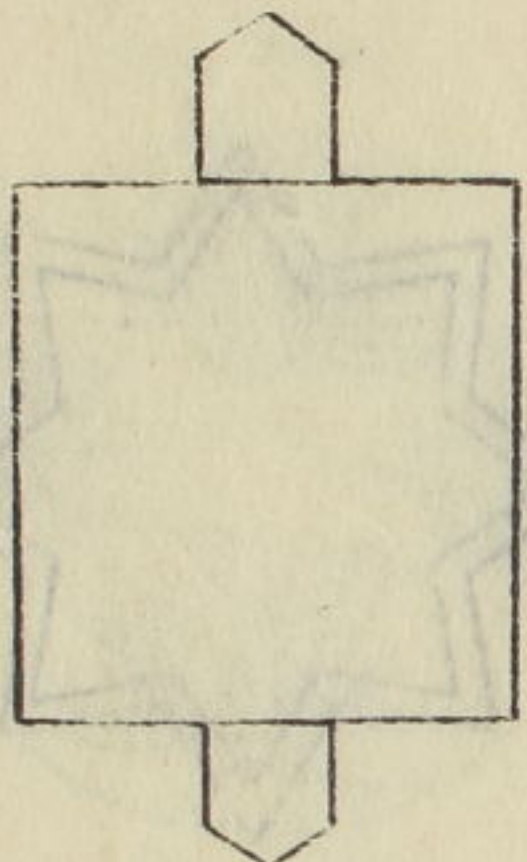
環 圭 璋

長八寸規 聘 圭 大夫 衆 來て 規へん 圭と琢る 用る



兩圭有邸

長二寸半は外方にうらぬとらなり



玄璜 北 方乃半璧と横とる

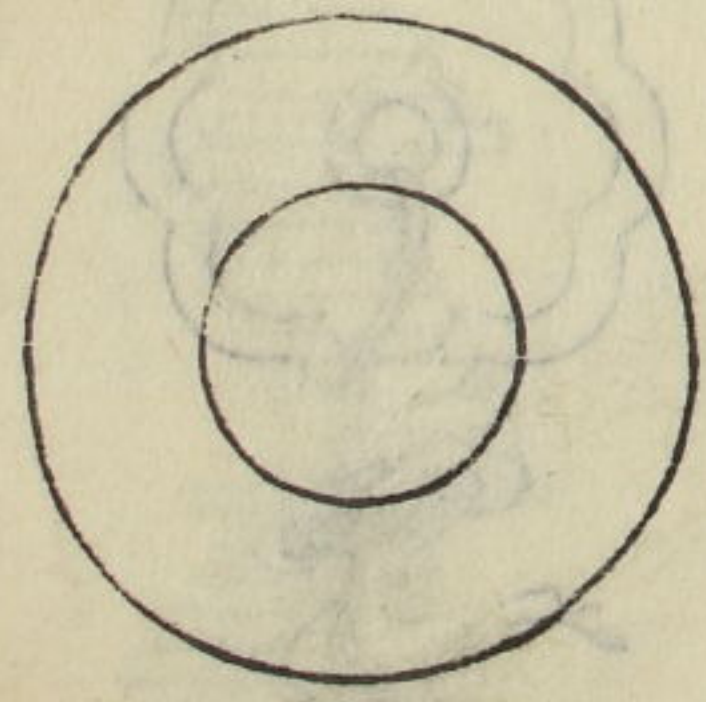
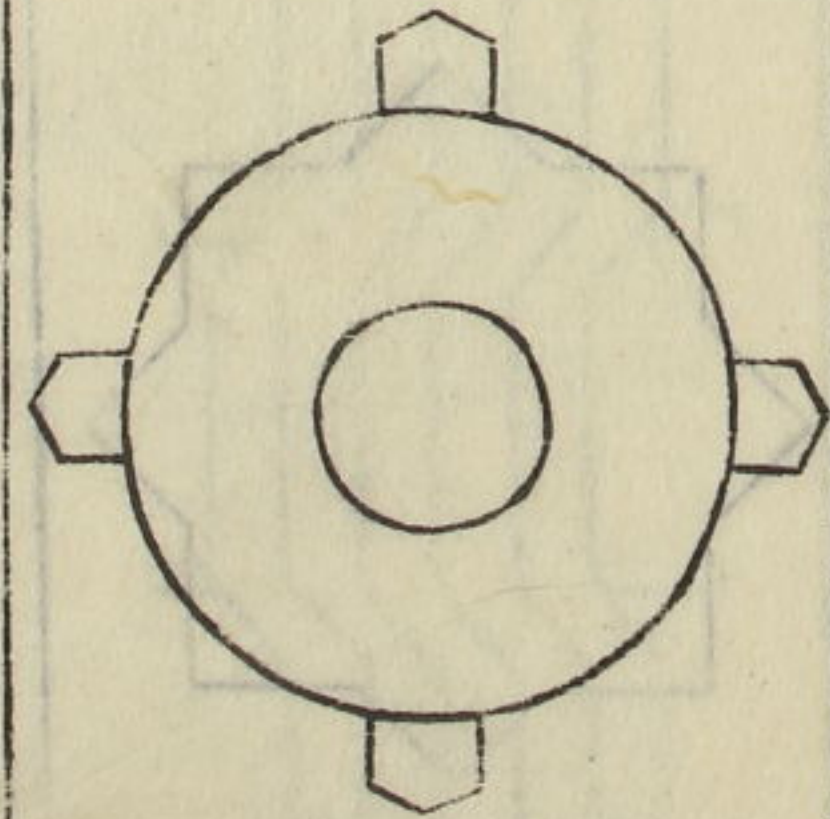


四圭有邸

五寸ハ六寸中に居て四面各圭と琢る 長一尺二寸

蒼璧 天と

禮するに用ゆる 圓よりてより九寸わつと二寸



黄琮 地

礼すに用の
毎角一寸六
分に刻す長
八寸厚一寸

琬圭 長

九寸徳と治め
好と繼ハ琬ハ
圓とワノ義

琰圭 長

九寸上に鋒
芒ハ

大璋 長

七寸諸侯女と
聘すに用の

赤璋 南

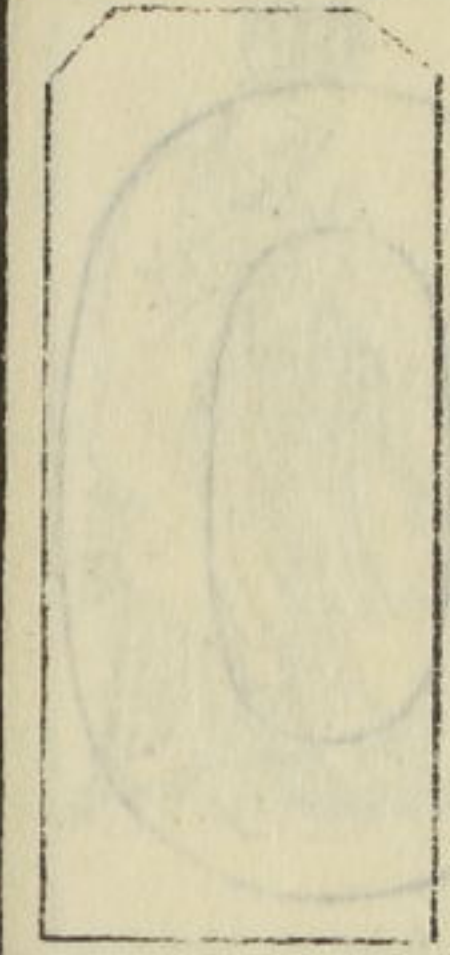
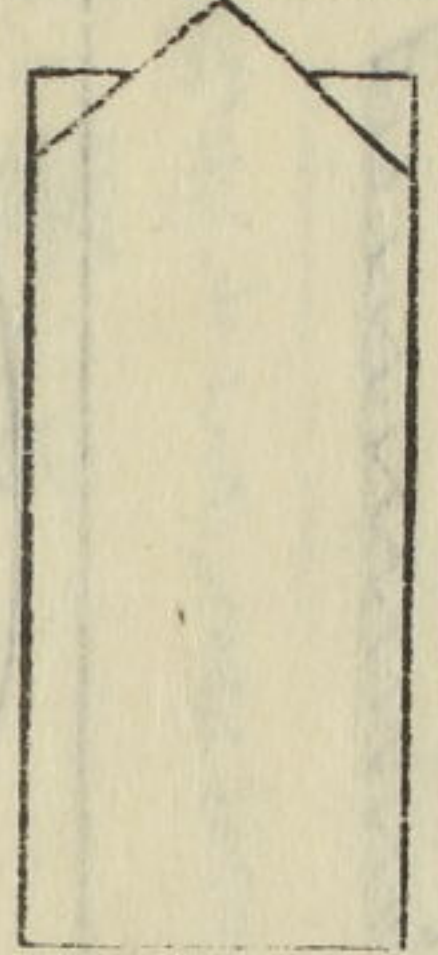
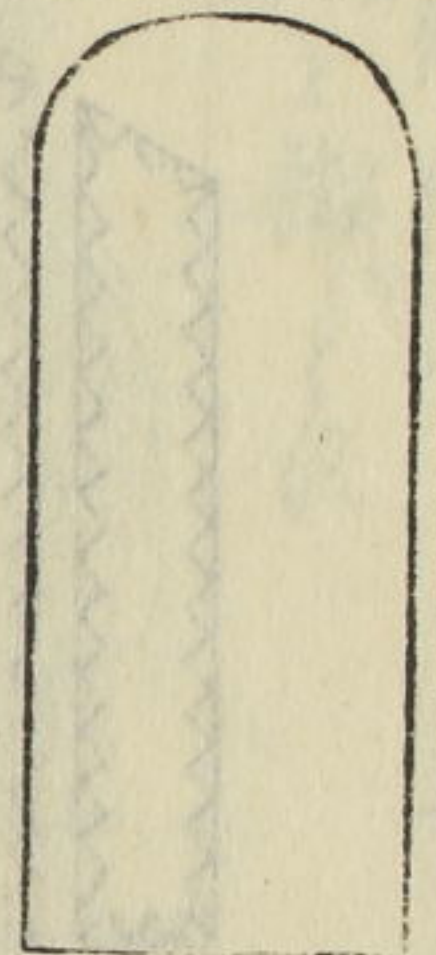
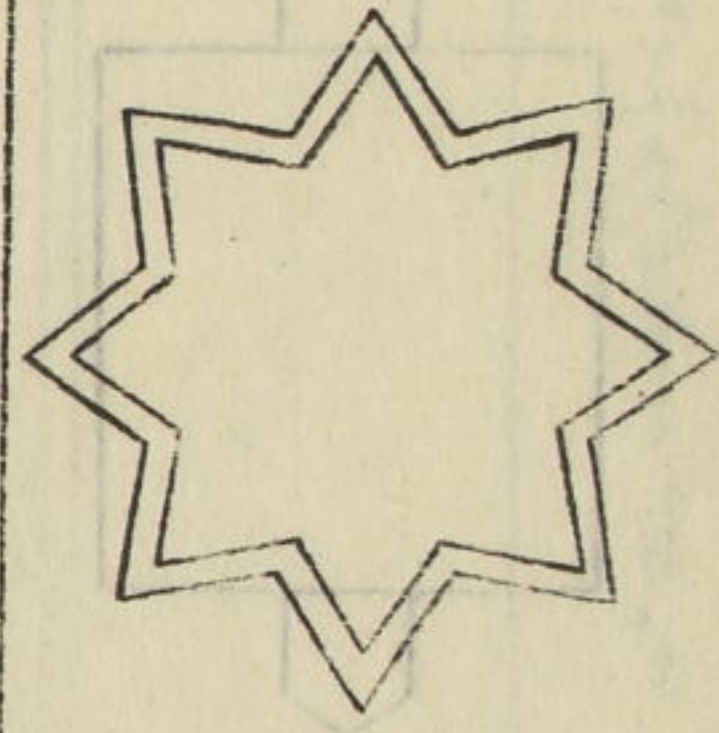
火の色にこ
と半圭と厚
とワ

白虎 西

全の色に象
長九寸廣さ
五寸伏虎を
刻む高三寸

蒲璧 諸

侯の封圭これ
と執て執貫し
以て瑞と玉に
合すなり



組琮 組

りつと琮ノ
數天子七
寸宗后ハ五
寸以て權と

大琮 一尺

二寸内鎮と
宗后これと

穀圭 長

七寸難と和
一と女と聘に
信

穀璧 朝

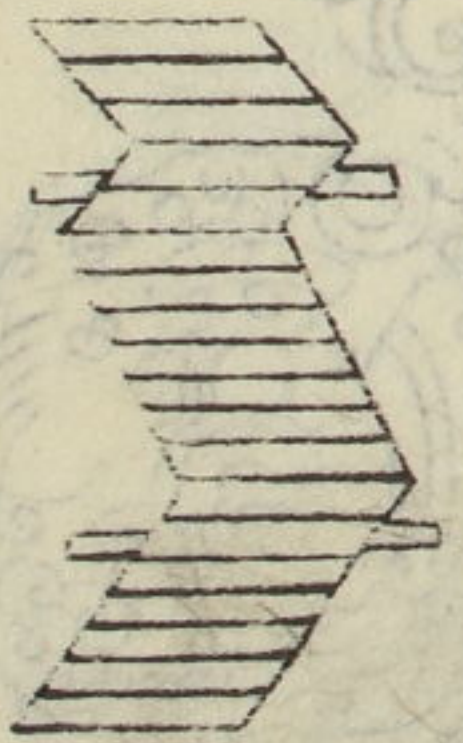
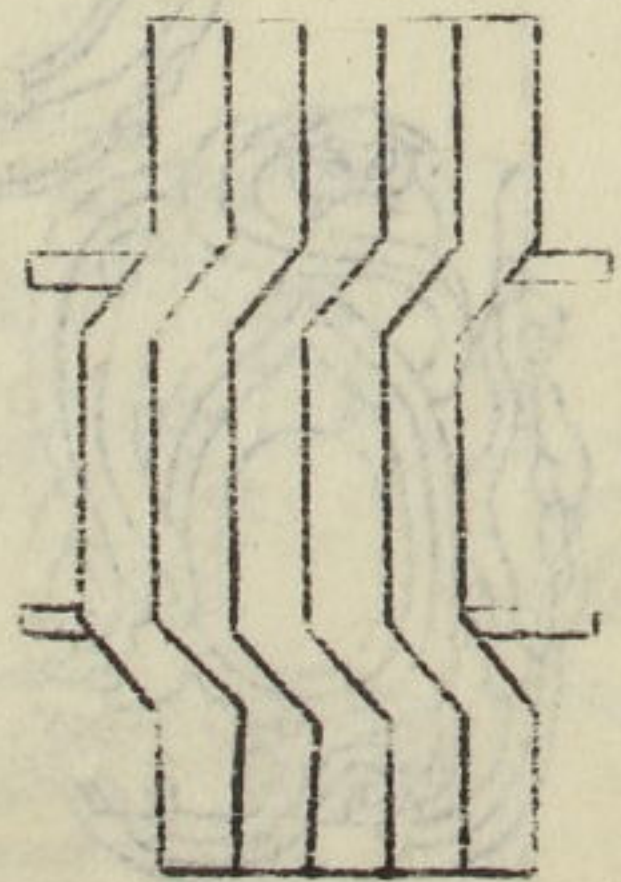
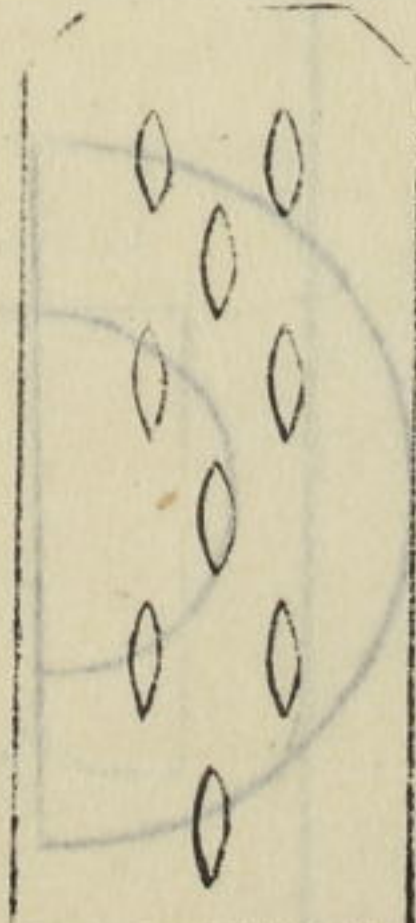
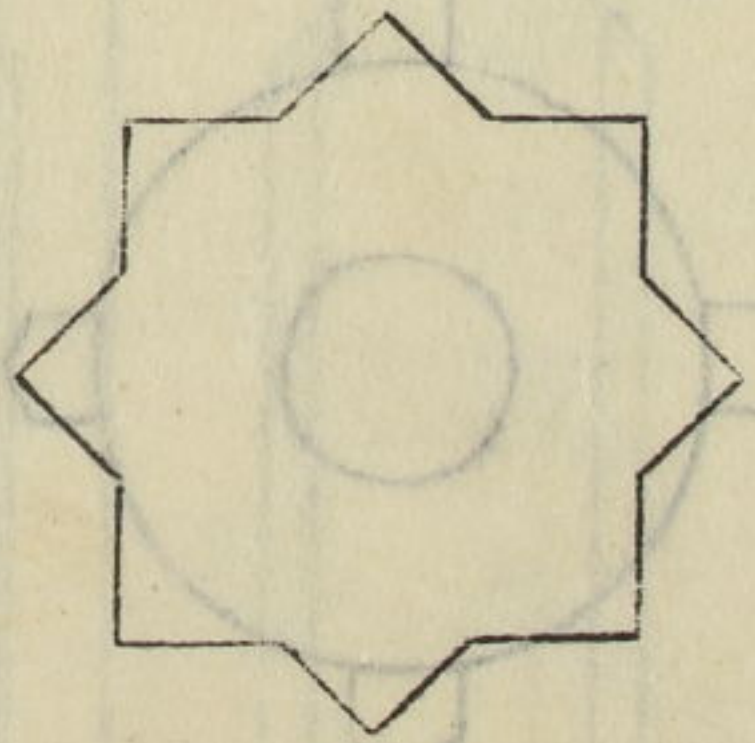
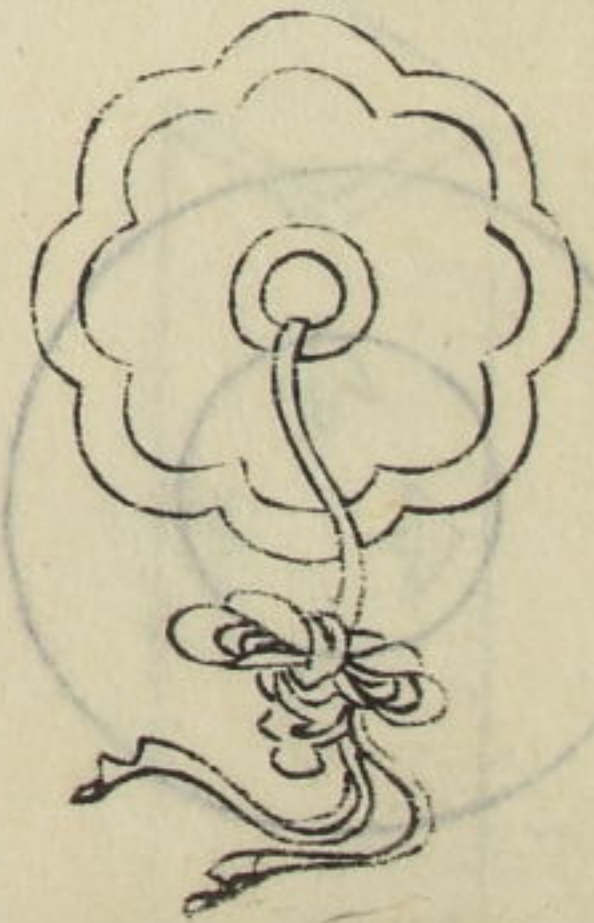
穀の時諸侯
王に會同す
に各執る取の
圭わり是ハ男
の執る

縹藉 天子

の縹藉五采
の文の縹と以
王と蕙木と
中幹と五章衣
と以て畫なり

緗藉 諸侯

の縹藉三采の
文乃縹と木
と中幹と
章衣と以て文
と畫なり



蒲穀線藉子歌

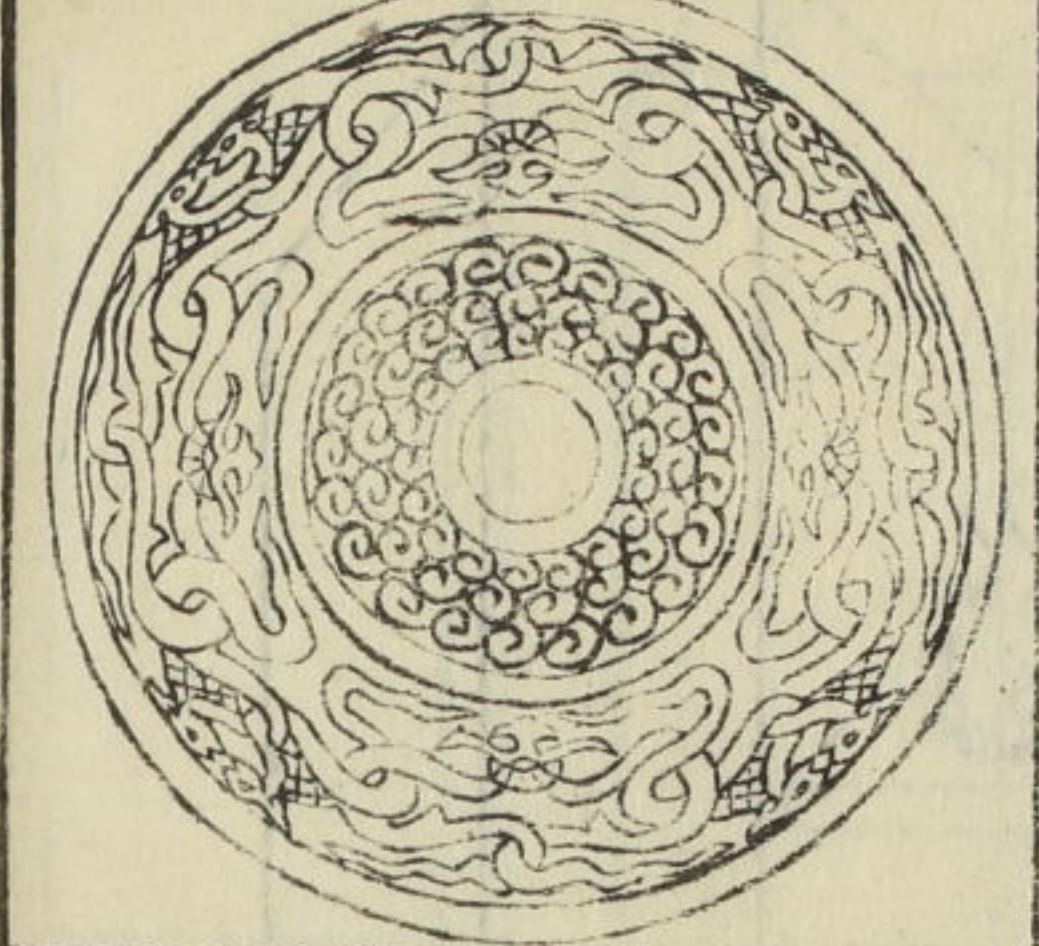
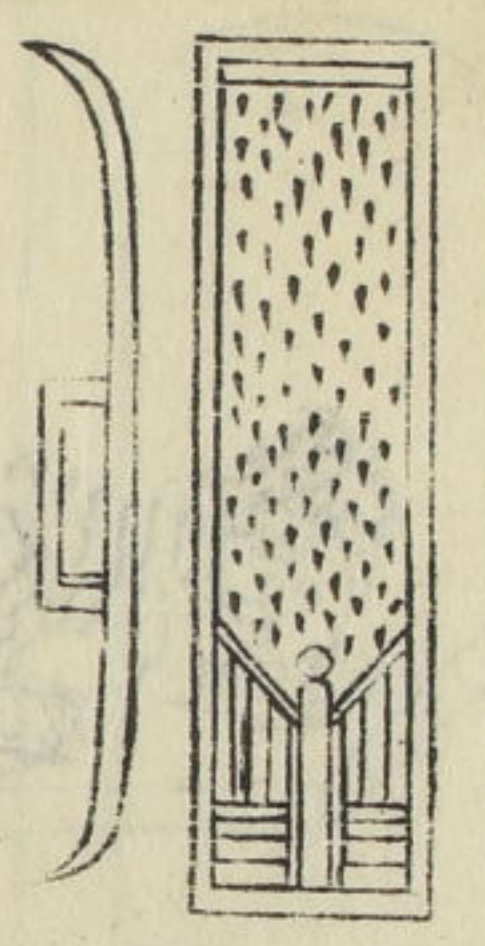
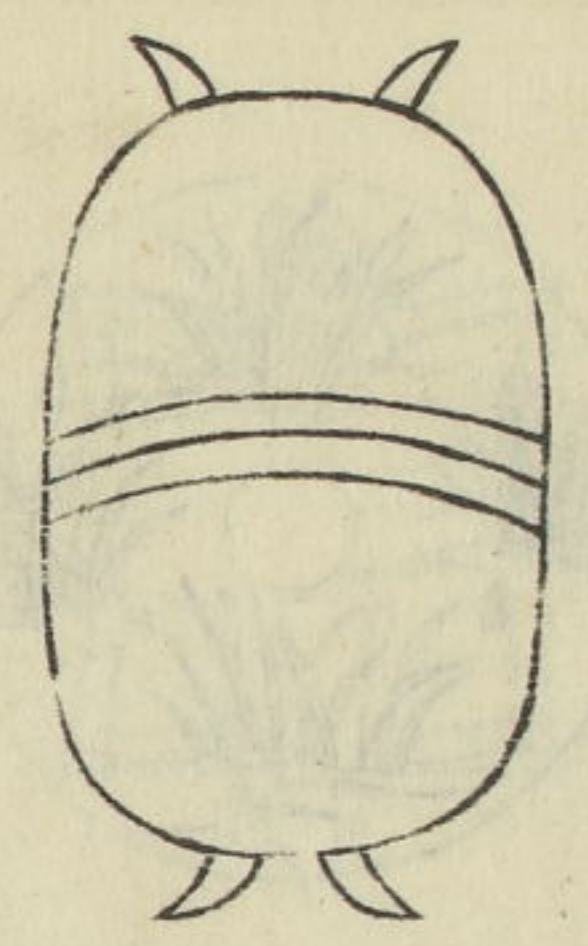
の位ハ二采
制上
目

璫玉璫 玉の

赤色と璫と
璫ハ玳乃
鼻乃

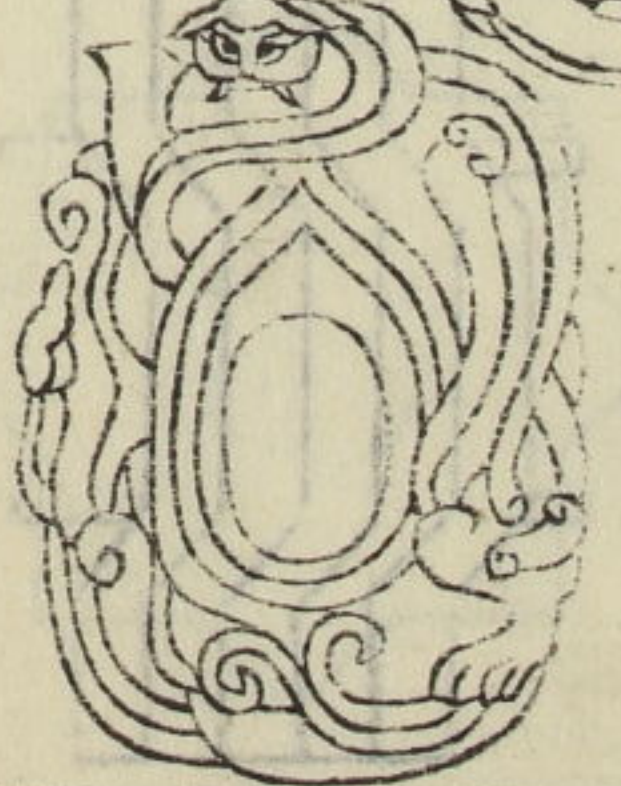
拱壁玉 徑一

八蒼文一館
璫中に雲氣
とつらつら



璫 璫玉璫

水蒼珮 此
大夫の佩
の玉は山
多蒼さる
文なり



連環印鈕 此印

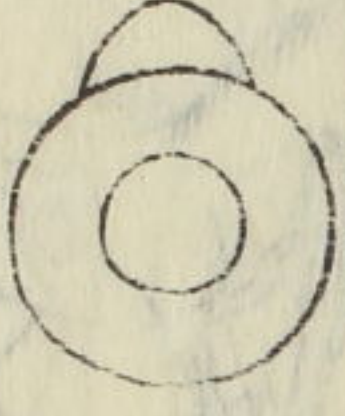
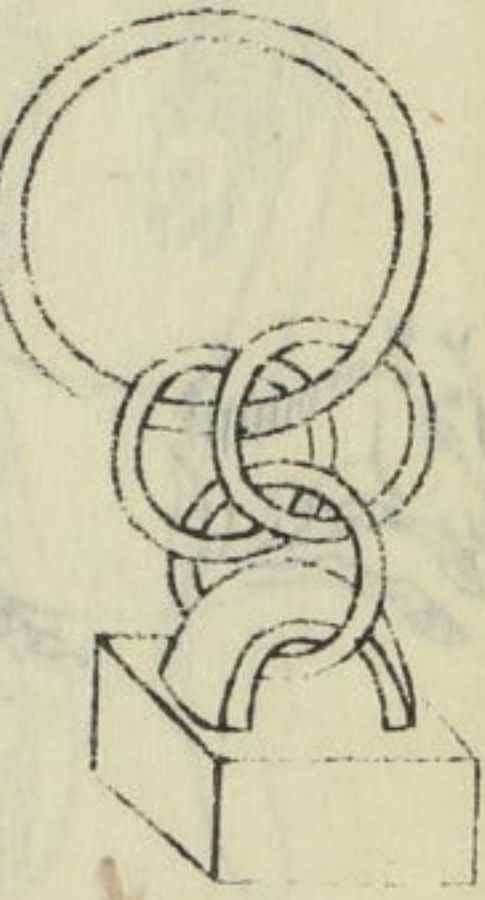
紐ハ壽亭侯乃
巾及び関南の
司馬皆此の紐

鹿盧 佩

玳乃深乃

玉環玳乃

此器ハ元
康の墓中よ
り出づ一
乃玳乃



璫 傳

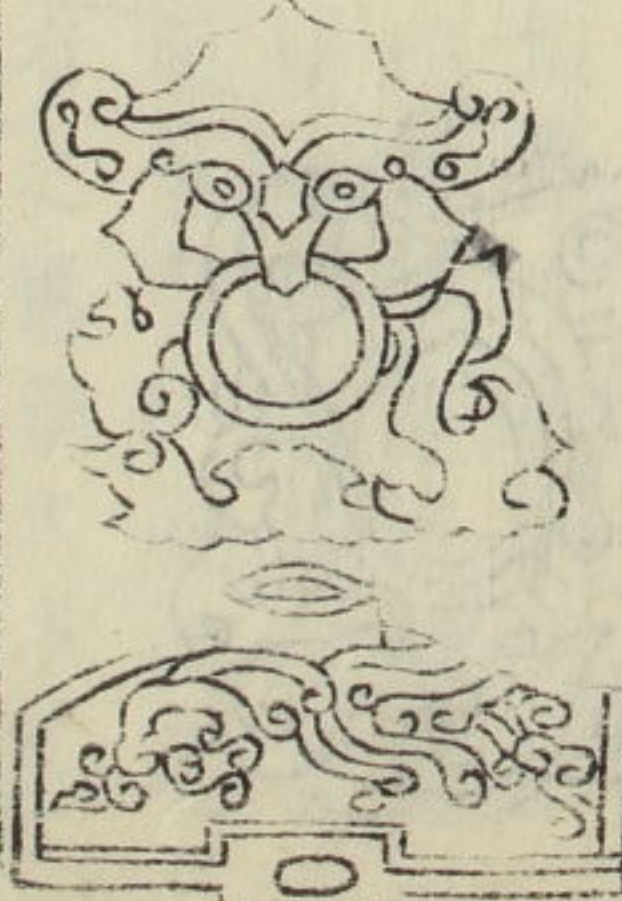
二寸六分長八寸
三分天地四方に
くつら天子ハ神
と能ハ海侯ハ
天子と享に

璫 玳乃

玉三代前の物
お侍ハ高卒墓
中の物ハと璫
玳乃小圖の如

璫玉璫

圓徑二寸五分
厚五分五分赤
内白く璫ハ
五對ハの飛と
つらつら



著玉玲 上

瑤玉亮耳 古

黃玉耶 左

瑞玉馬黃玉人

馬首高四寸八

分身長四寸一

分長五寸四合玉

色微三月紅粉

夜 今人馬

玄玉 唐の

馬式 今人馬

と稱 今人馬



琥 環の
属之虎の文
とわくさく環
よりもい意こ



佩刀柄 礼

記に左刀礪
と佩さしわり
とをかさりの
フスなり



漢 雙螭鉤

長六寸二分 闊二

九分 玉色 倉白黒

古 銅 刻 子

母の螭廻顧状

これハハに佩

銀 今人馬

銅 虎符制

虎符 今人馬

長二寸二分 闊

八分 淵八分 刻

二寸二分 相合

漢の 今人馬

海馬 後魏鑑

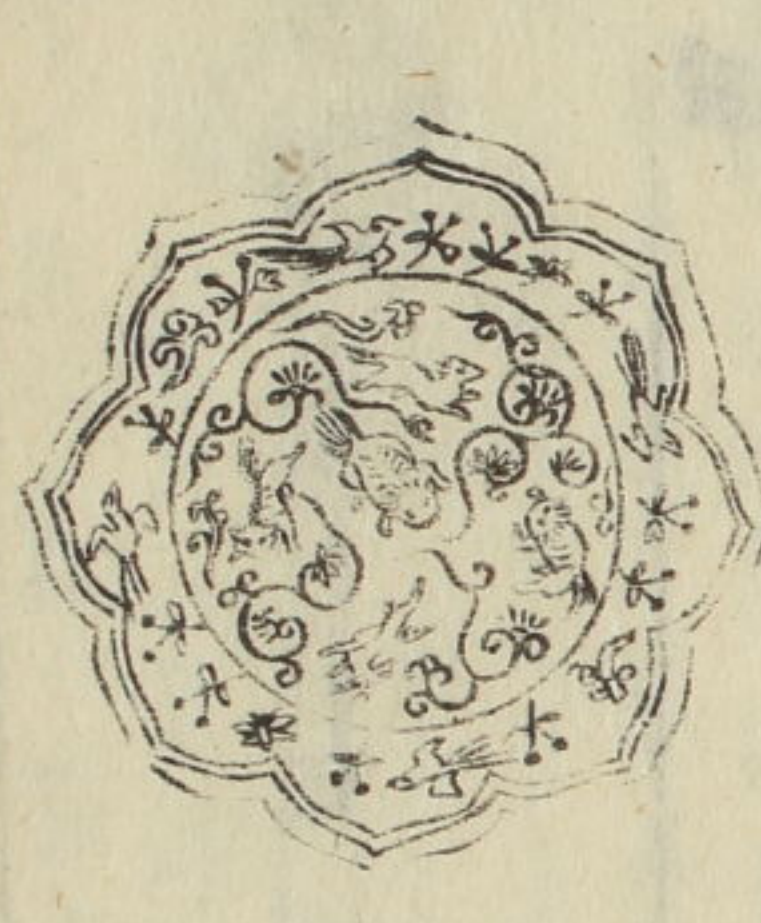
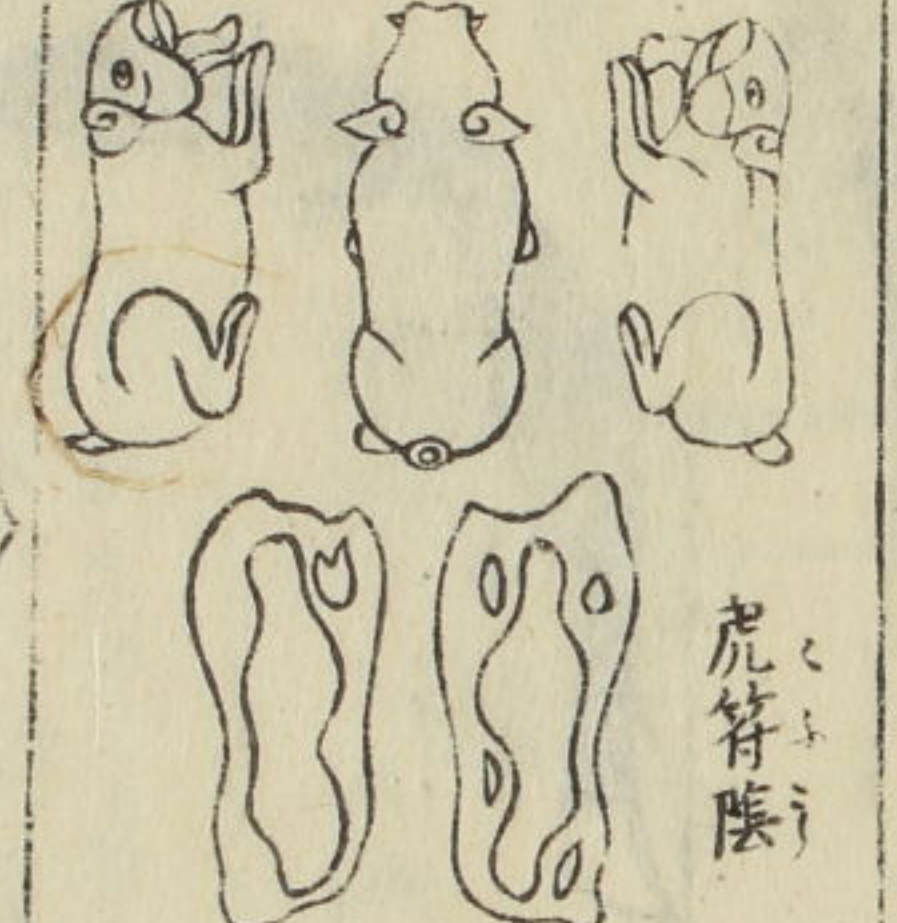
漢 今人馬

漢 今人馬

漢 今人馬

漢 今人馬

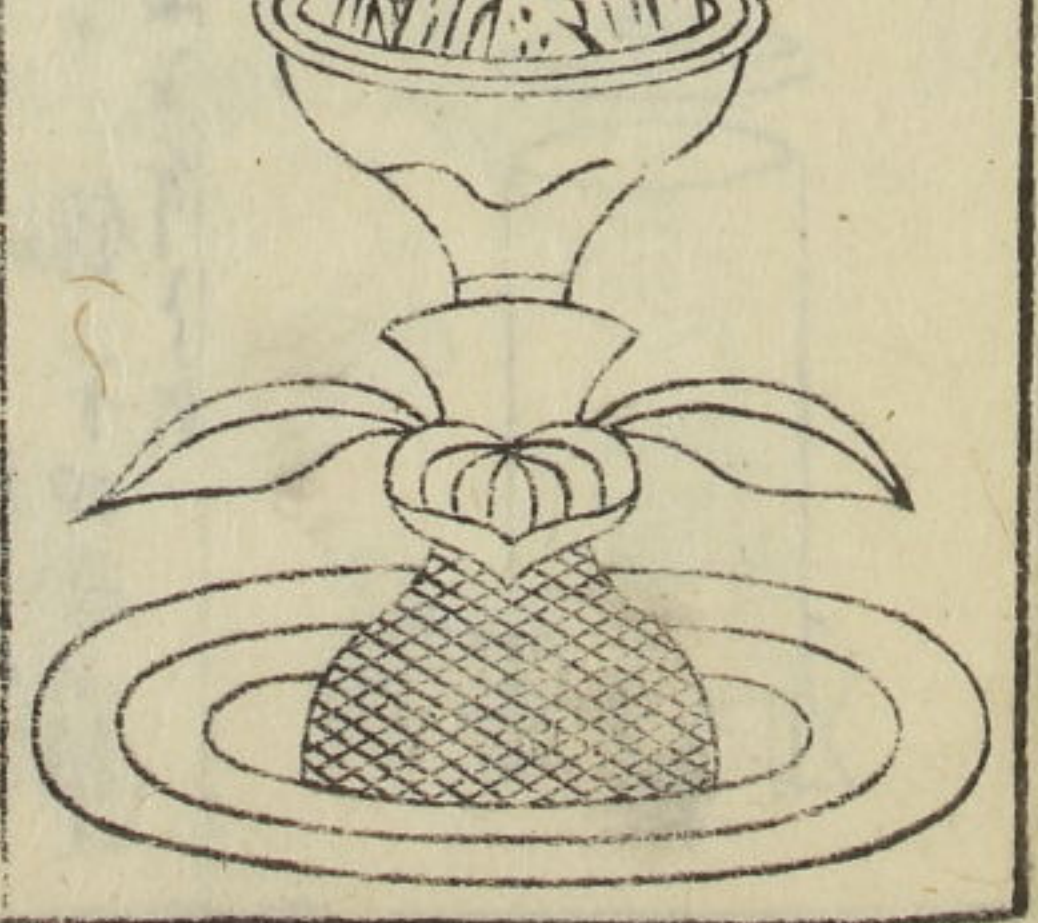
漢 今人馬



博山香爐

銘八字

天與子孫富貴昌
天與子孫富貴昌



漢朝故事 諸王出閣 則賜博山香
爐 晉東宮舊事 曰太子服用 則有
博山香爐 一云 爐象海中博山下
有槃貯湯 使潤氣 蒸香 以象海之
回還 此器世多有之 形制大小不

漢刀筆 形刀

此の如く柄の間に
纏と金結て佩
器 古人簡牒と
用さるる書と削
しかり

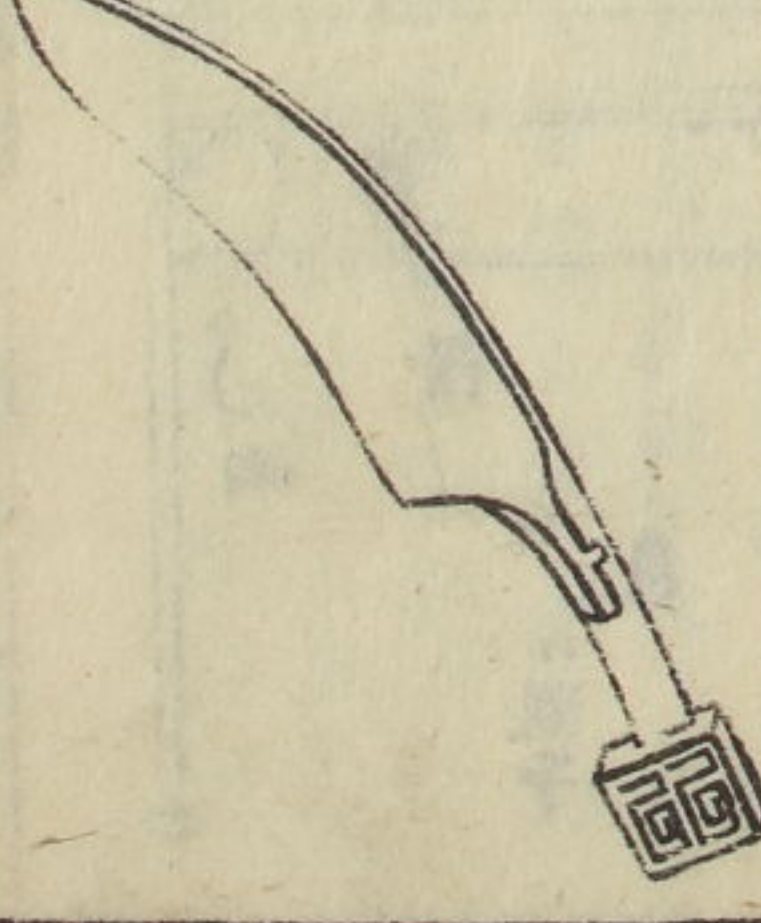
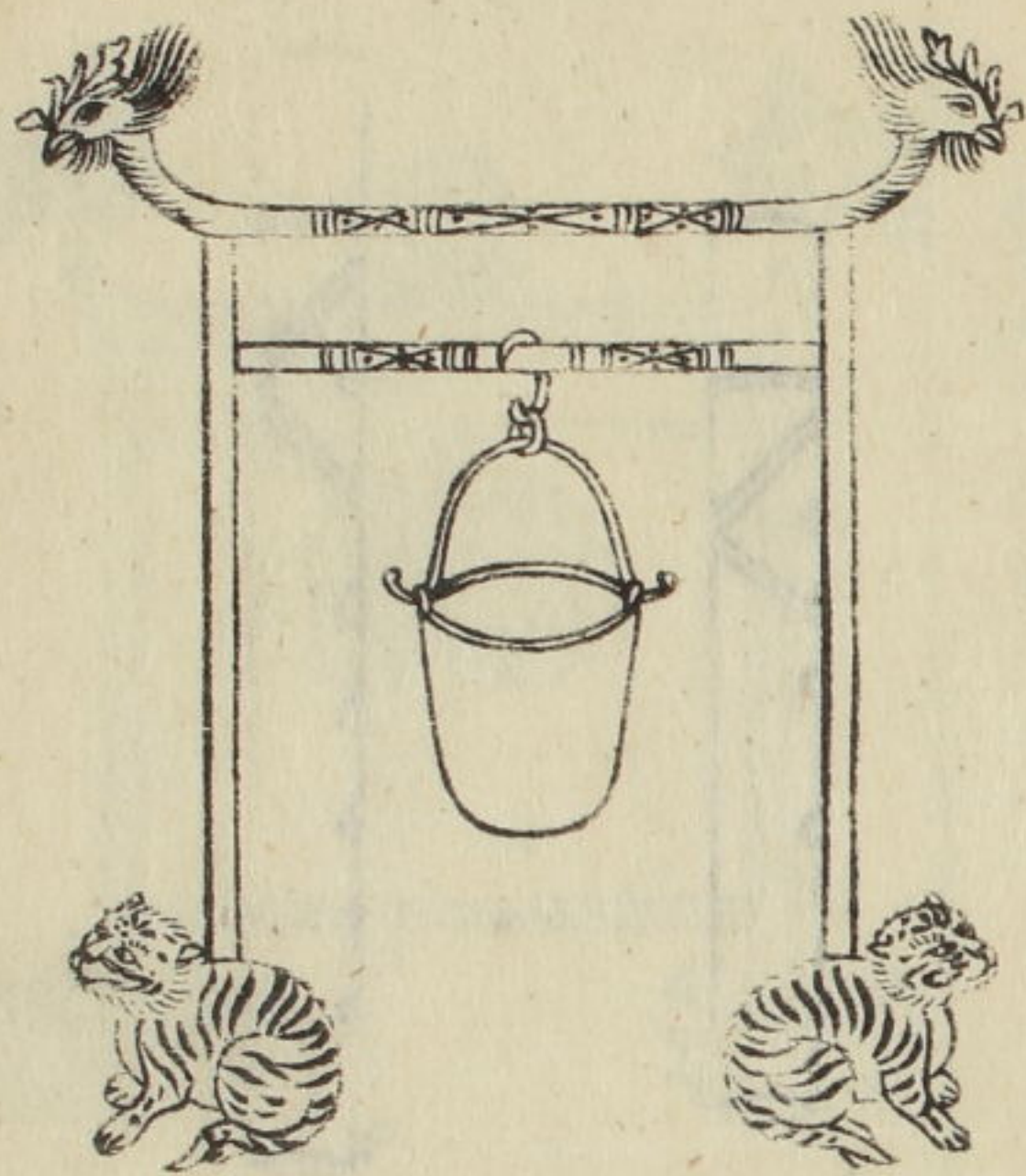
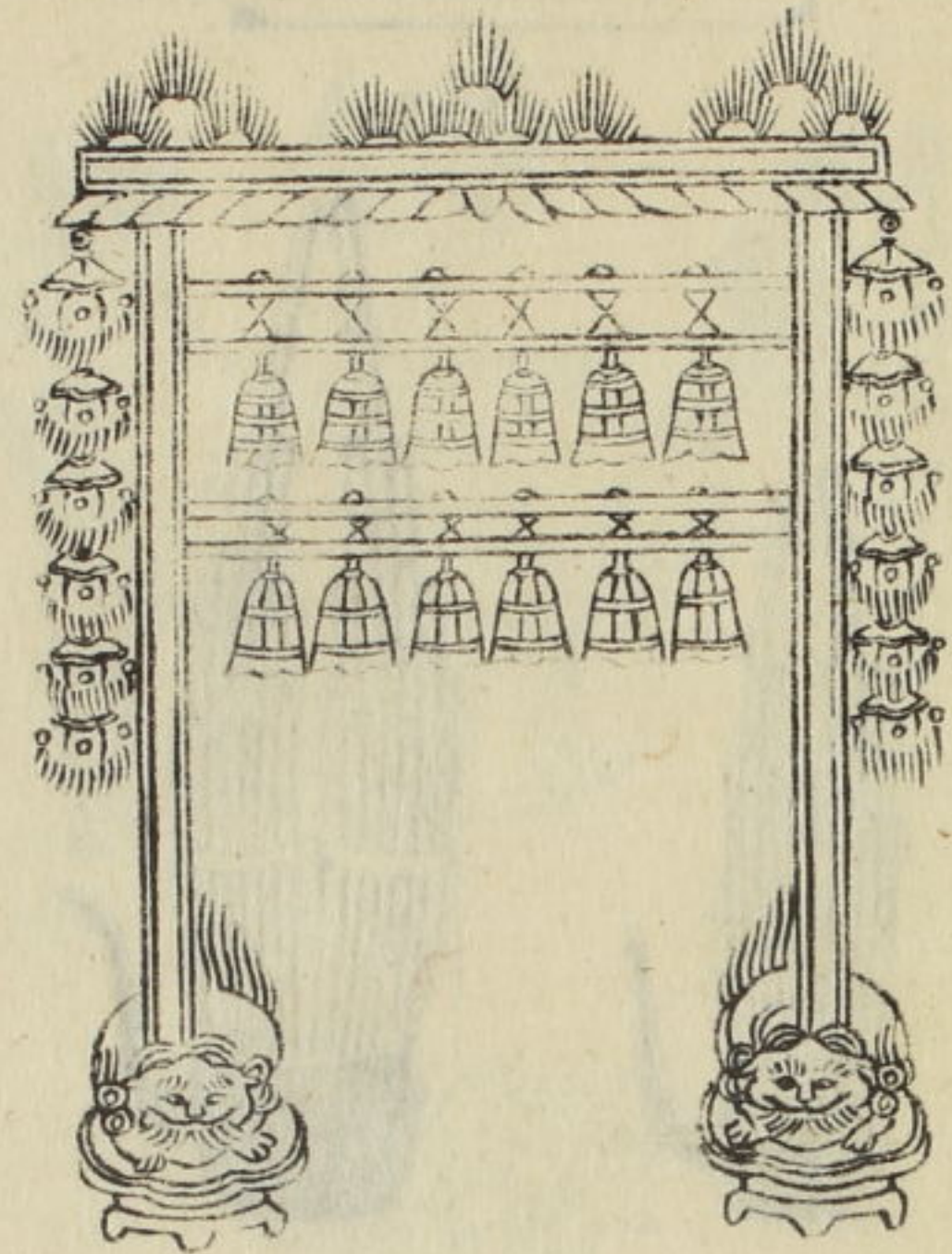


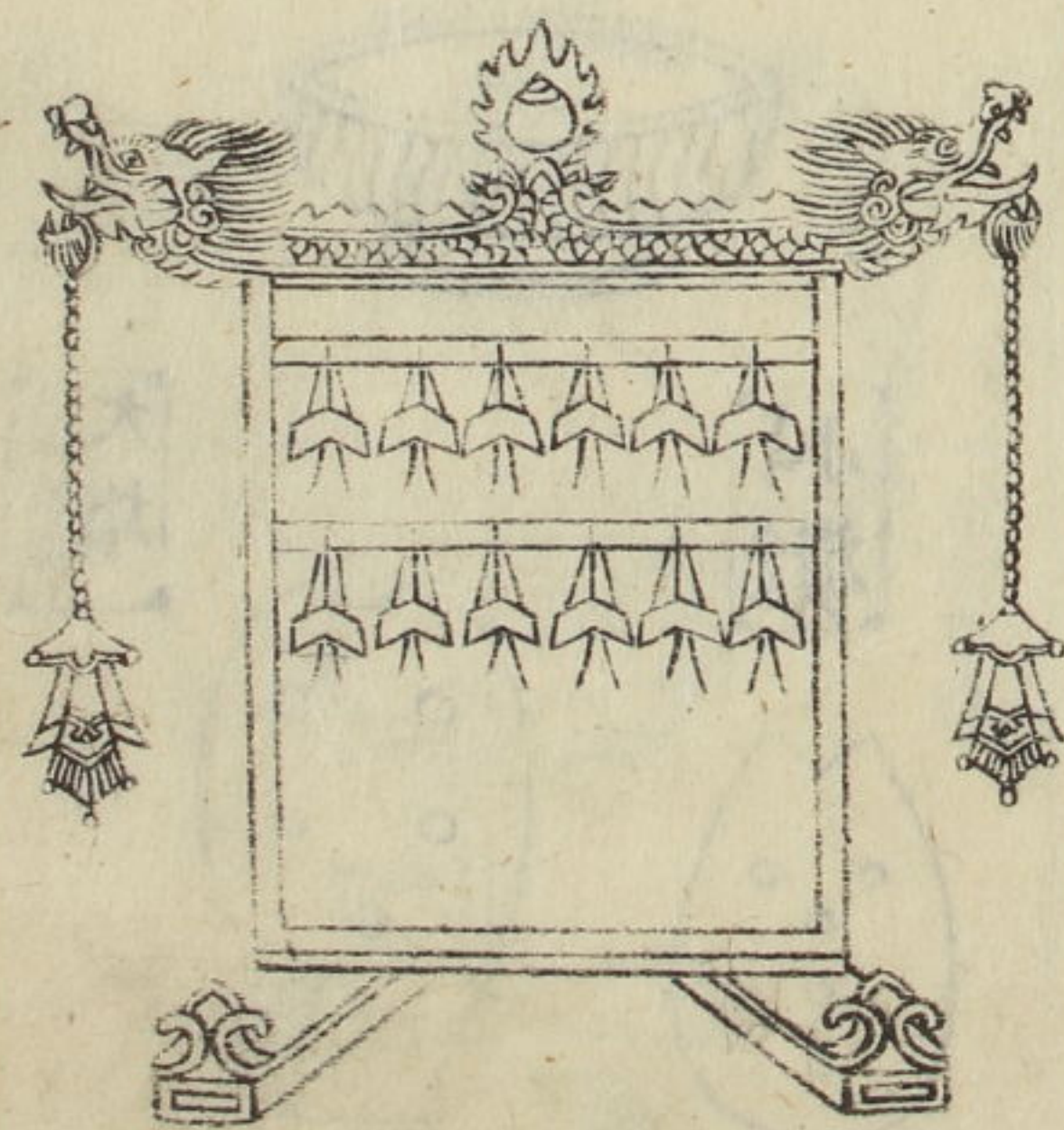
圖 千の鐘の鐘の金



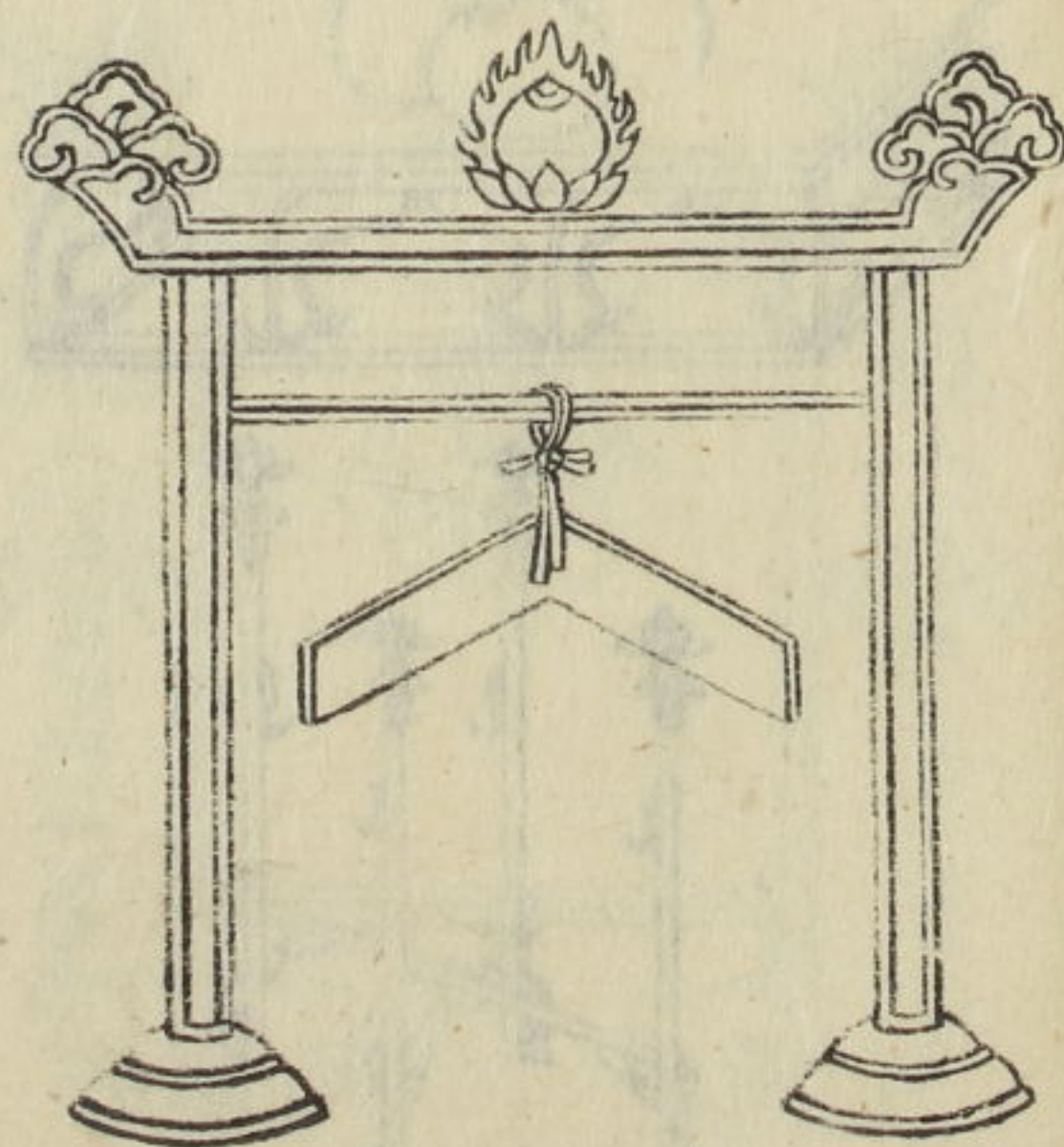
鐘の歌の鐘の編



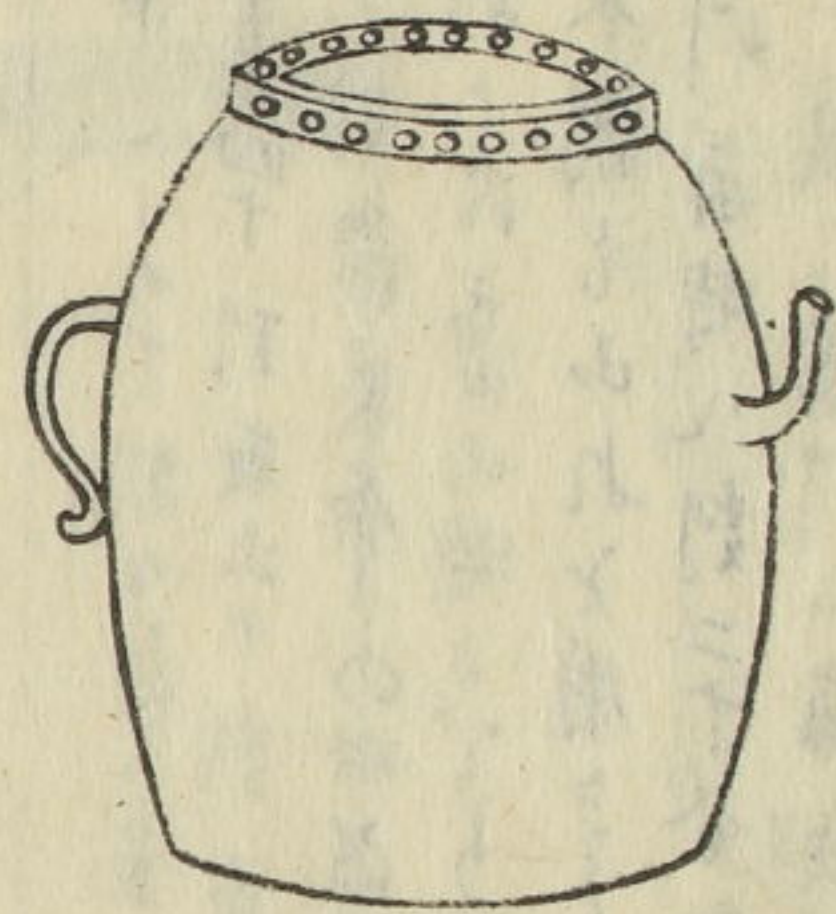
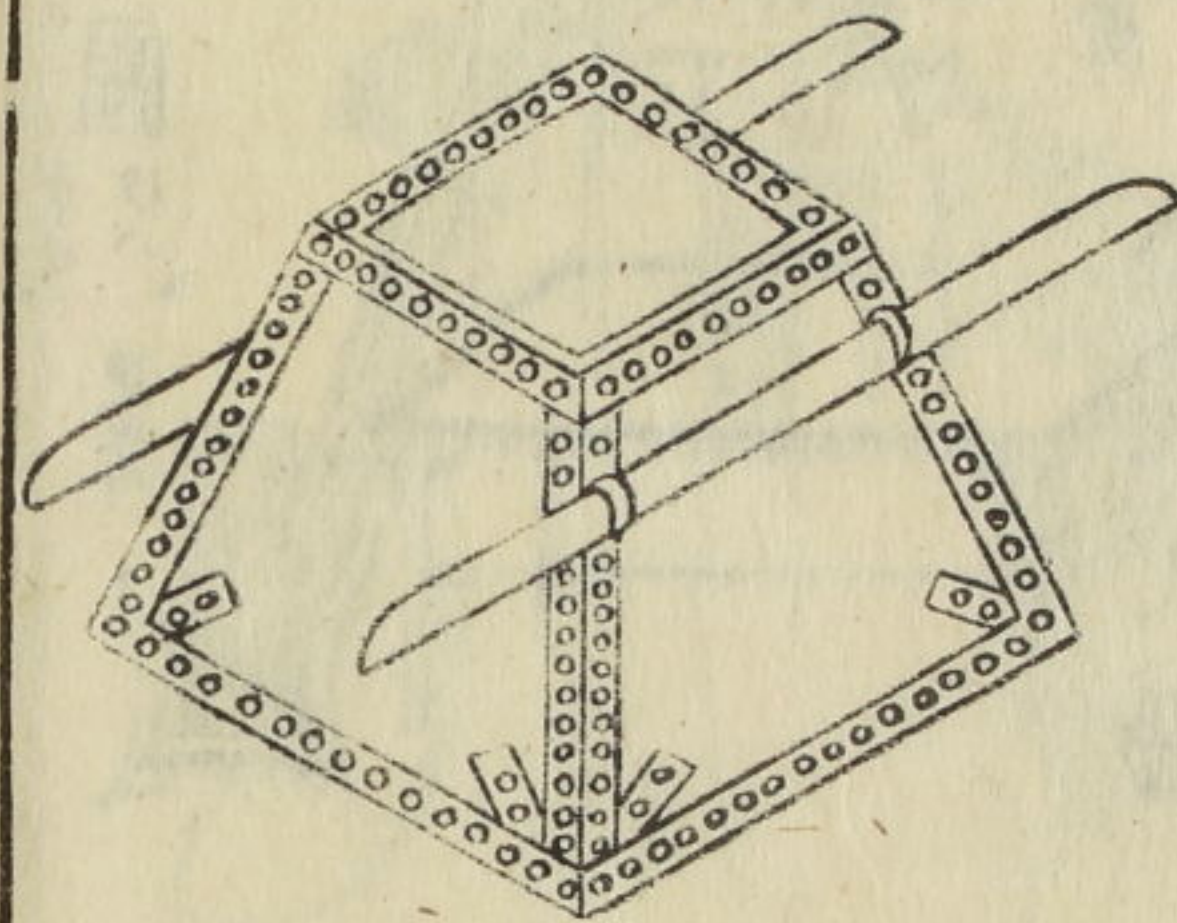
磬の編



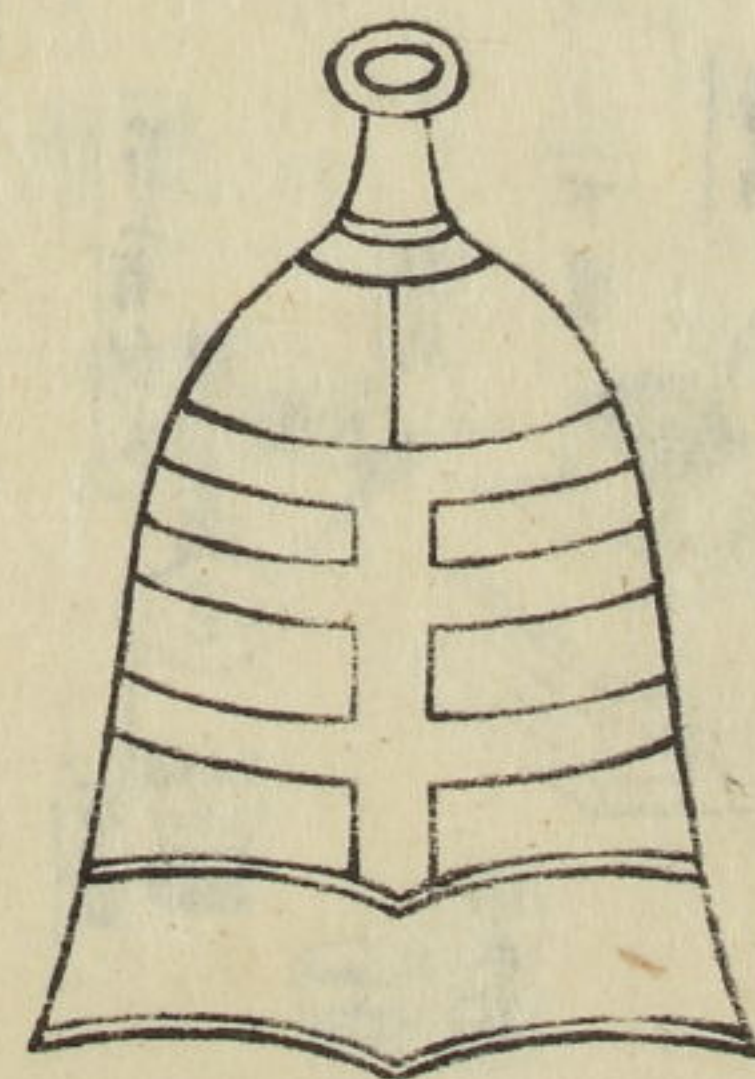
球の天



右斛
升八十合量
升量し斛
八十斗量し
角ありと多
がのりね板
に平たす
とひてし
まのの
らに右今
あまとも
くらひ同
今斛
升斗
粟し屋の
戻しては

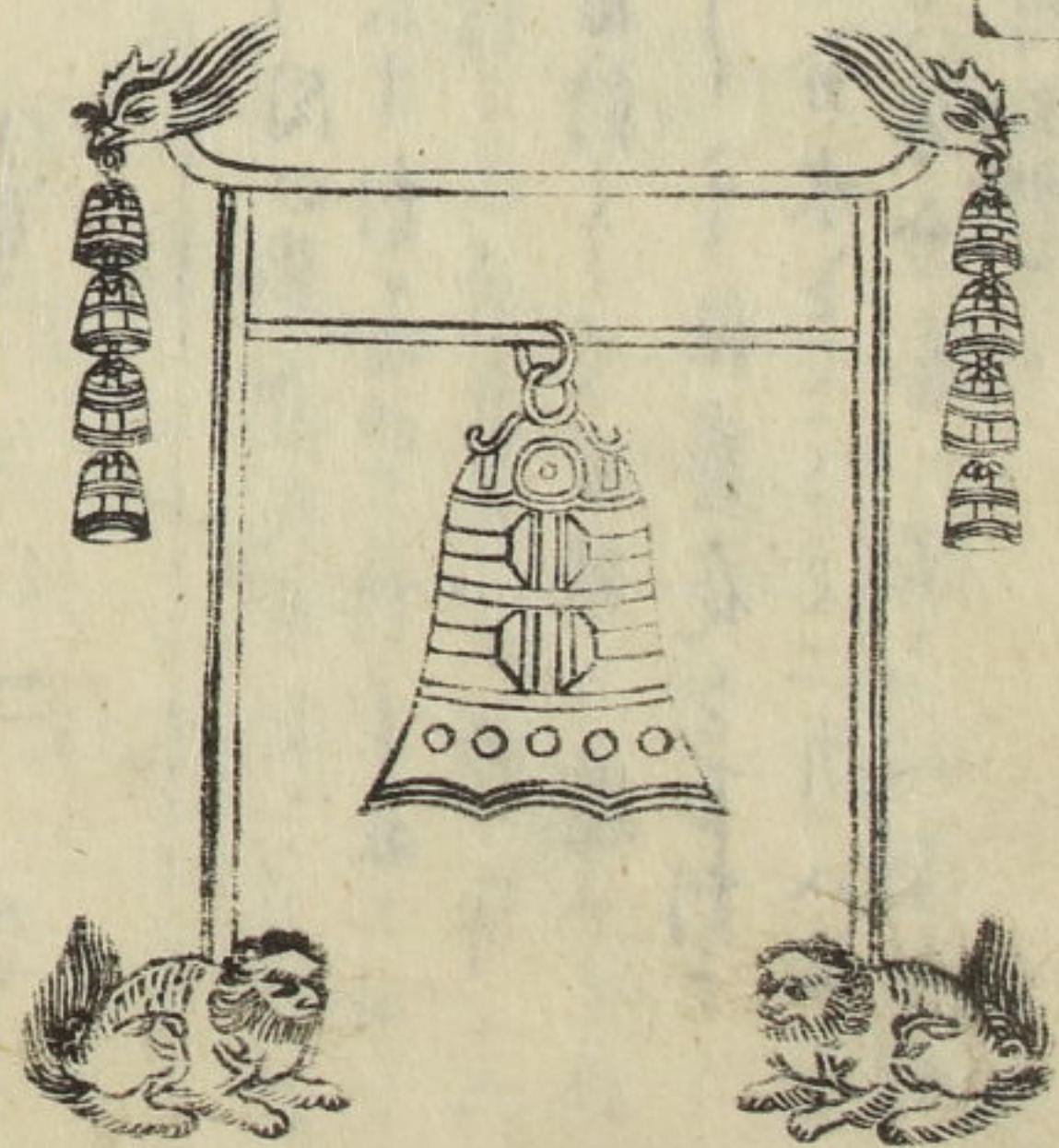


属金の八音鐘の鑄



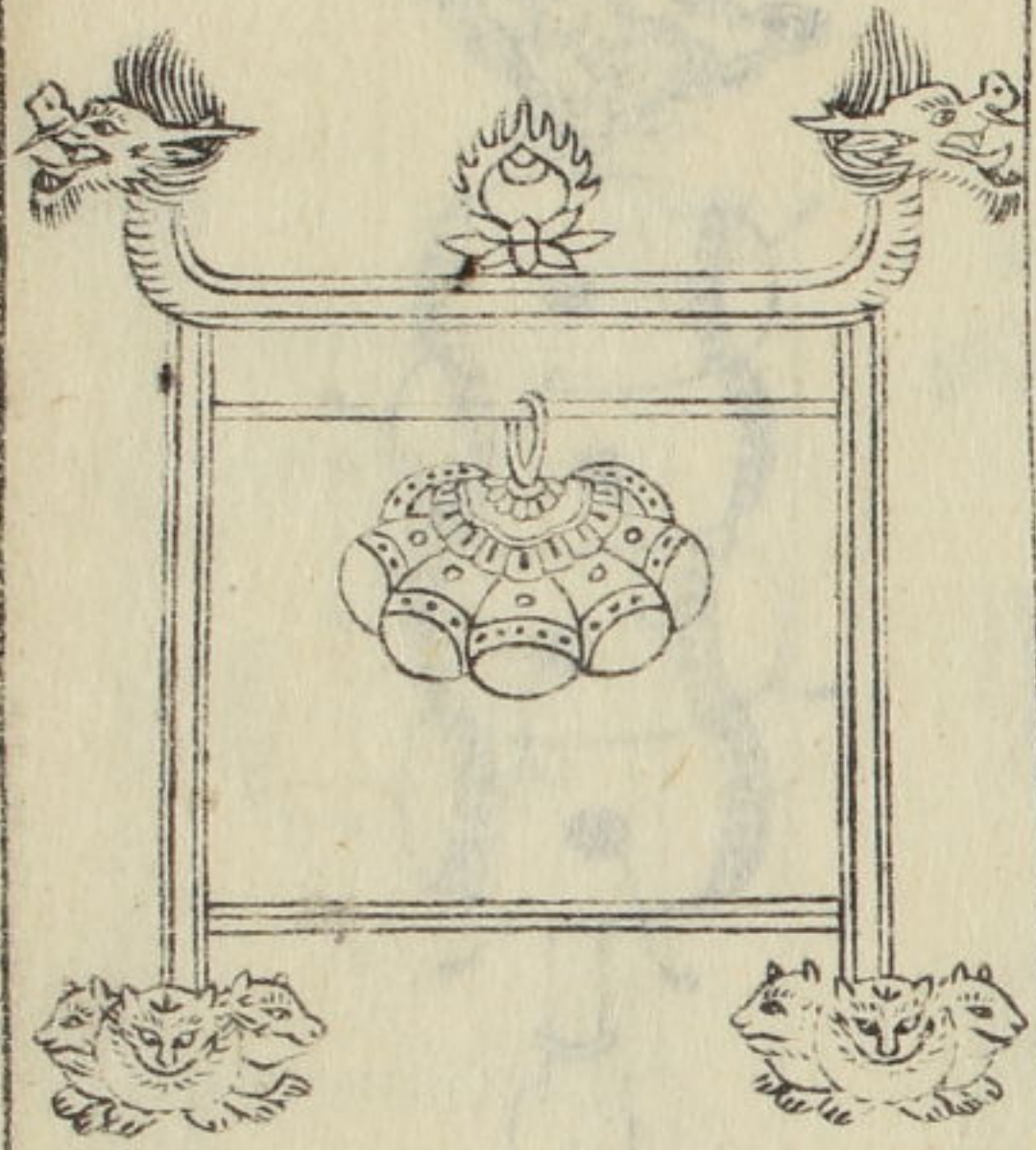
大の鐘の鑄

樂器

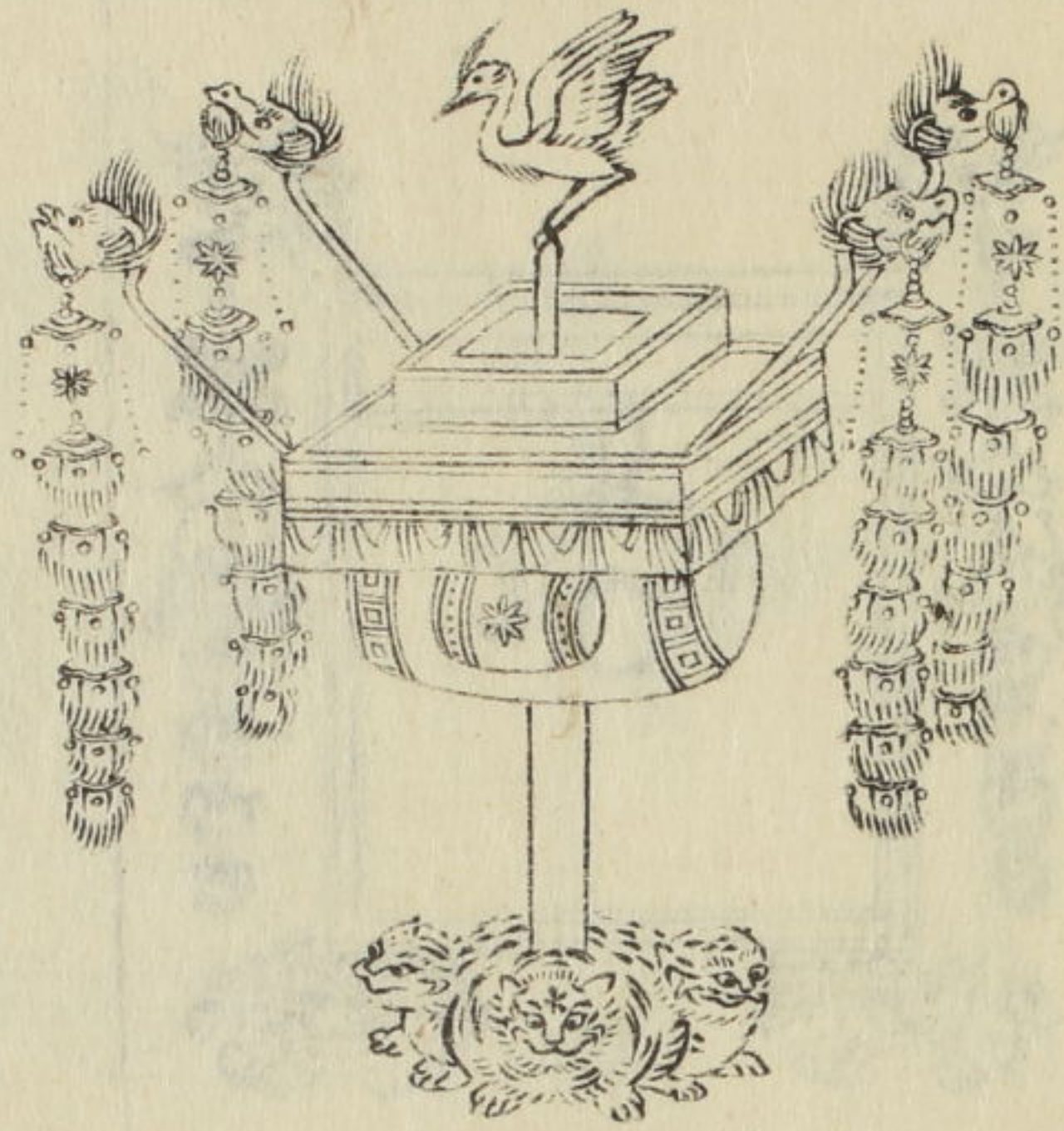


唐土記家區言卷七

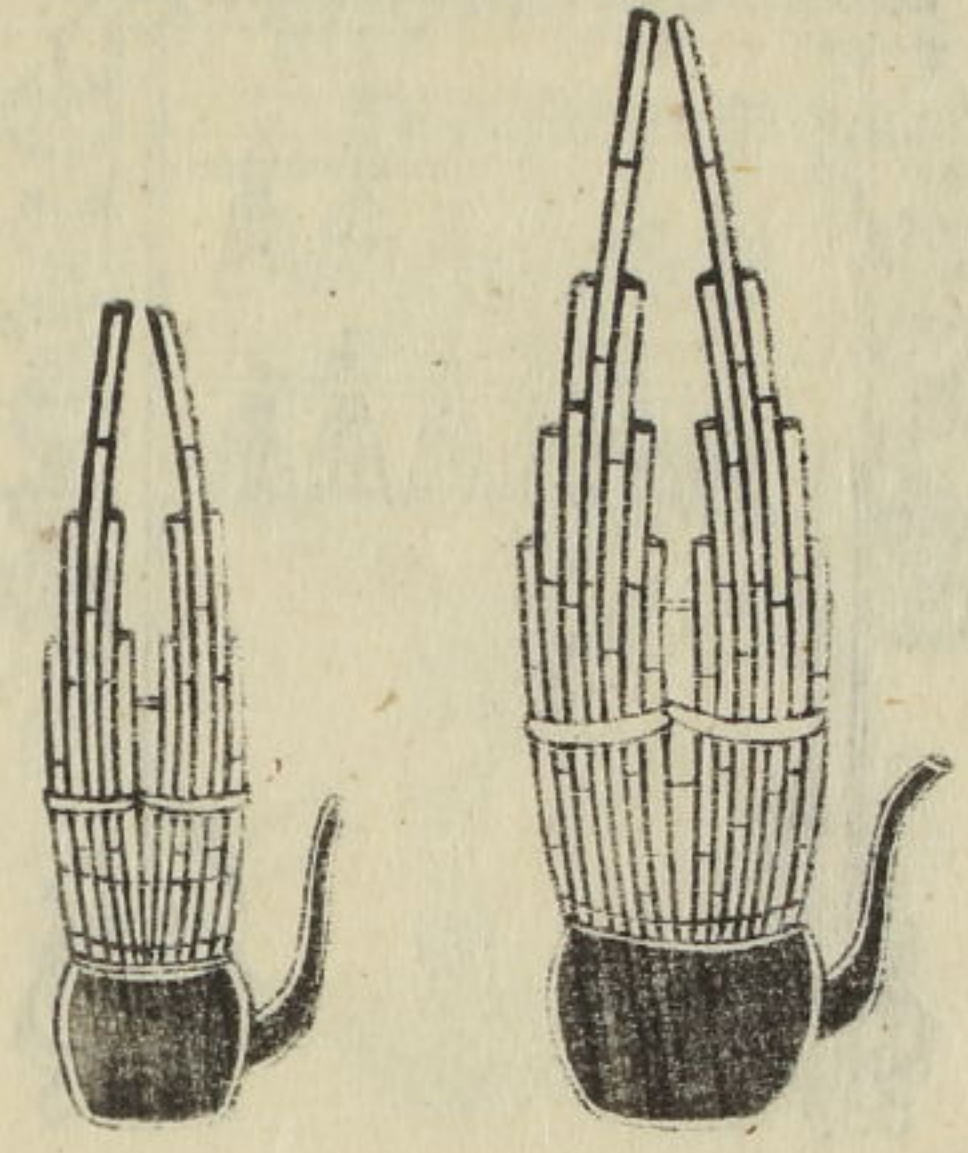
鼓 = 雷



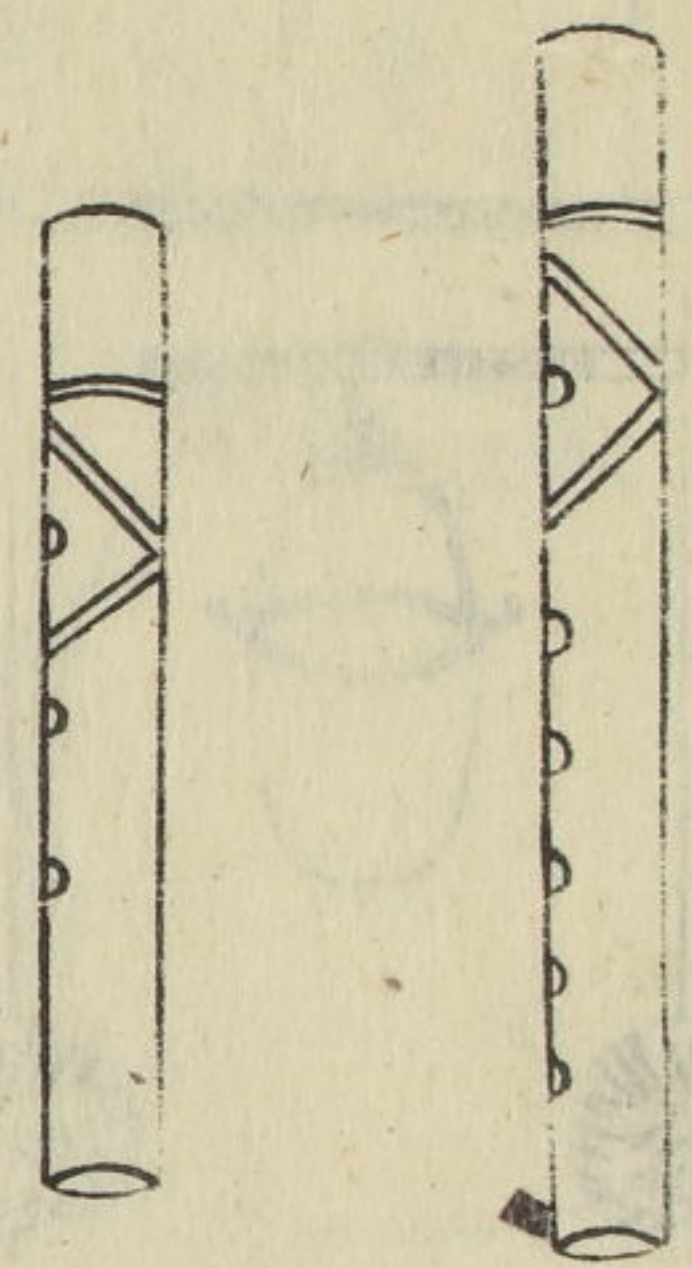
鼓 = 建



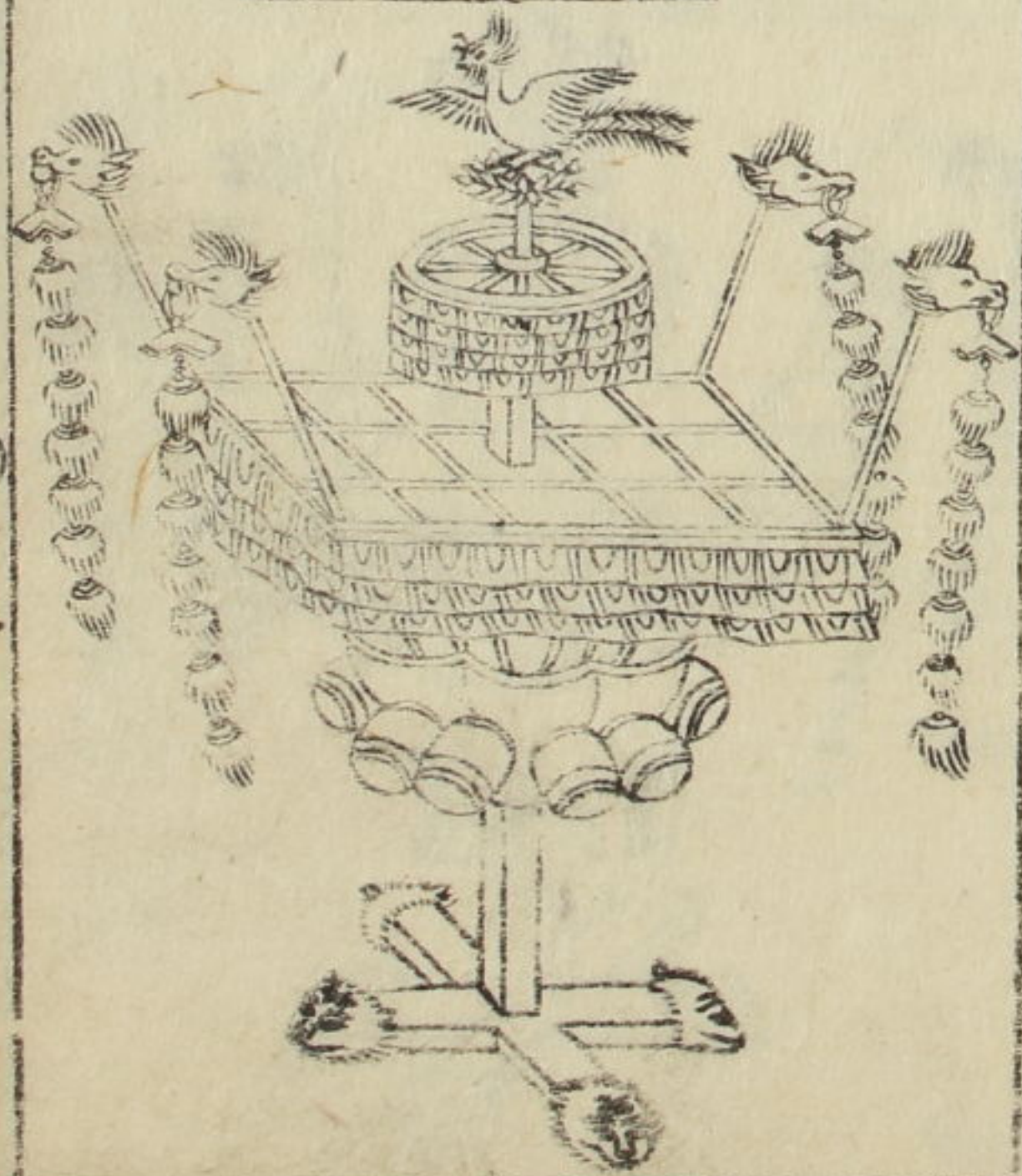
竿 小 大



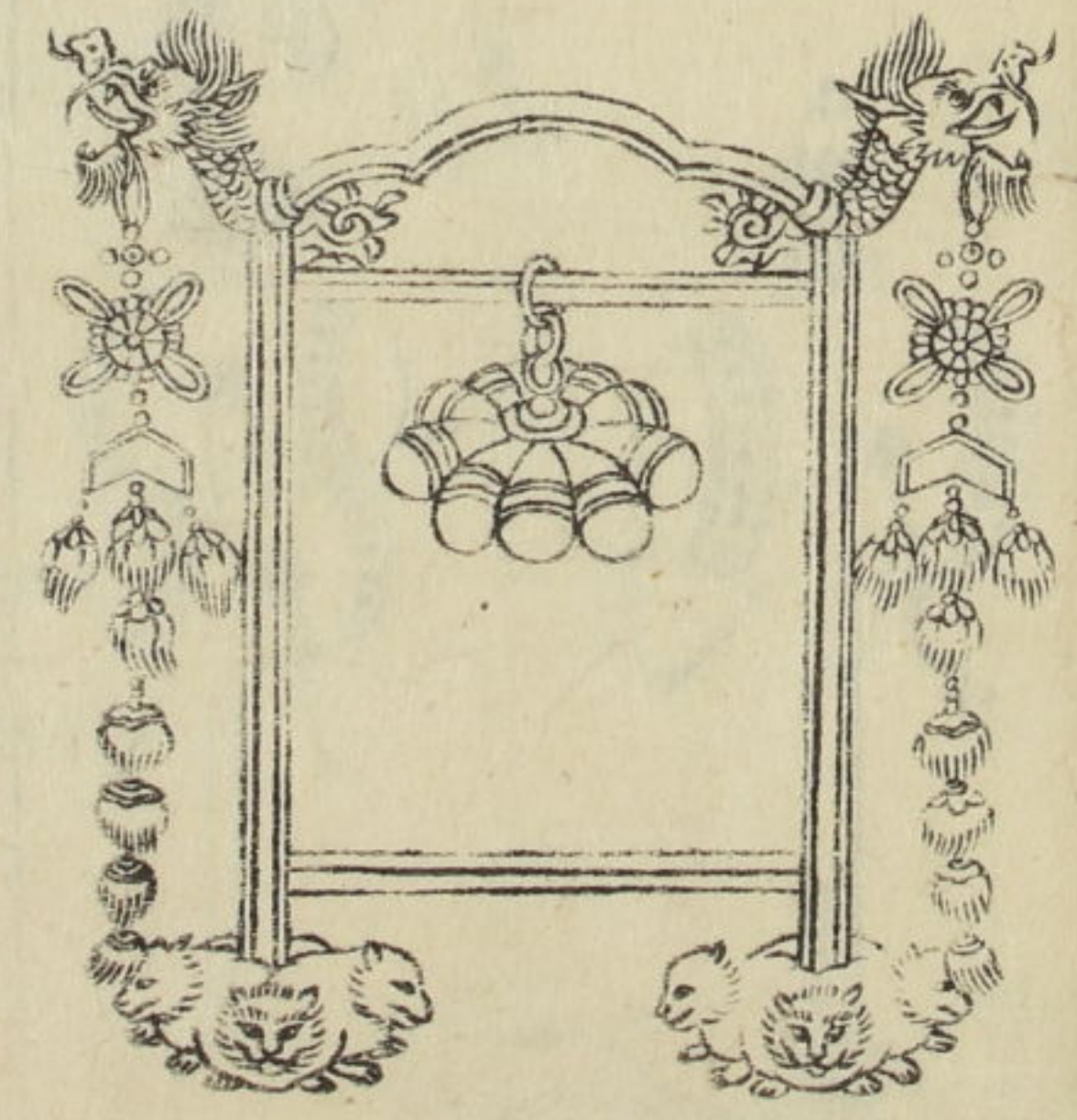
篳 小 大



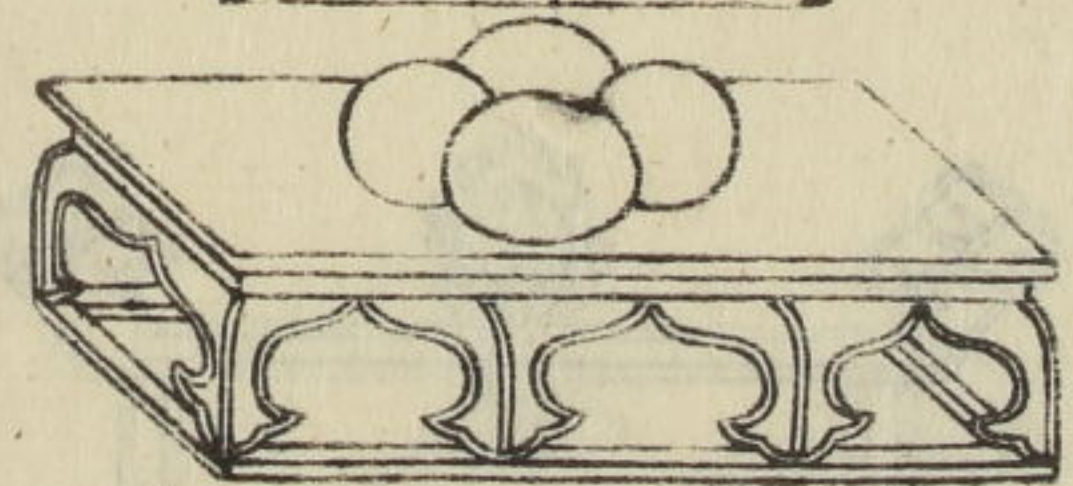
鼓 = 靈



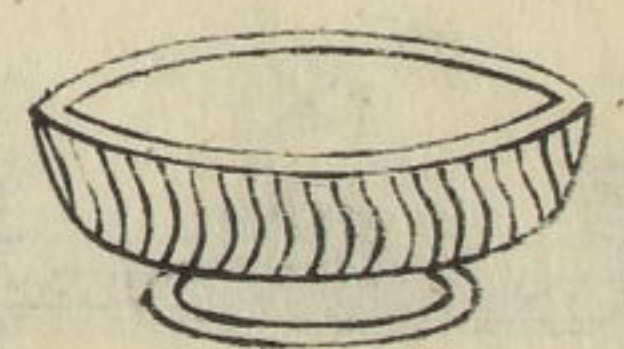
鼓 = 靈



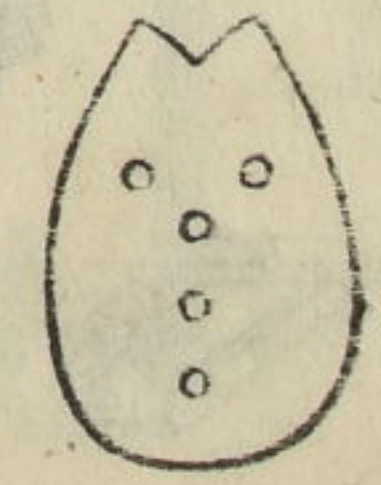
琴 拍



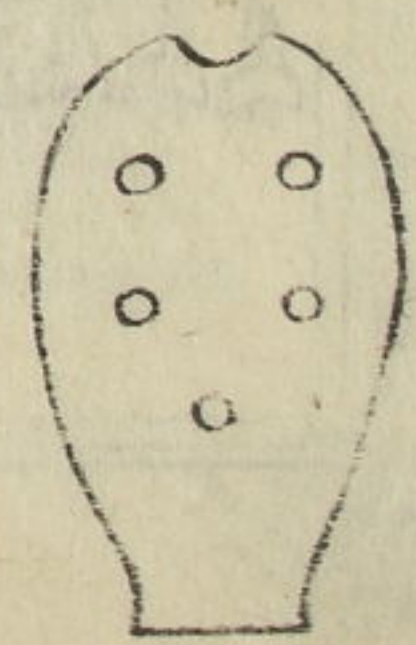
缶 古



小 埴

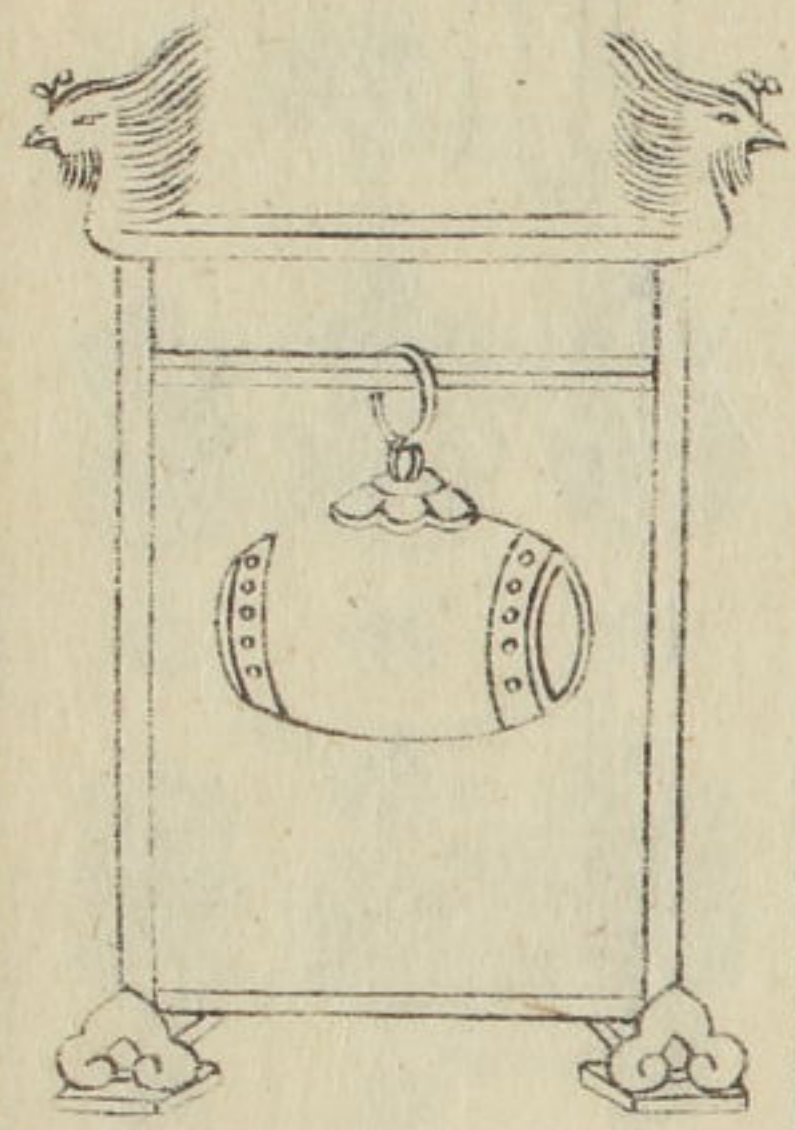


大 埴

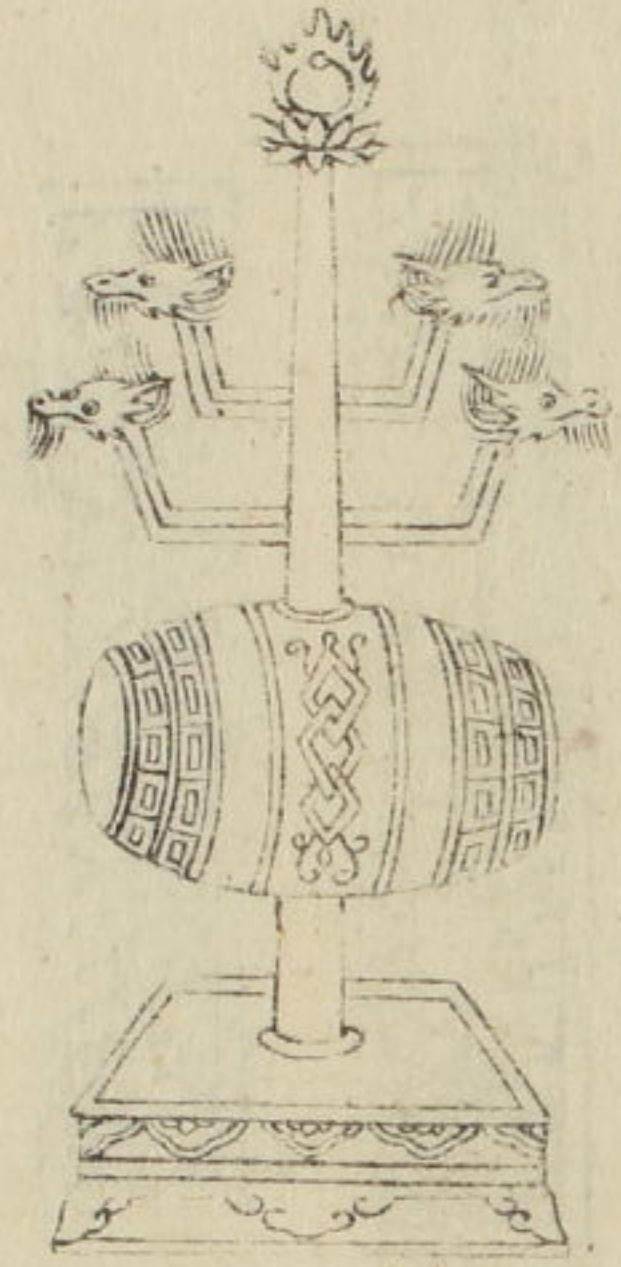


唐土訓家圖景卷七

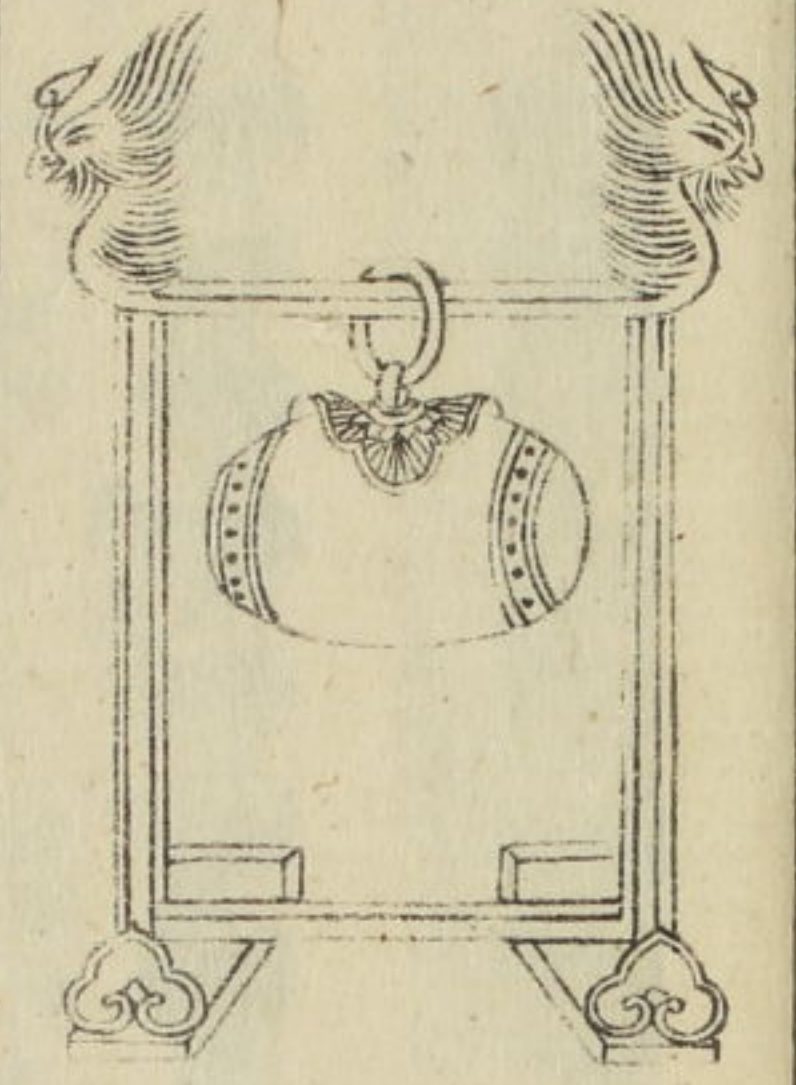
圖鼓之惠



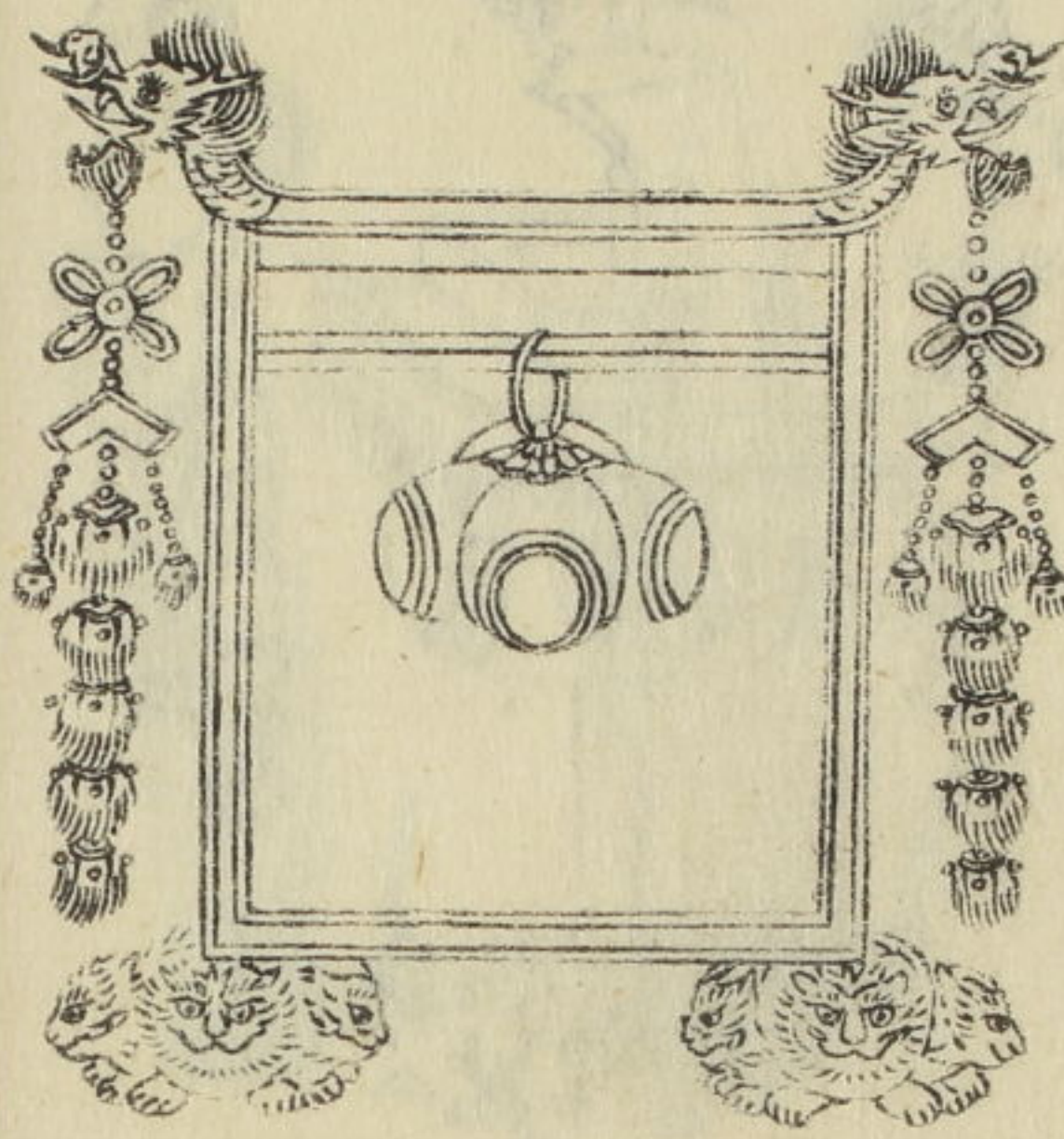
圖鼓之晋



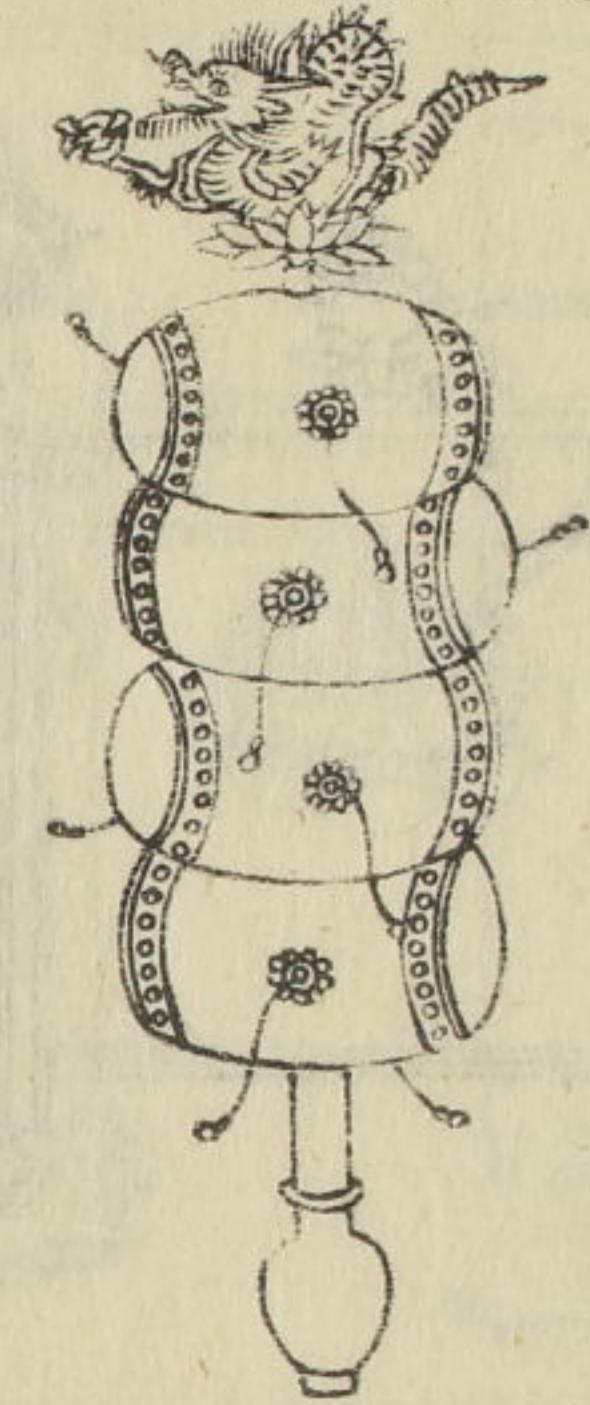
圖鼓之鼓



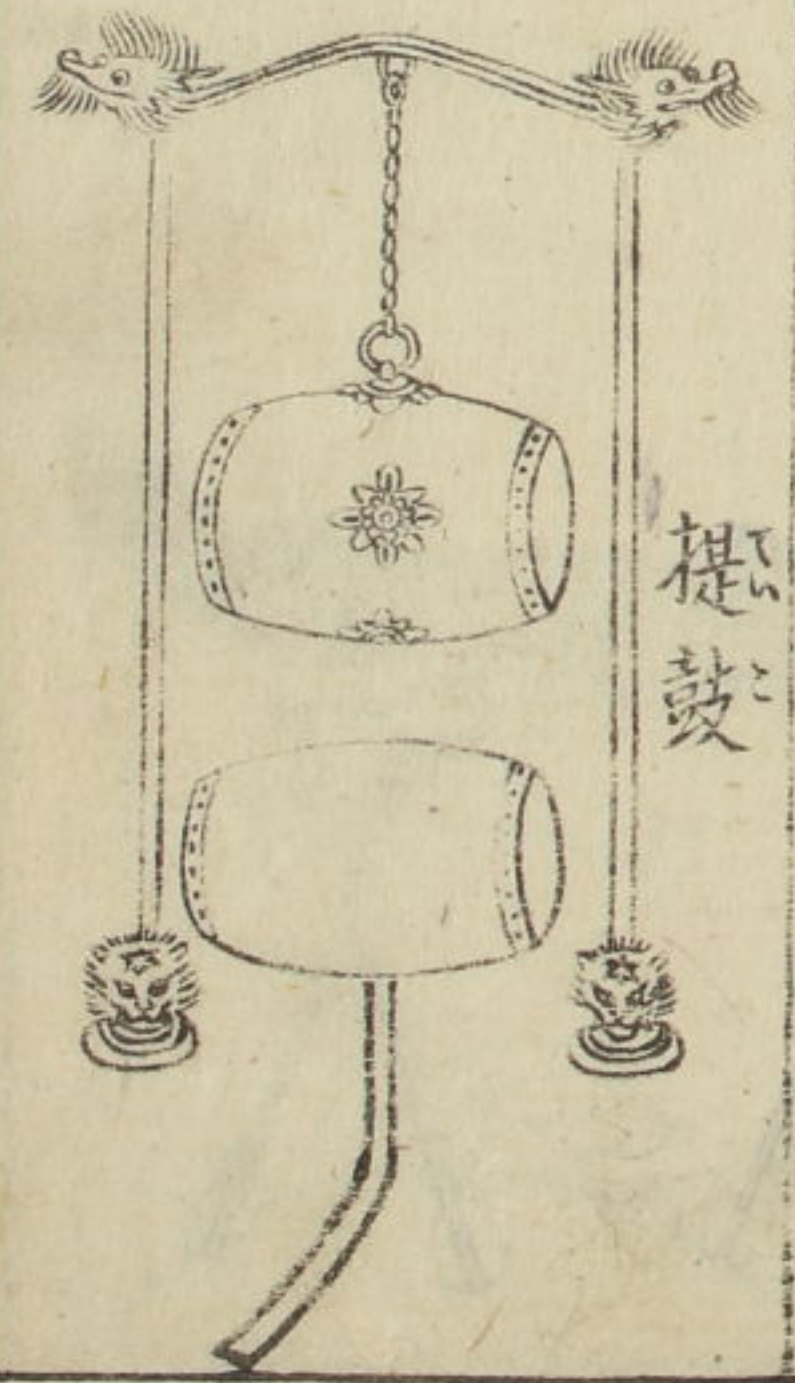
鼓之器



鼓之靈

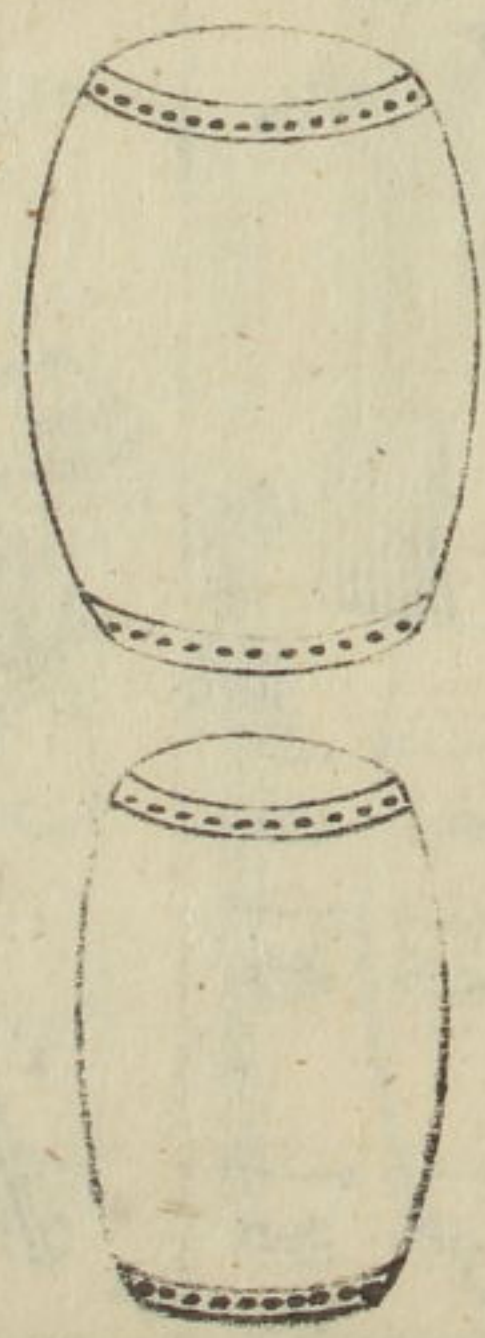


圖鼓之鼓



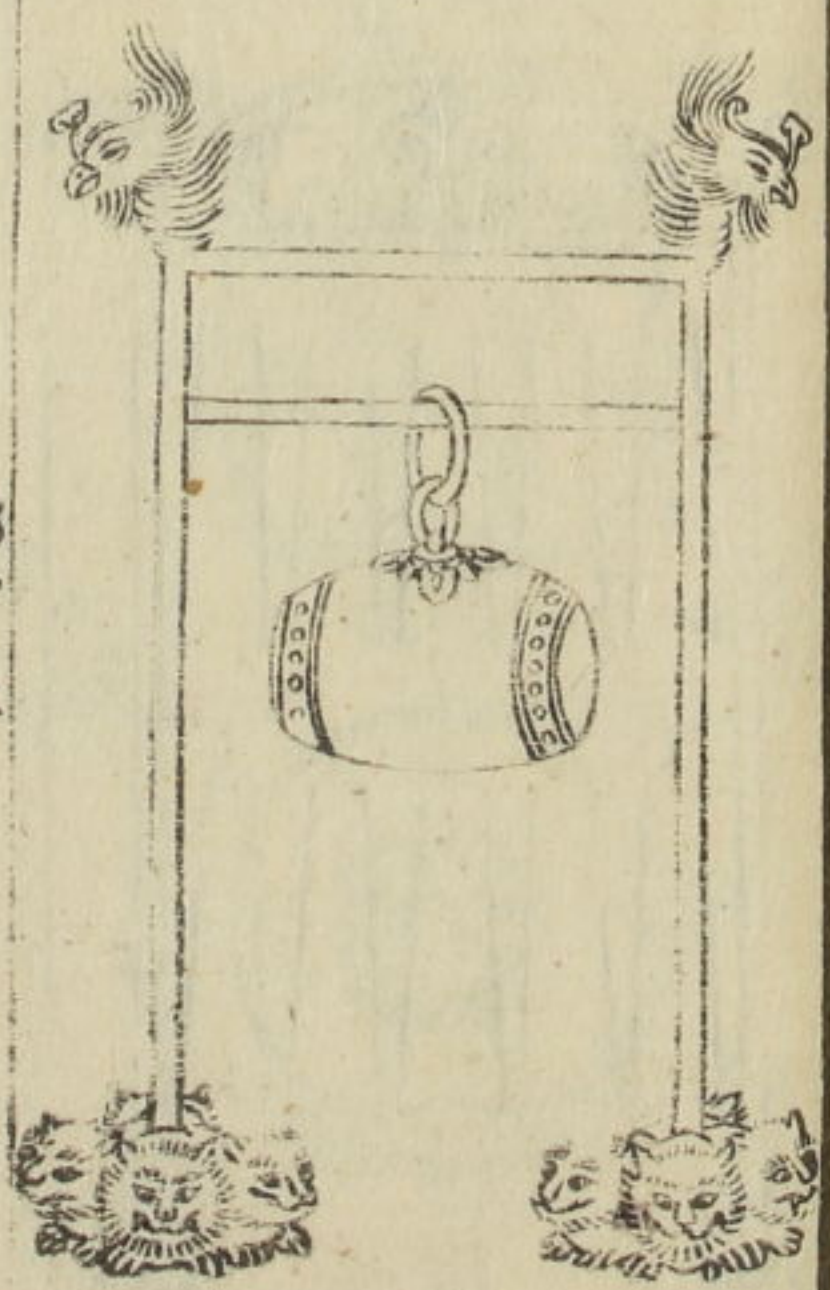
提鼓

圖鼓之馨

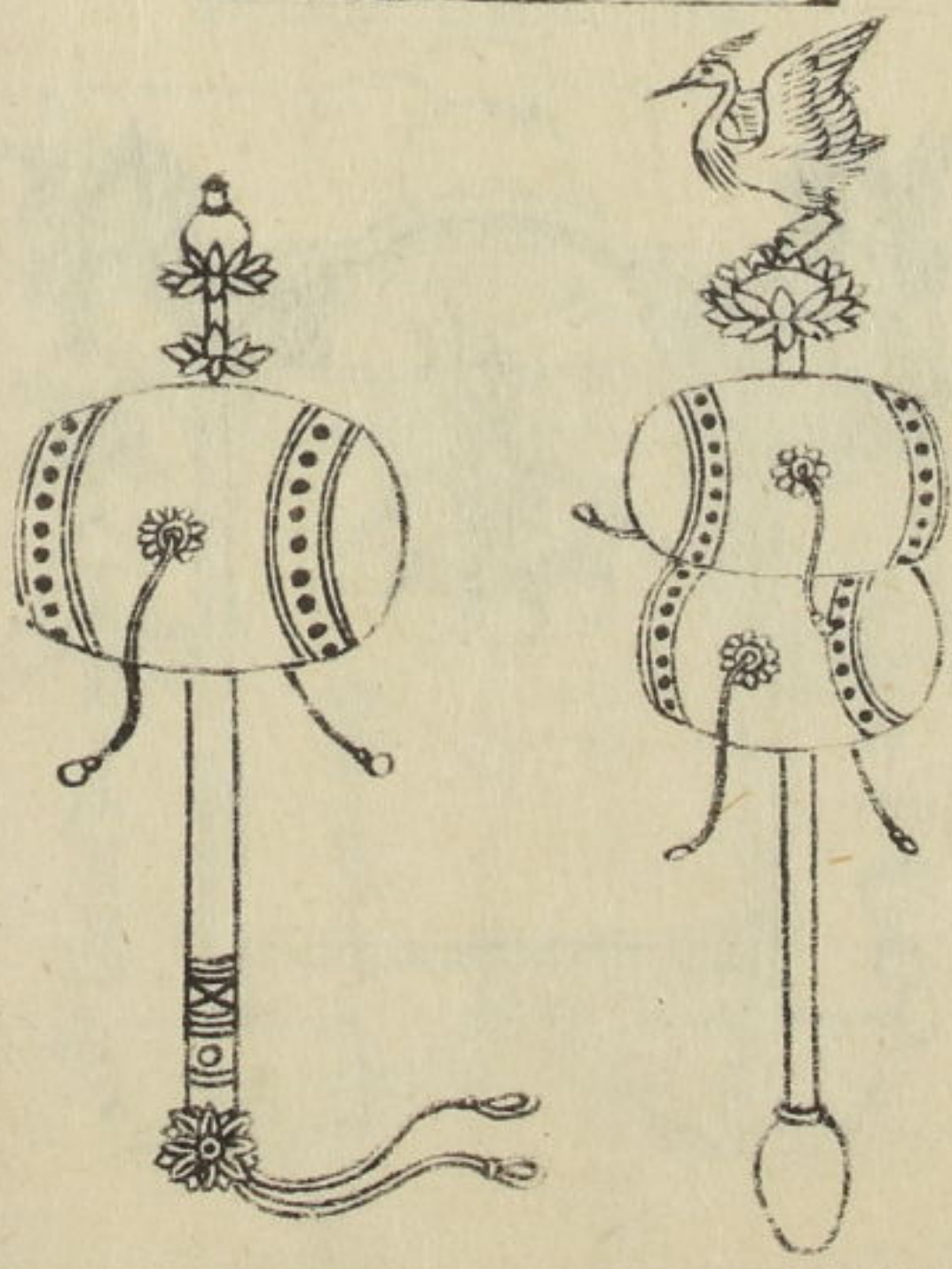


懷鼓

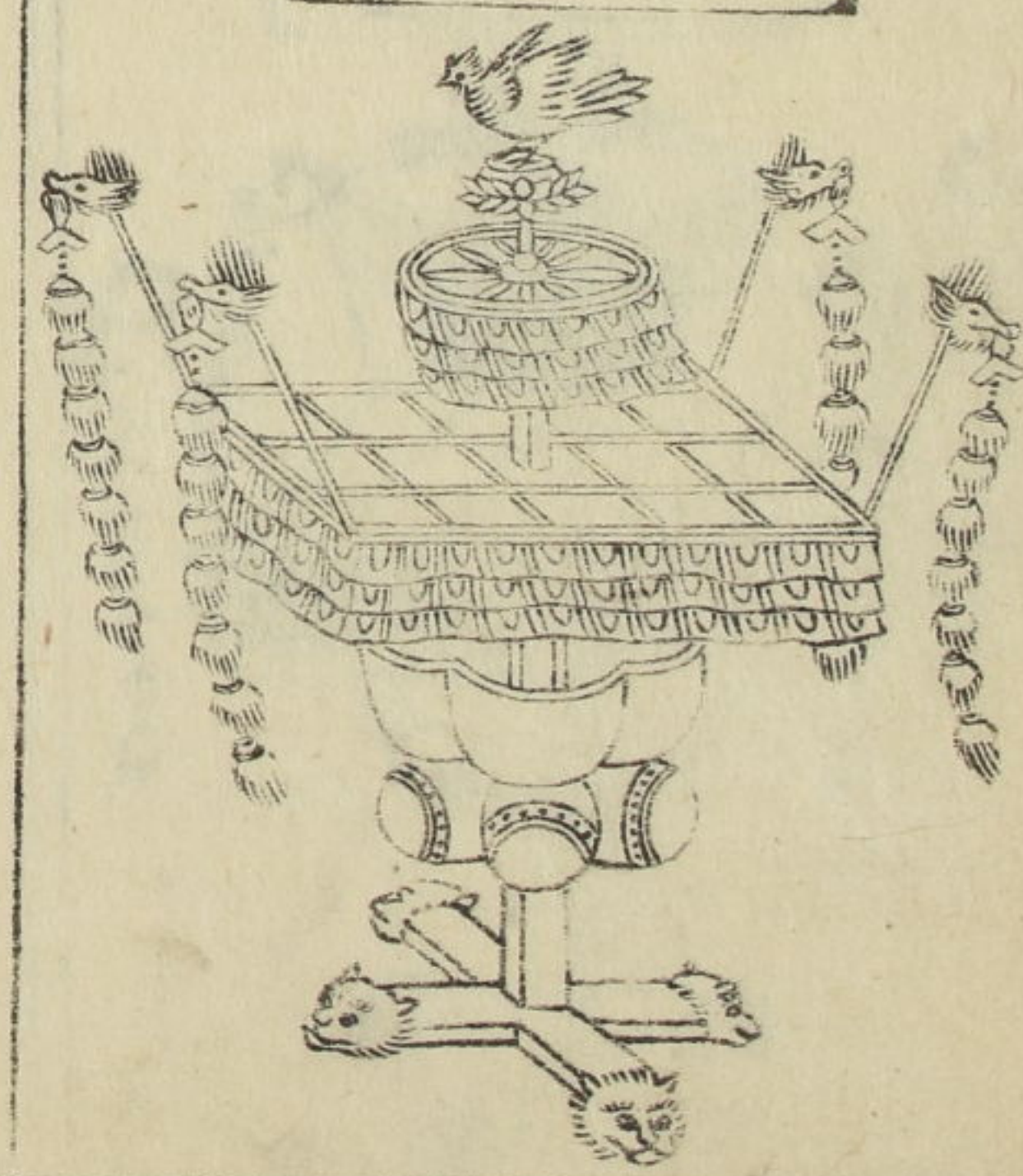
圖鼓之聲



鼓之鼓路



鼓之路



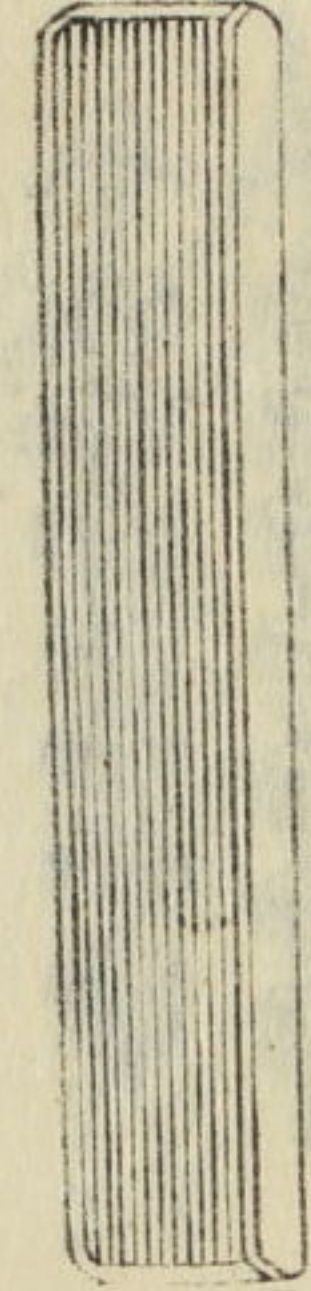
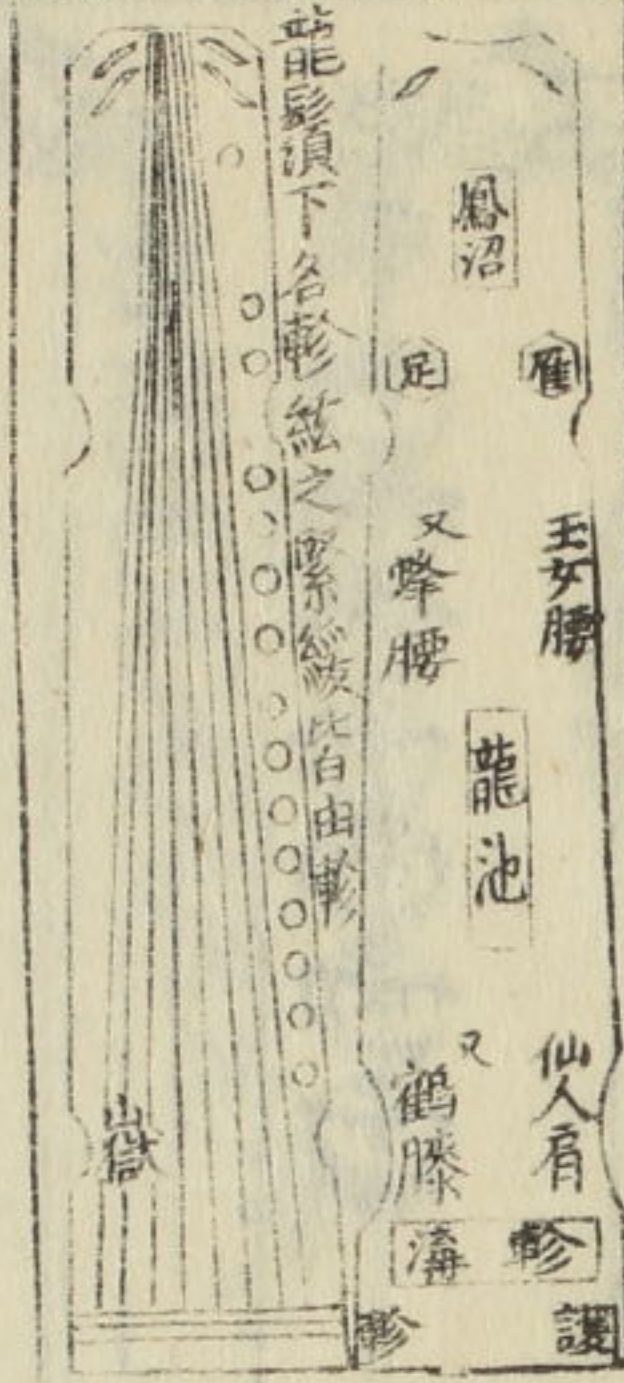
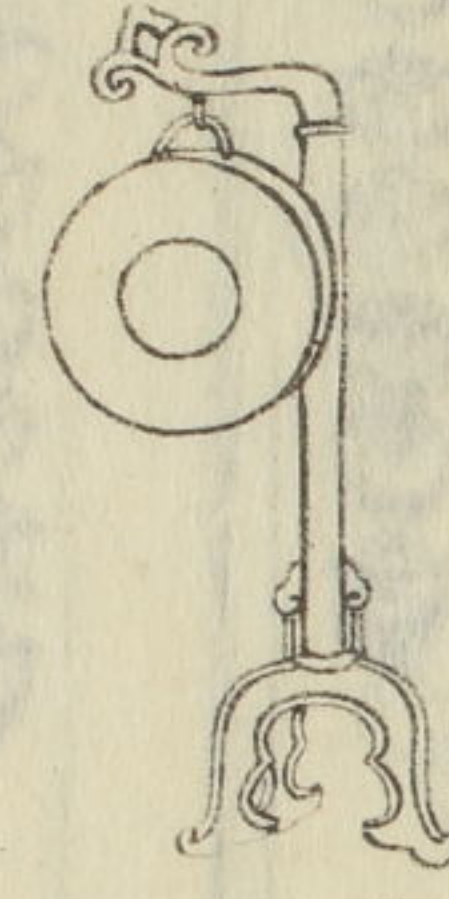
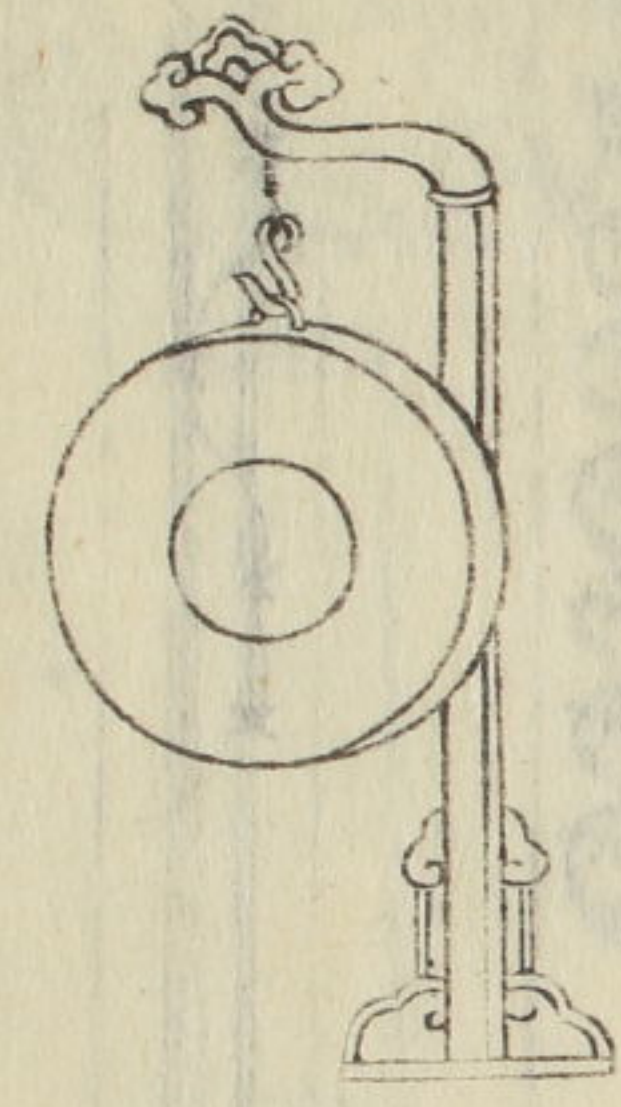
唐五洲琴圖卷七

鼓銅

子點

尾焦

筑

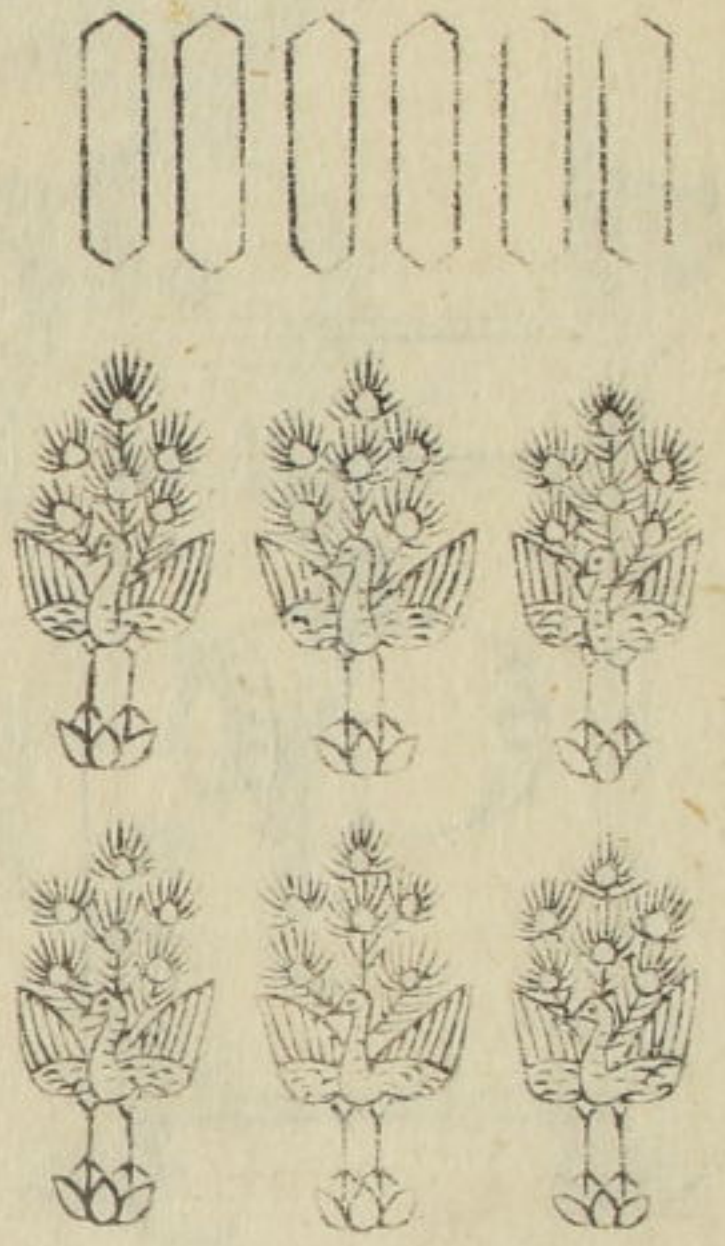
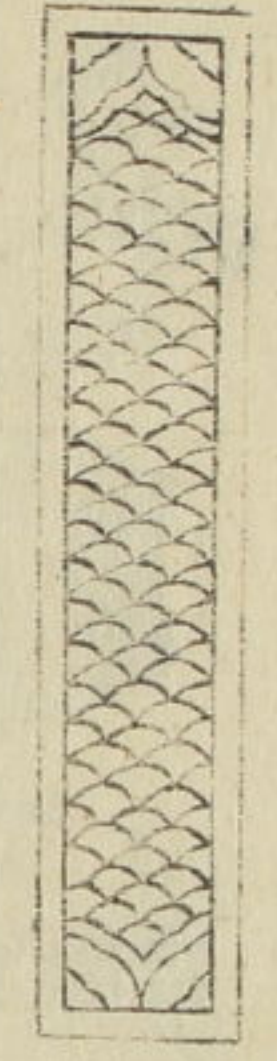
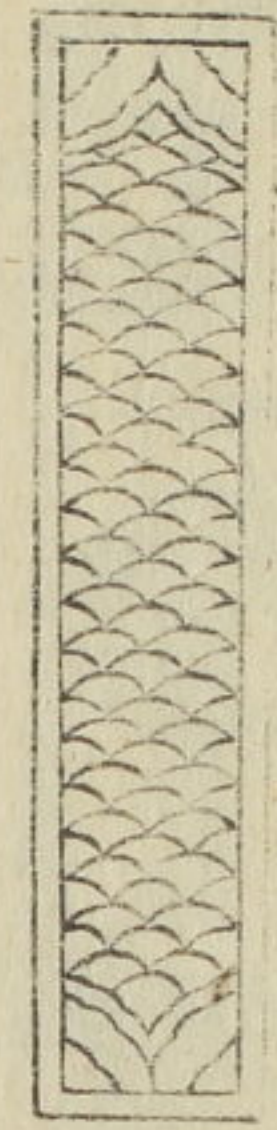


龍影頂下名彰... 鳳沼... 雁... 玉女腰... 龍池... 仙人有... 鶴膝海... 嶽

翠壁

紫

羽植牙崇

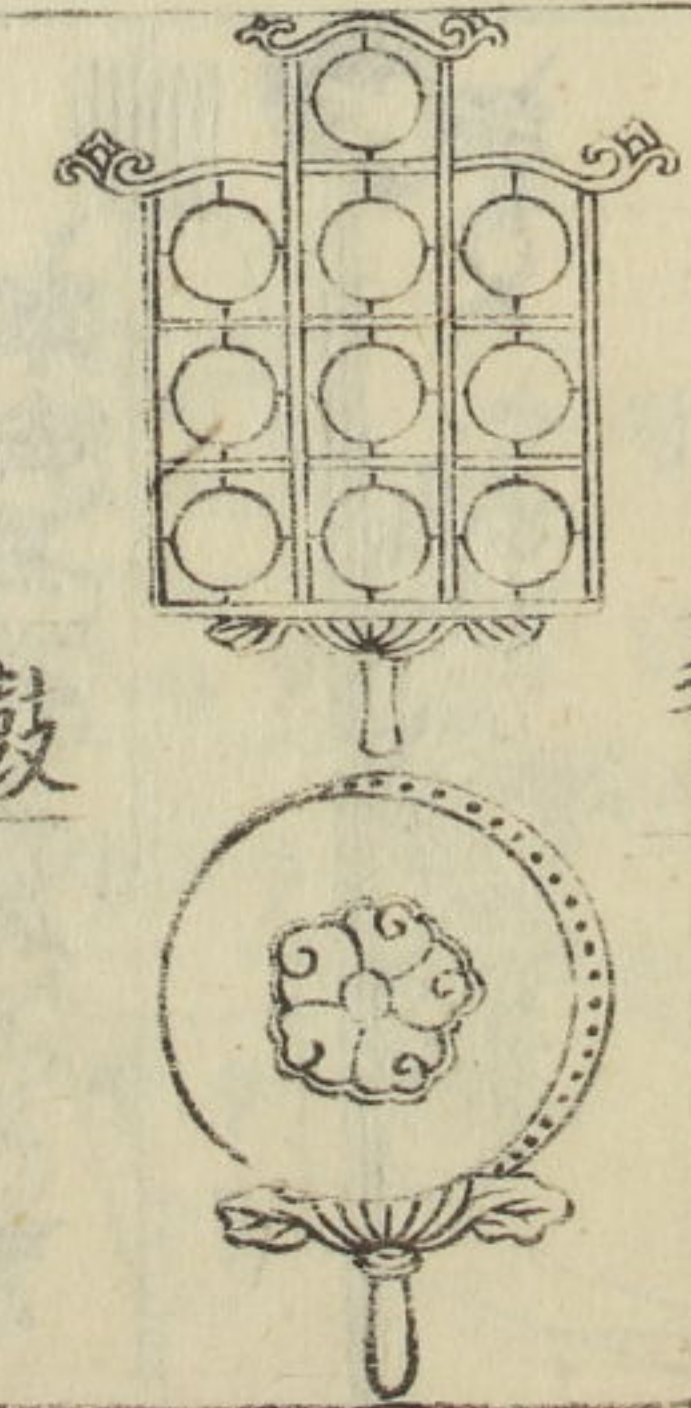
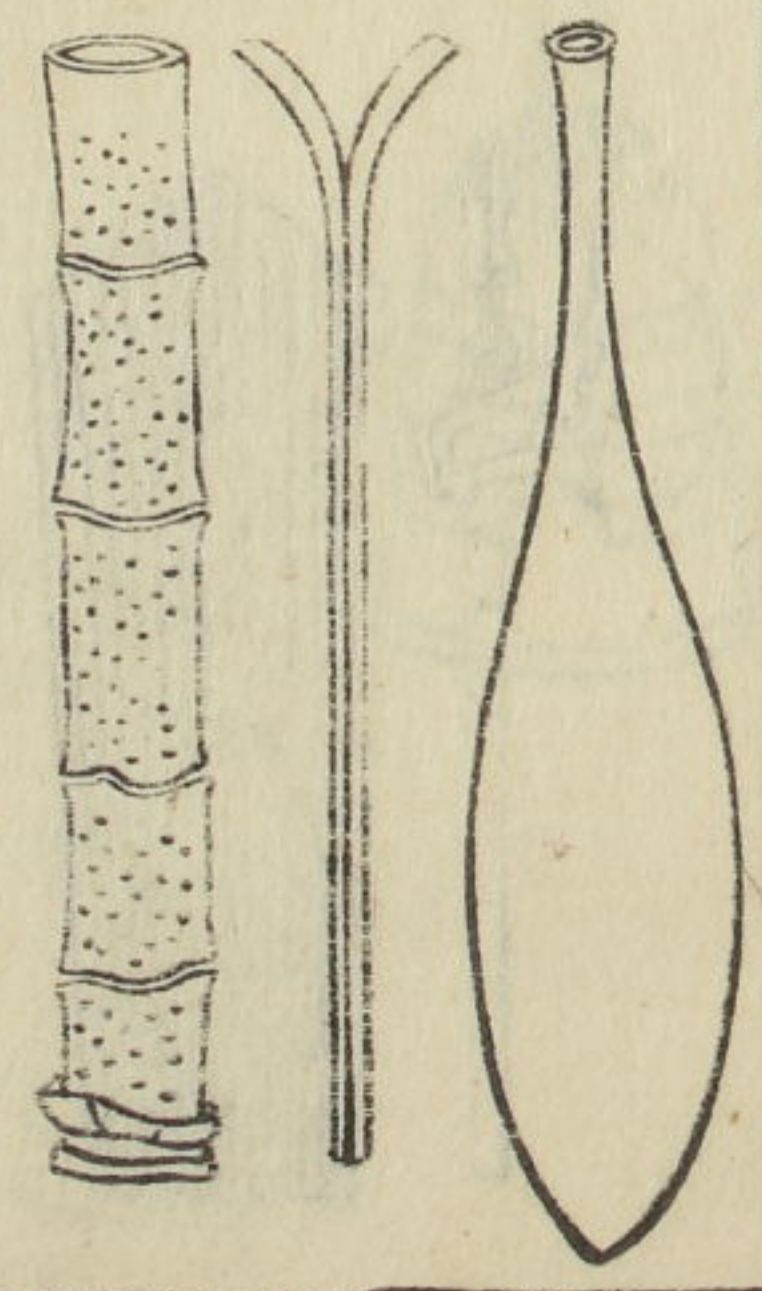
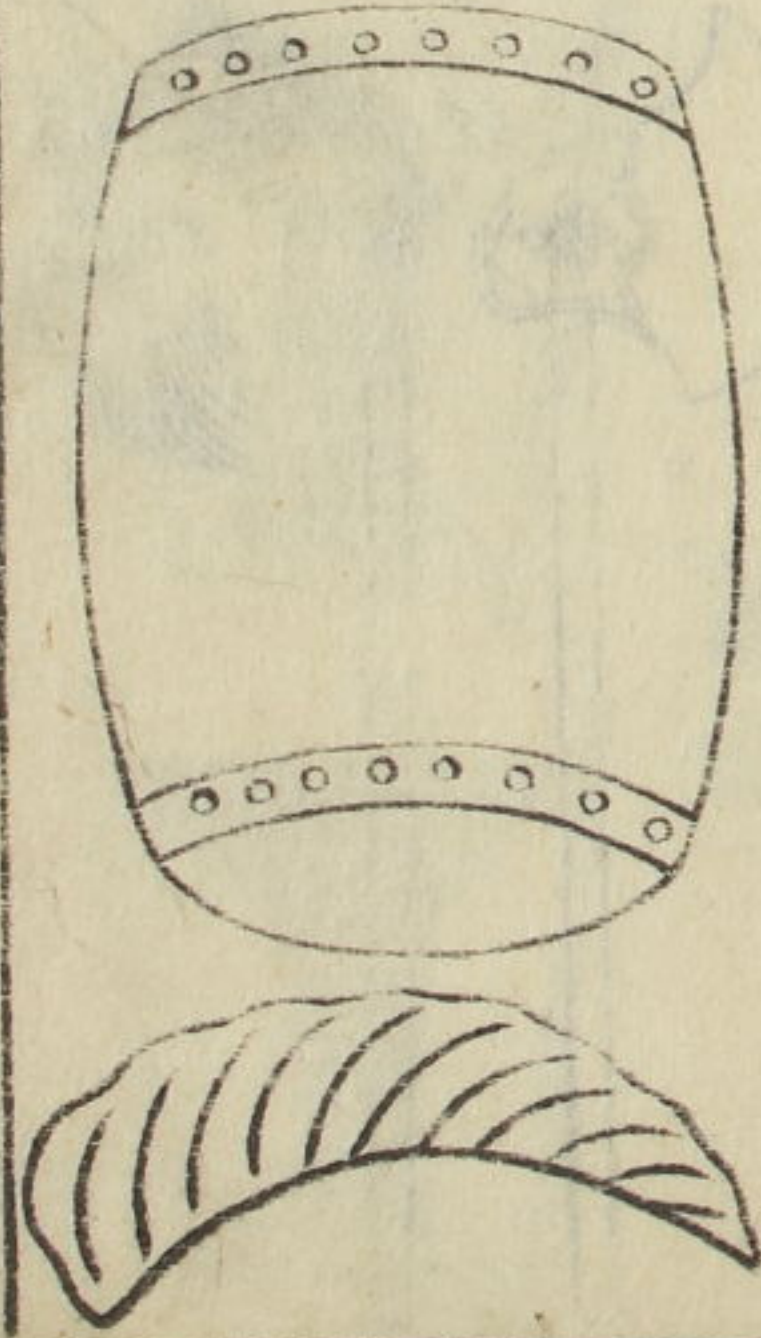


角桐梧鼓

子簡鼓魚

角畫

鑼雲

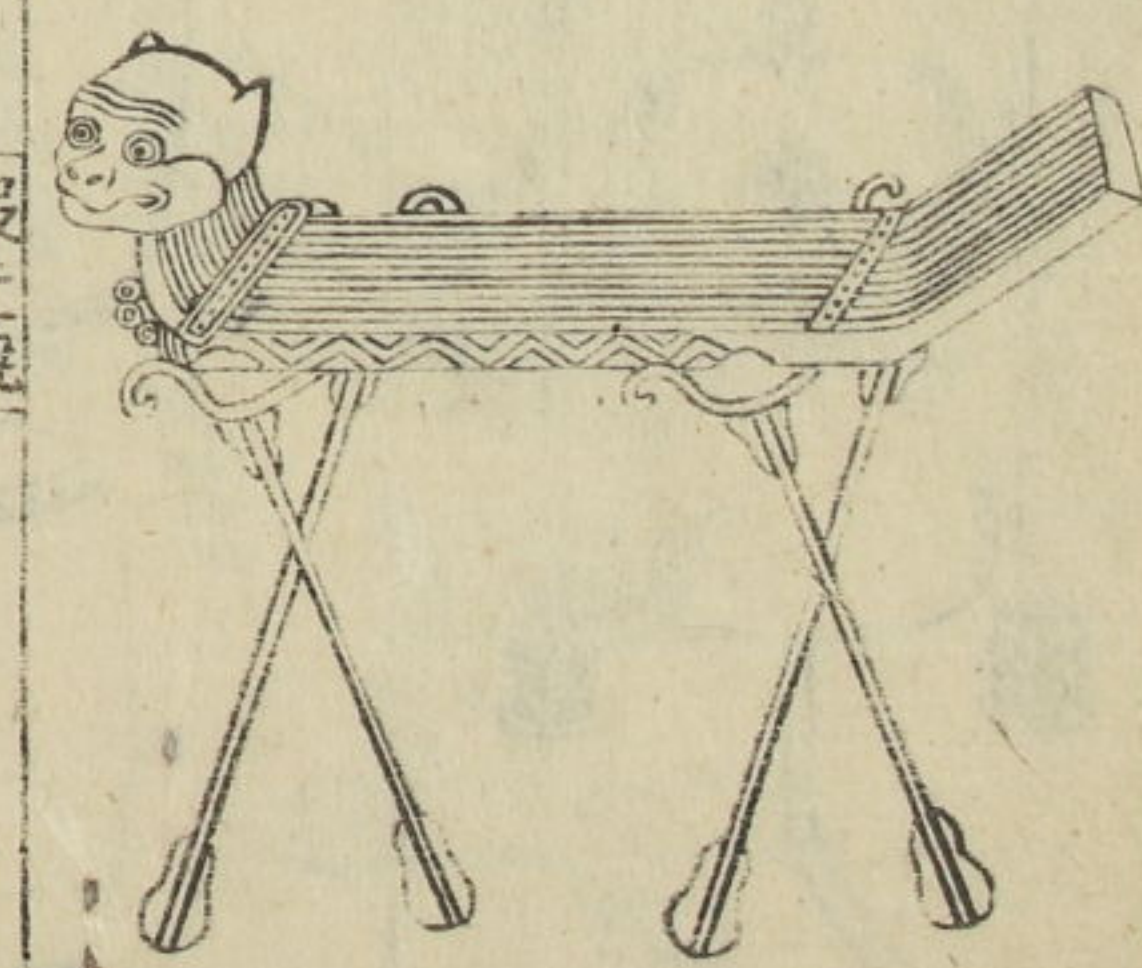
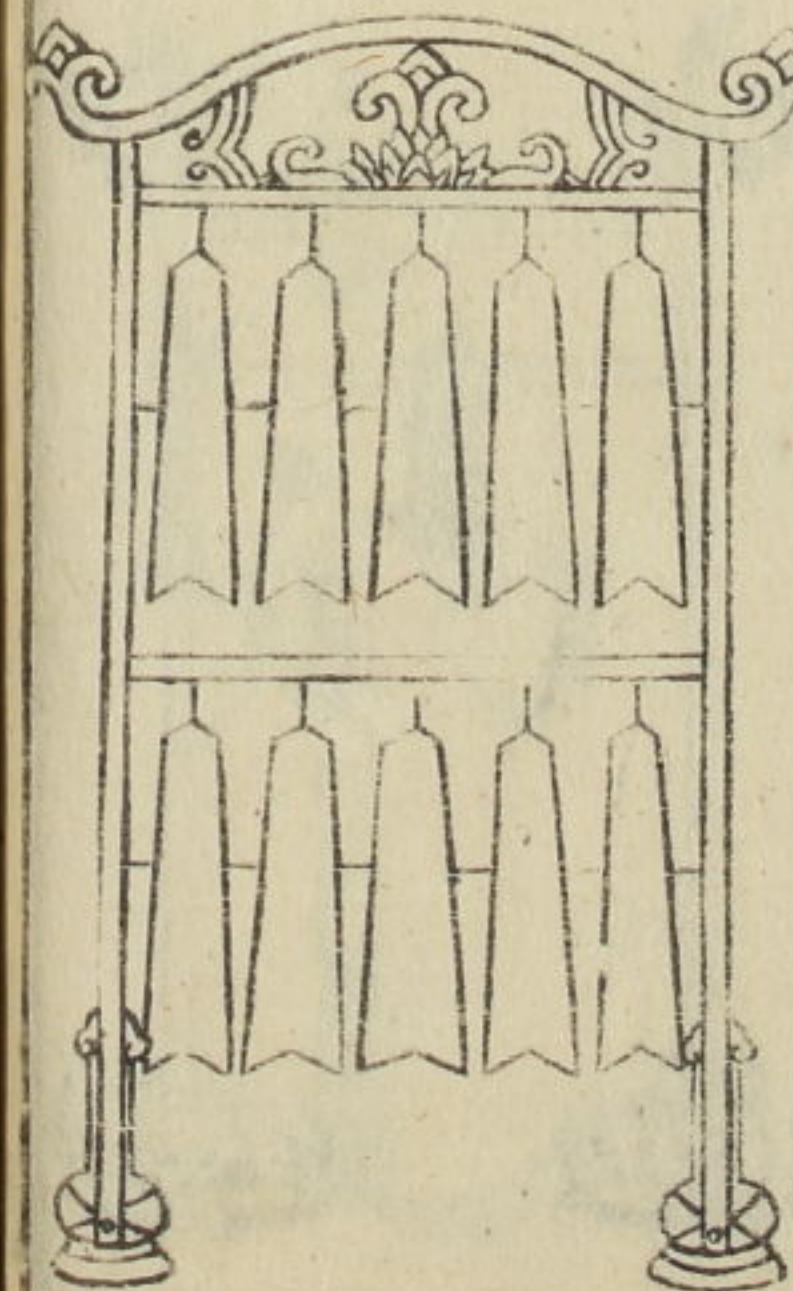


響方

板柏

篋

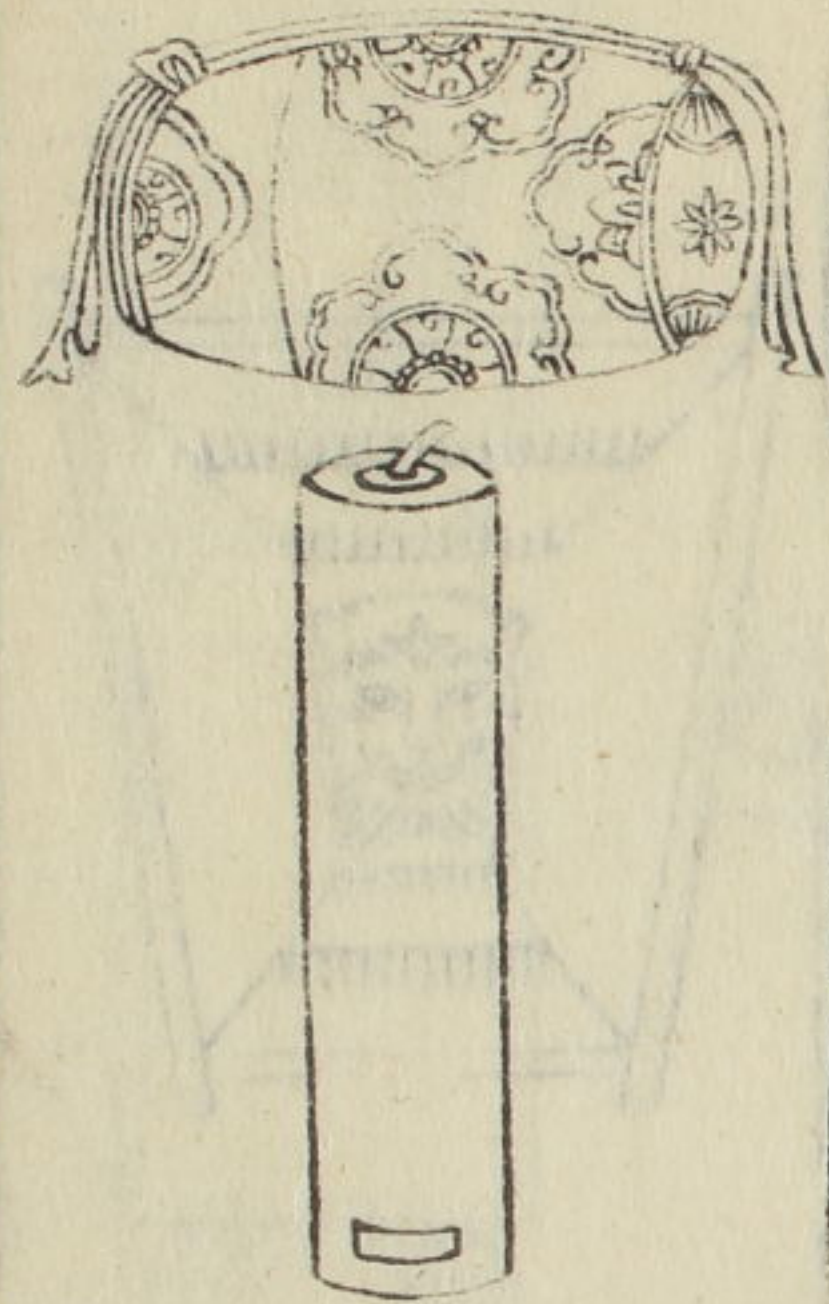
篋



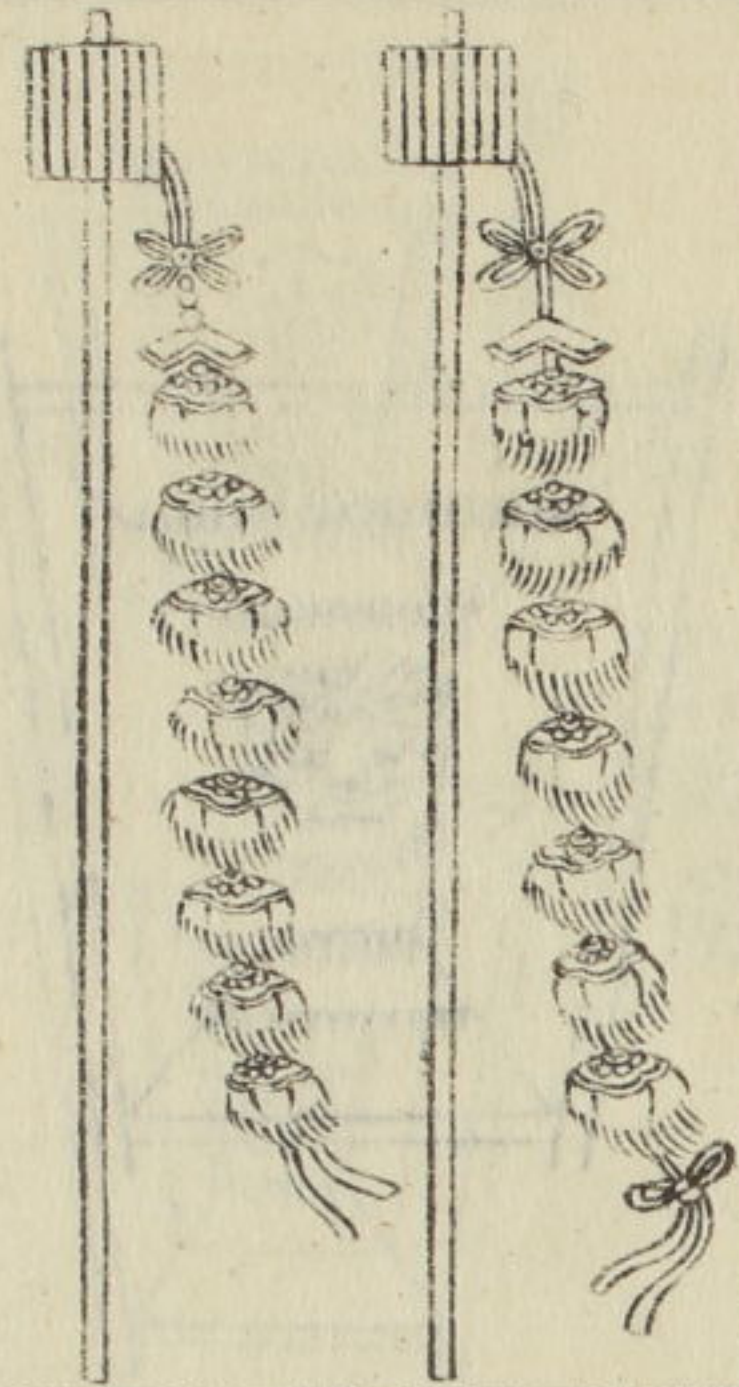
唐詩家圖卷七

十三

應相



旌毒縣

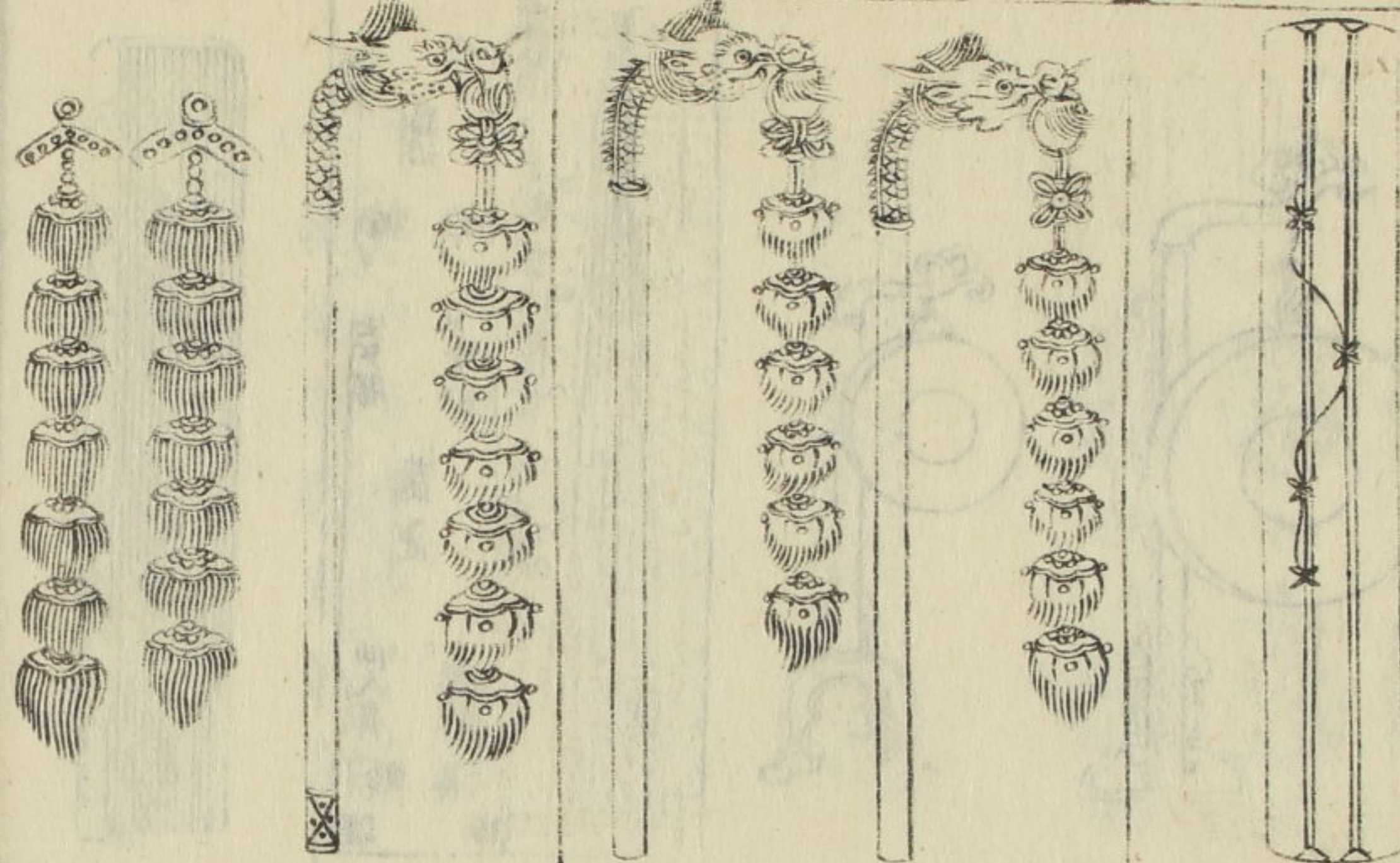


翟

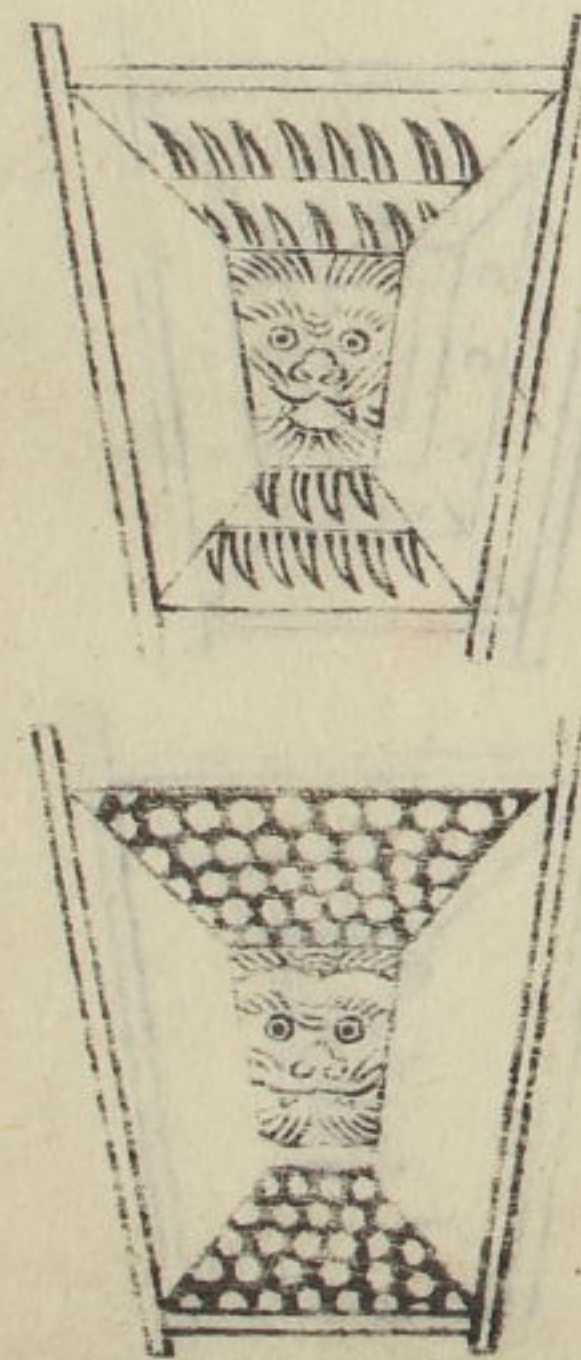


雉の毛を羽にしてつる
無舞に兼つゆなり

翠壁舞帳 舞皇舞羽 鼓銅竹



ま 侯



射 鏡金 鈕金

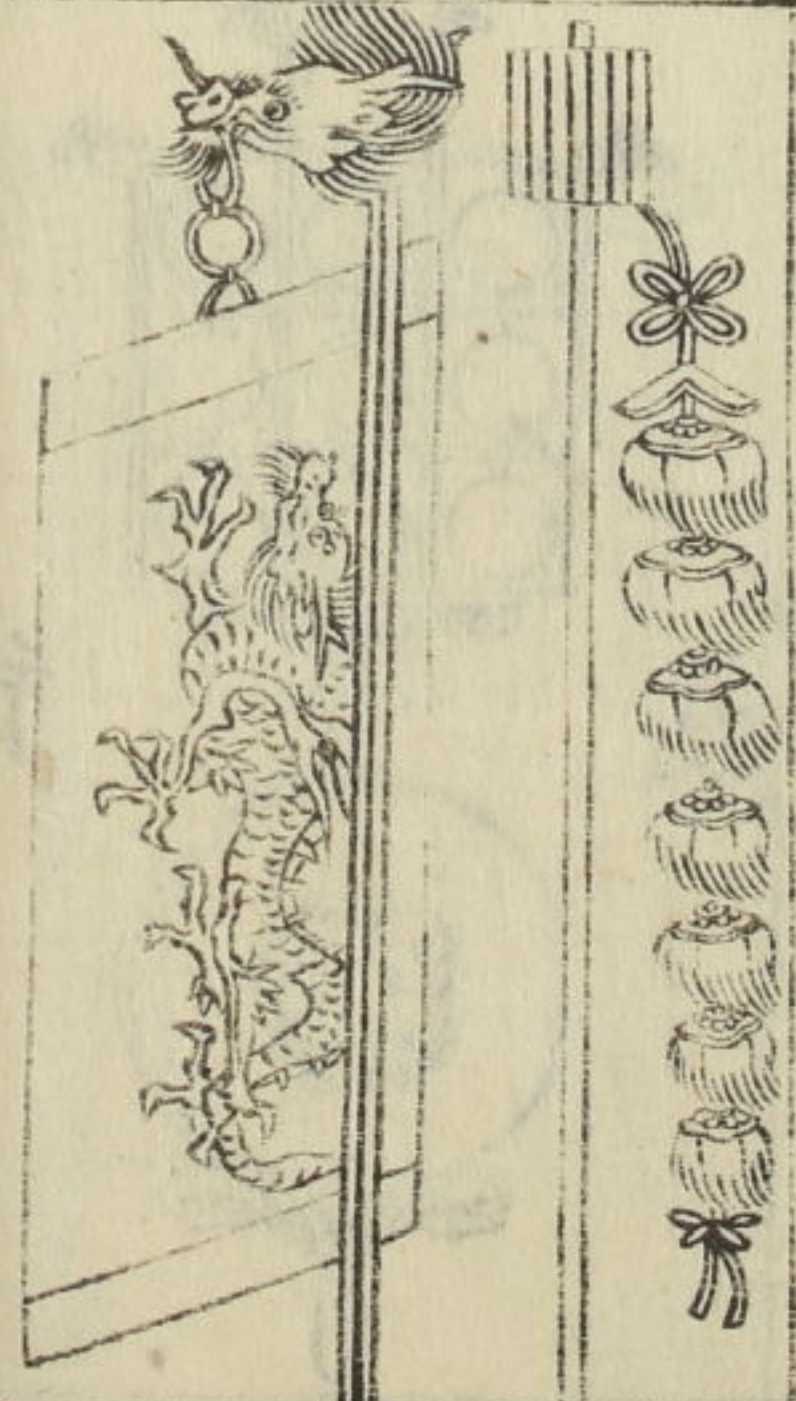


新侯

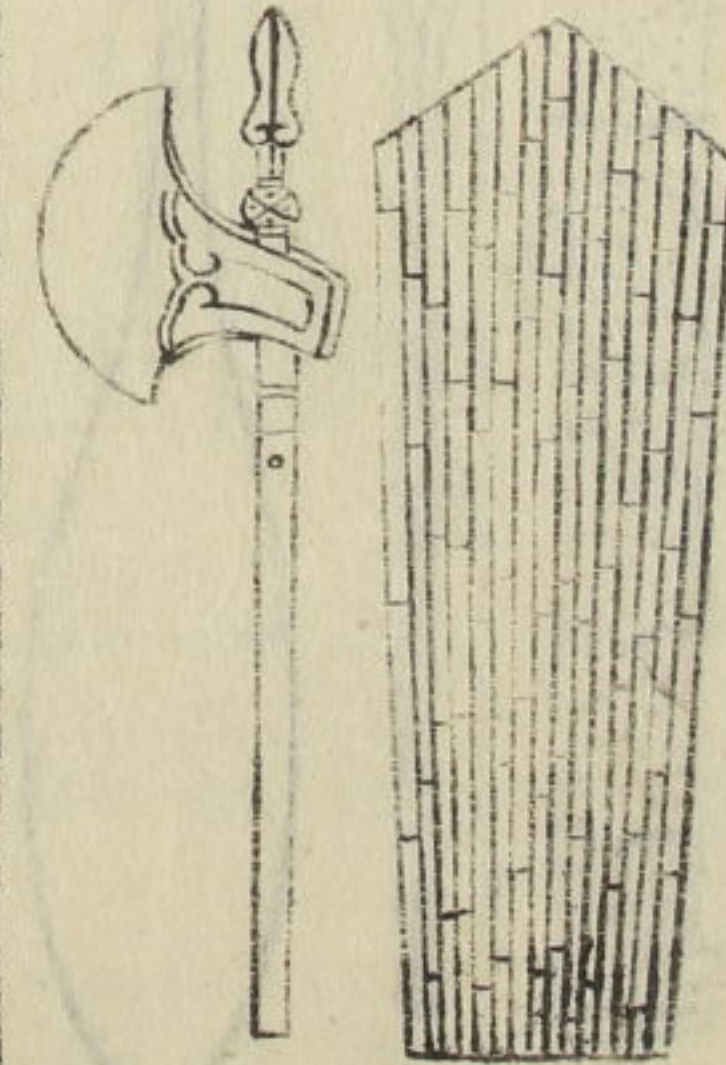
雅 牘



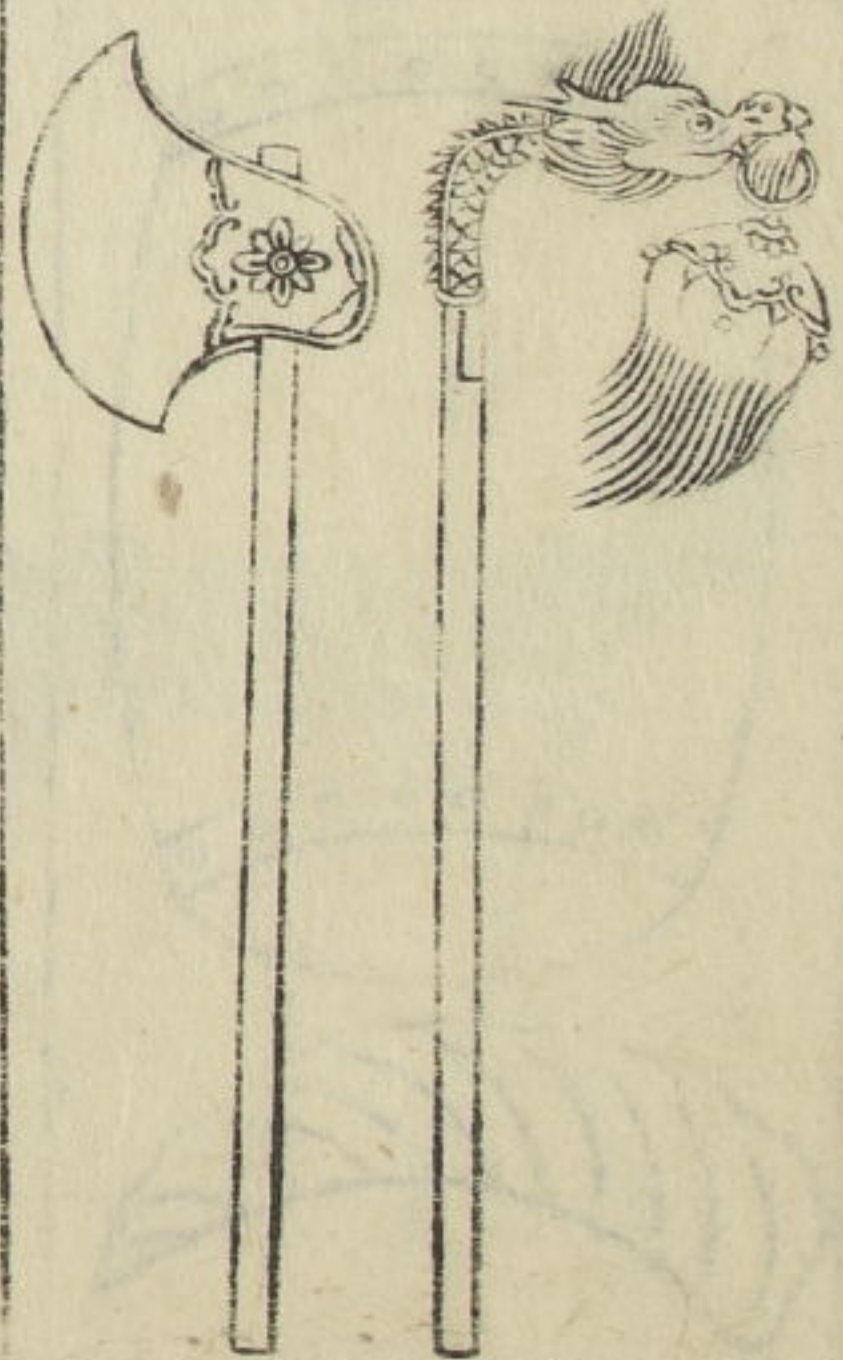
麾 節



舞 汗



威 舞 旄



唐土記 卷七

侯正五

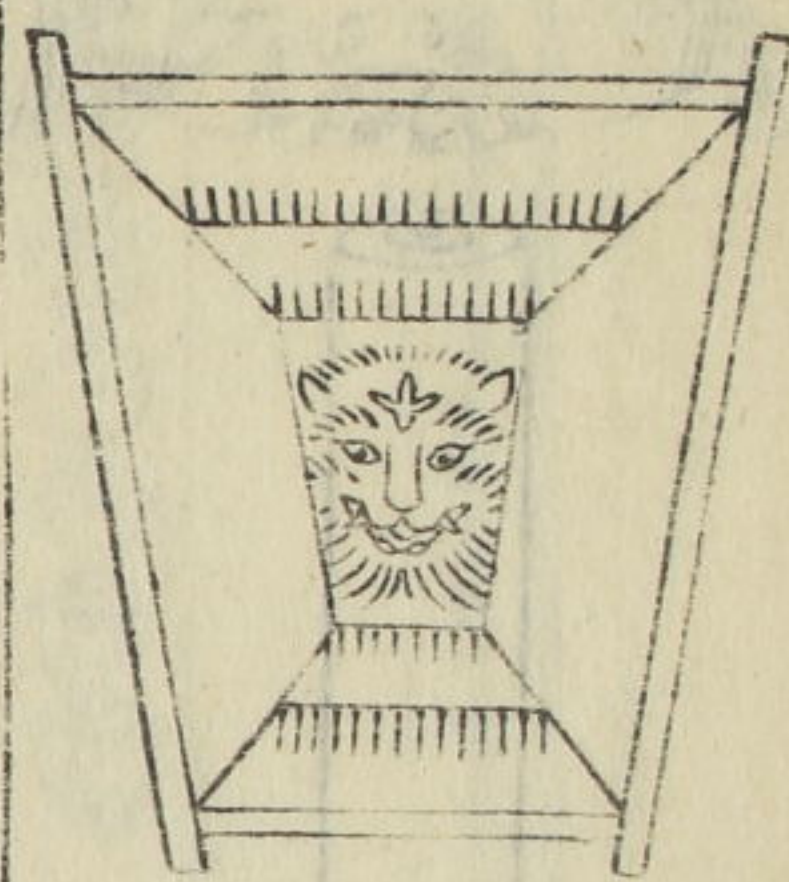
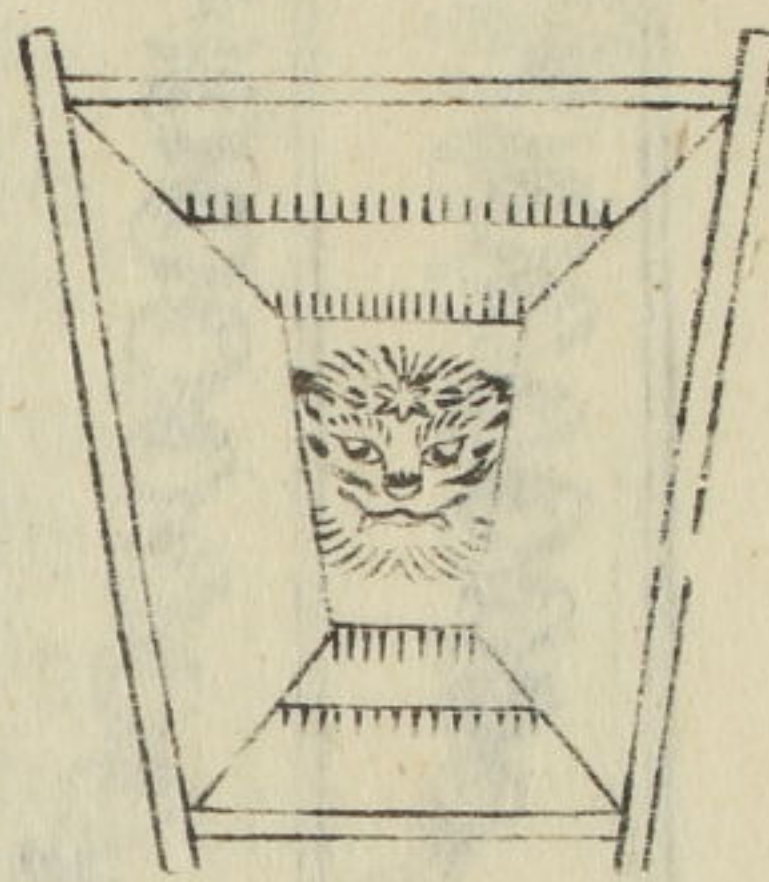
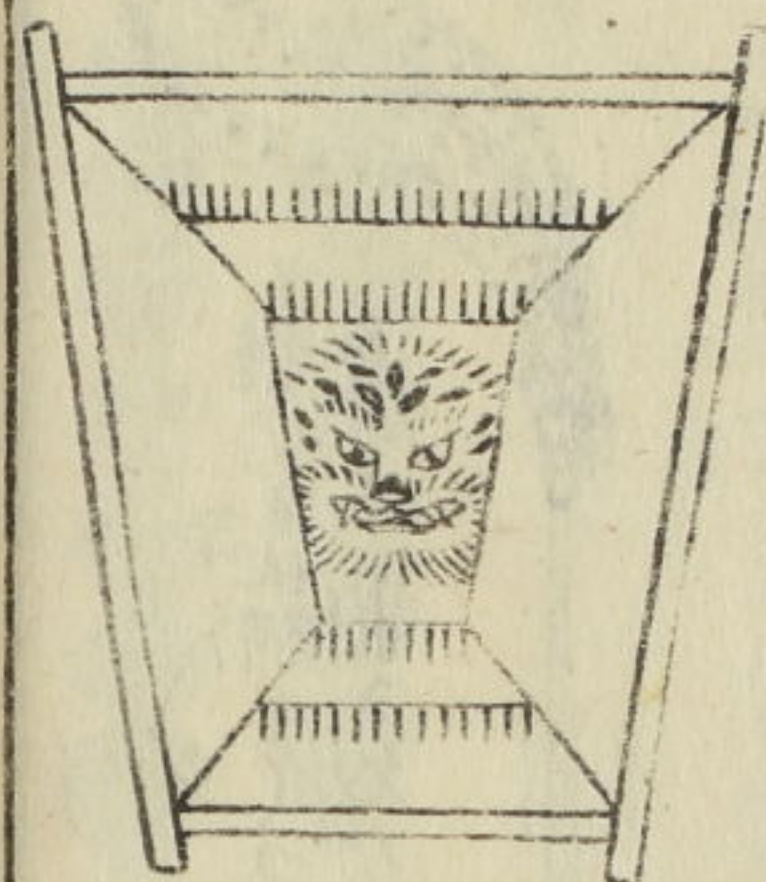
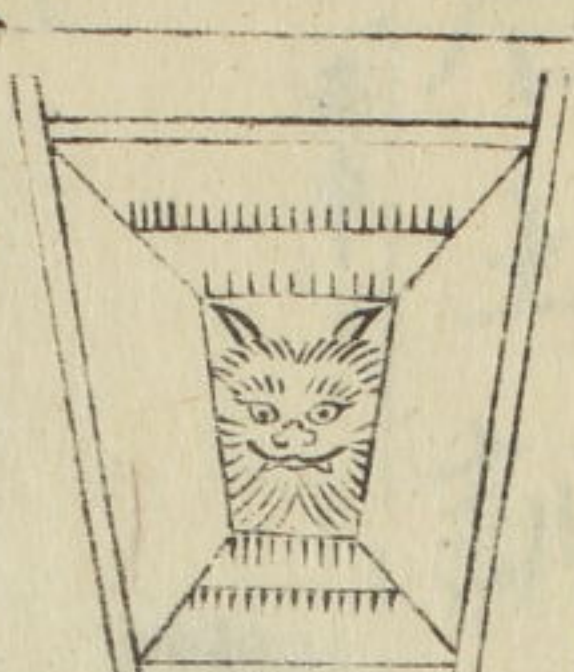
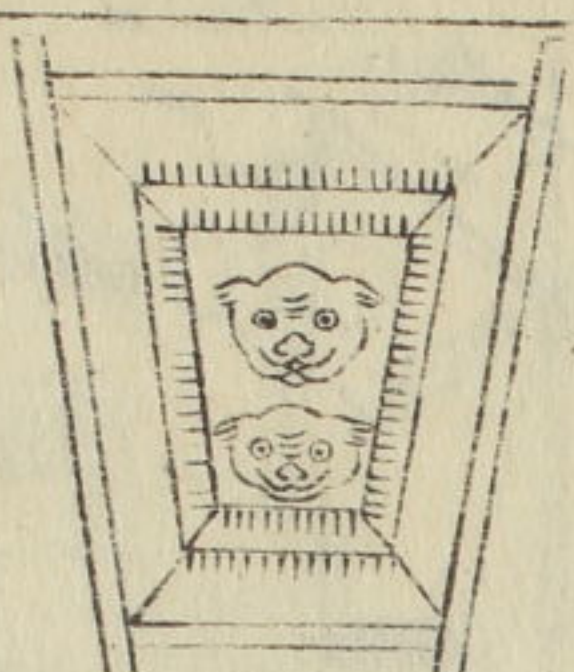
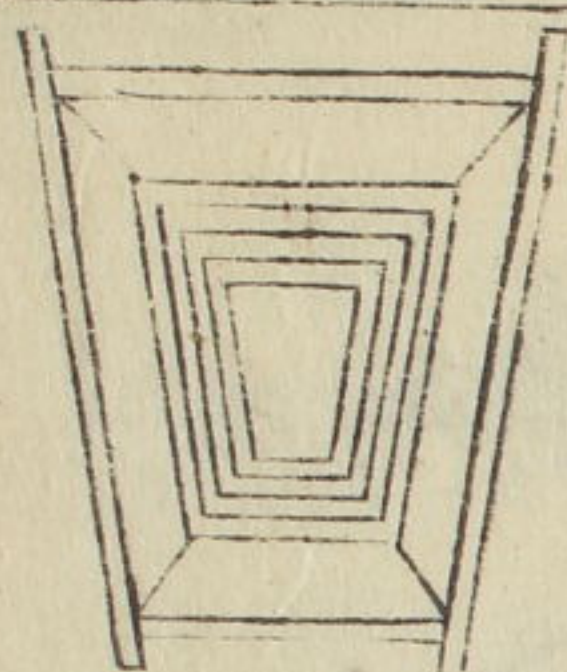
獸侯鹿

獸侯新

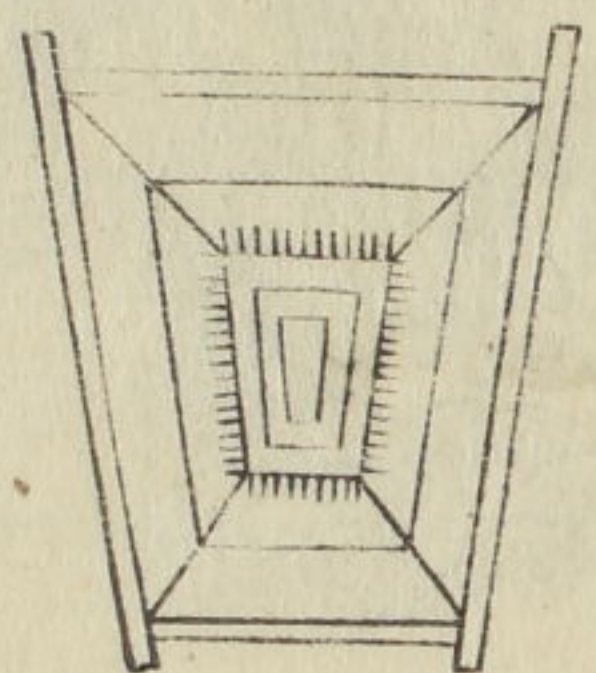
侯麋

侯大

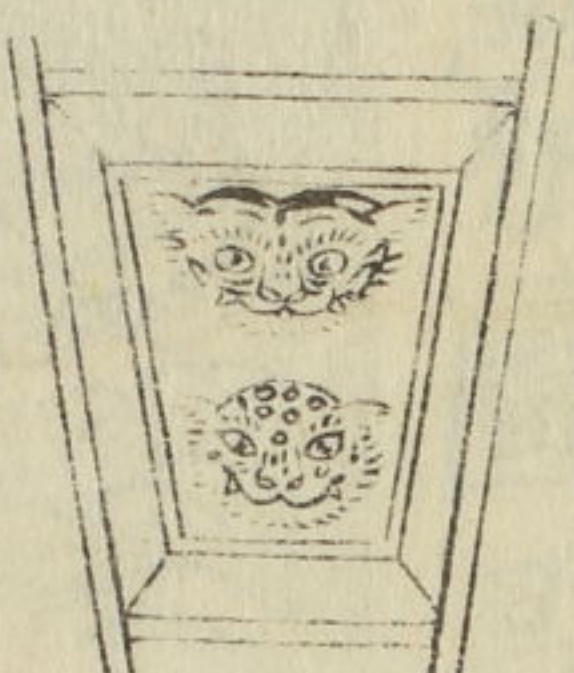
侯熊



之



三正侯



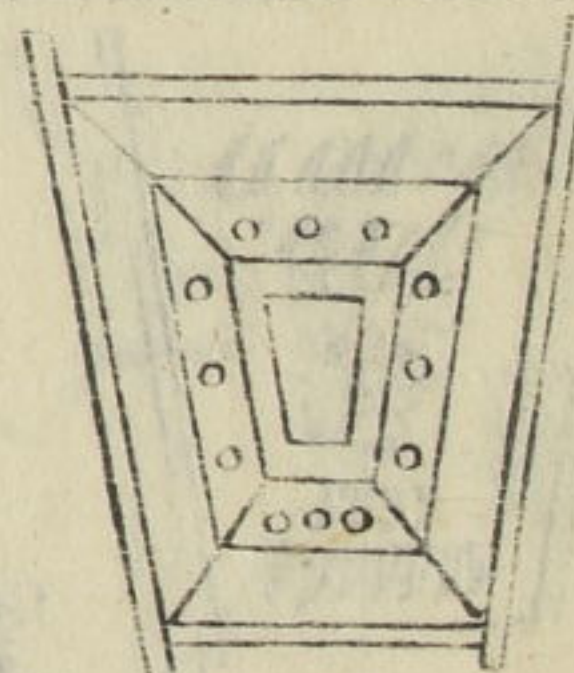
獸侯虎豹首

中虎

中鹿

中兕

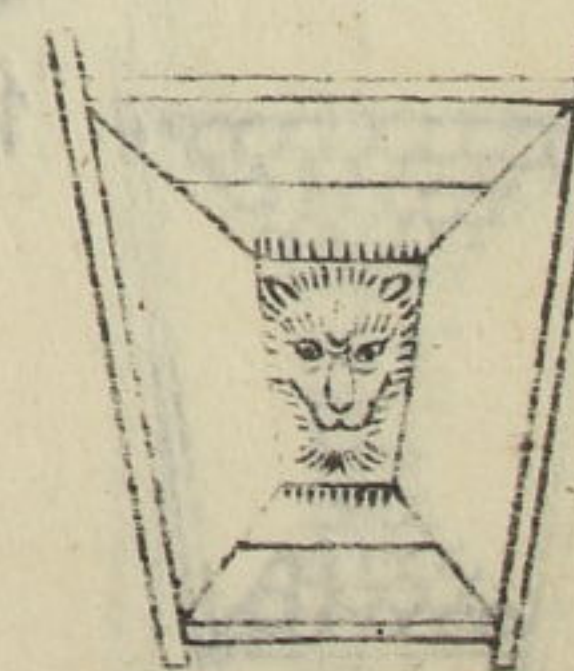
二正侯獸熊首



中



皮獸中



禮記卷之六

禮記卷之六

唐土訓蒙圖彙卷之八 器用之二

船站

此船官府の驛程用者

帆船

此制一年の船



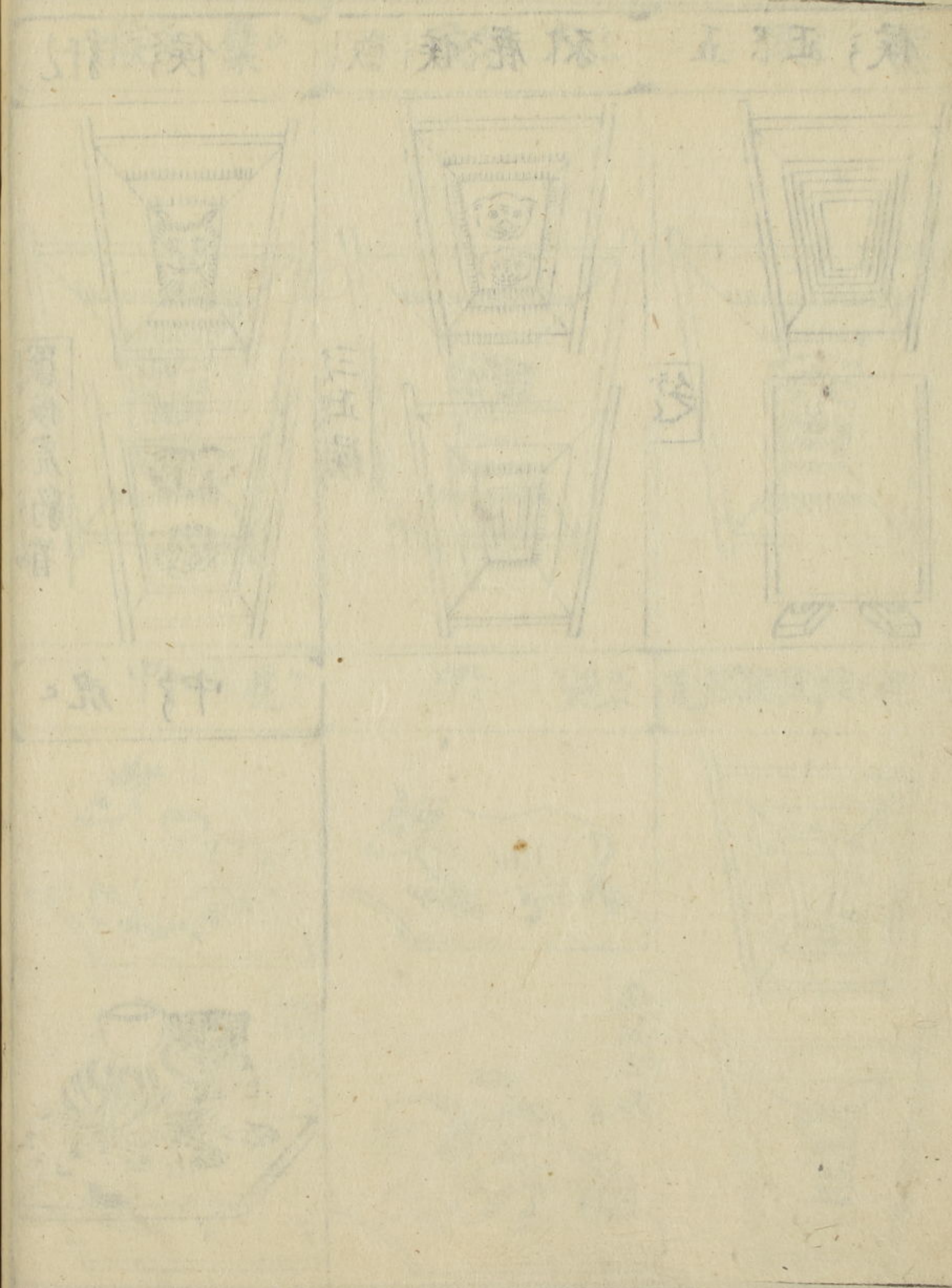
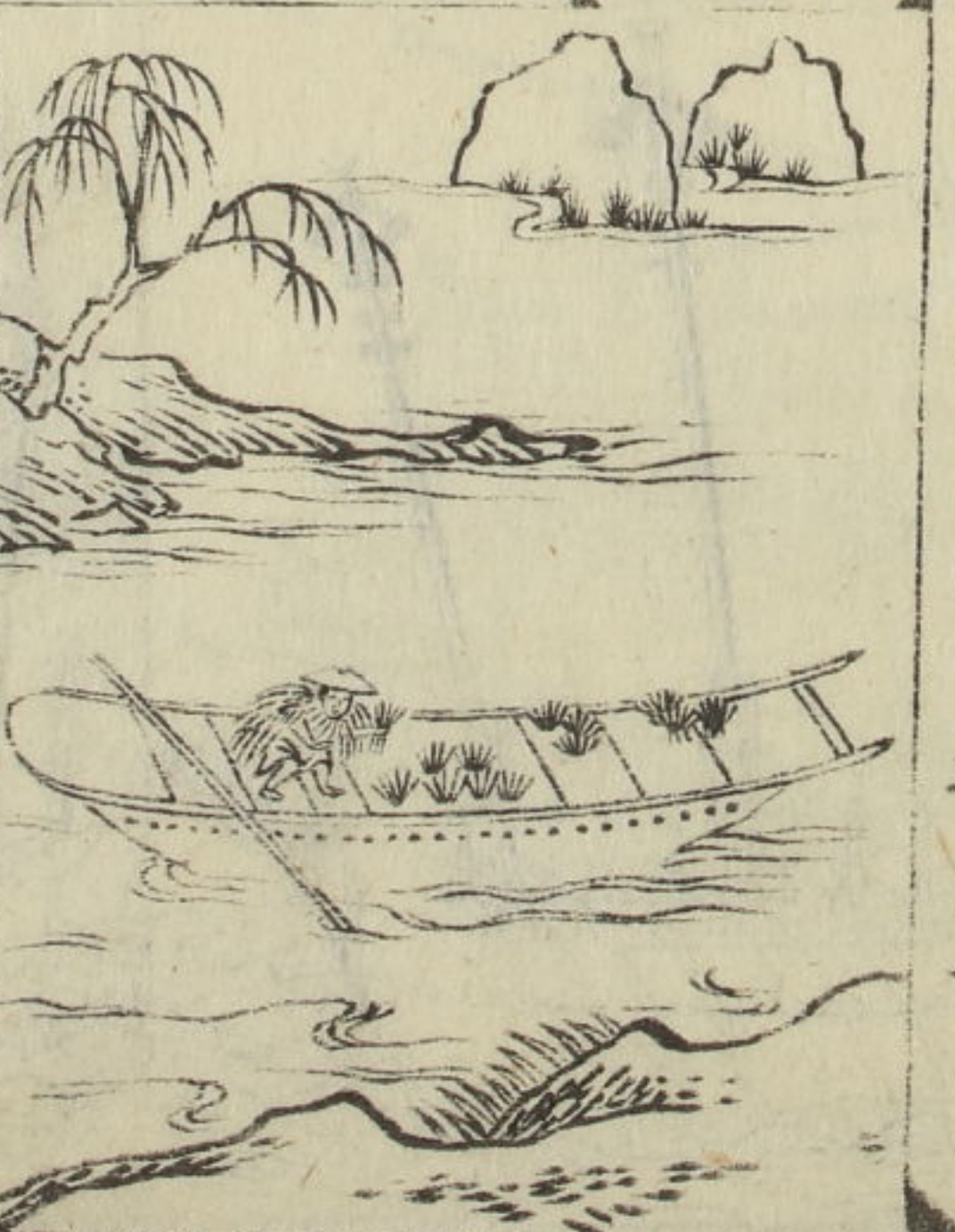
舟車

船划

此舟農事の舟もの

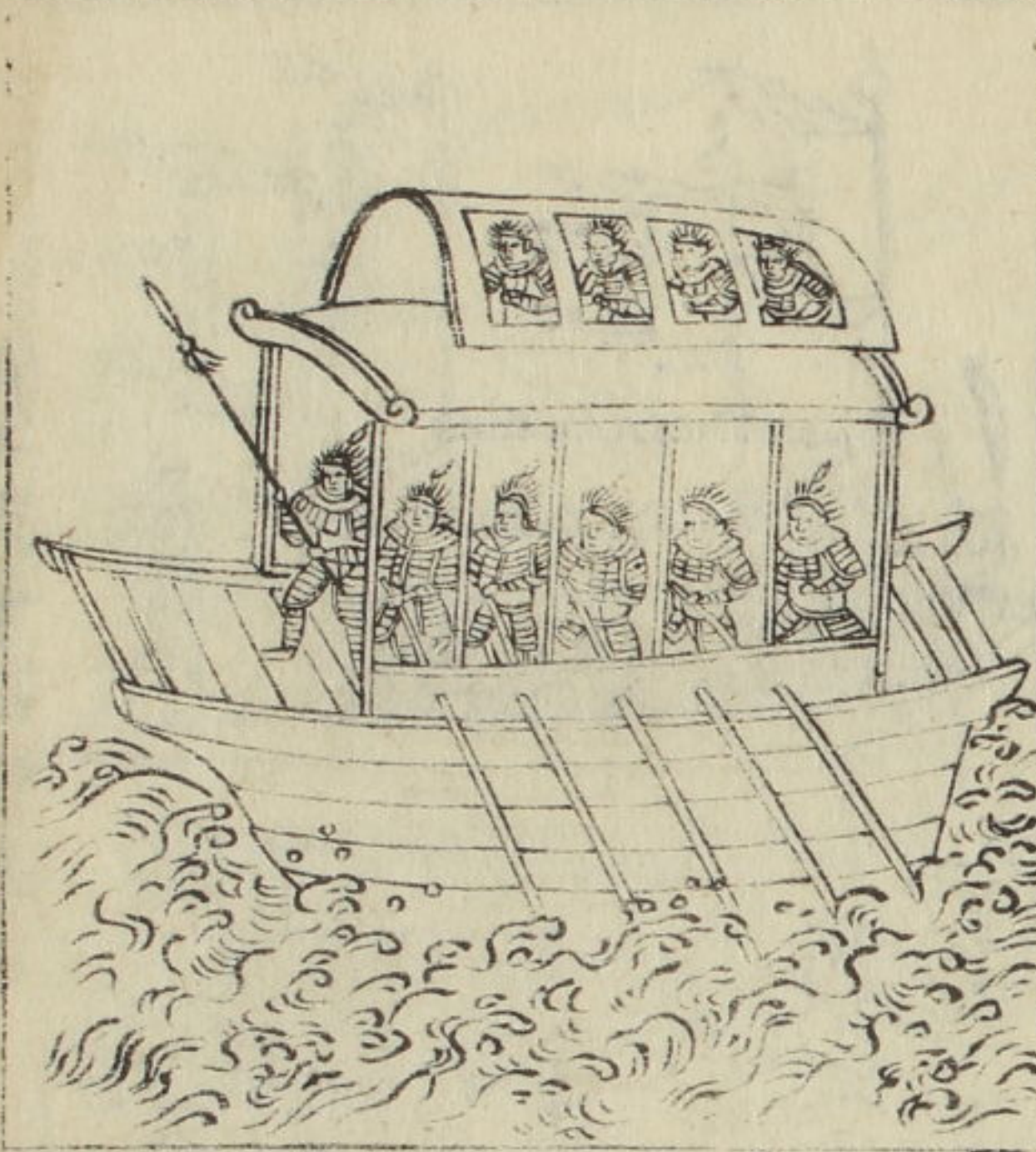
尖尾船

此舟軍船

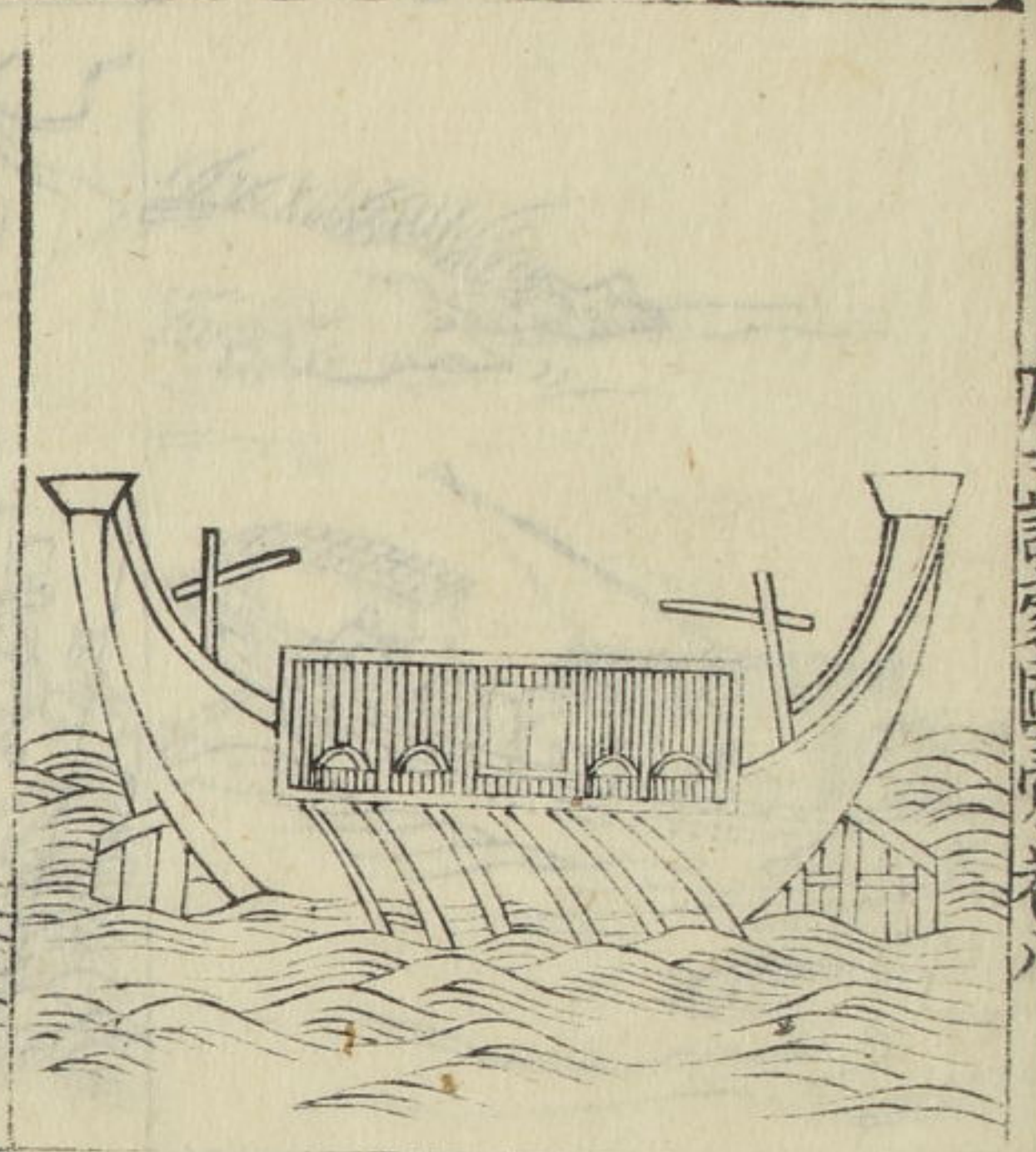


唐土訓蒙圖彙卷之八 器用之二

遊艇 女牆 船の 上り 禦と 毎 疾 衝 蒙 生 牛 草 の 幸 と 以て 矢石も つか



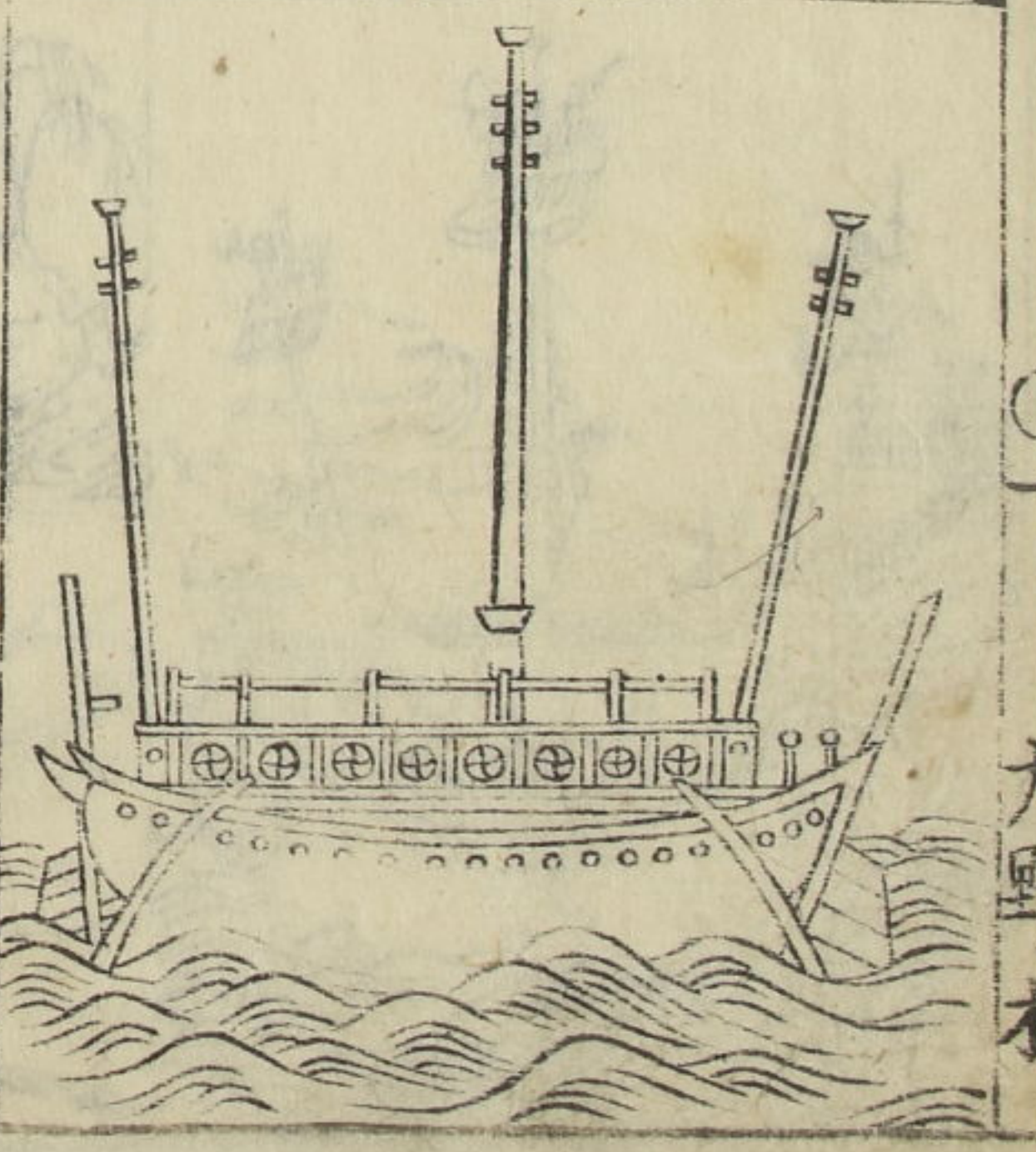
鳥船 船 漁 法 船の 中 至て 小 用と 敵 と 瞻を



樓船 船 上 三 重 窓と 窓と 舟 走 船 夫 棹 夫 舟 夫 舟 夫 舟 夫 舟 夫



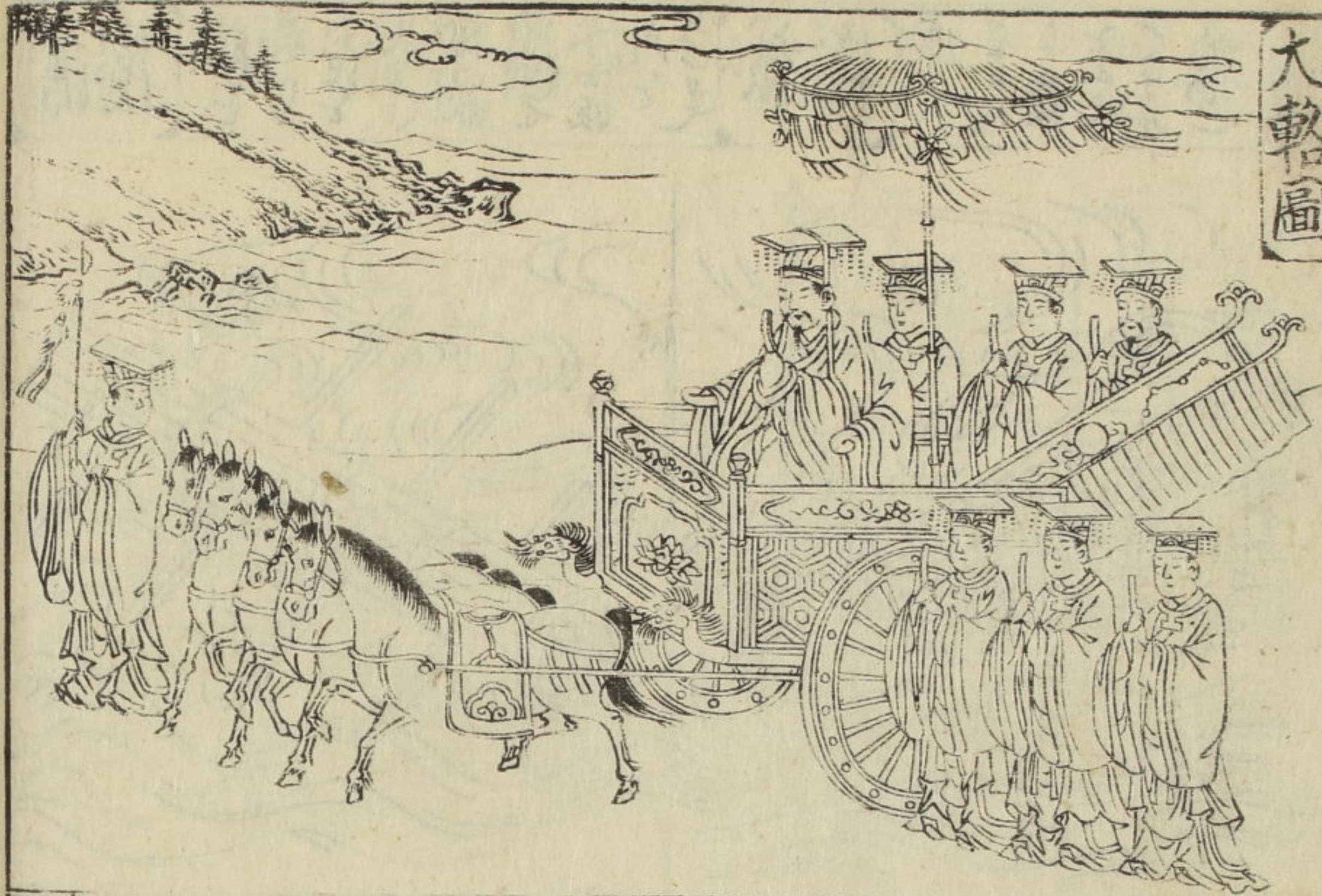
兩頭船 舟 運 舟 運 舟 運 舟 運 舟 運 舟 運 舟 運 舟 運



唐土前家區三行卷八

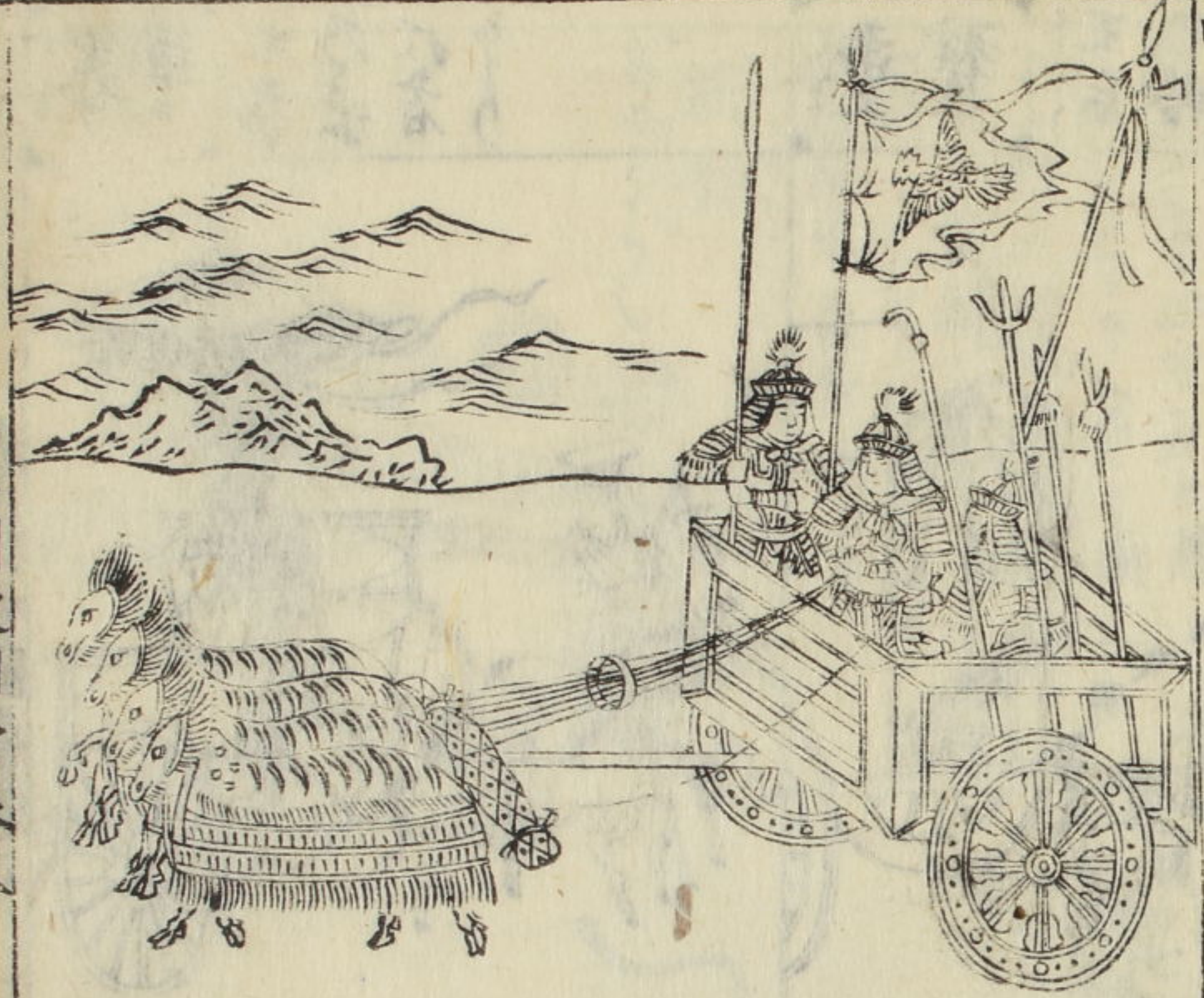
大聖才

大輦圖



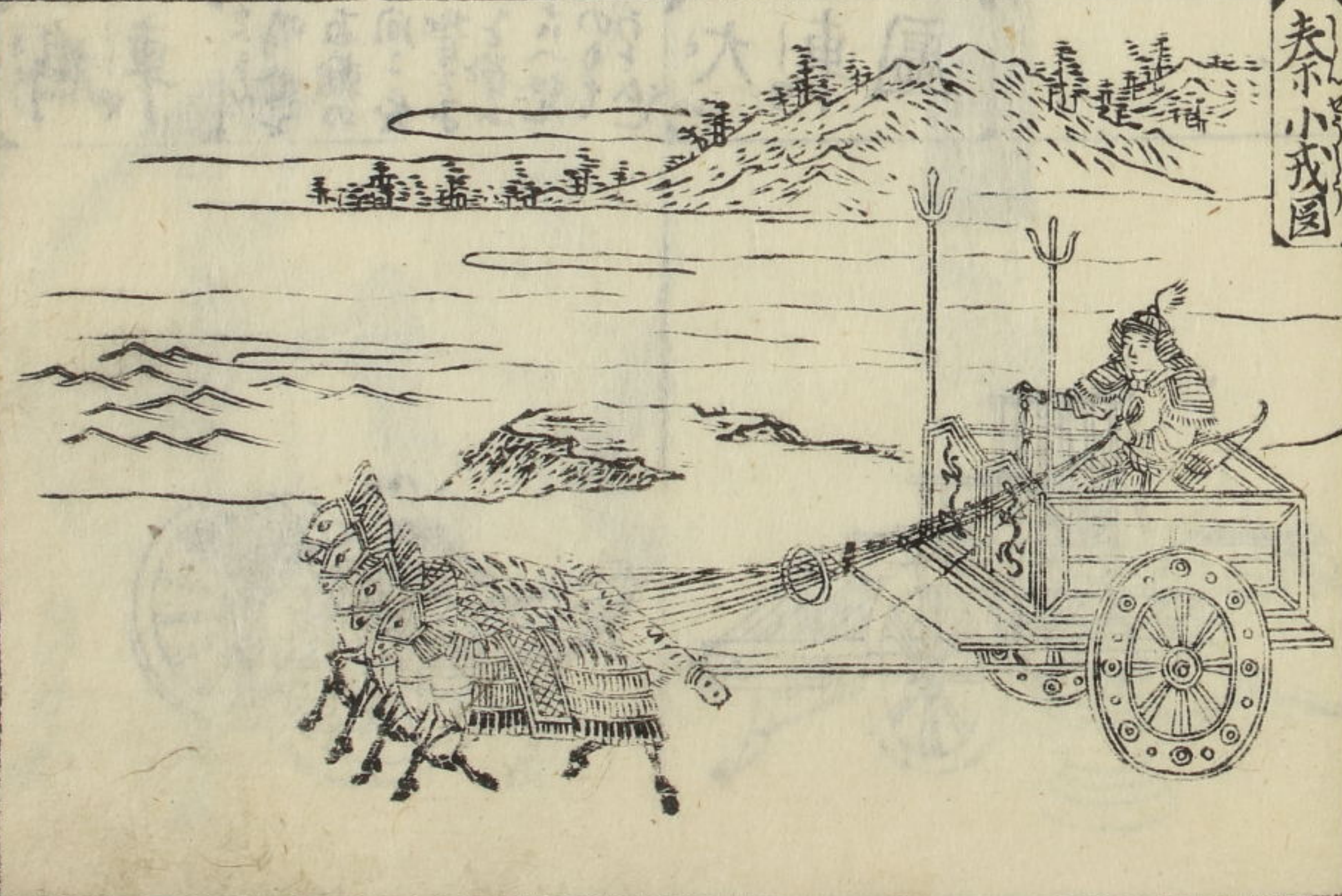
唐土古家圖三卷

周元戎圖



元戎十乘とりつゝ先行と
 軍の前鋒也甲士三人同く載左より
 右より中に衛一先戦車と載るこむし
 幟鳥隼の章と多し

秦小戎圖



樽龍

車乃

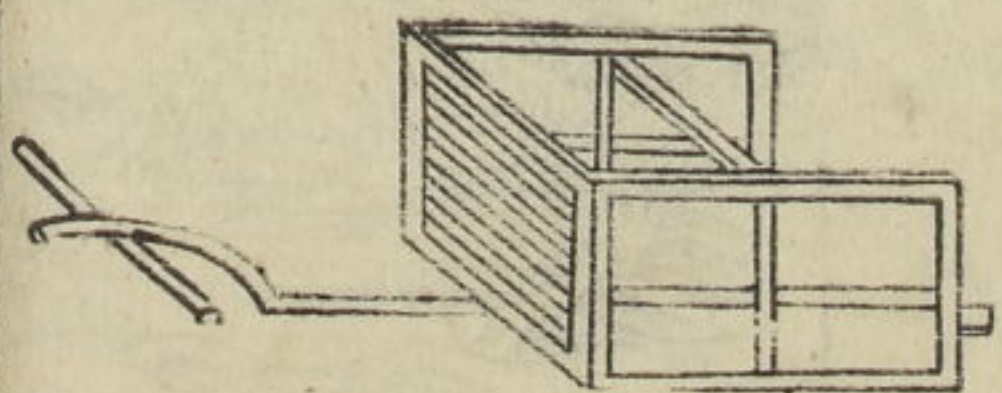
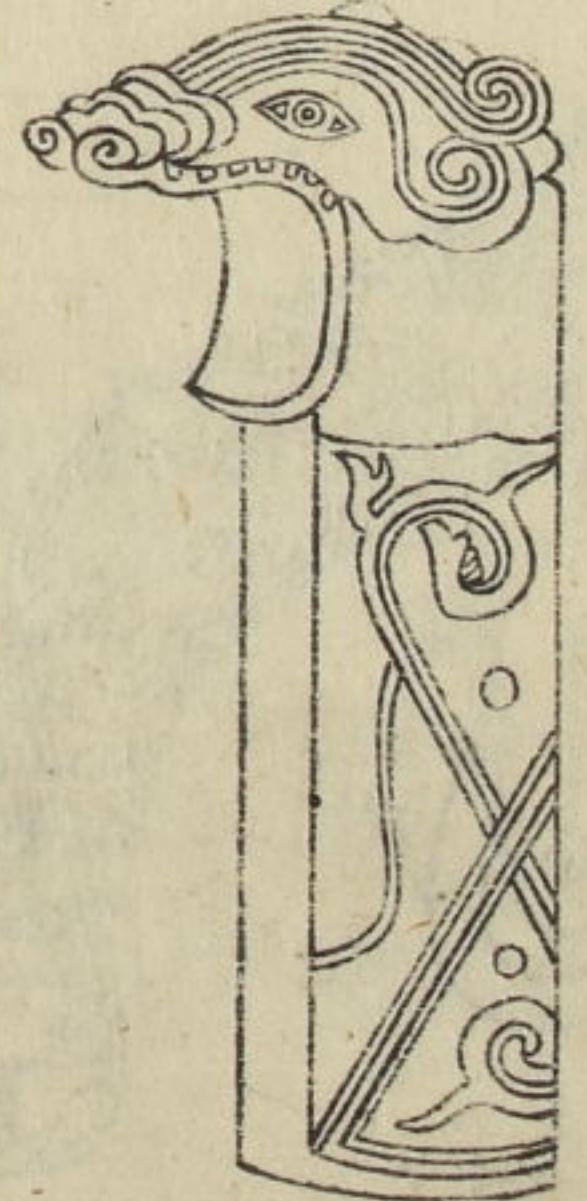
美輦

輦の飾

輦圖

車のお

乃曲木
 の上
 句衡と
 いふ輦
 と同

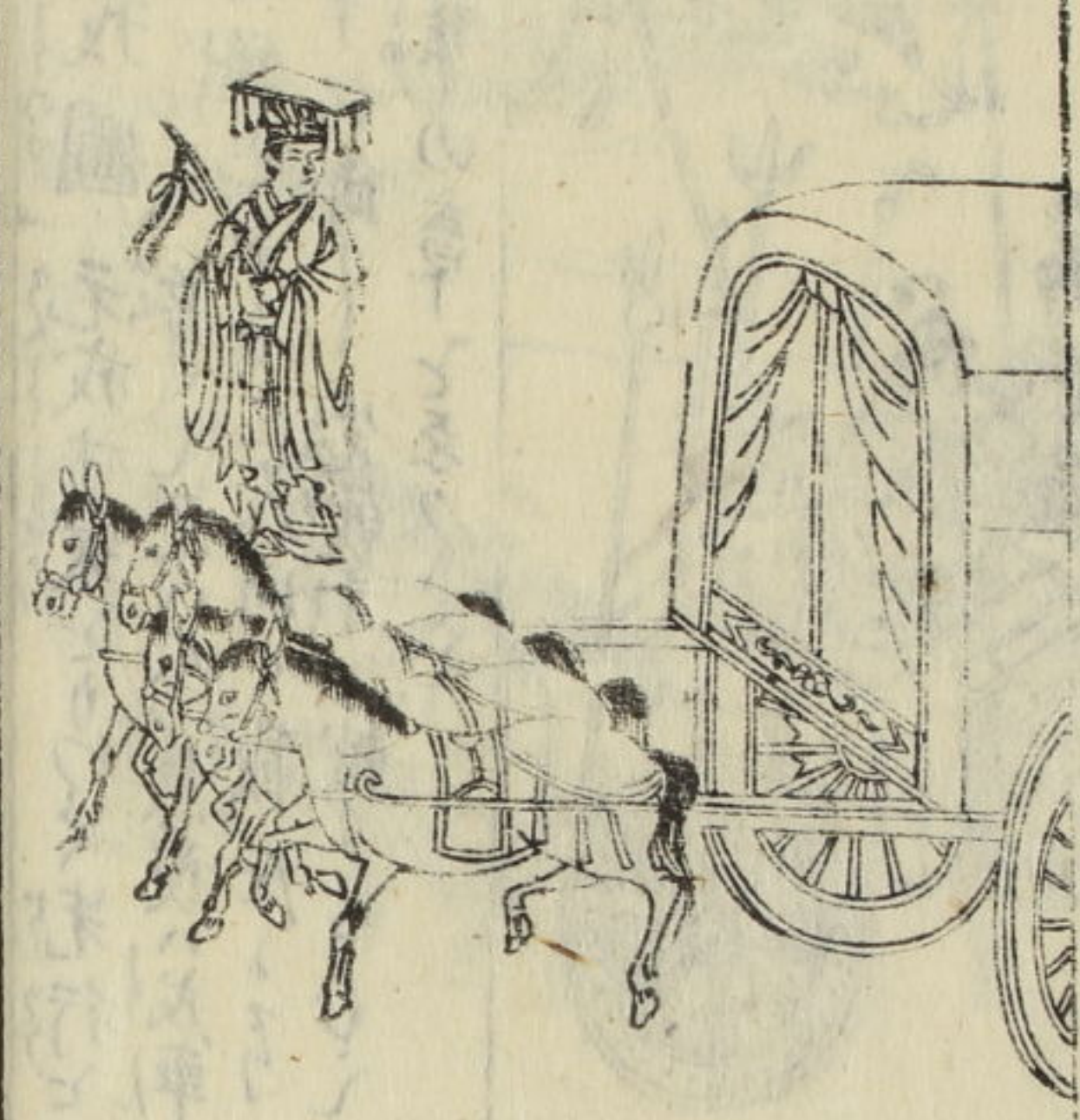


墨車

大夫の
乃不
れ者
なり

重翟

王后
の輅
なり

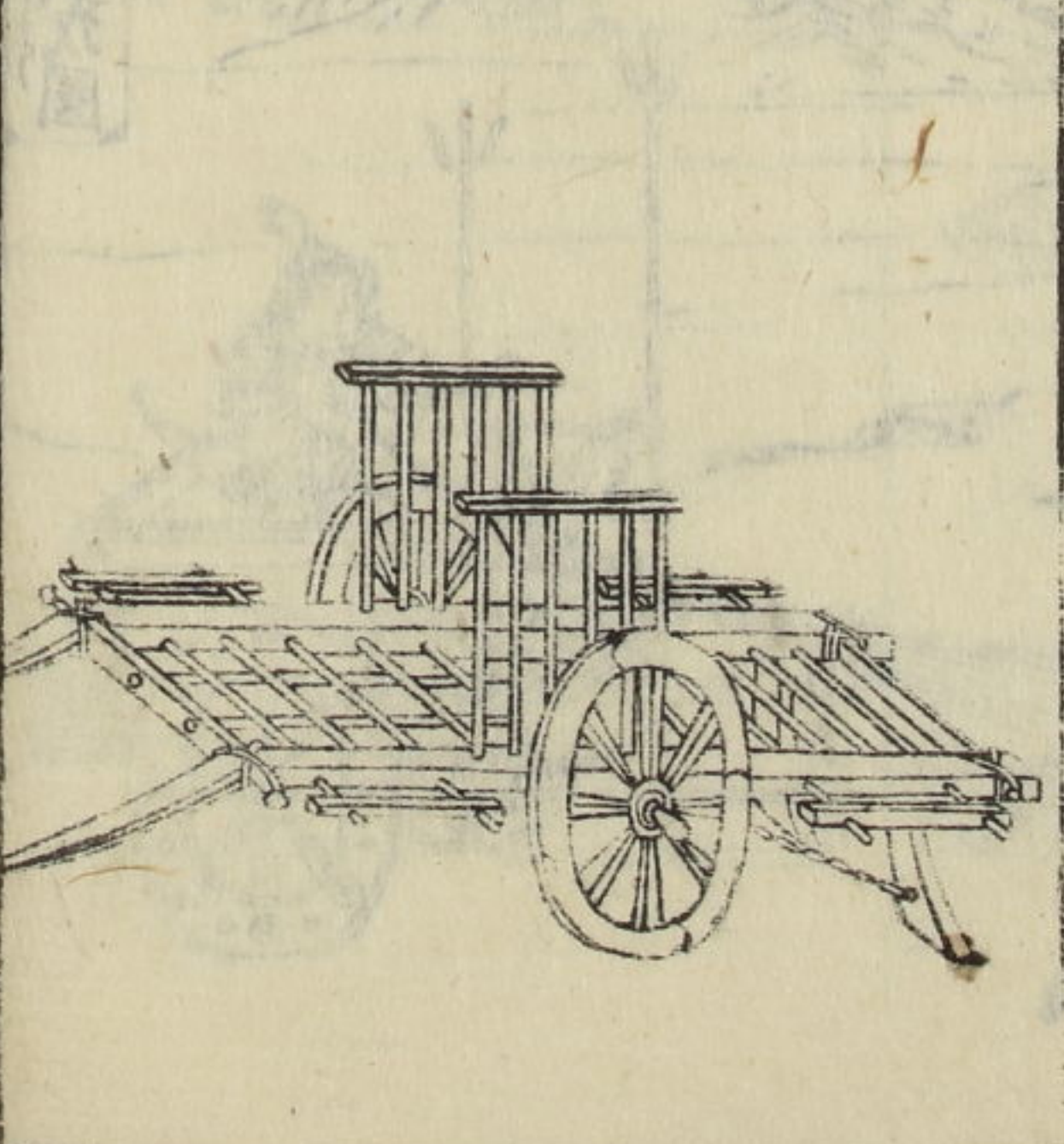
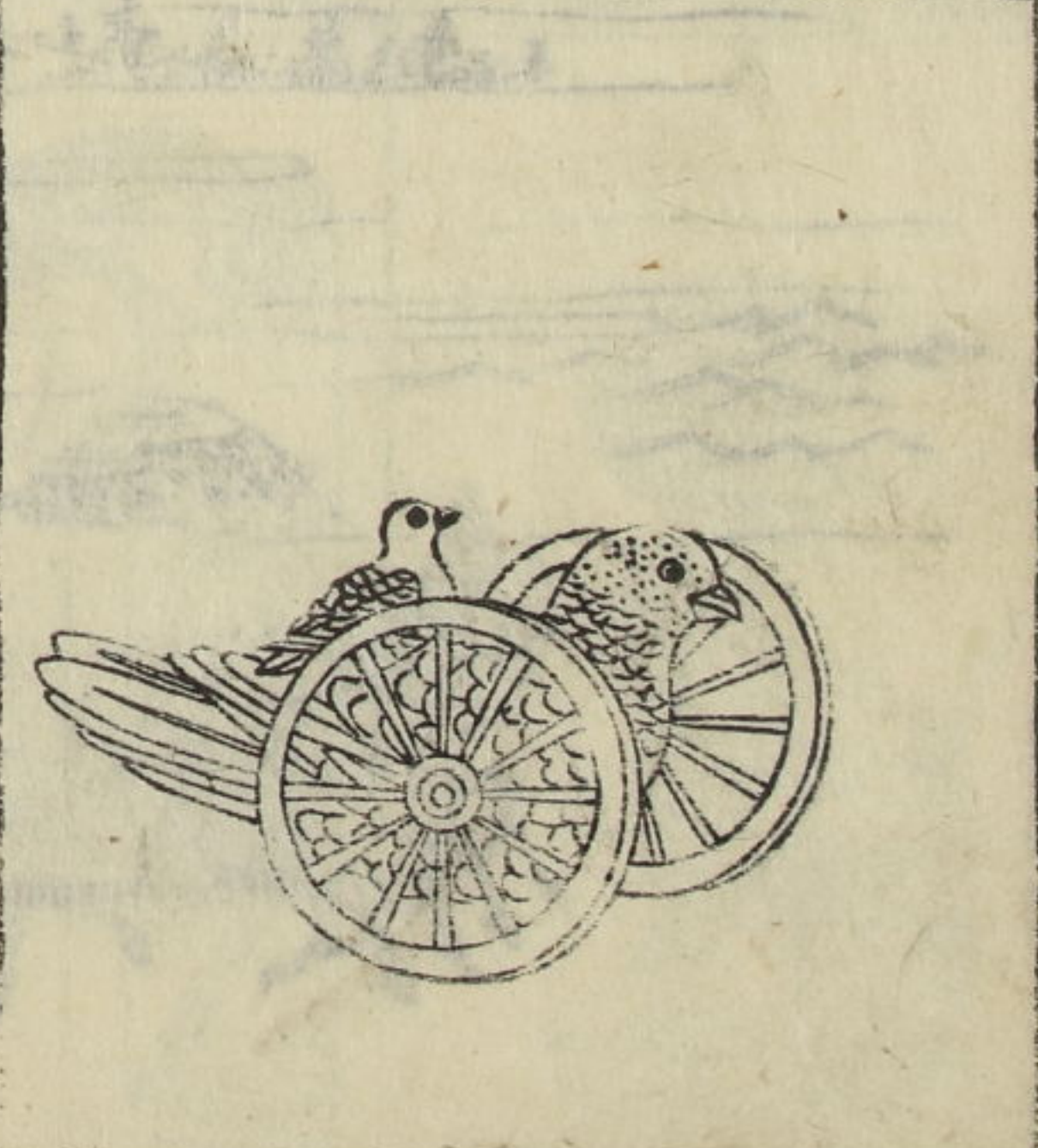


唐土訓家圖景卷八

鳴鳩車

鳴鳩の
車
同
背
子
と
見
る
に
似
て
る

大車圖

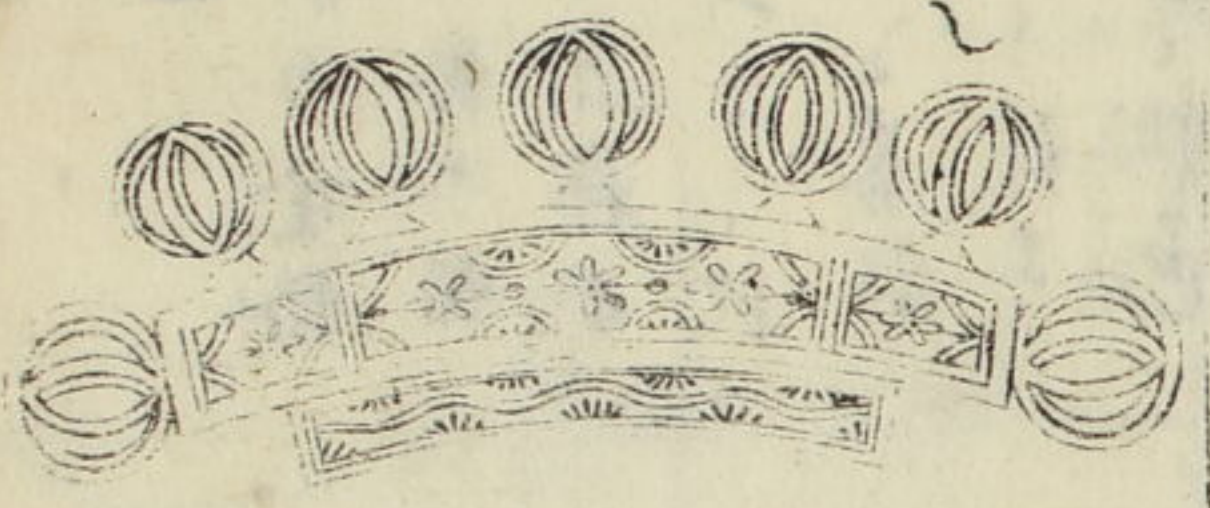


指南車圖

高一尺四寸二分下長七寸四分轄木口圓徑三寸七分倍官と木口を左に圓徑三寸四分と縁人形をつらき常は南とされ足底圓を敷と通し旋轉するに軸虫尤上とよむる今注曰指南車黃帝作と

旅鈴

馬のしるし

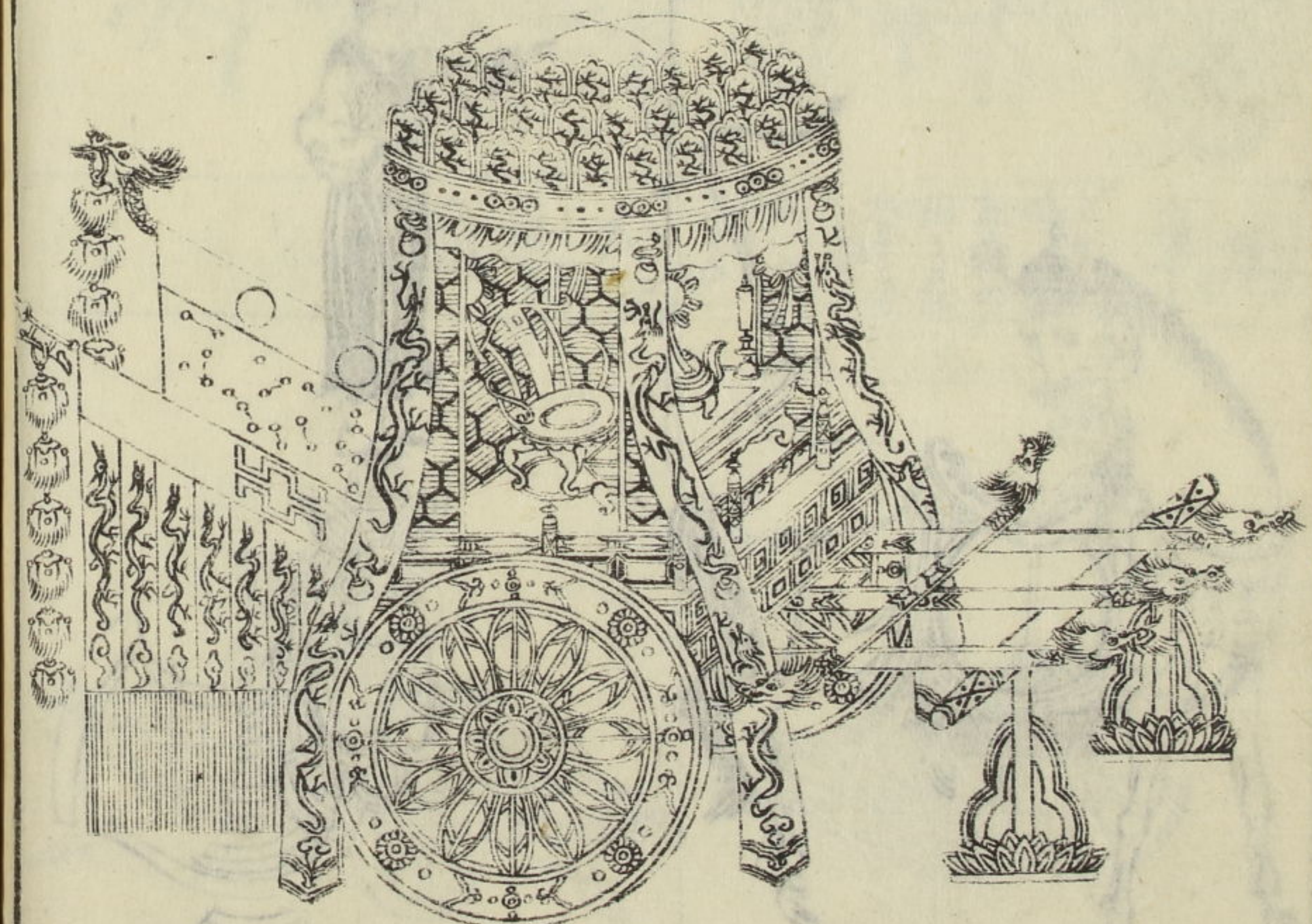


馬の上諸器圖



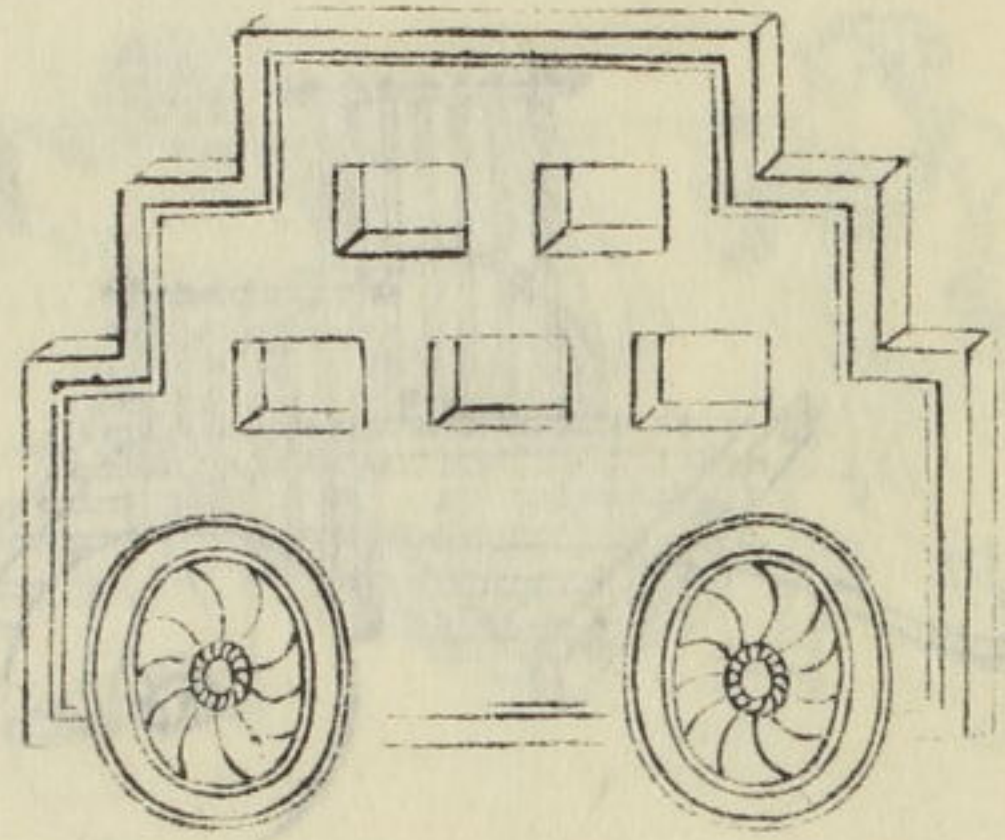
玉輅

輅に五あり金輅
象輅草輅木輅
と合せて五輅也
そのいとつとに
あけておと畧に
五輅より飛を
同一くさ彩色
のあつたれ計
なり



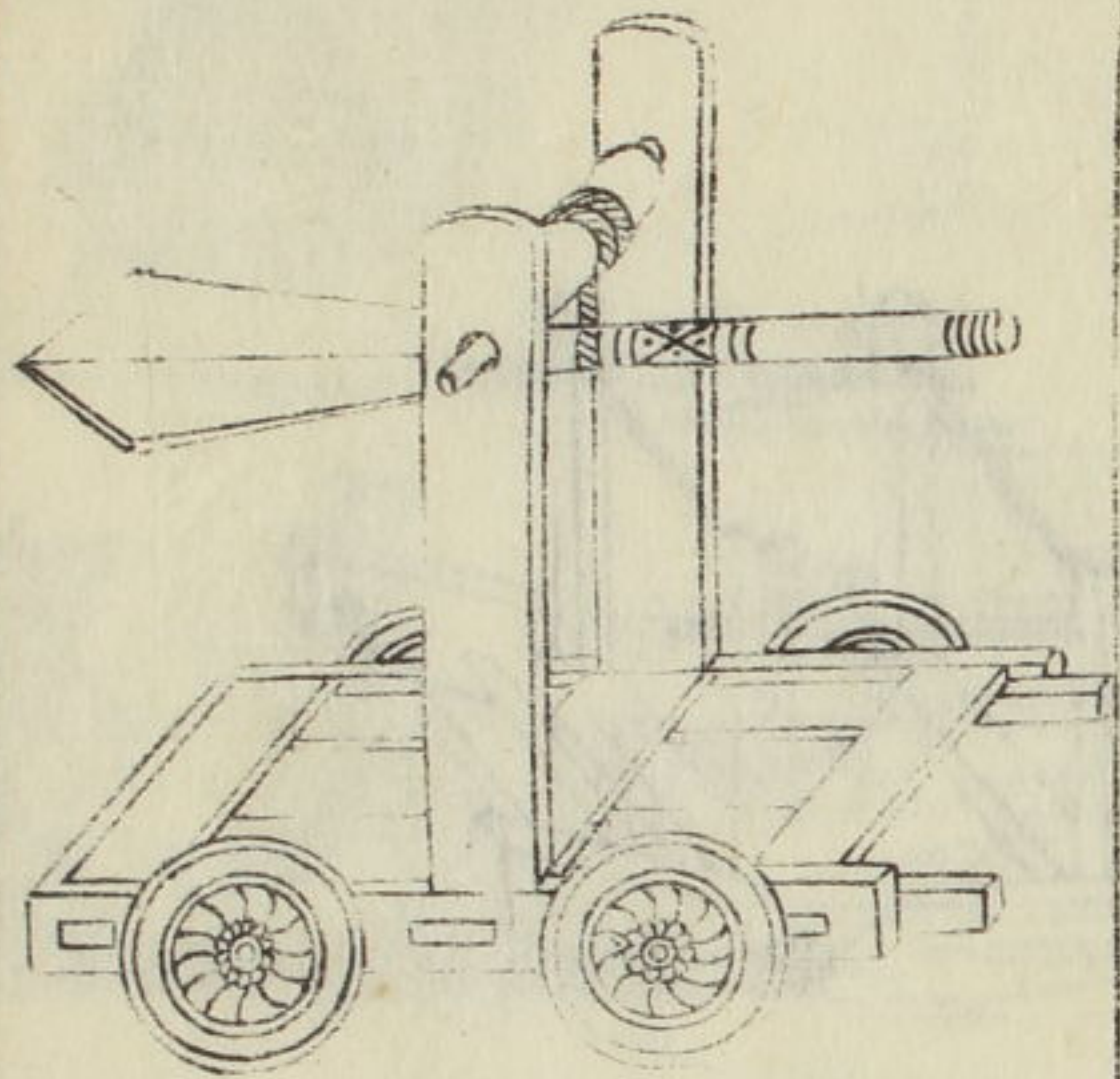
木女頭

形制女
牆の如く
板を以て
つら高六
尺濶五尺
下兩輪と
施軸



撞車

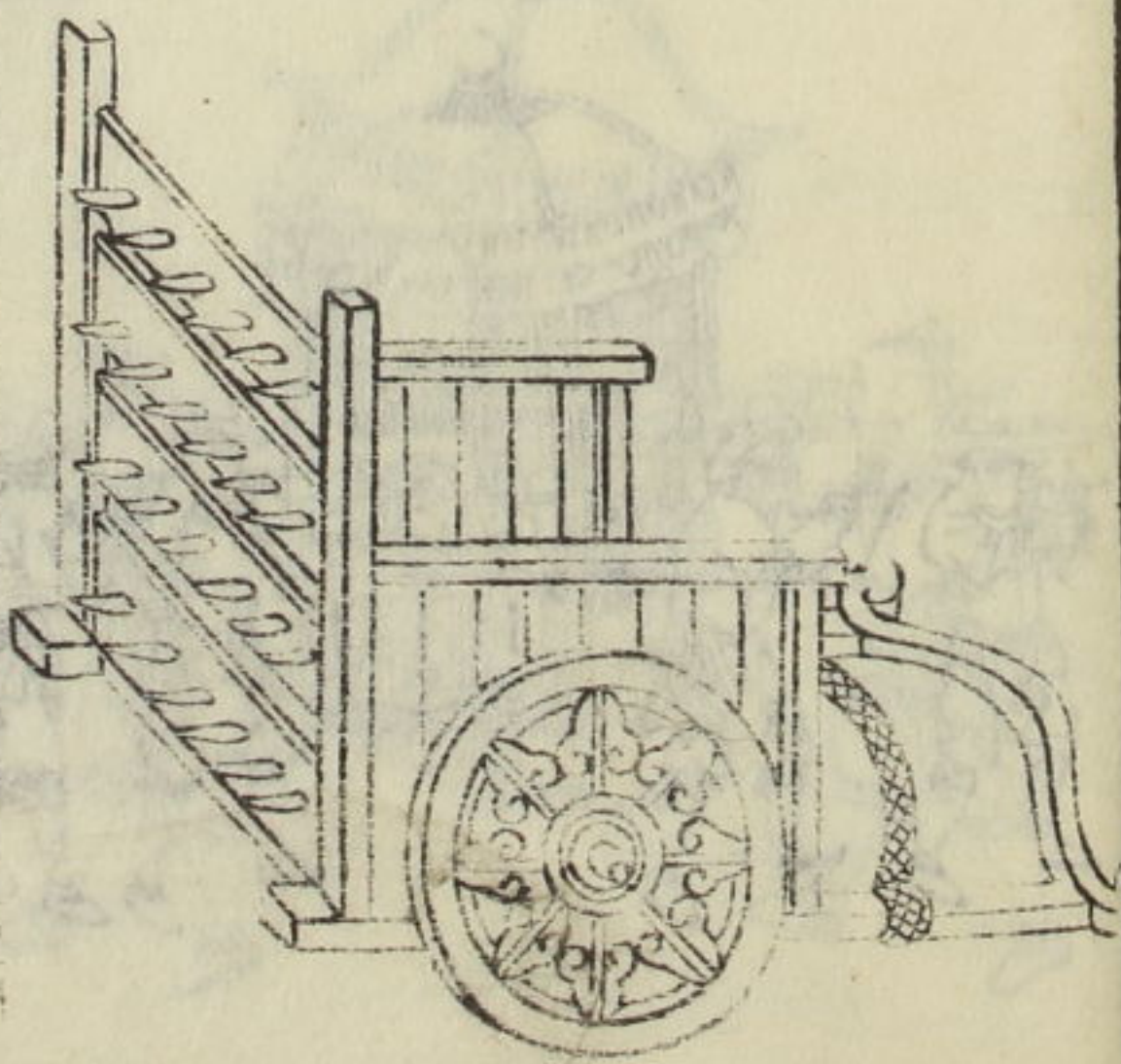
制衣の波
權の如く
城と比く
者なり



拐木二條と施に城攻り用こ

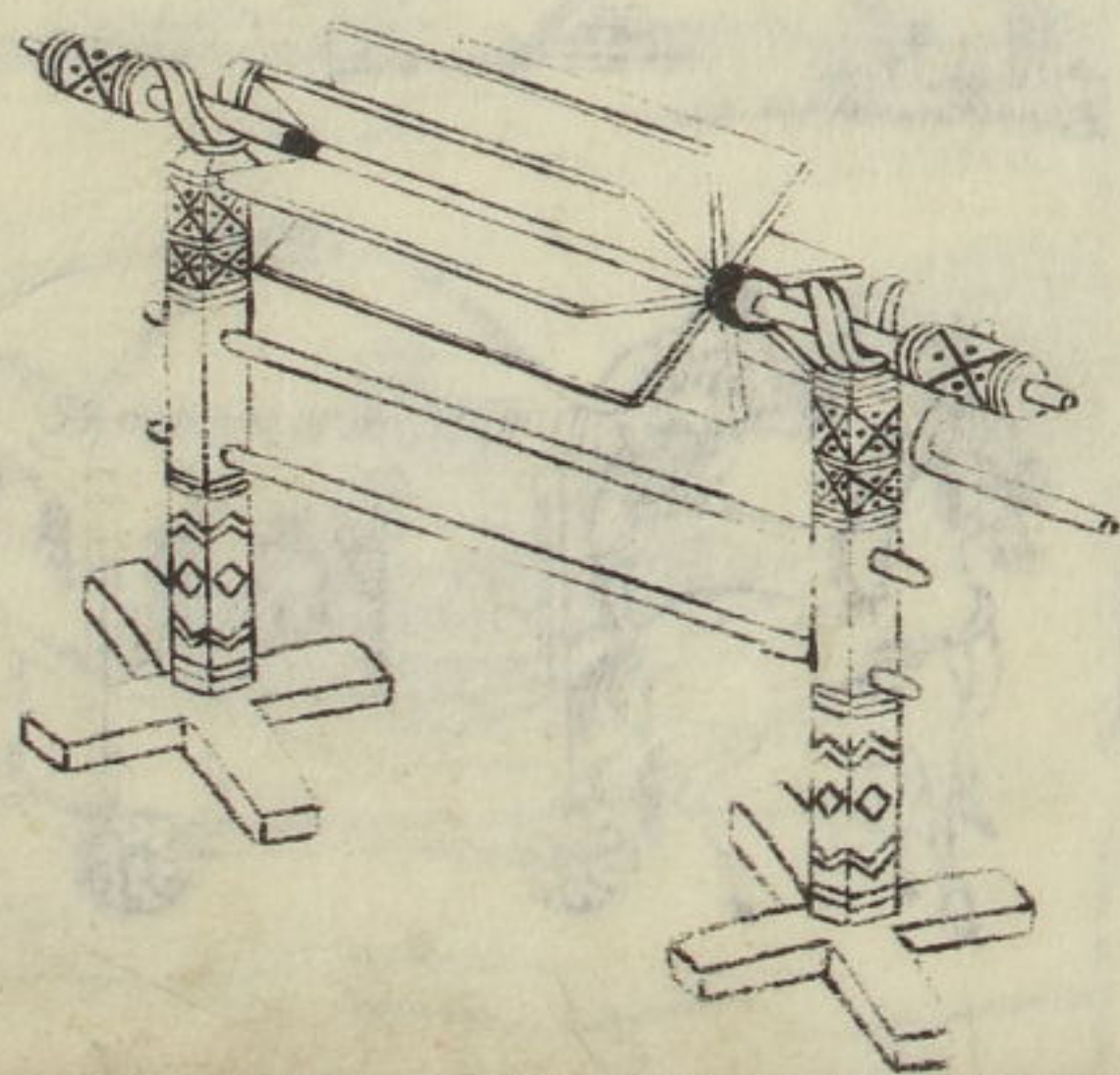
刀車

城門と
せめやふ
らう
時
よて塞
なり



風扇車

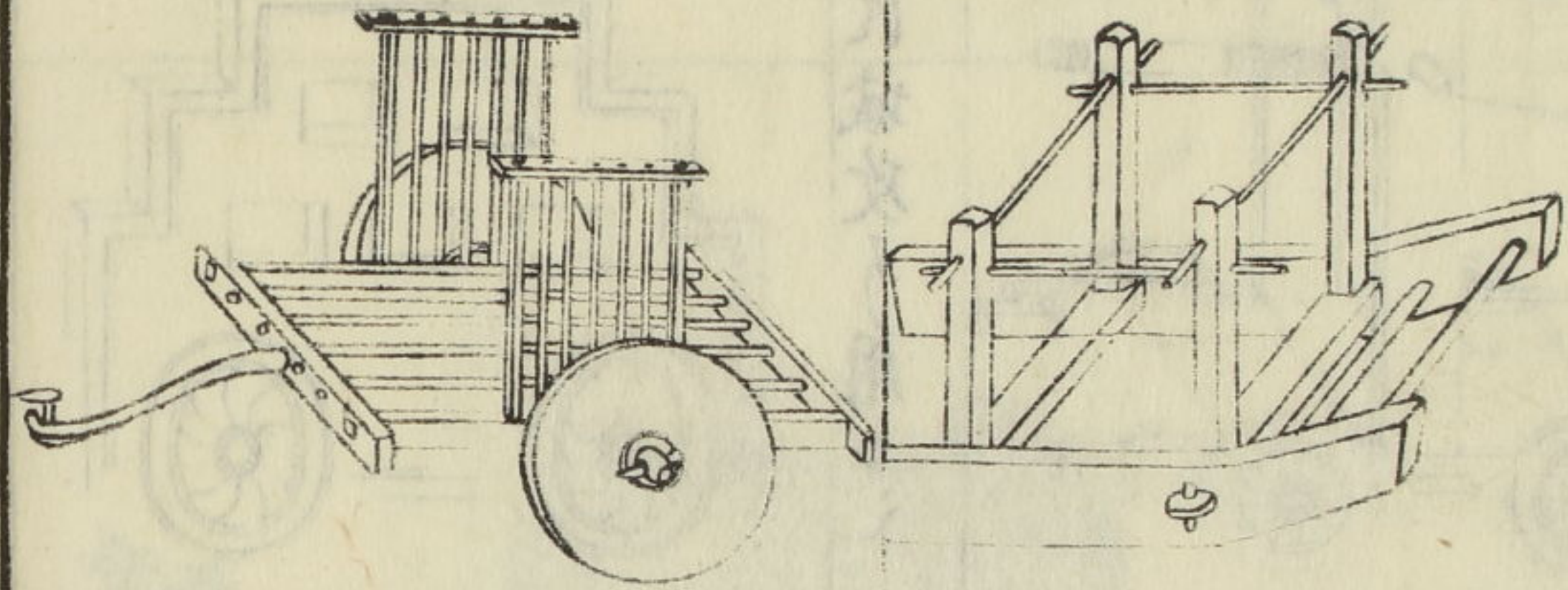
比の平
よて敵に
あひ石と
能く火
球とひら
器なり



唐土前家國序卷六

拖車

穢三人
高二尺
農具
との風
雨二り
めりな
とて後
全り
下澤車
泥漚れ
中とく
に轉
やけさ
なり

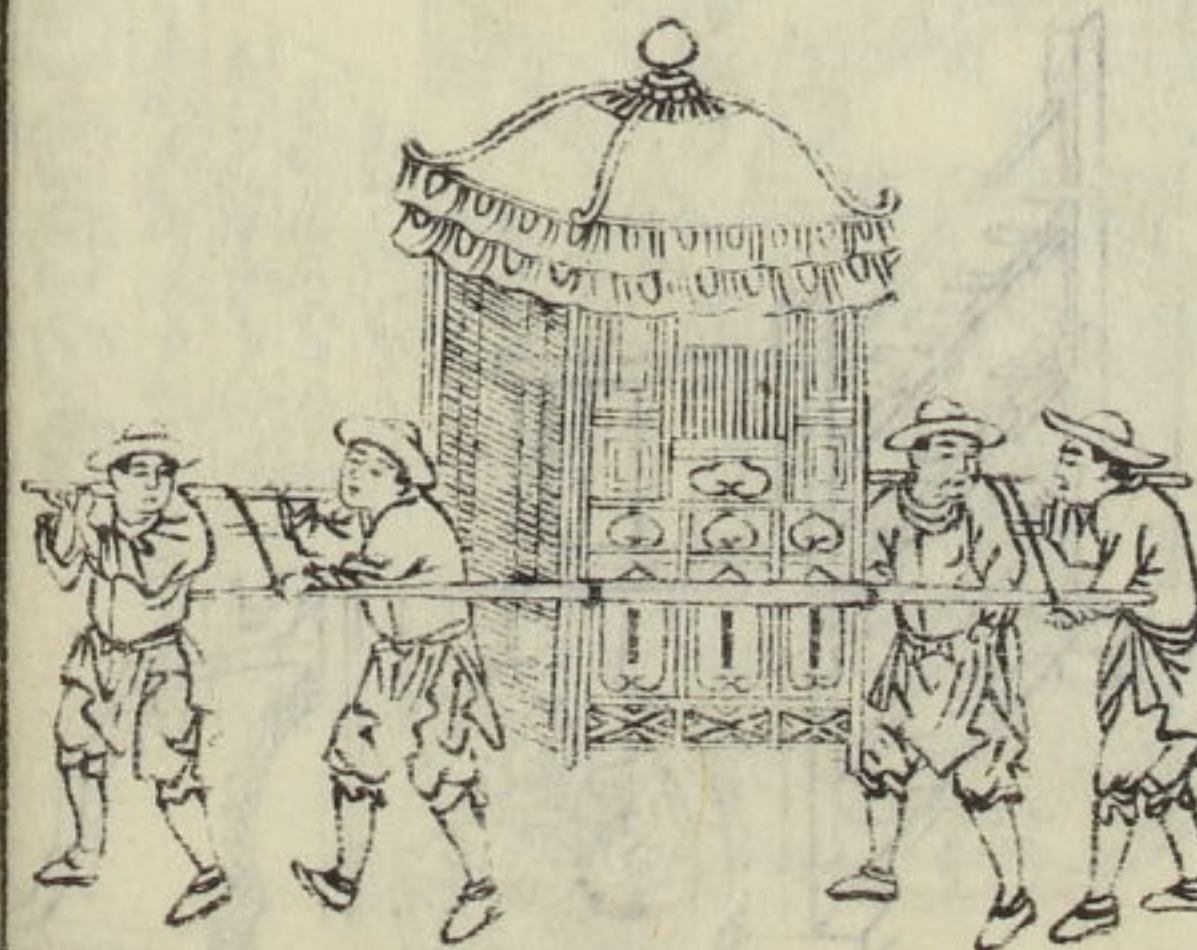


安車制



大轎

文職
三品以
上の家
所し



籃輿



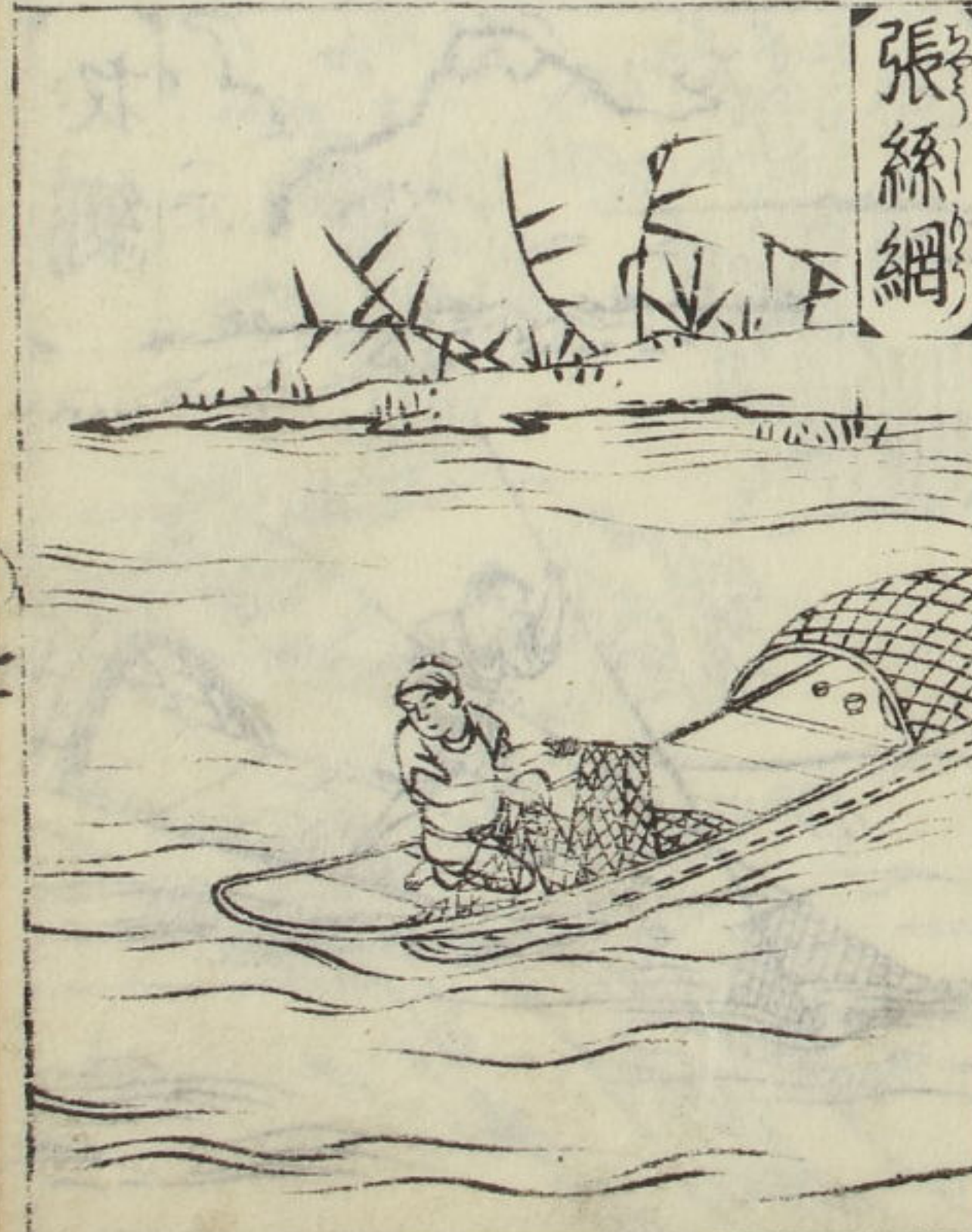
肩輿



注網



張絲網





釣散魚



釣蟹



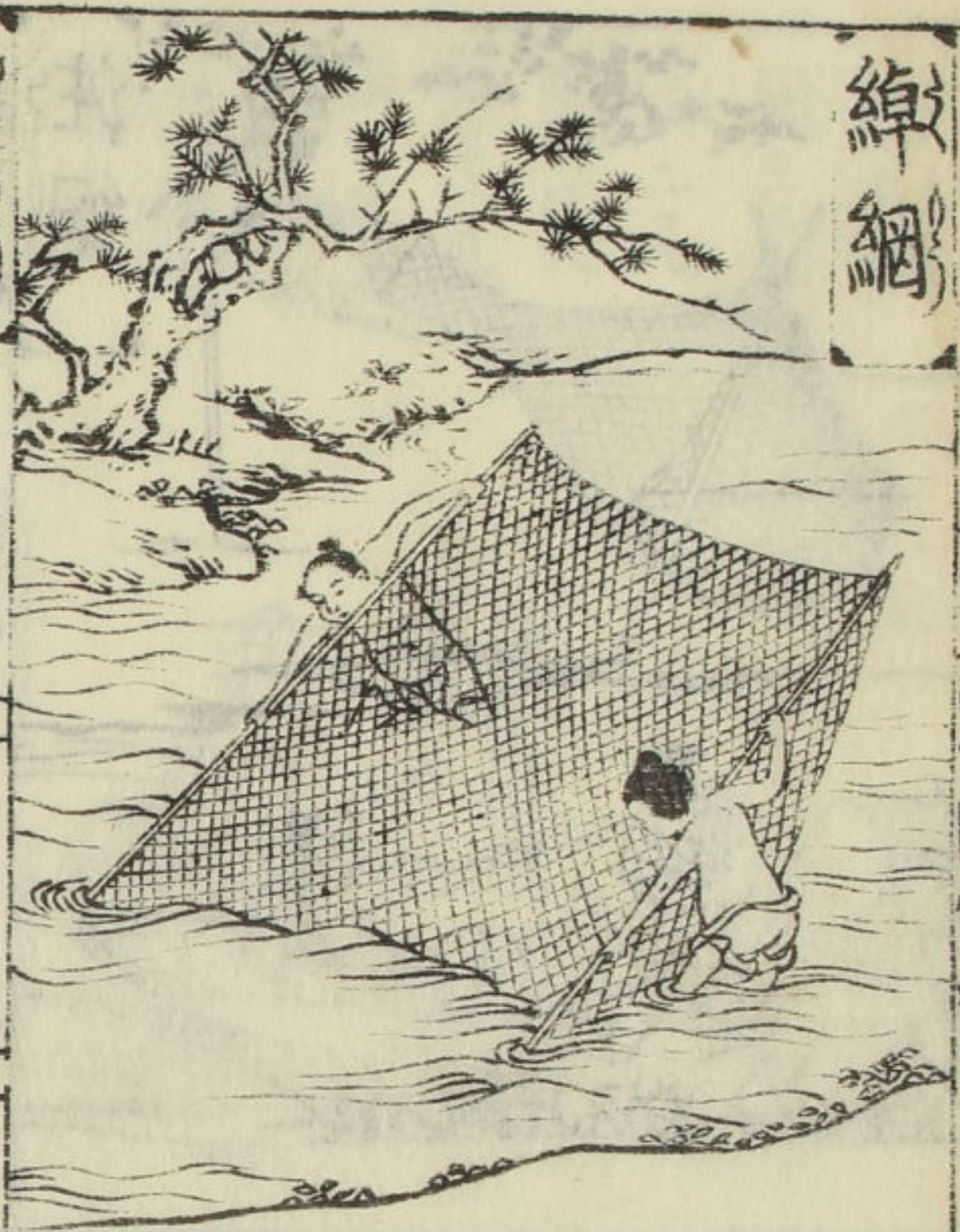
推鹿



捕蛙



船網



緞網



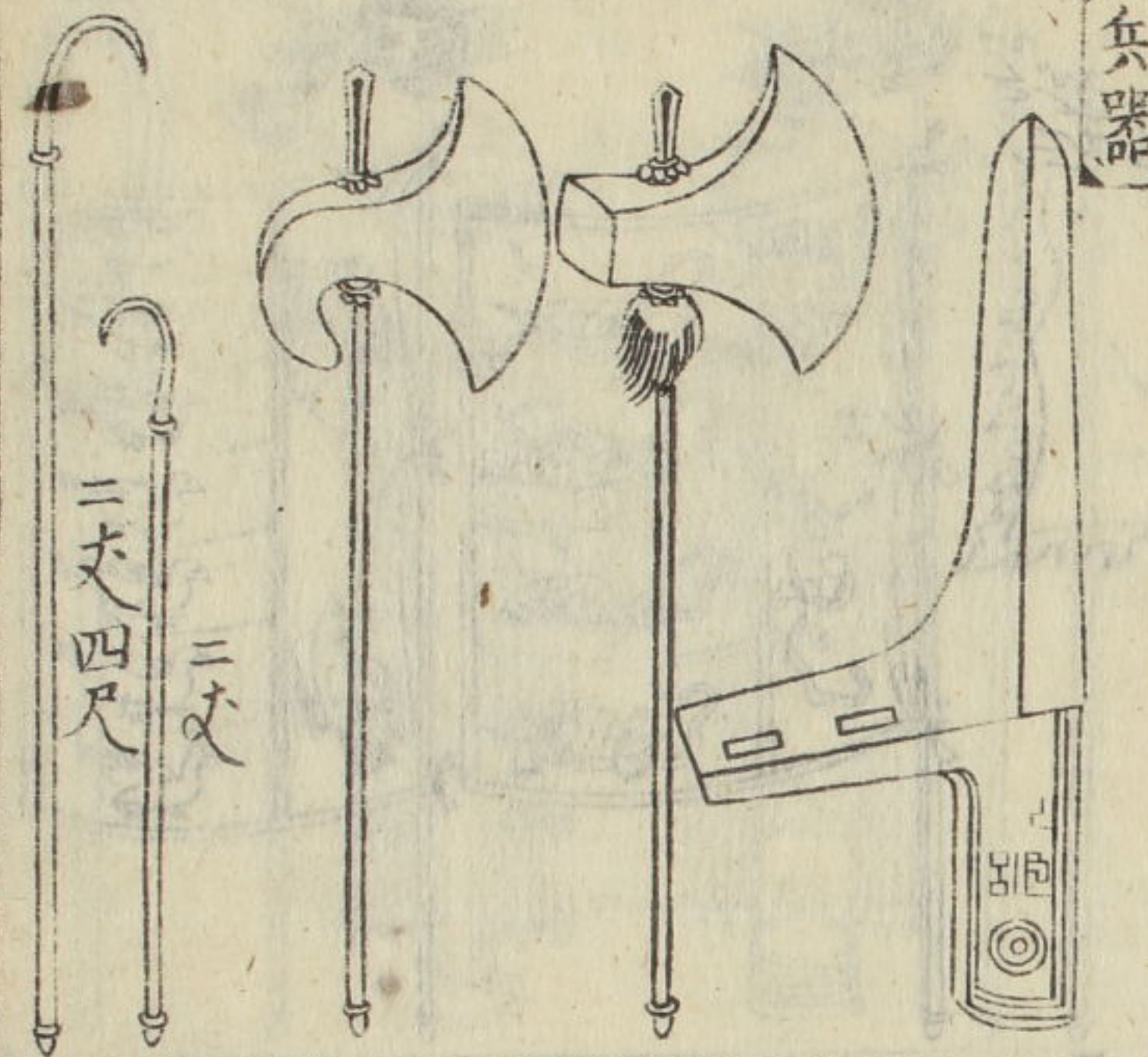
坐簞



板網

唐土訓家圖卷六

蟹 薪 古 威 揚 茵 夷

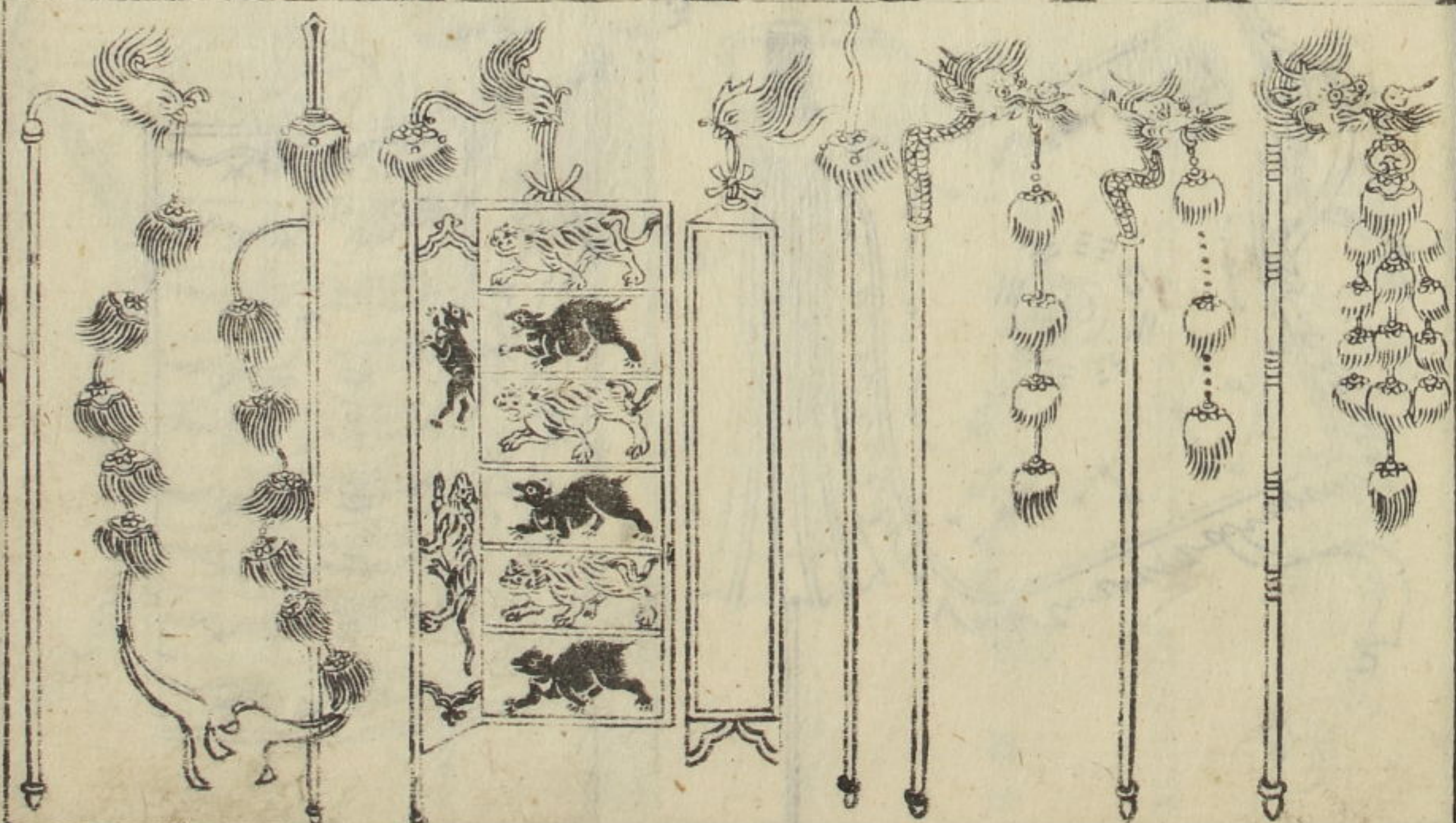


兵器



魚叉

羽 花 旗 物 旗 旗 獲

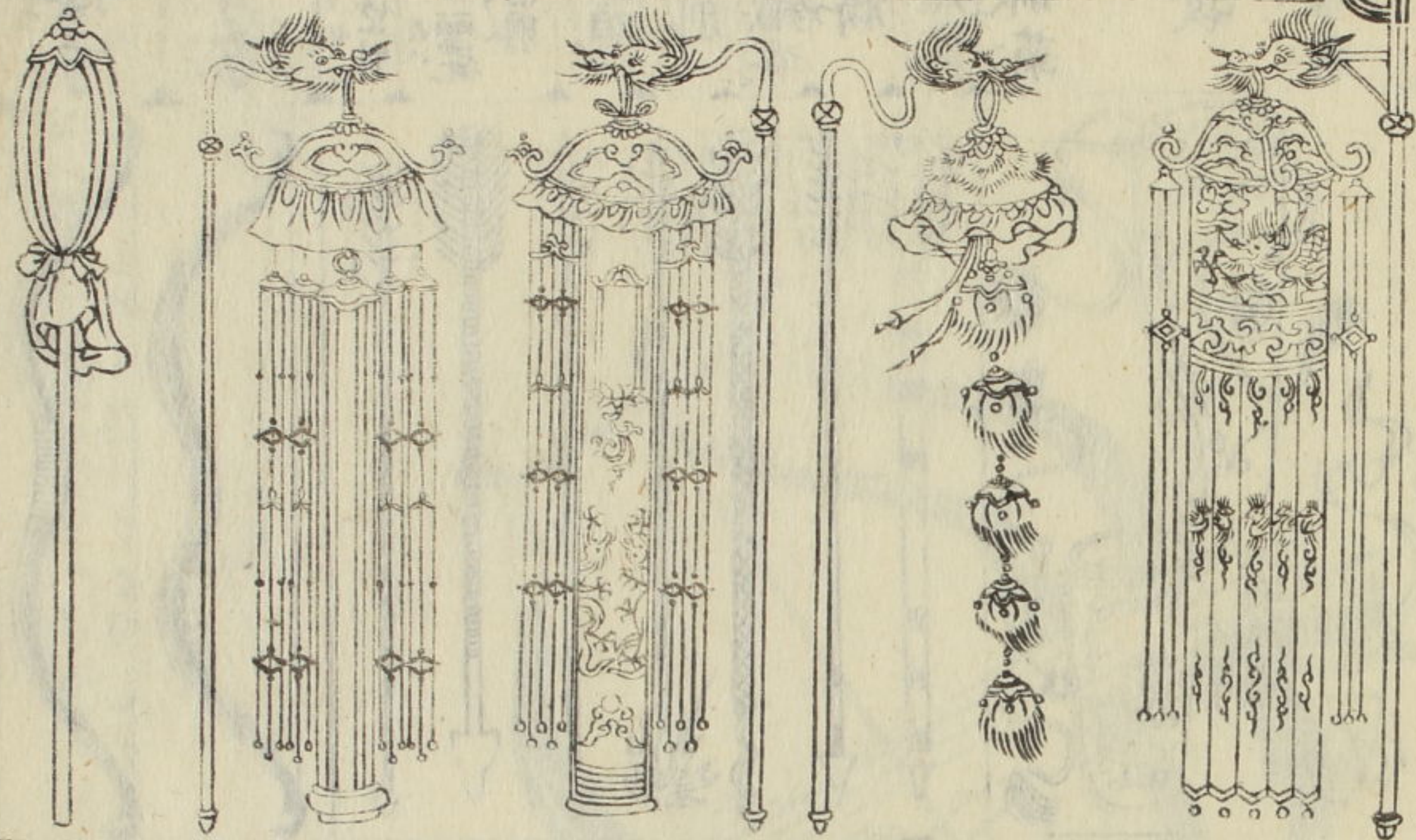


打船

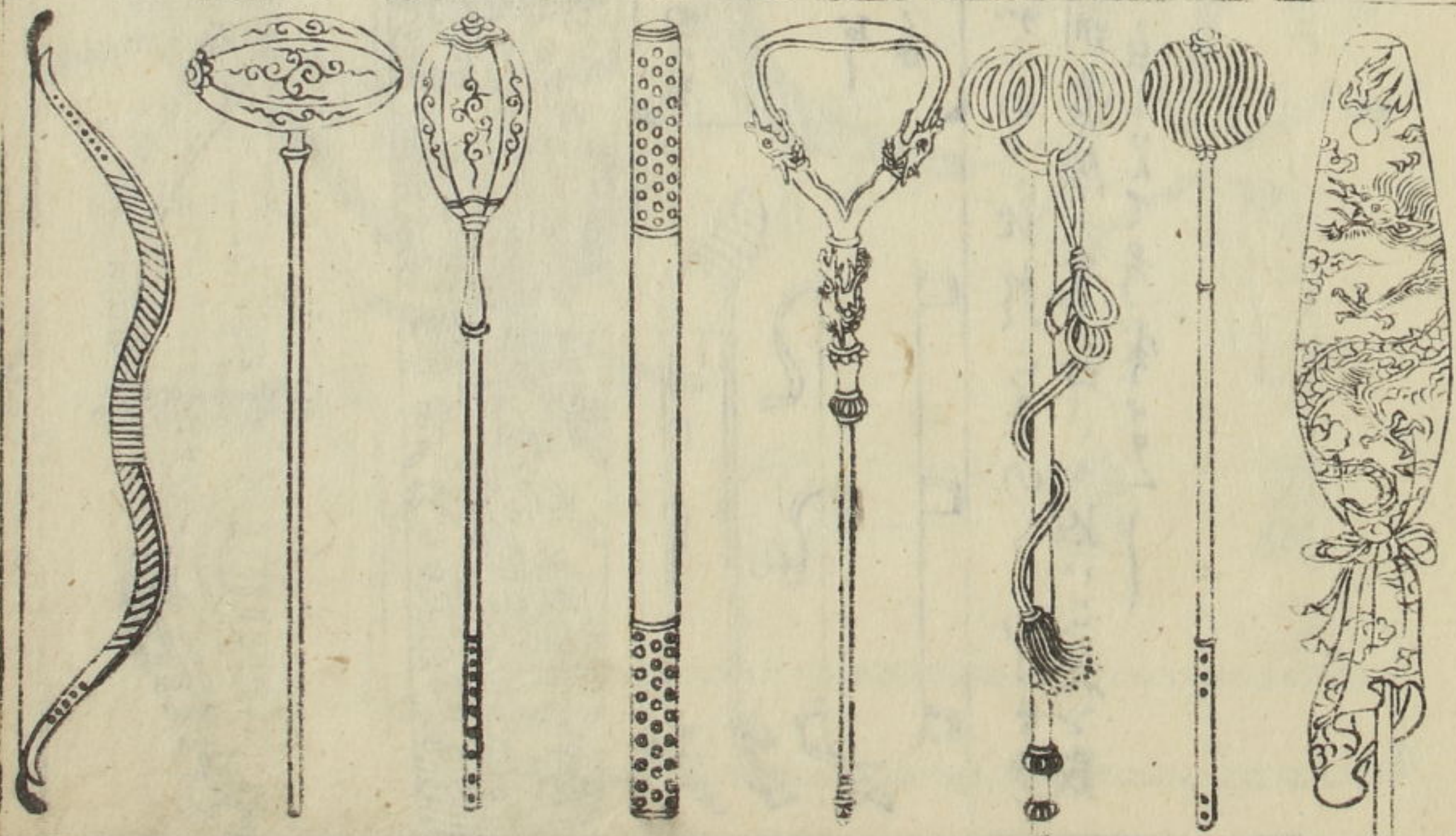
南大洲 漢圖 卷八

南大洲 漢圖 卷八

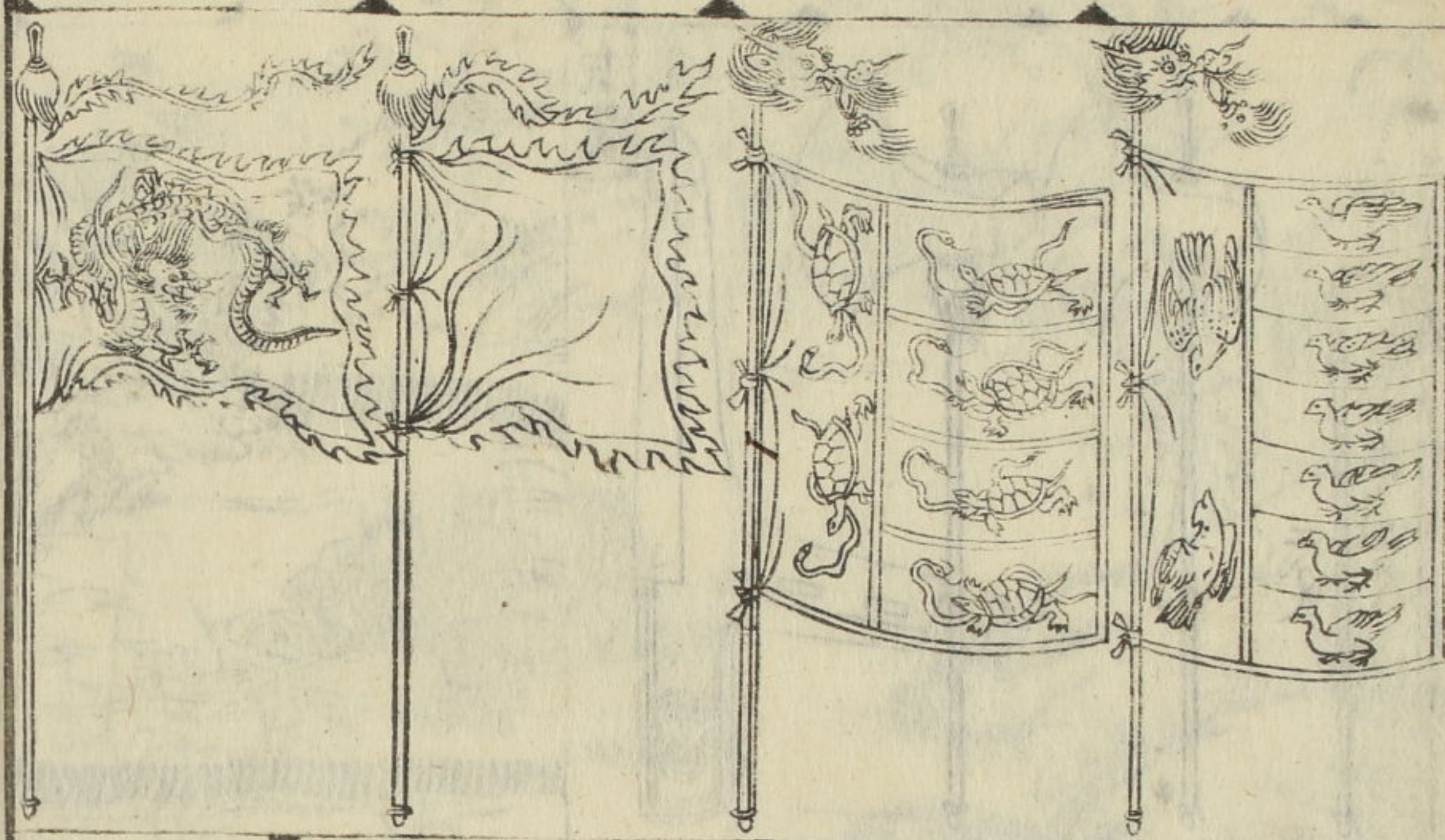
節響 幡引絳 麾黃 幢 髦繡



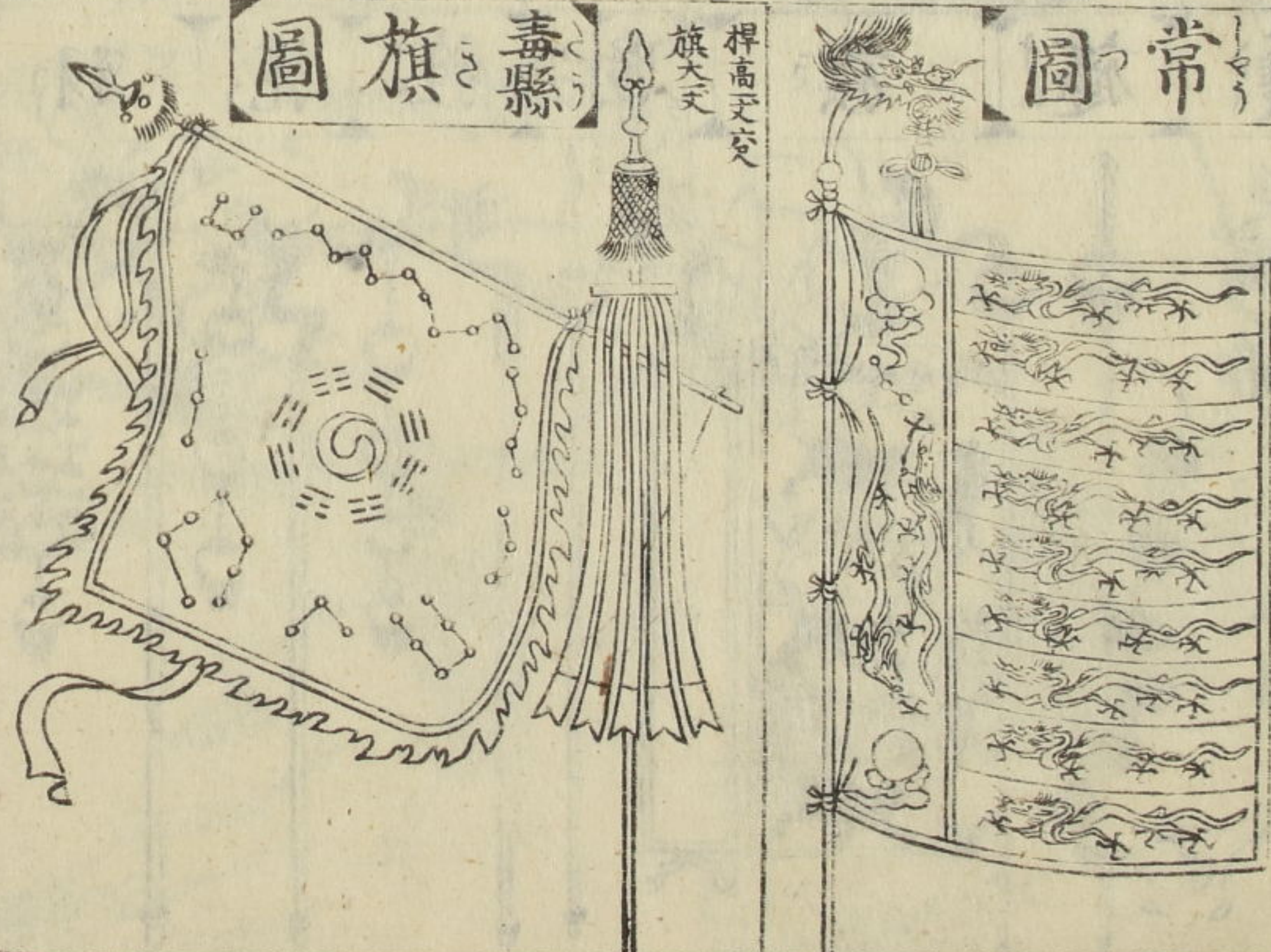
引權黃 瓜臥瓜 五金 棒鑿杖鑿 朵骨節 鉞



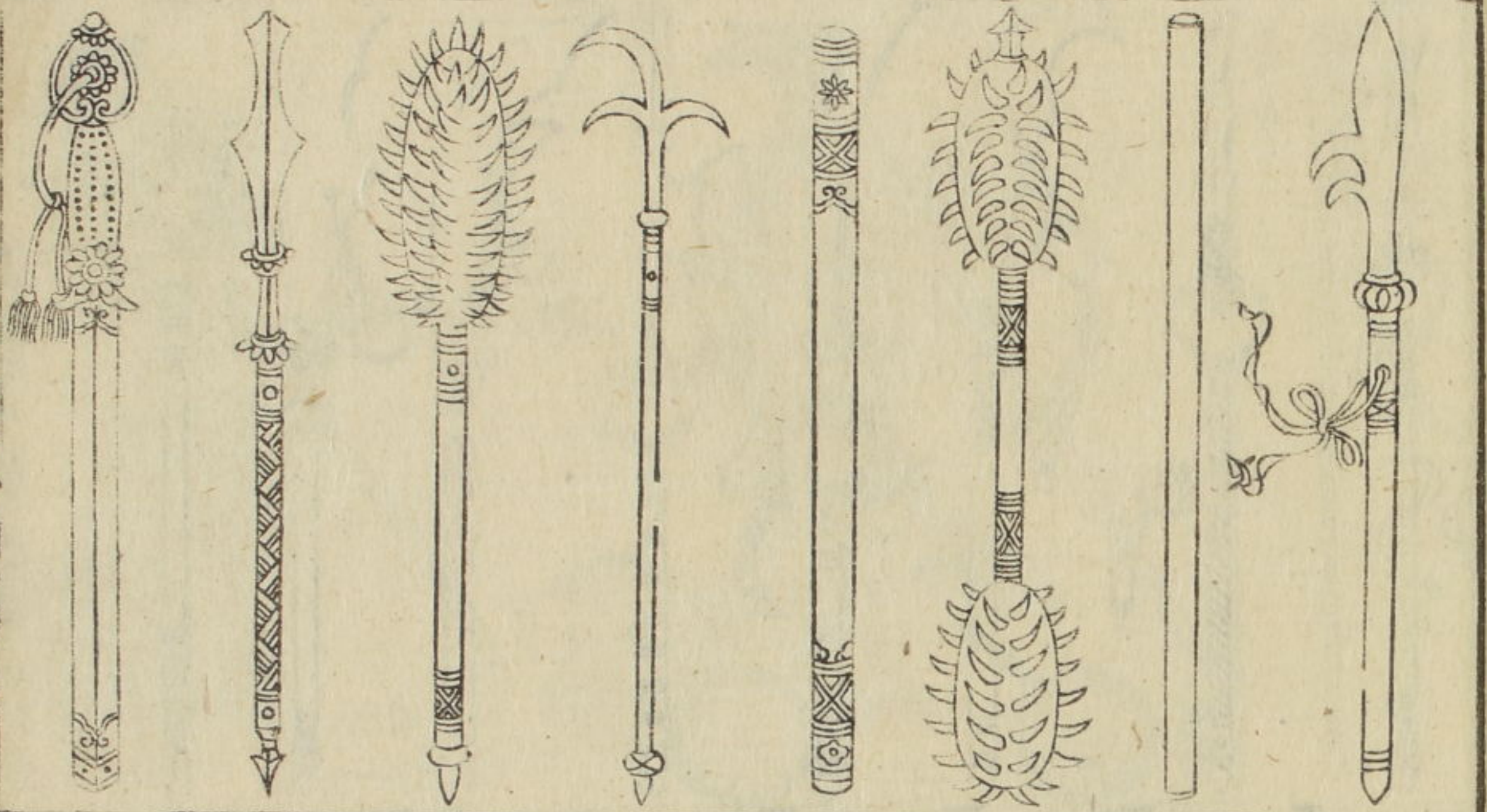
圖旂 圖旃 圖旒 圖旗



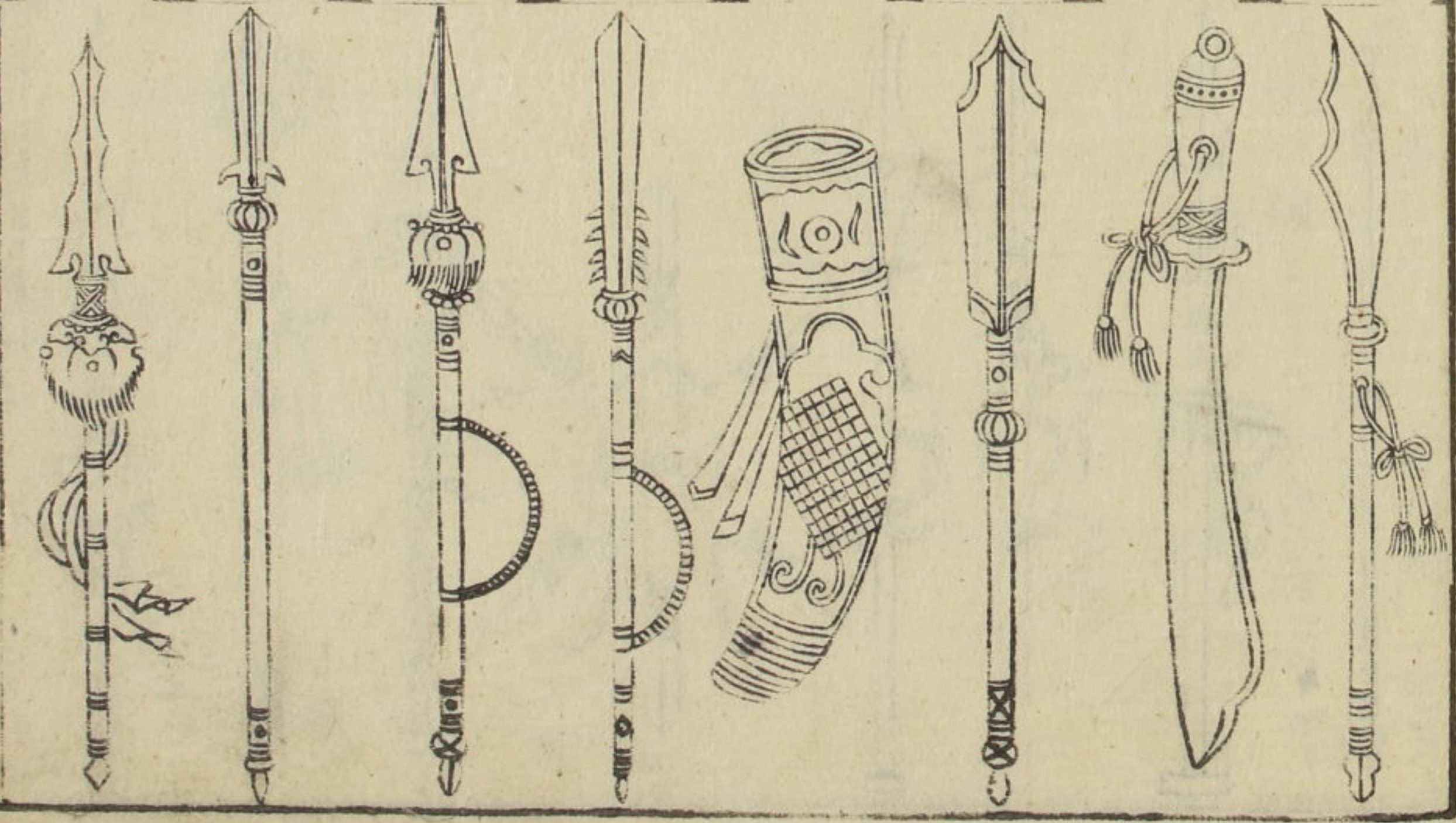
圖旗壽縣 旗大文 桿高天交 圖常大



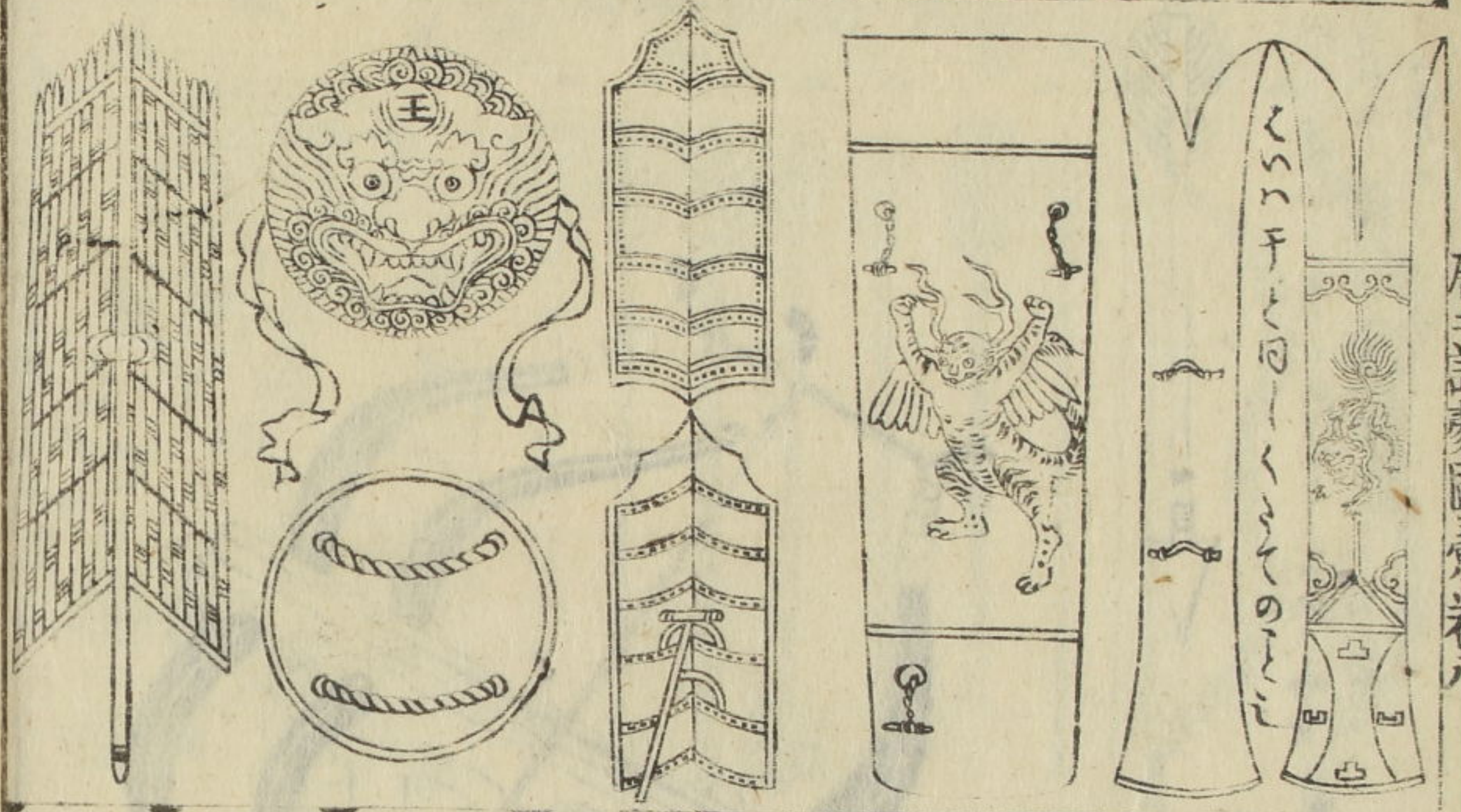
鉞ツルギ 突ツク槍ヤ 馬ウマ 棒バウ牙キバ根ネ 棒バウ子コ楓カエデ 棒バウ白シロ 棒バウ折オリ 棒バウ提チ 棒バウ鉤カケ



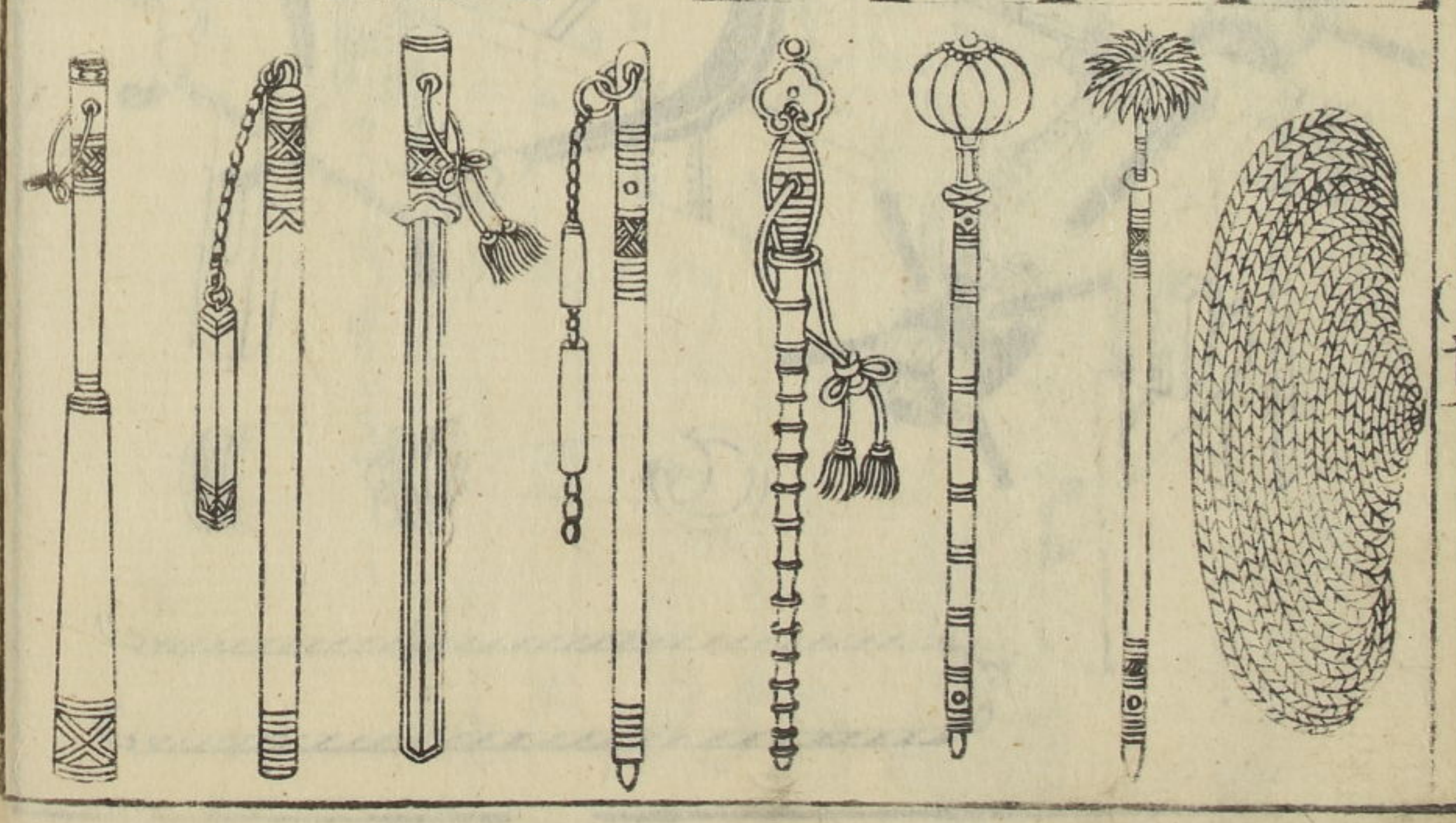
鎗ヤ 素ス木キ 鎗ヤ 環ツブ子コ 鎗ヤ 單ツブ鉤カケ 鎗ヤ 雙ツブ鉤カケ 切キ刀ヤ 鞆ツブ 小コ棒バウ 小コ手テ 小コ筆ヒツ



牌タビ起ツク作ヤ 牌タビ旁ナリ兵ヘイ騎キ 牌タビ旁ナリ 牌タビ換カヘ式シキ 牌タビ尾ビ燕エン



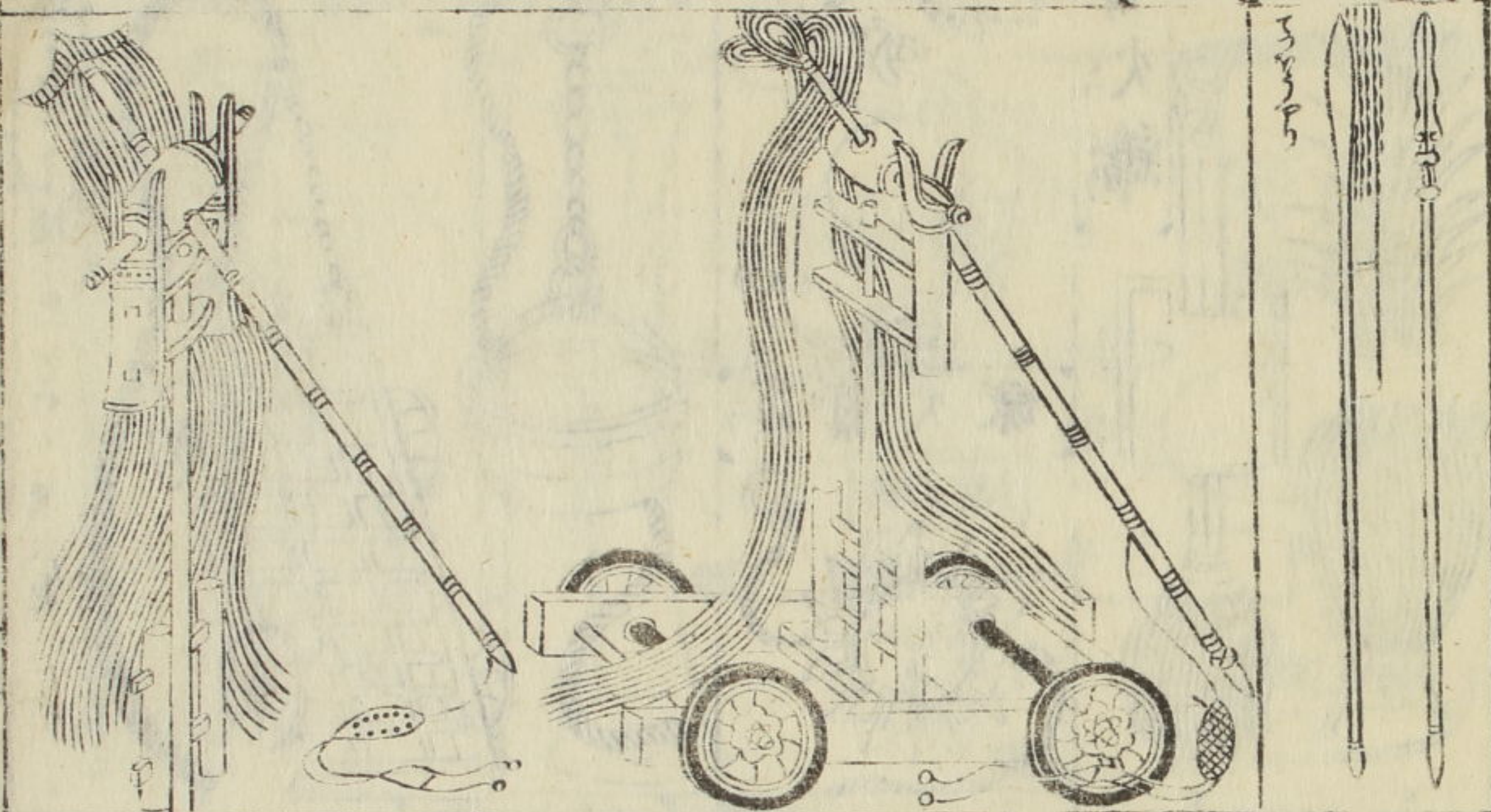
棒バウ 詞コト藁カ 夾ツク棒バウ 鐵テツ 簡カン 鐵テツ 護ゴ 鐵テツ 雙ツブ 鞭ヒツ 鐵テツ 頭カブ 藁カ 藁カ 藁カ 牌タビ 藤フジ



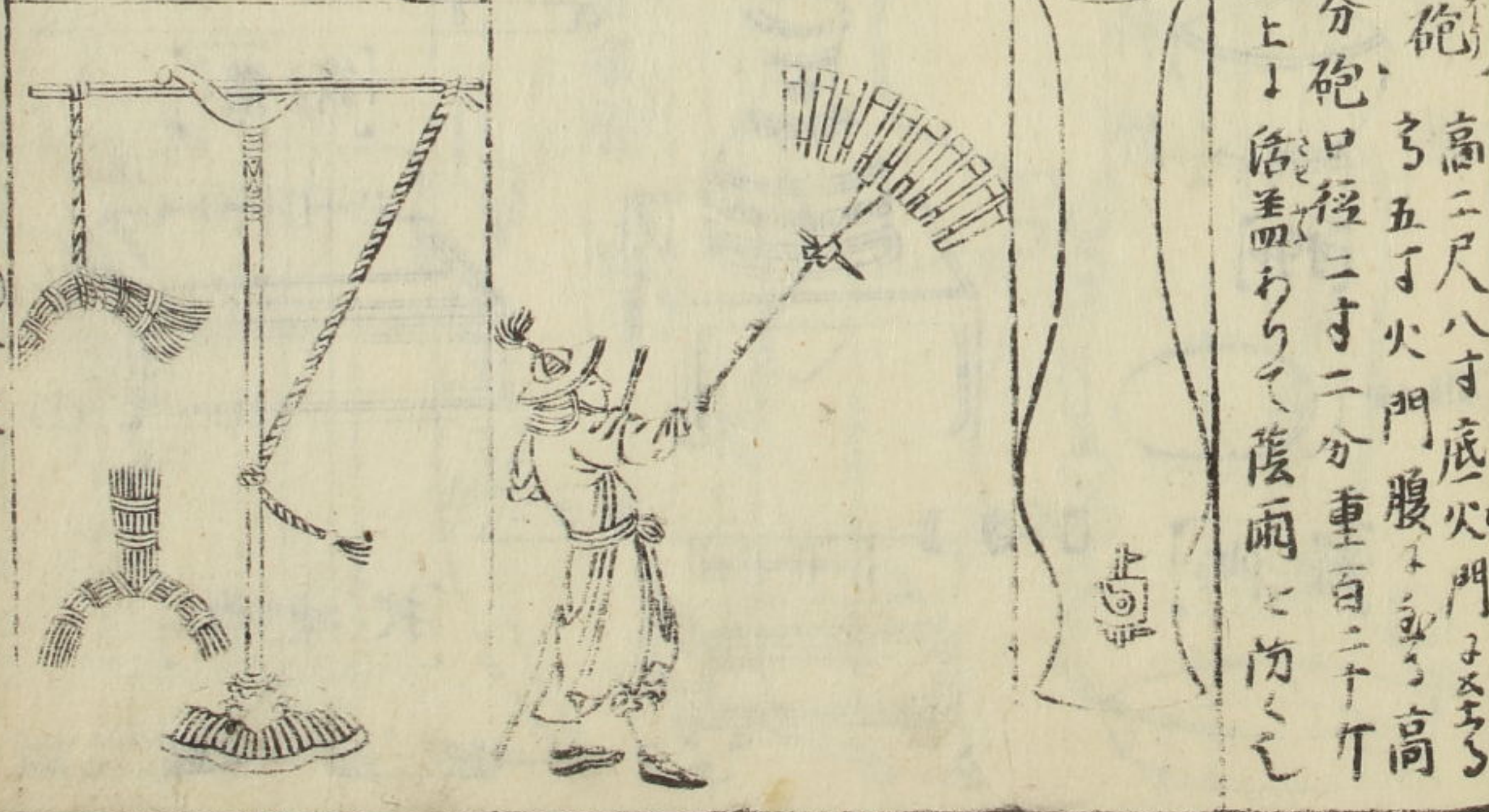
唐土古器圖景卷八

十一

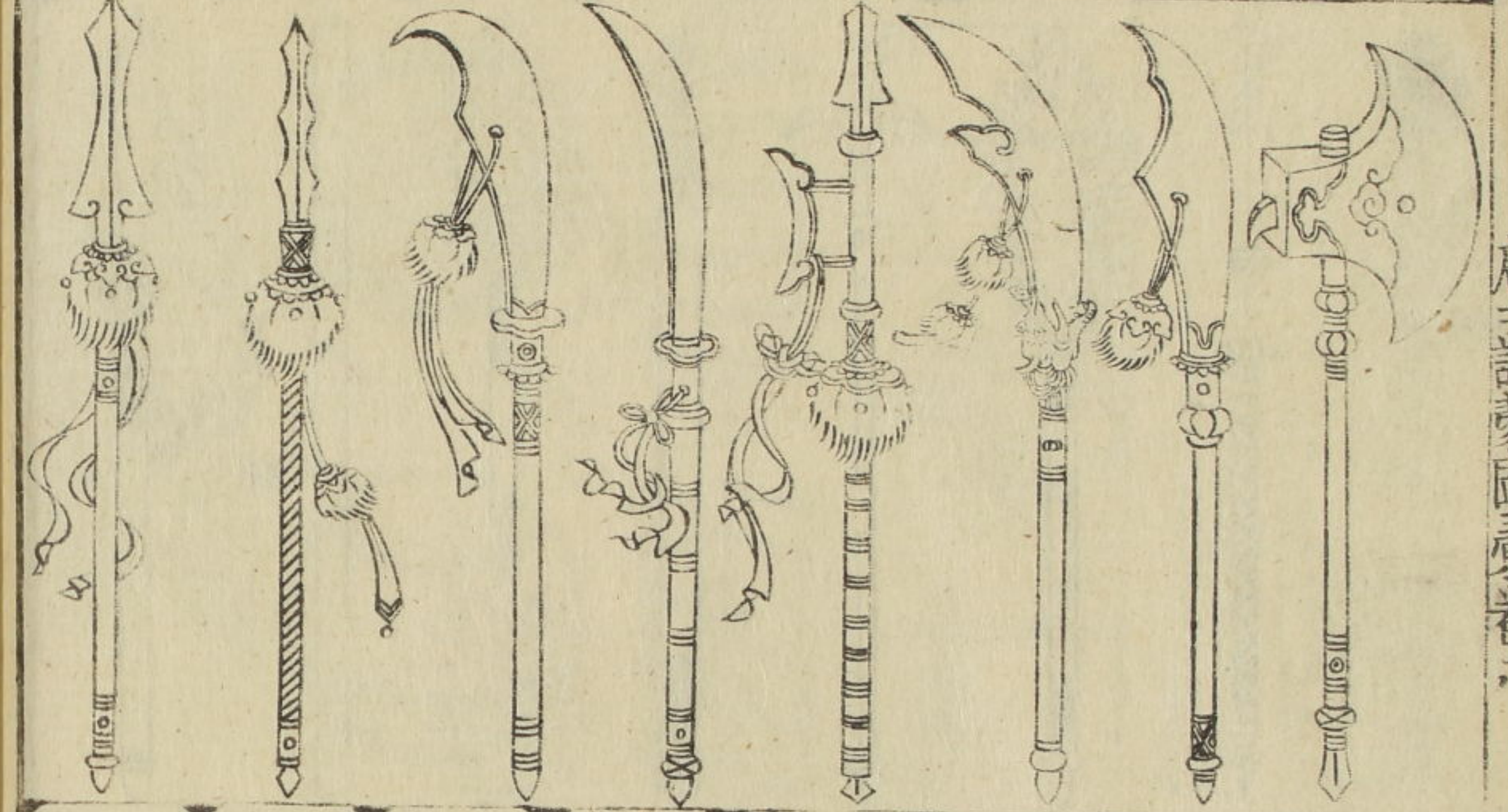
長鎗 梨花 砲車 石と成 介の敵 城をよ 高下と 石とこ 其制 教最 二一と



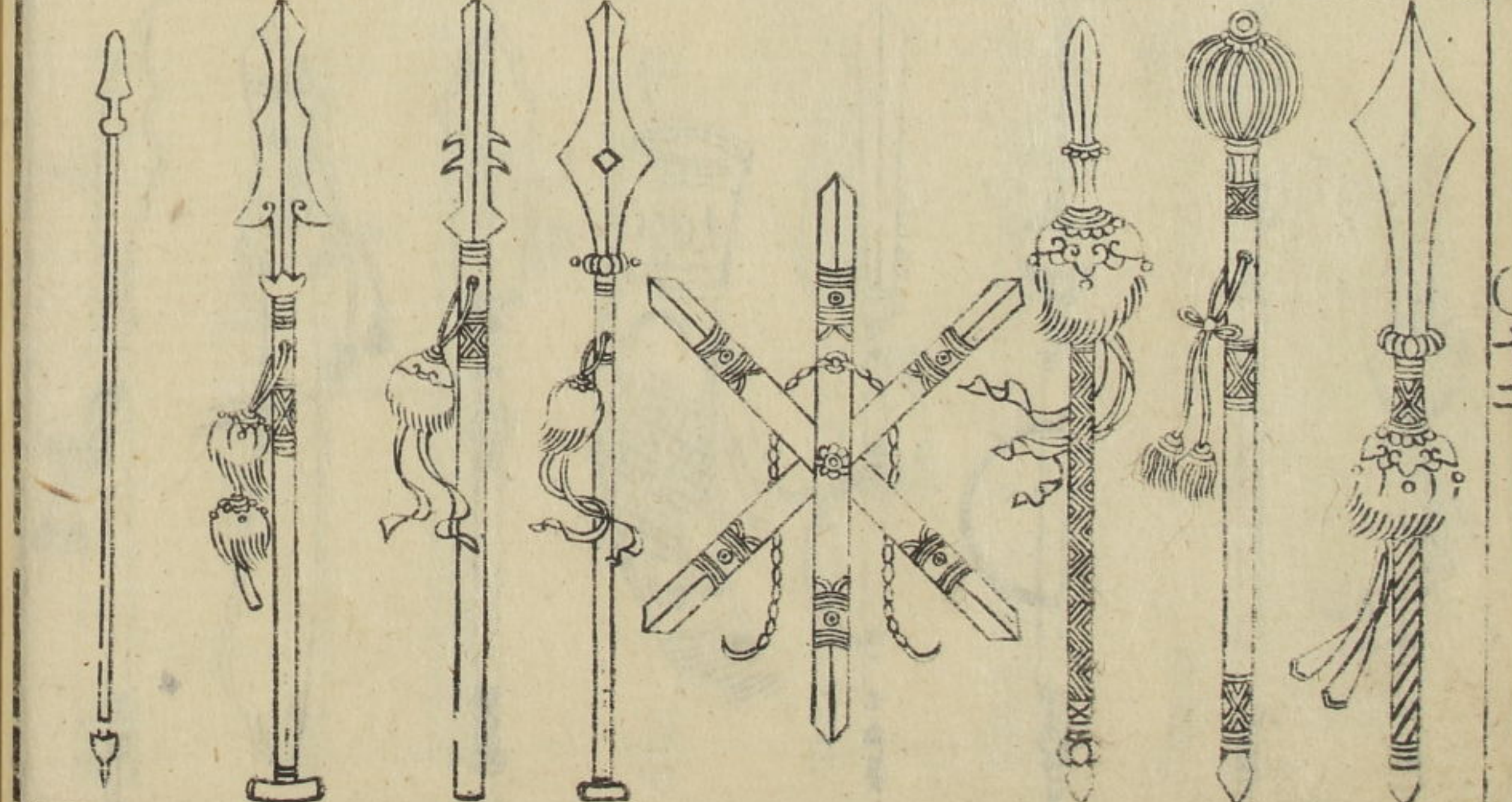
威遠砲 高三尺八寸底火門子五寸 五寸火門腹下五寸高 三寸二分砲口徑二寸二分重百二十斤 火門の上活蓋ありて陰雨と防く



大斧 屈刀 偃月 刀 軟刀 骨尖 刀 鳳嘴 刀 鷲頭 鎗 錐



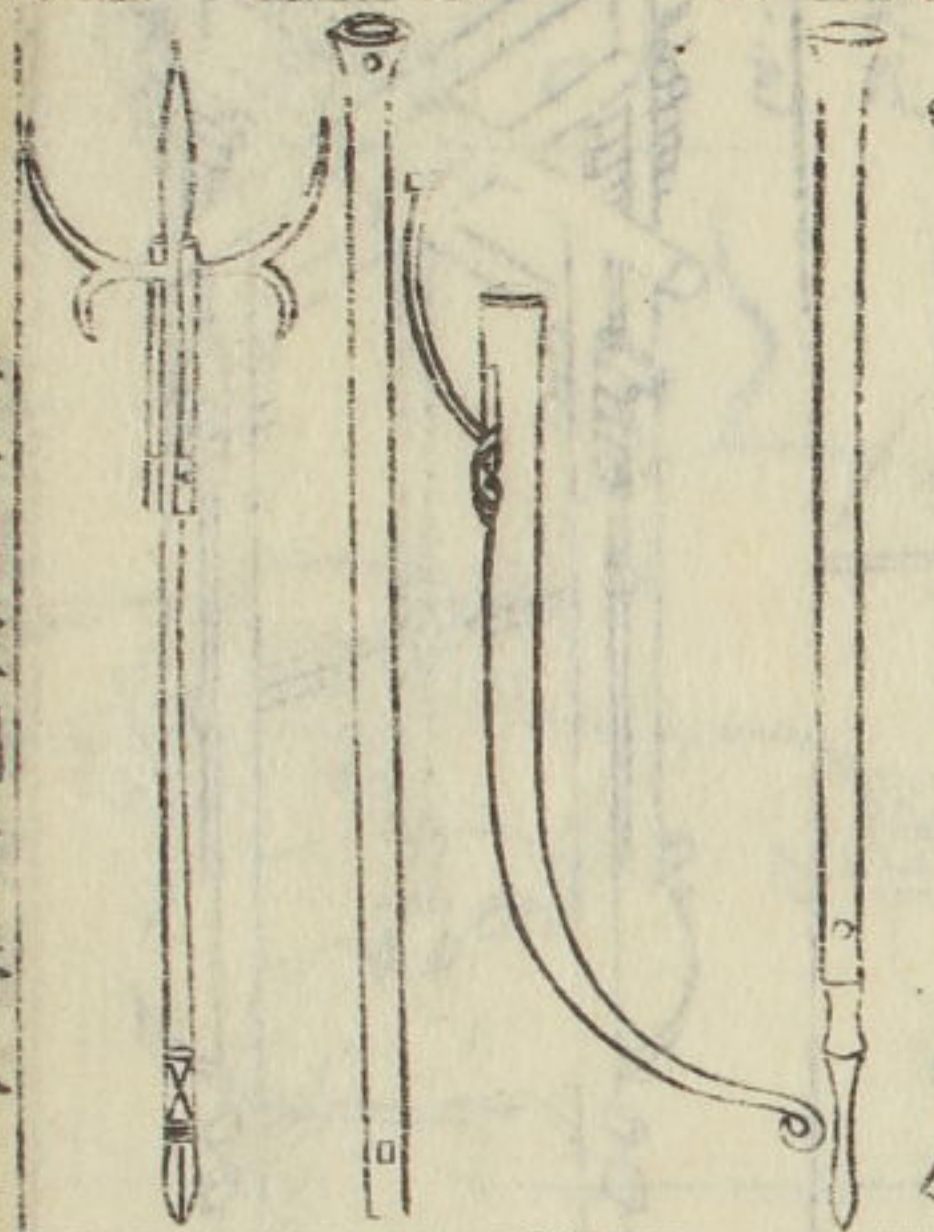
梭鎗 提鎗 大寧 筆鎗 拒馬 木鎗 拐突 鎗 批 鎗 拐 鎗 標 鎗



唐土諸家圖原卷八

十二

火銃 銃柄 銃



迅雷砲



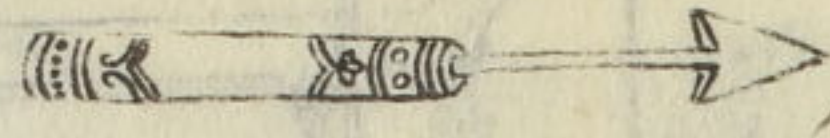
火鈴



火鈴

通錐

霹靂火

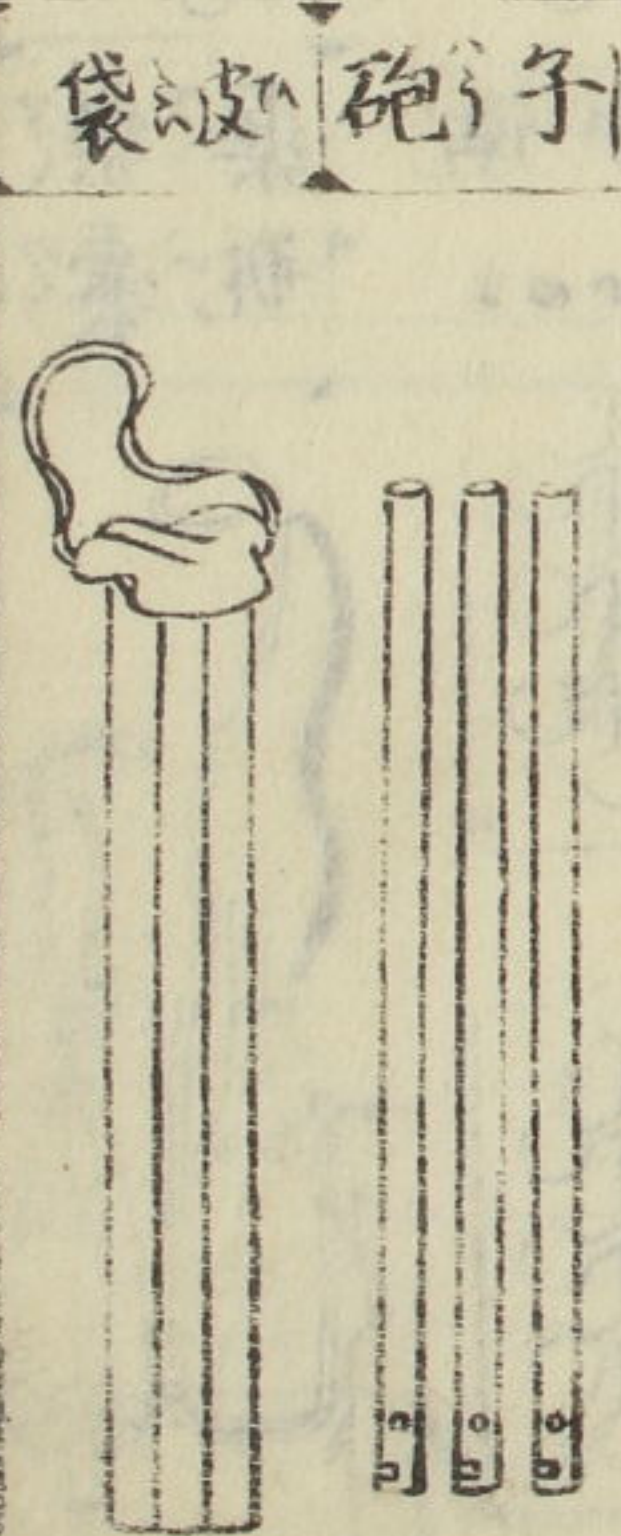


格

錐釘



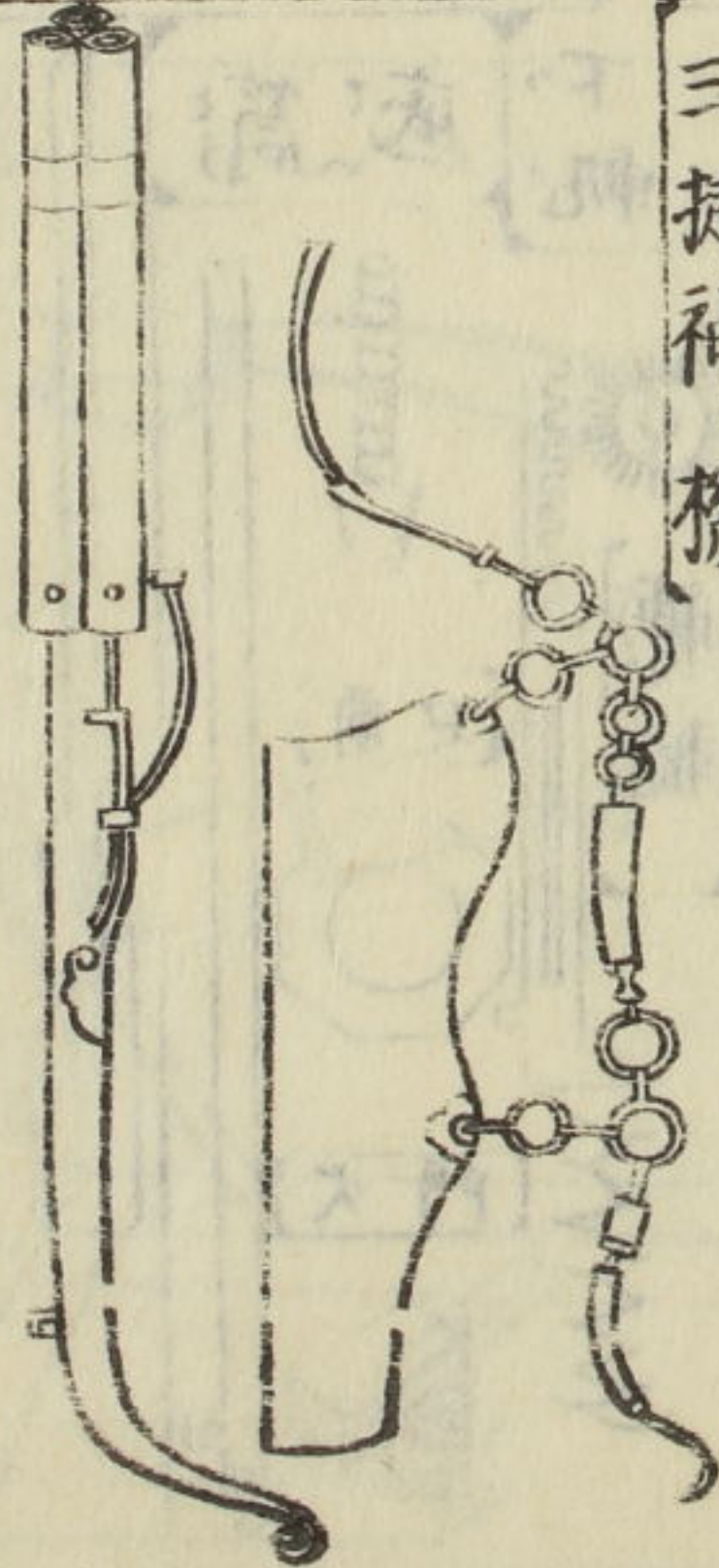
子砲 皮袋



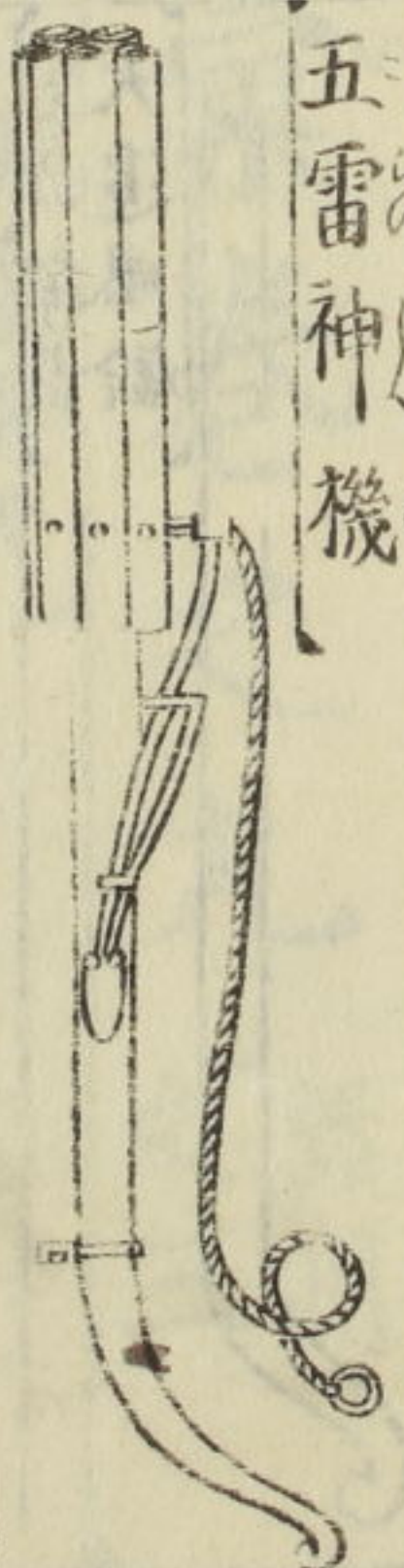
萬勝佛狼機



三捷神機



五雷神機



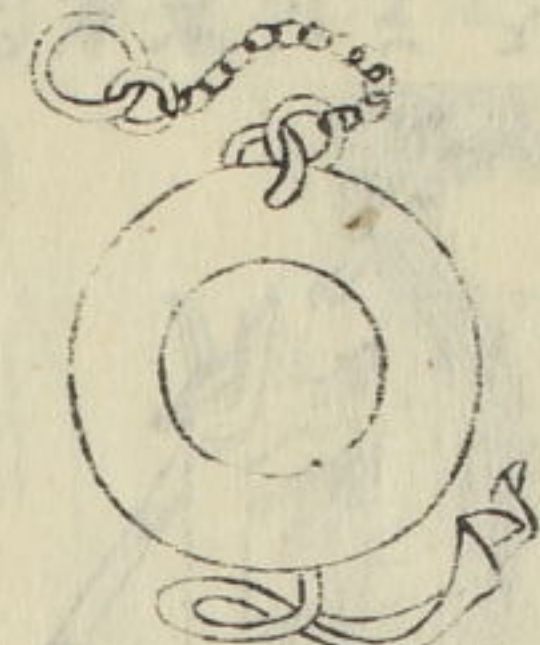
竹火鶴



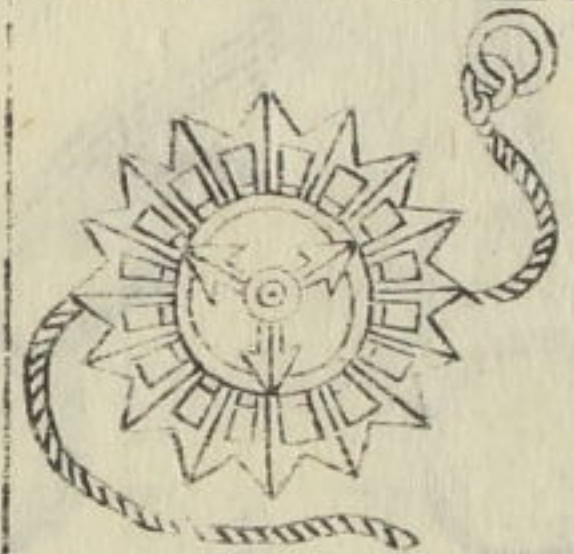
鐵嘴火鶴



引火球



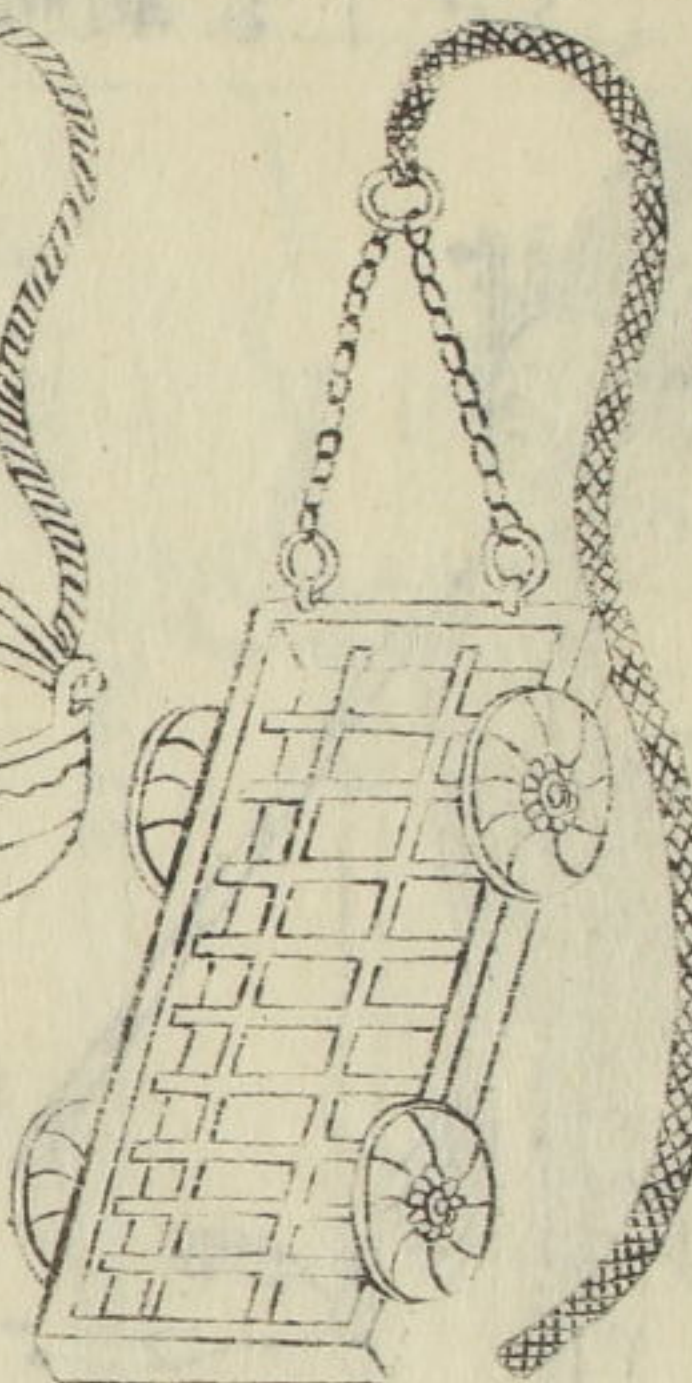
蒺藜火球



透火鐵箱



鐵火末



唐土言... 攻... 末...

注



杓



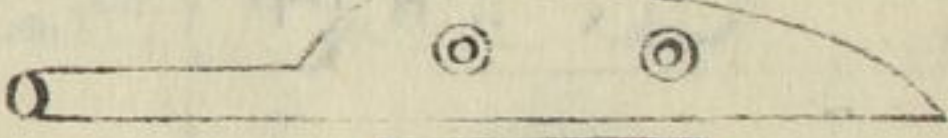
沙羅



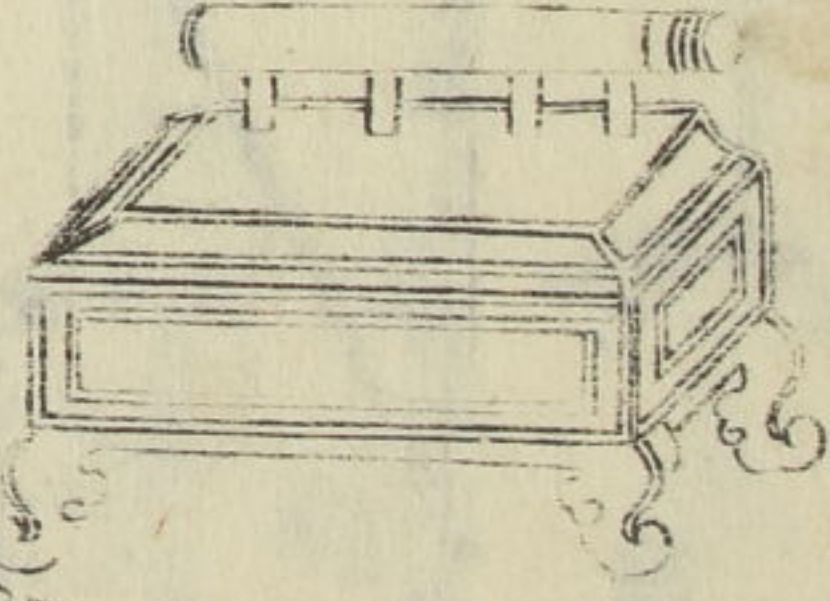
火罐



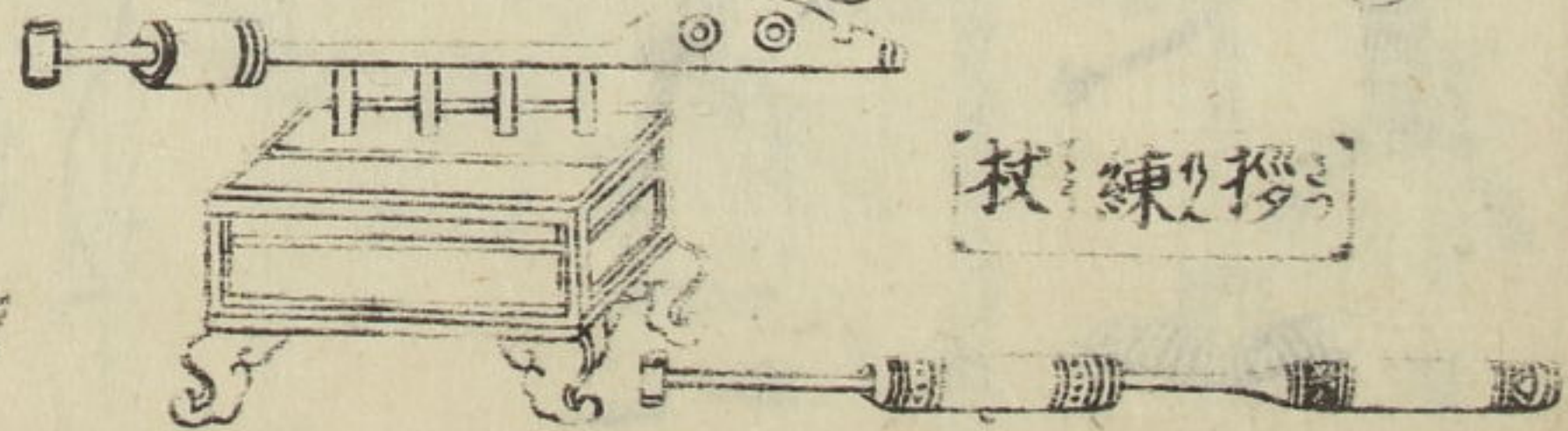
火棒



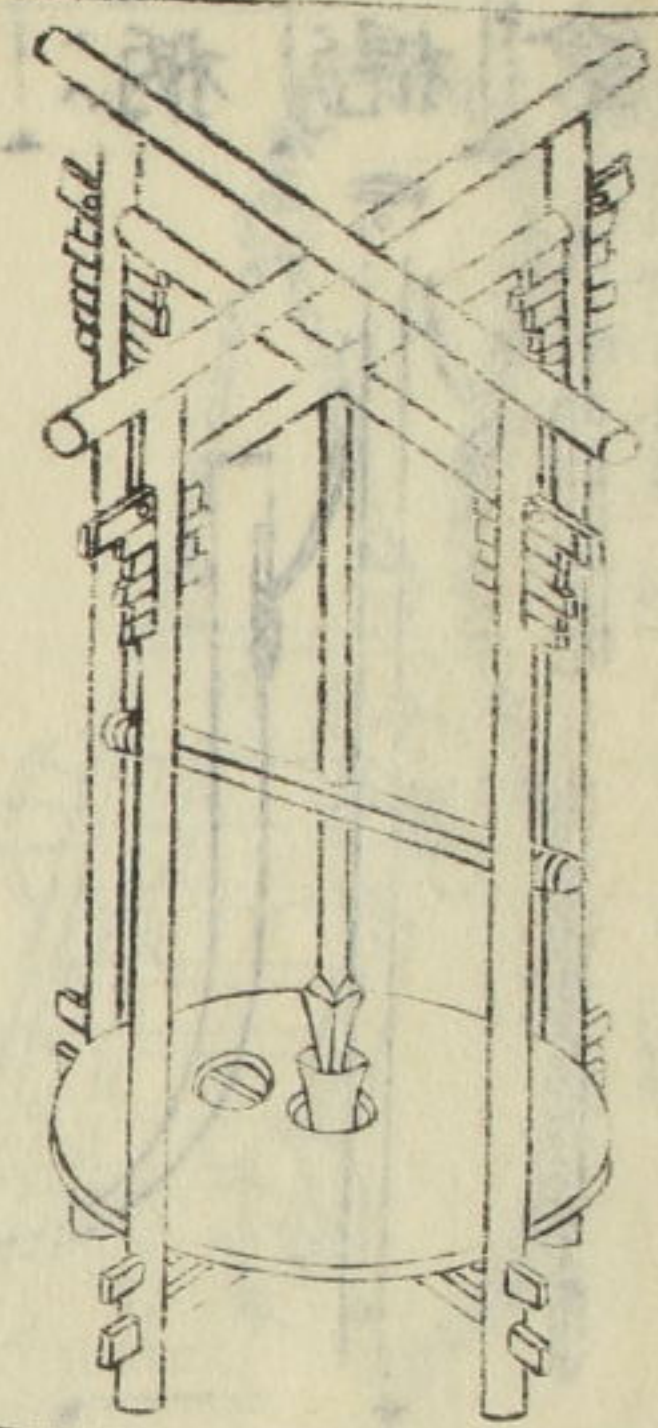
橫筒



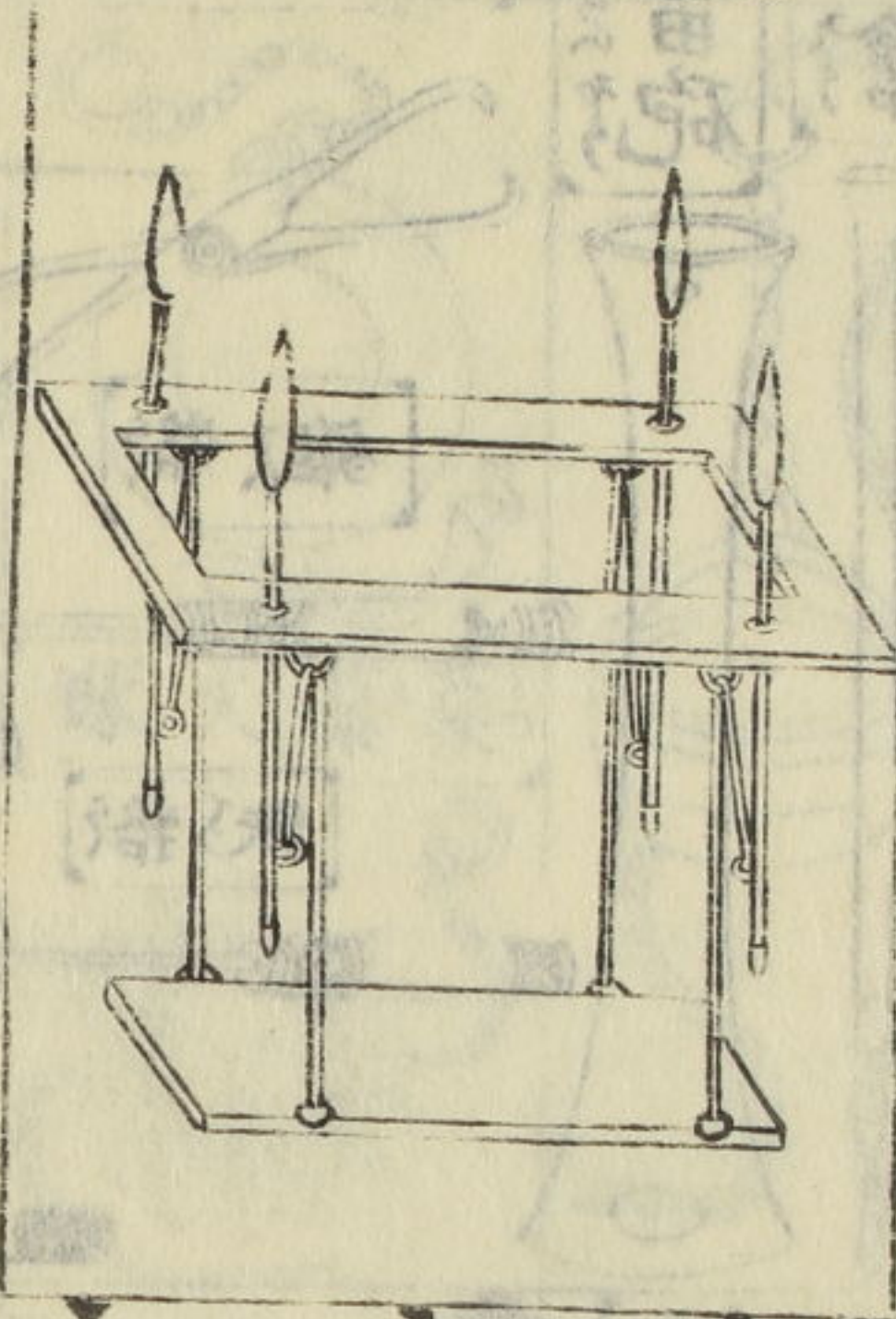
練杖



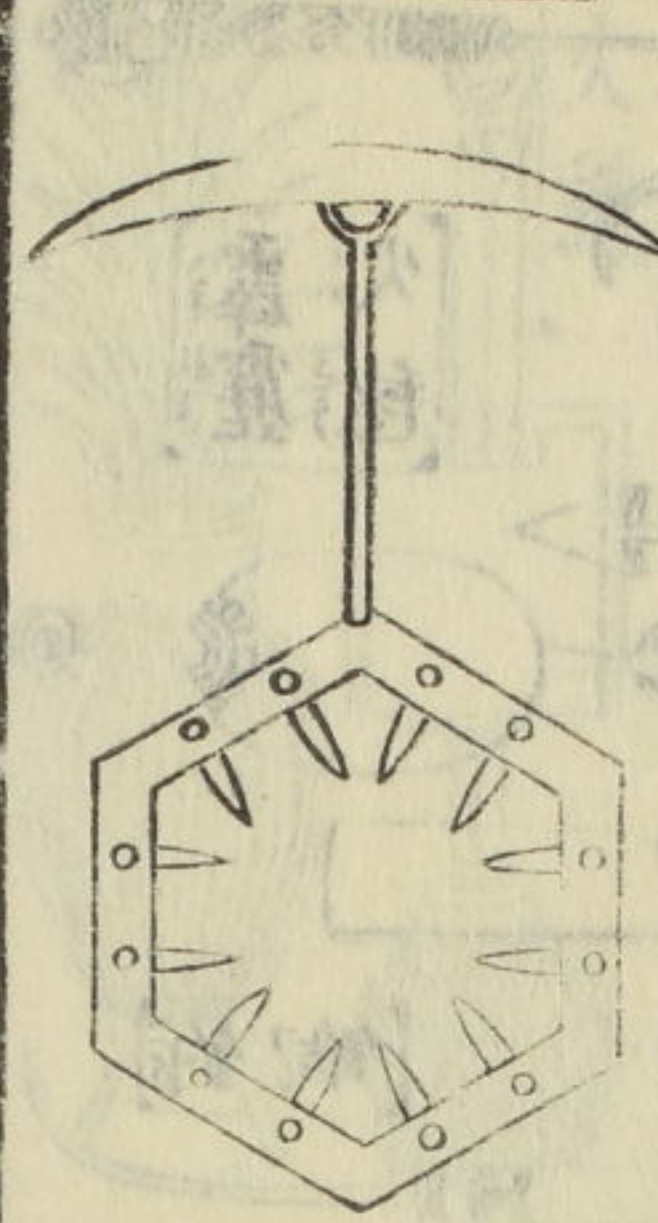
鑽架



地湧神鎗



搦足馬殺風鎌



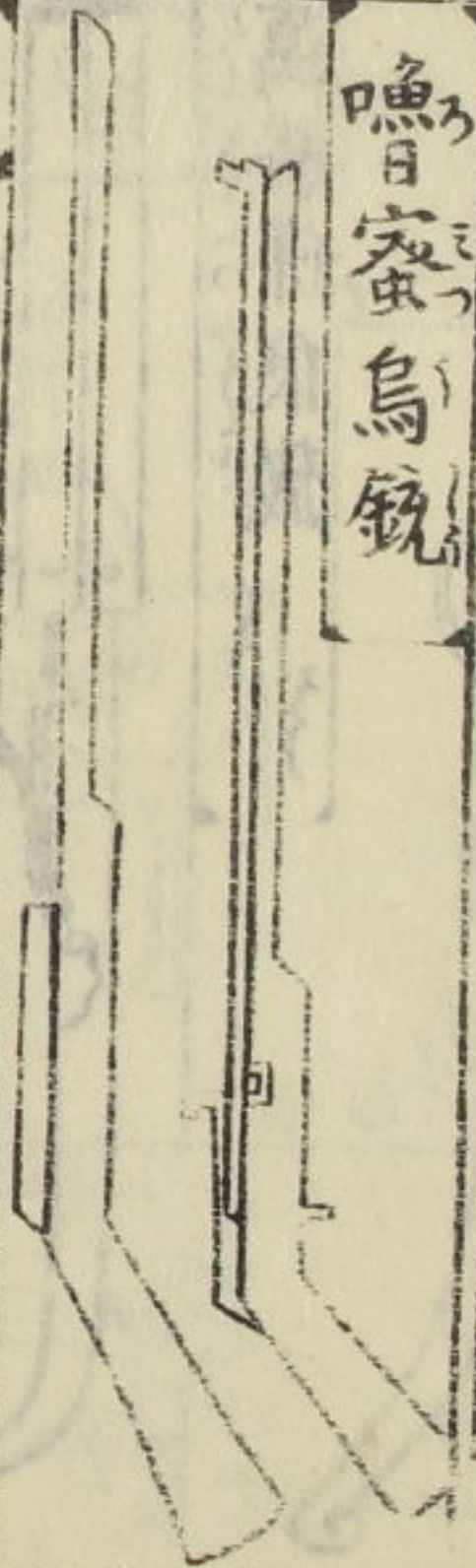
藥囊



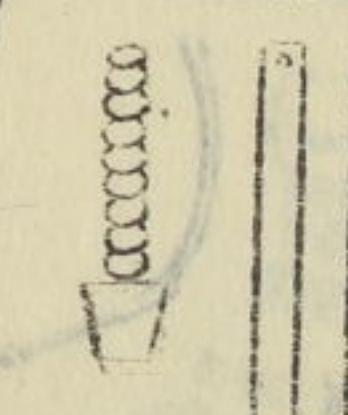
彈模



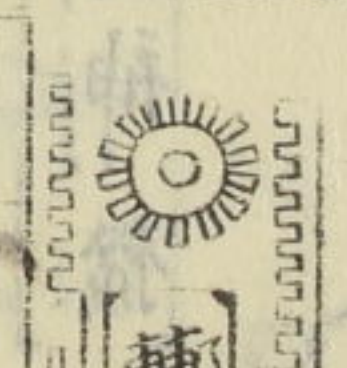
嚙蜜鳥鏡



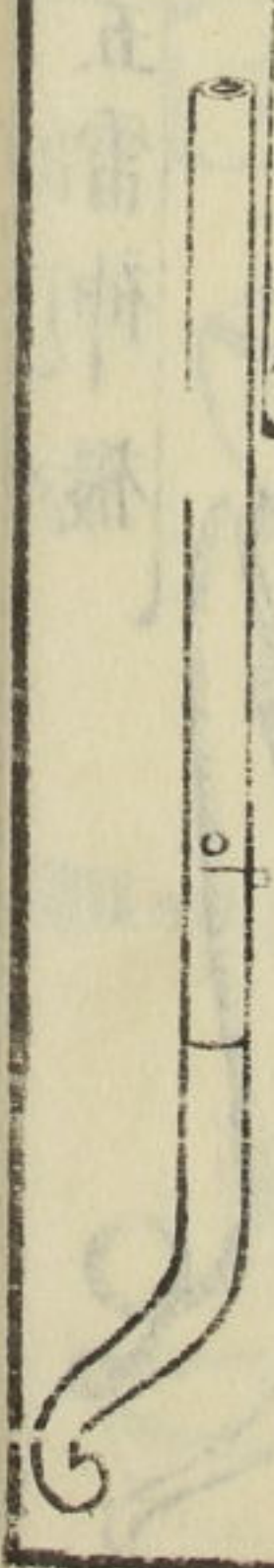
筒底



上軌



大追風鈴

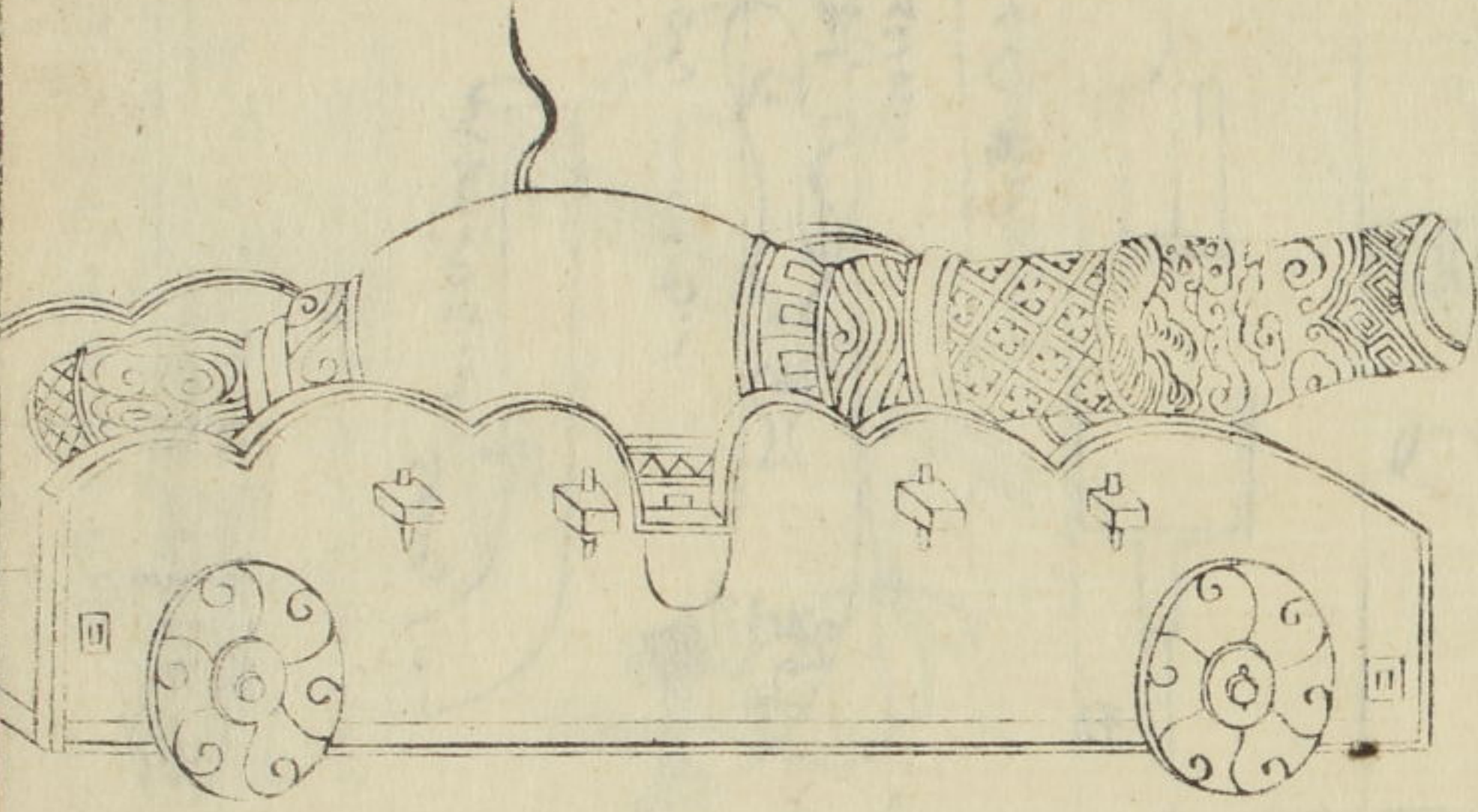


唐土訓蒙圖彙卷之九

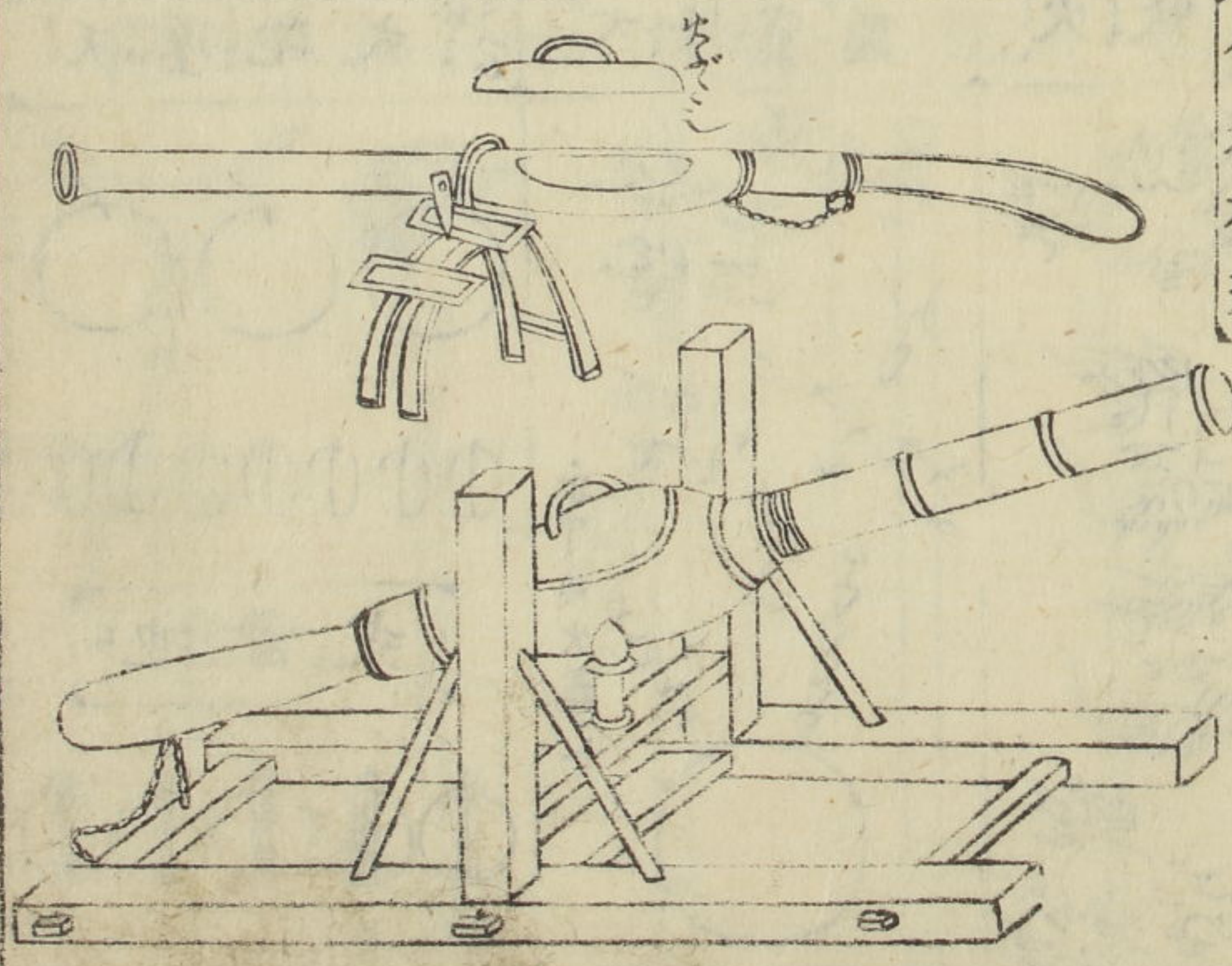
器用之三

雷辰天雷

此器重五百斤鉛子之數百と云合つた重さ四斤の石も弾丸と和み大筒とを攻敵を利するの利器也



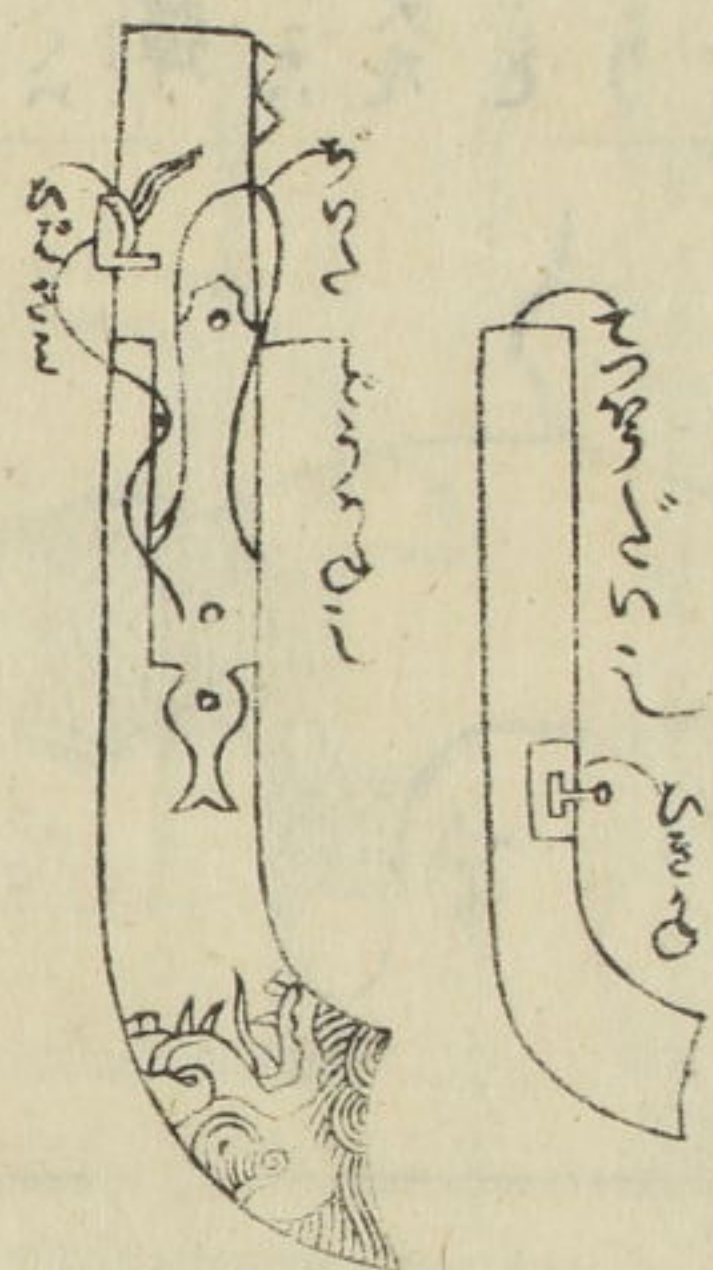
佛狼機式



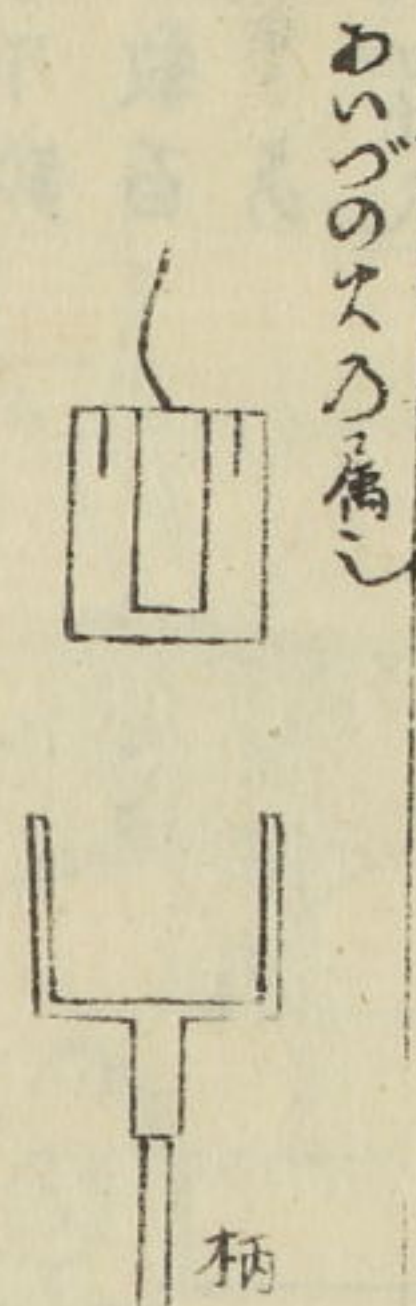
鳥嘴銃



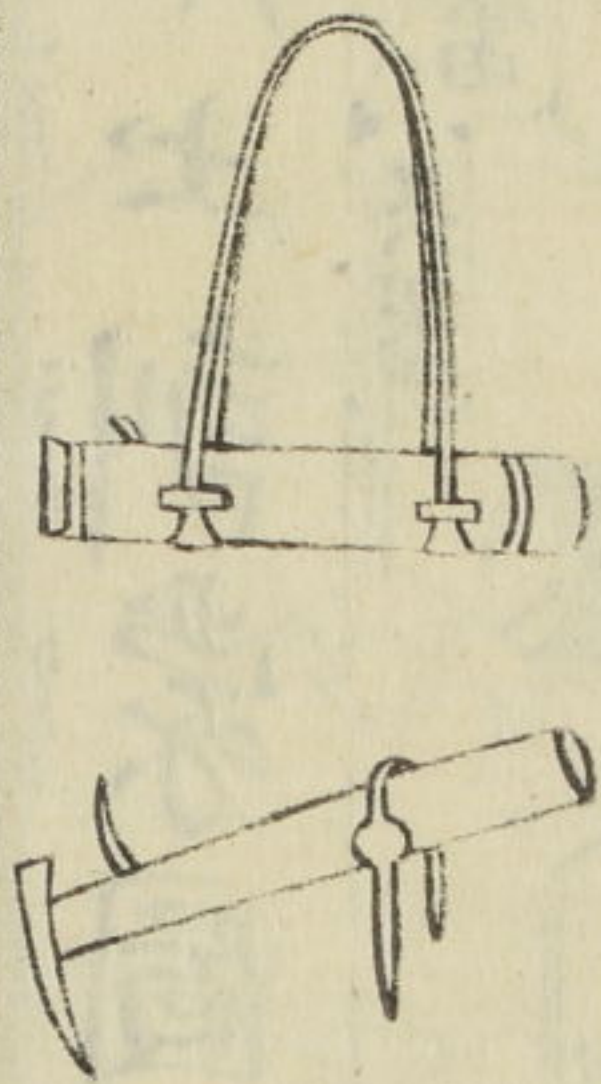
鳥銃細式



子母炮

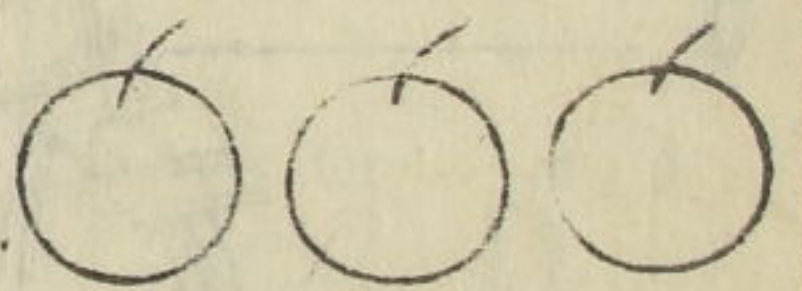


一窩蜂

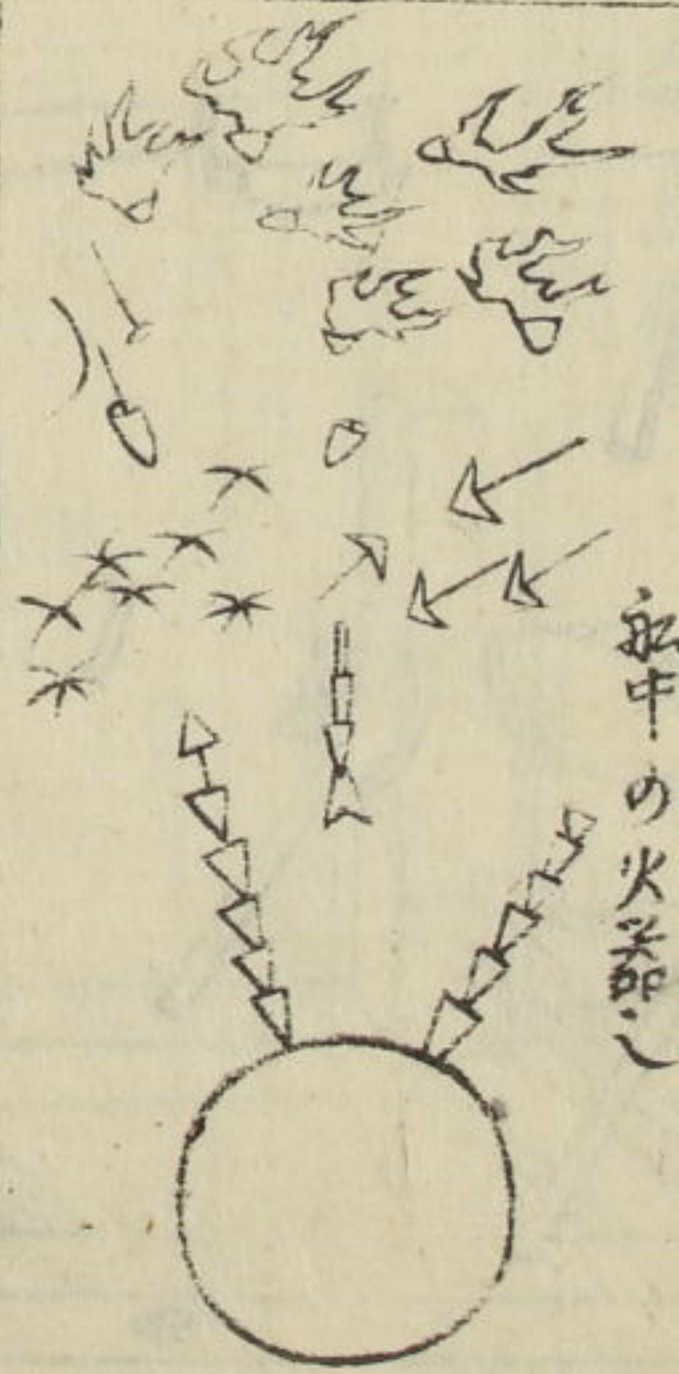


原三言...

天堡砲式



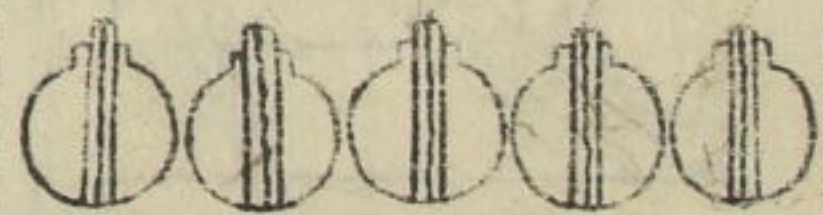
大蜂窠圖



火妖圖式

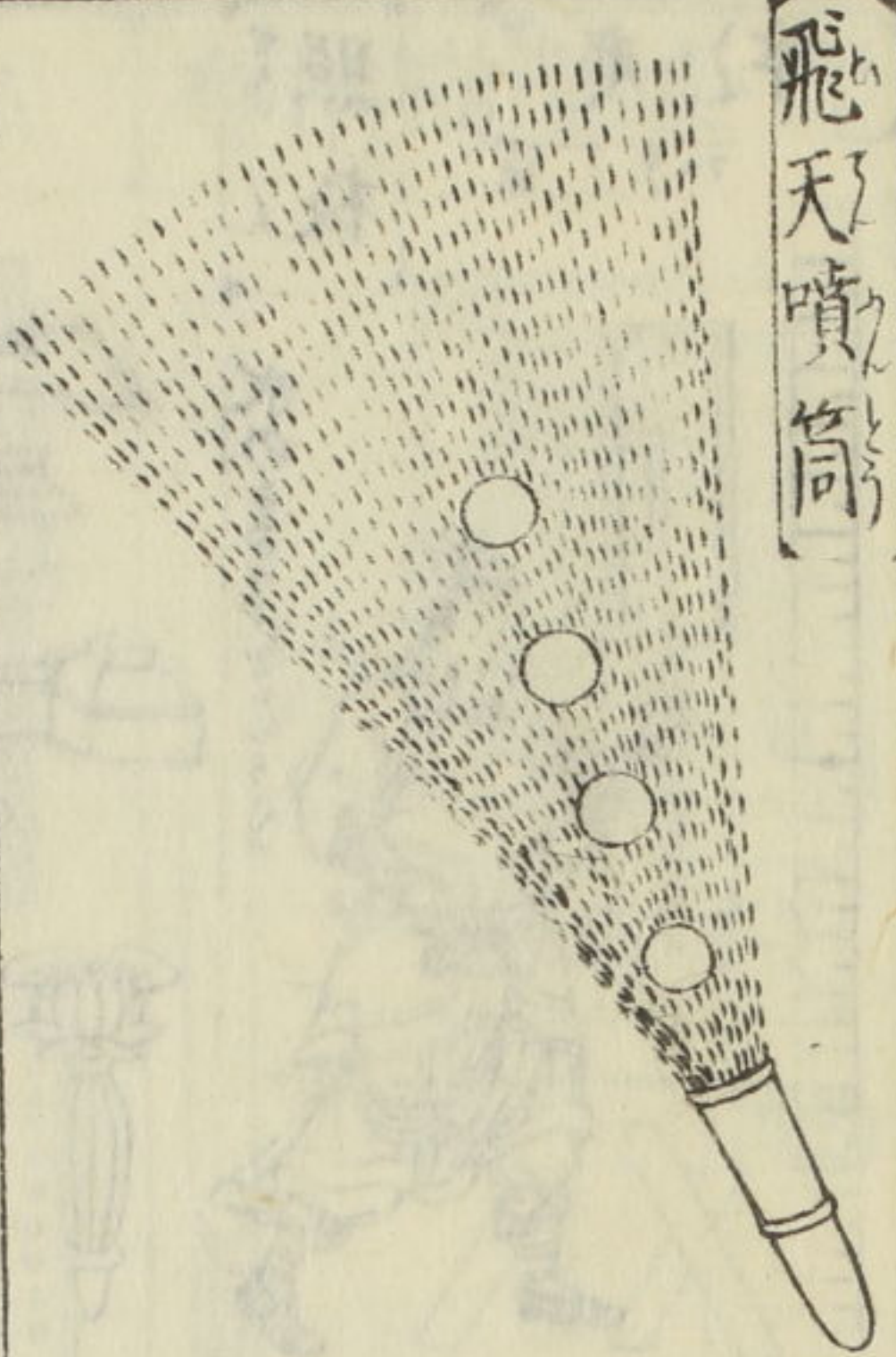


地雷式

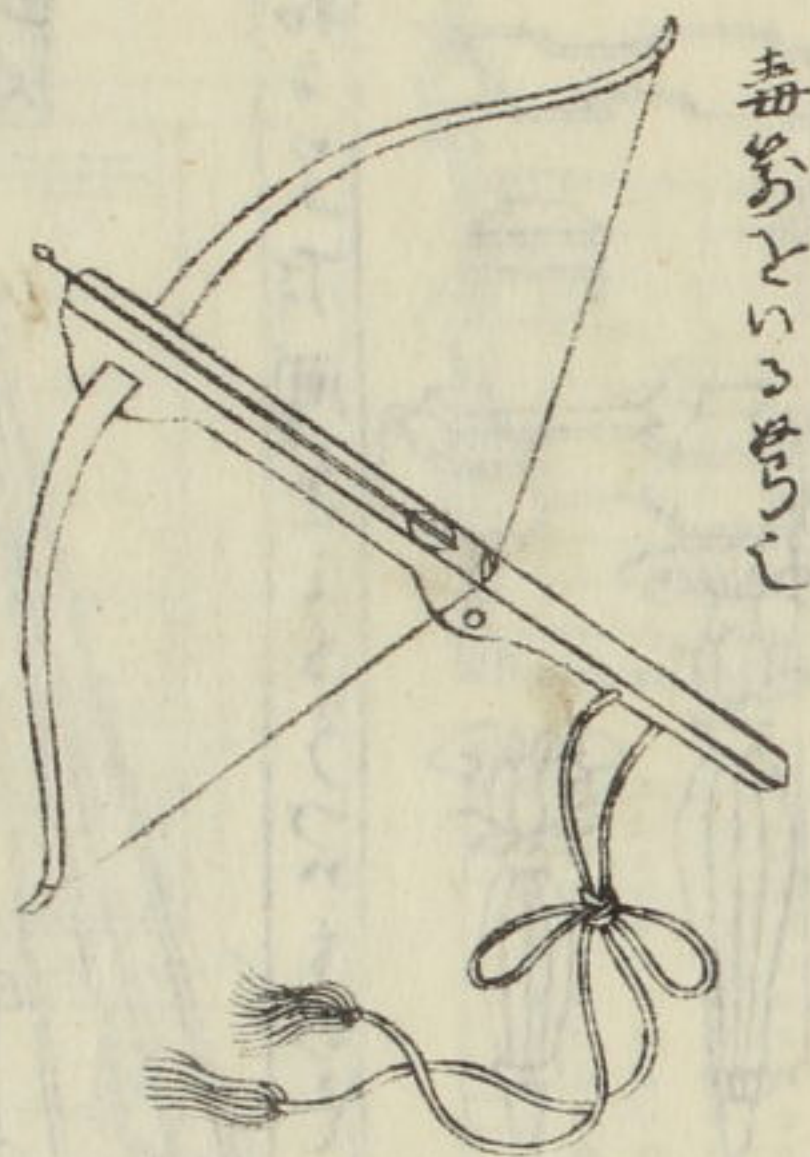


大里才

飛天噴筒



兩廣藥箭



毒...

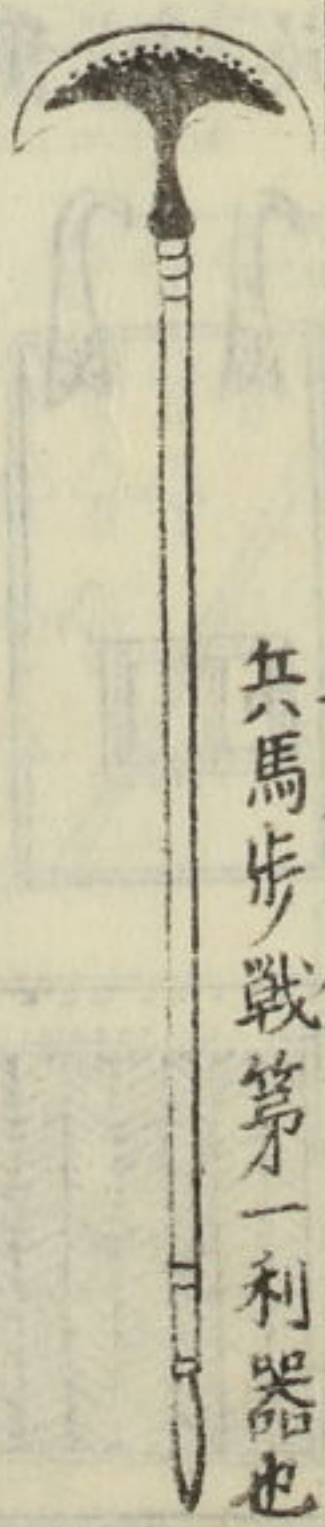
柳枝圖



竹の葉四寸...

其哨其隊其甲其基

天蓬鐘式



内外皆鋒刀...

蓑笠棍式



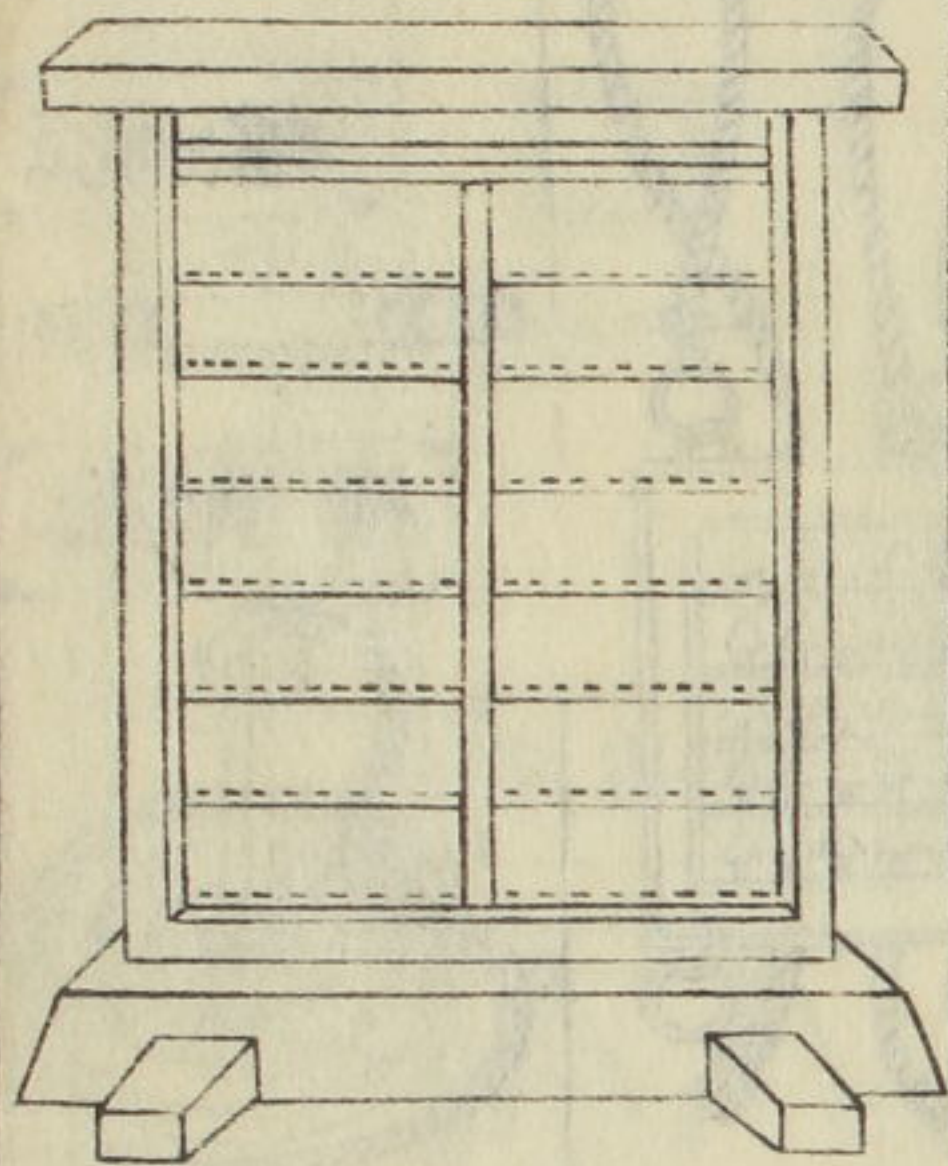
判子斧



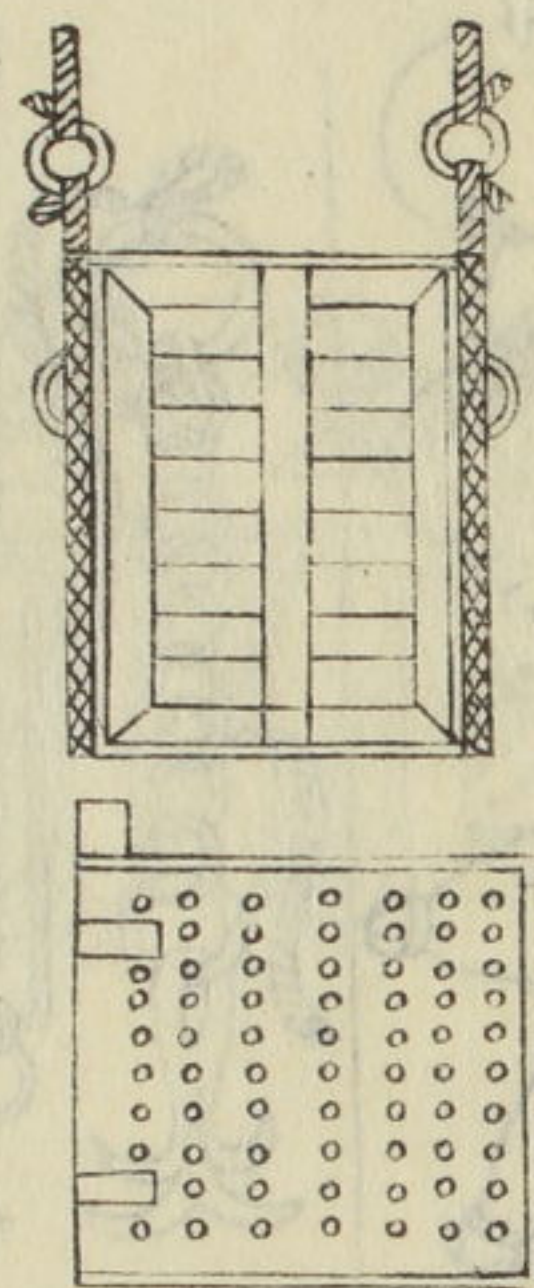
又叉



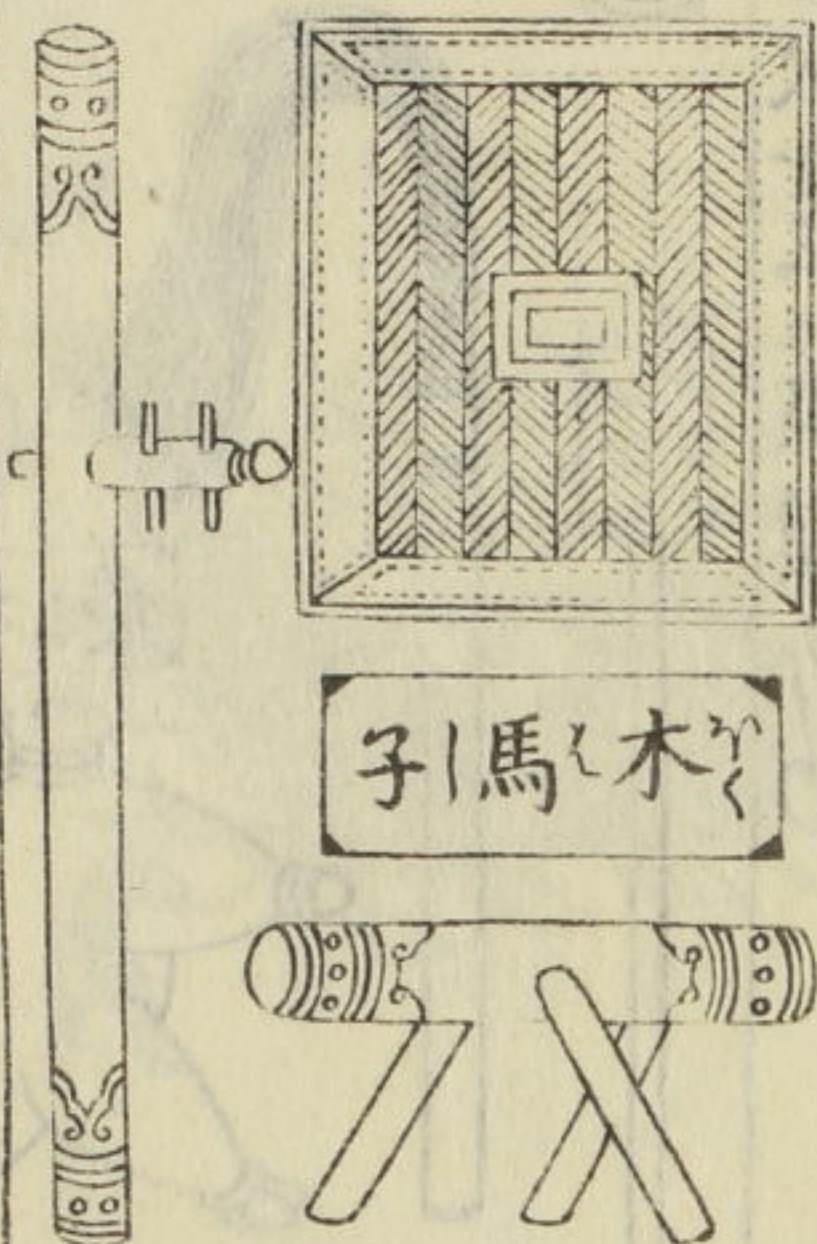
設け出同敵と門暗り



版と牌



柄脚と狗 芭皮竹



子馬木

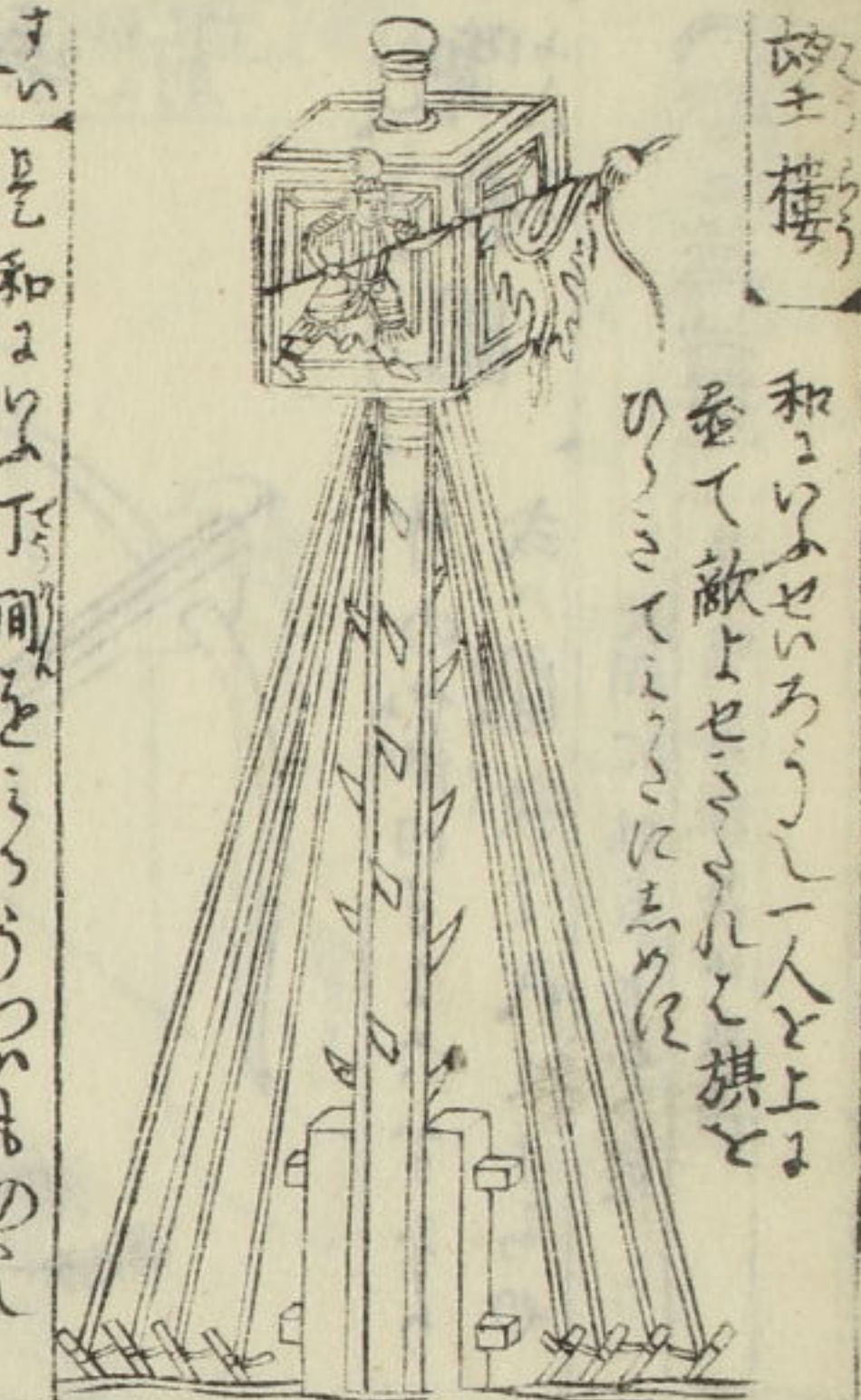
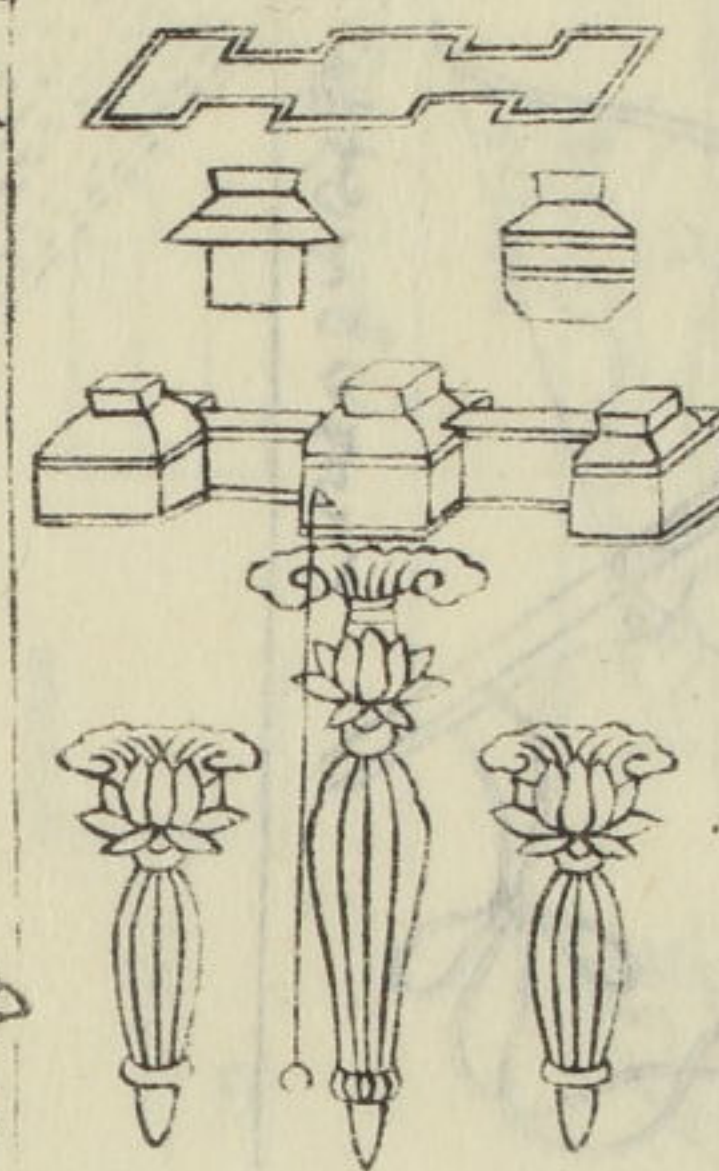
竿と度と



照板

水のろと

水

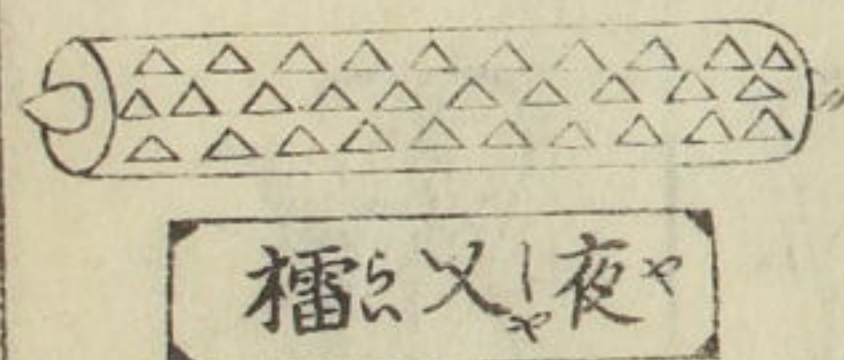


空王樓

和のいせいろうし一人と上よ
をて敵よせとてしと拱と
のうさてしとてしとてし

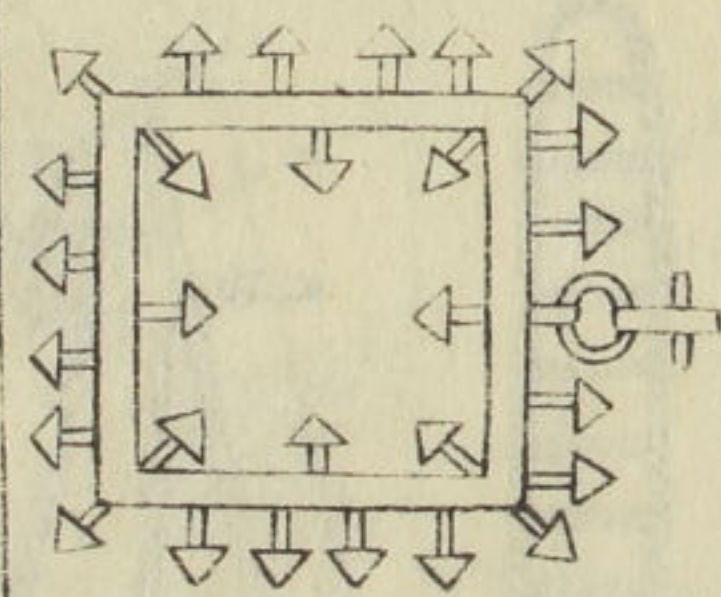
つとて城
ころ者

播木



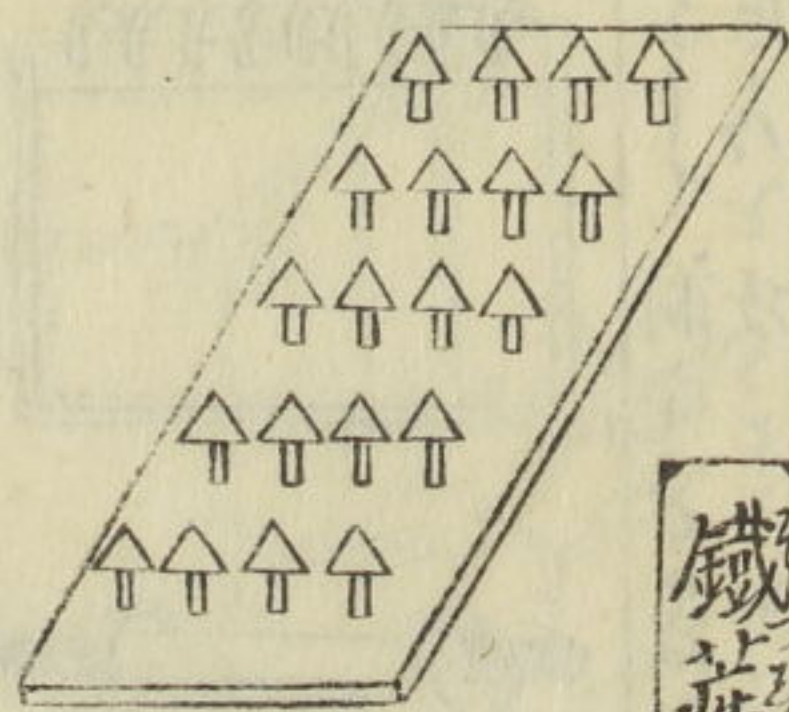
播木

羽の鳥蹄搦



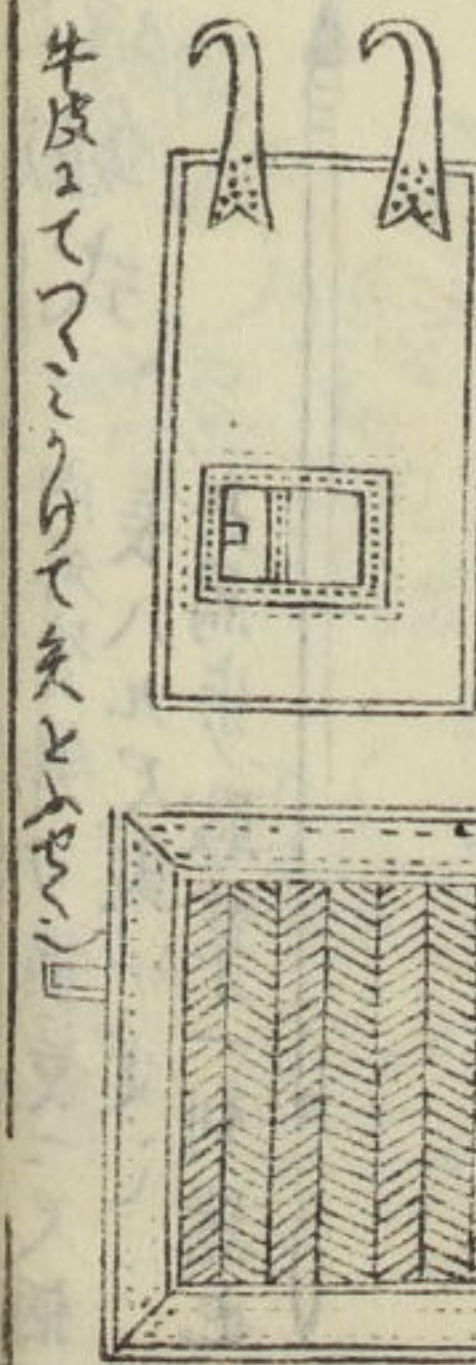
鉄菱角

溢地



鉄菱角

版鐘と垂



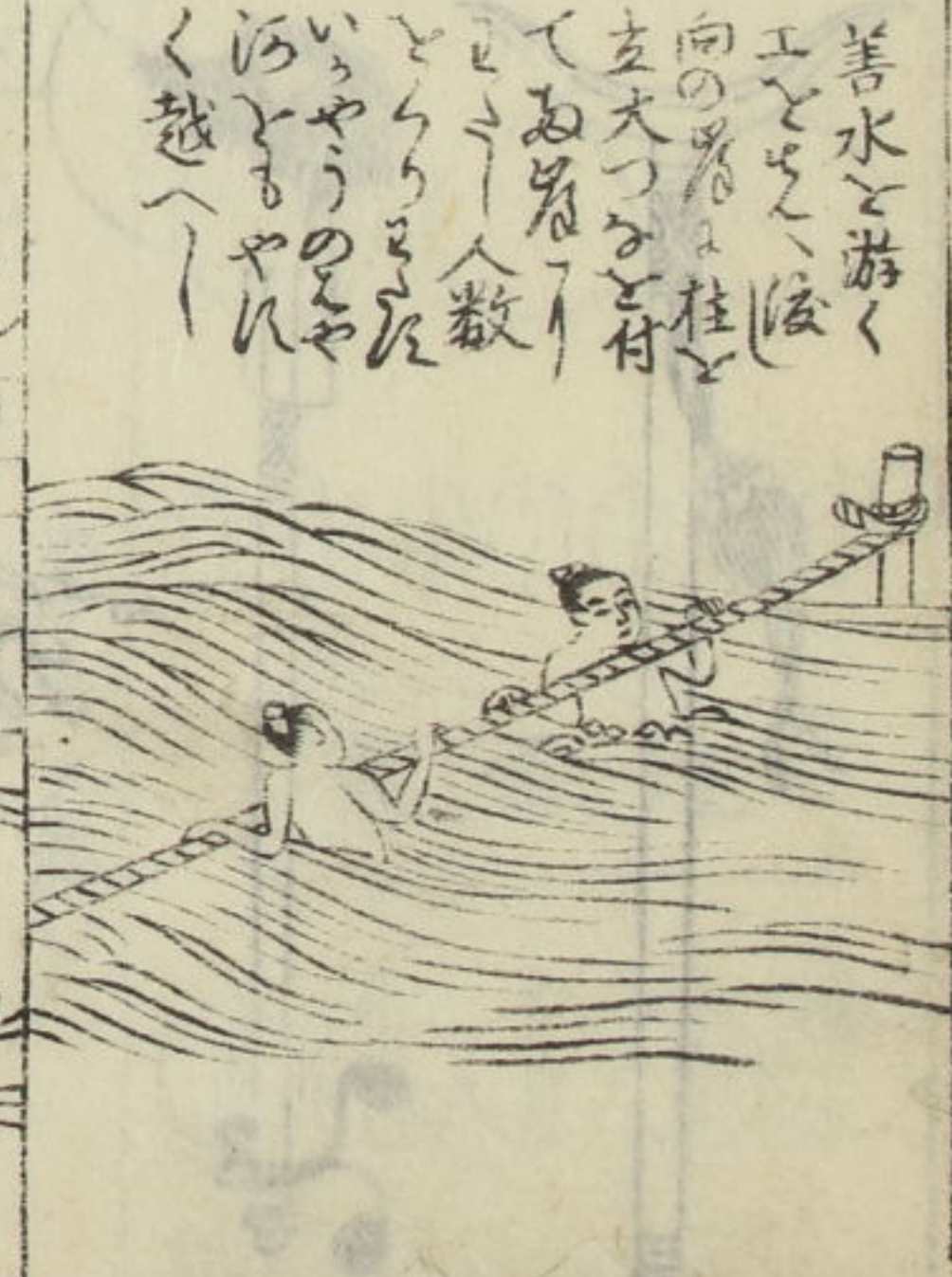
篋籬芭

水と
用

囊

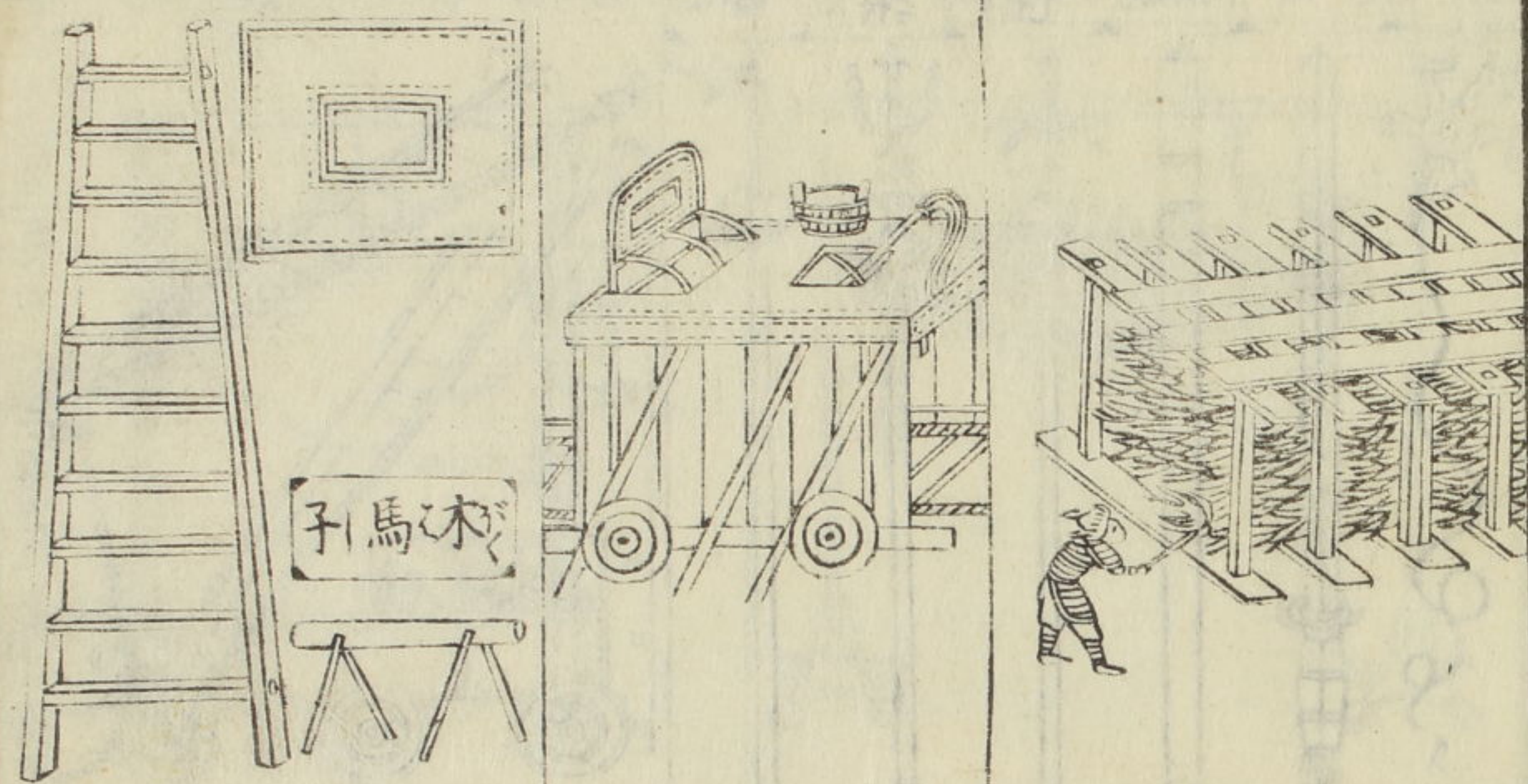


式と組と飛



善水と遊ぶ
工とては
向の者も柱と
ま大つと存
てあ者
とらう人数
いさやうの
はともやん
く越へし

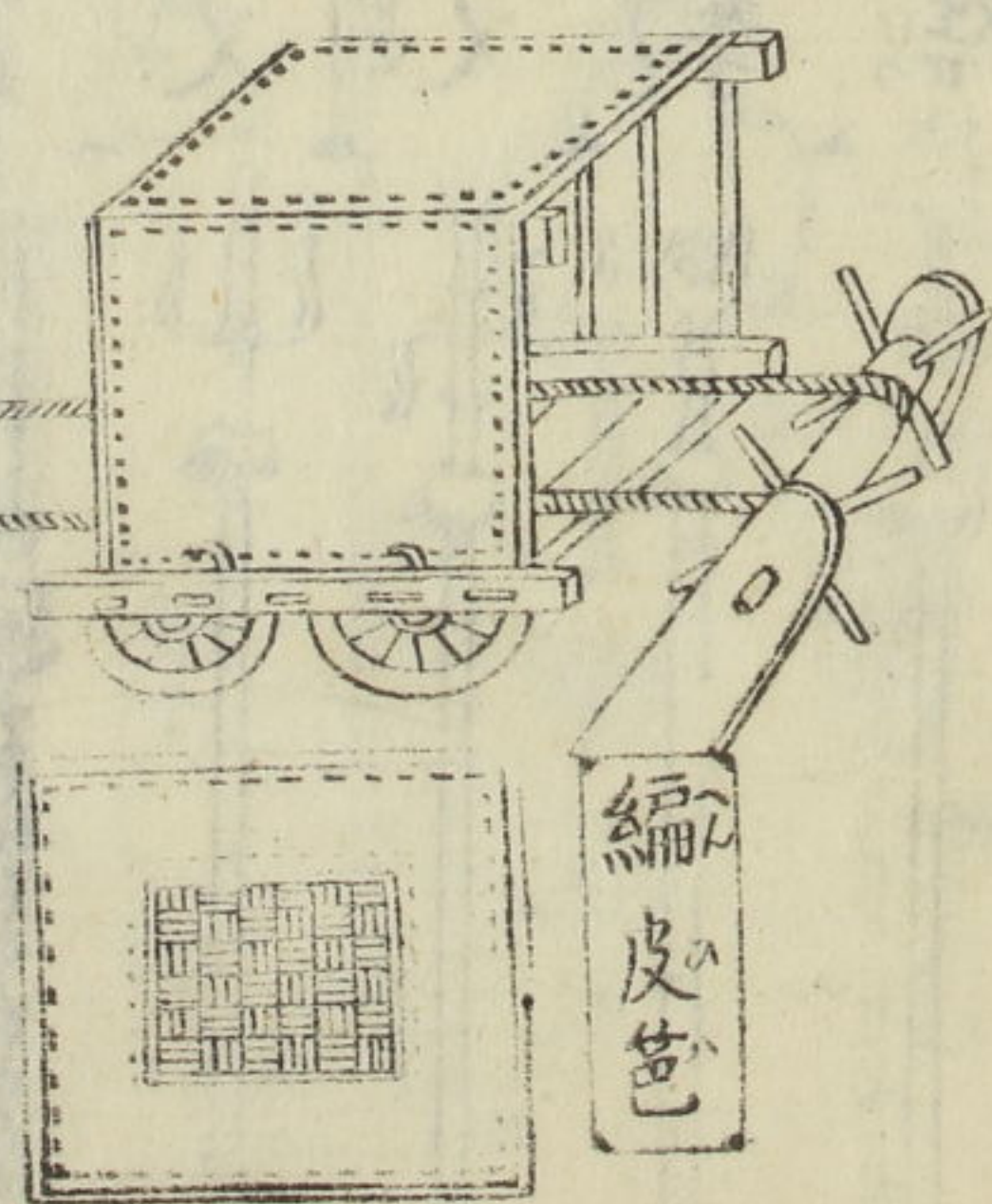
地 道 城 上 頭 車 器 用 具 風 屏 風 子 馬 木



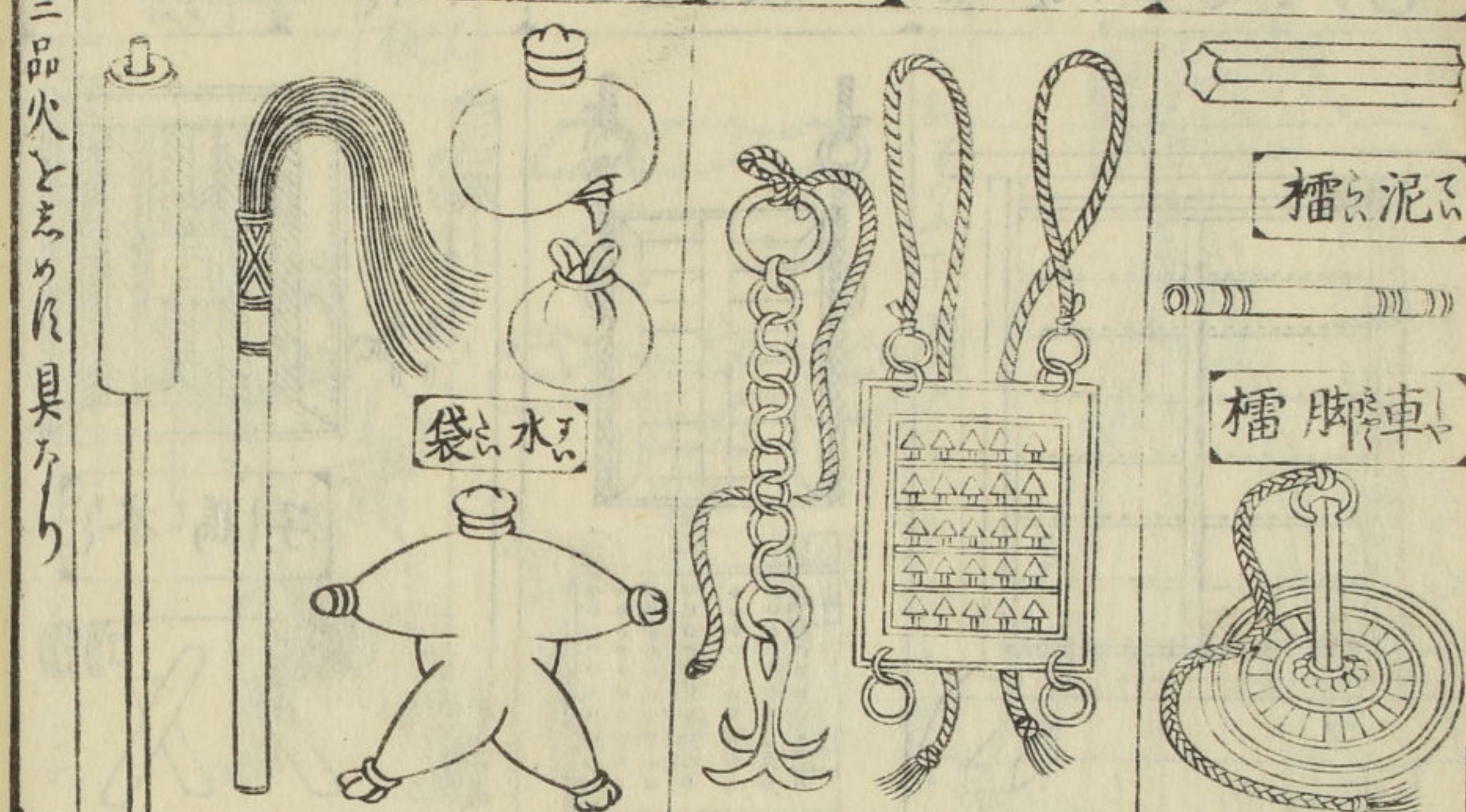
橋 壕 橋 壕 橋 壕



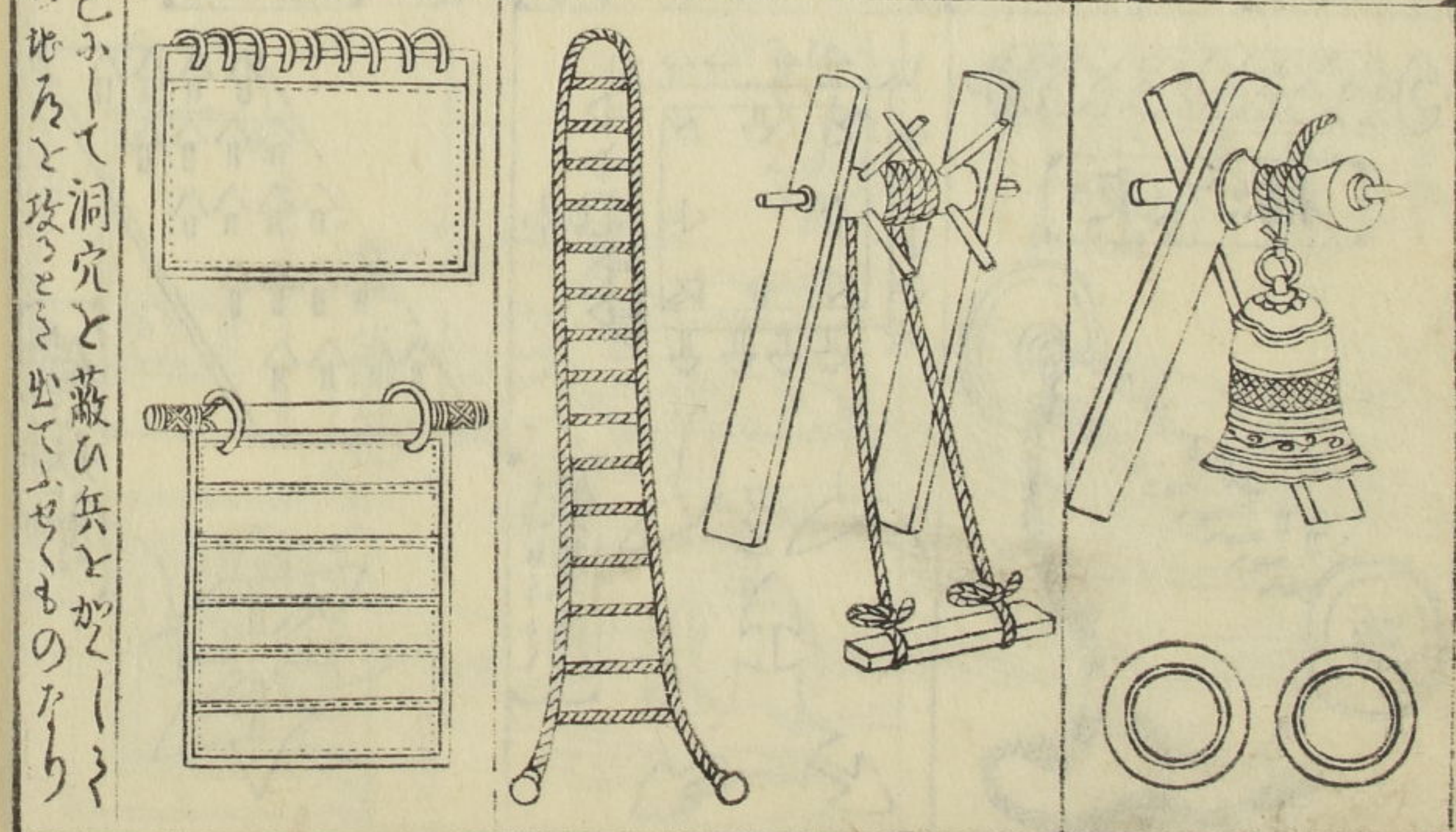
掛 塔 緒 棚



水 氷 蓑 搭 唎 筒 飛 拍 牙 狼 擗 土 火 三 品



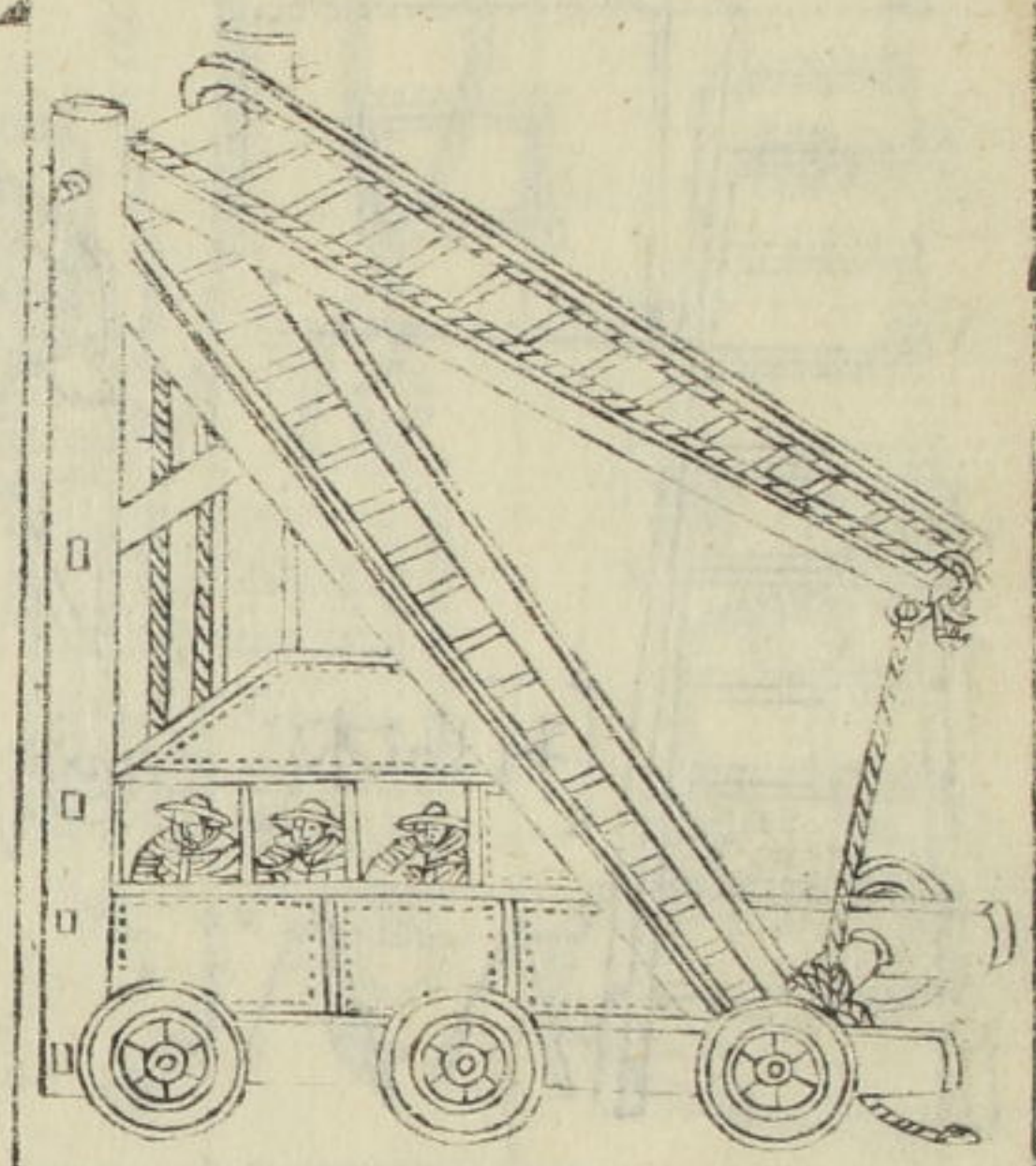
鐵 撞 木 下 城 絞 車 繩 梯 波 簾 種 簾



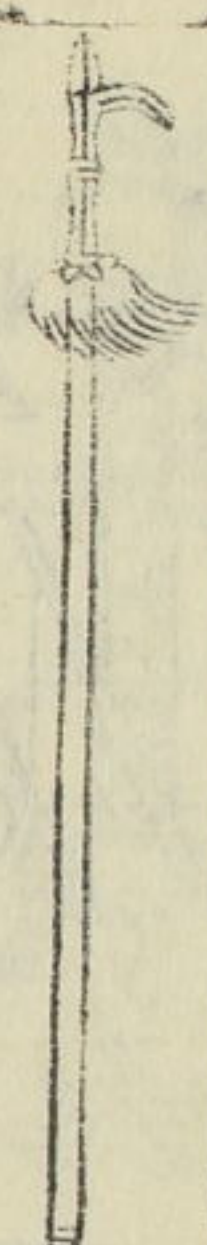
土色にして洞穴と蔽の兵とがしる敵の地乃と攻とと出てよせくものなり

唐土記 卷九

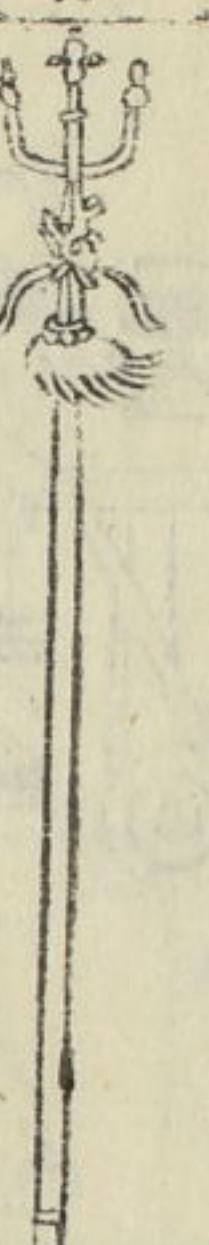
雲梯
飛梯
殿頭
この類



鉤鎌



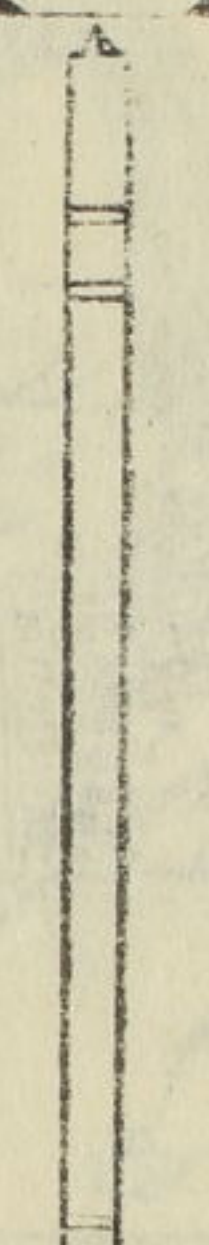
鉄骨朶



留客住



請人拔



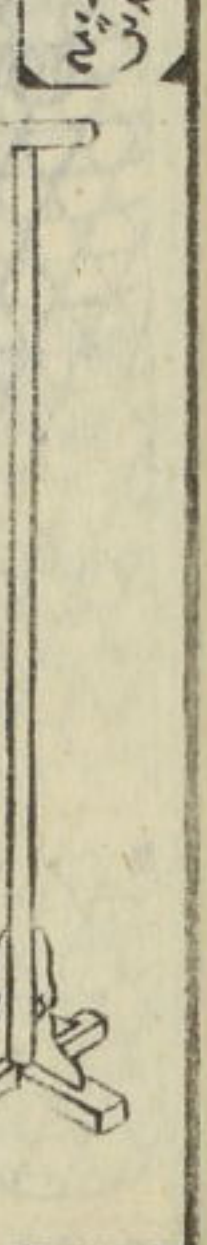
鑑



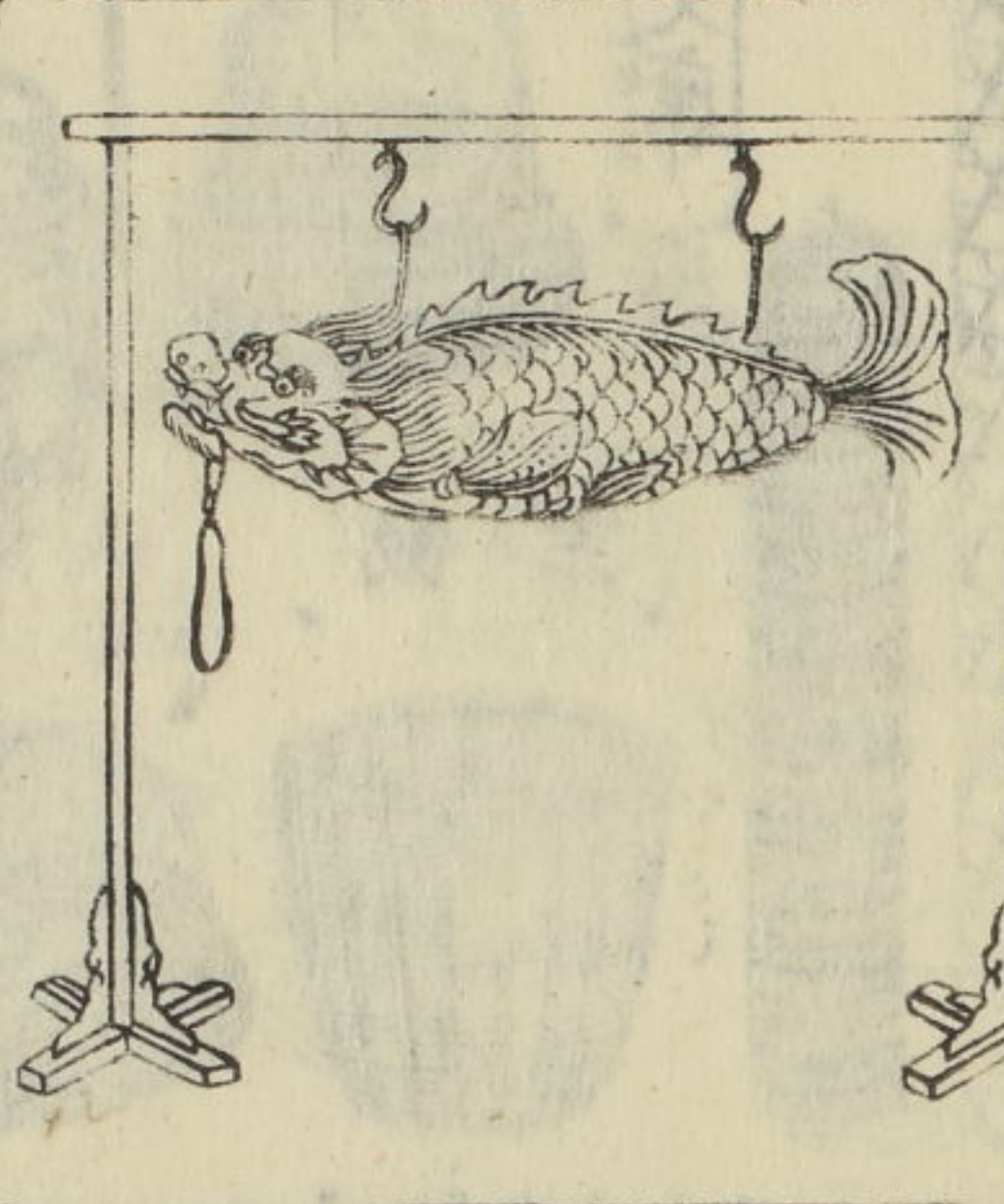
龍吐



柳



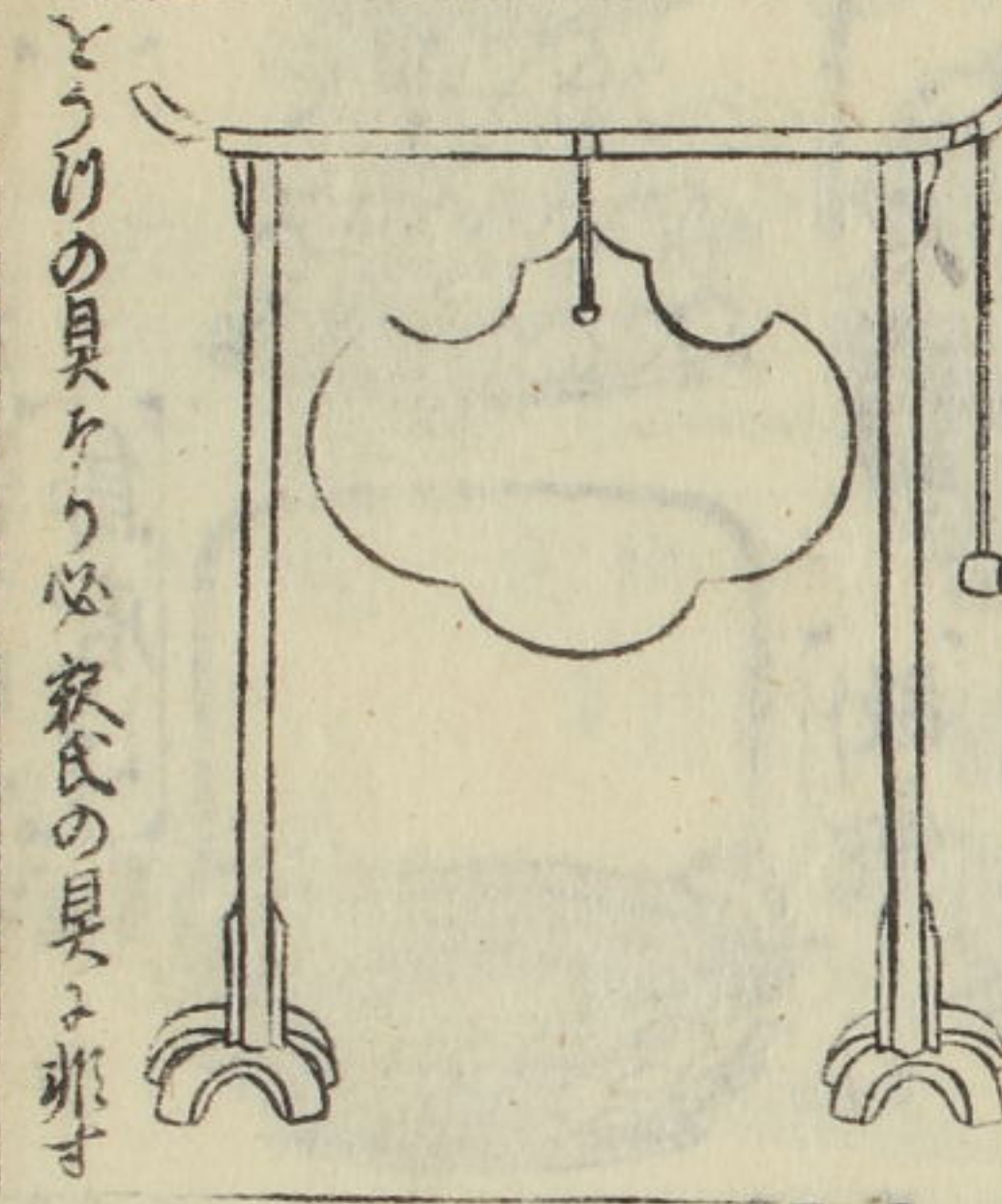
柳ハ昂ラ
折易日
重門撃折
以待暴客
といふ也
花ゆき木
と轉て更
籌とかん
者も同



典鐘



唐六典者
鐘を撃こ
大史門ノ
典鐘あり
二日八人
撃つ編鐘
と云ふこと
いふこと
○柳典
鐘を二刻
とうりの具
なり必夜
夜の具なり



梅叱

星鏈

内月牙

外月牙

鋼鞭

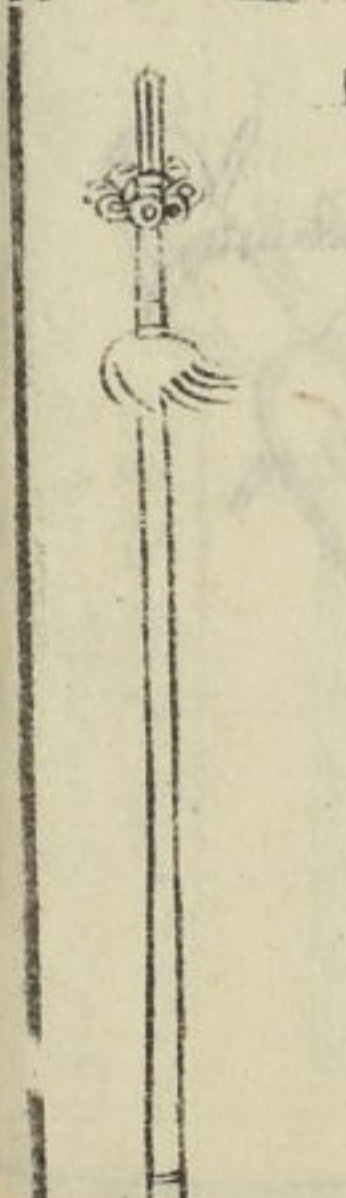
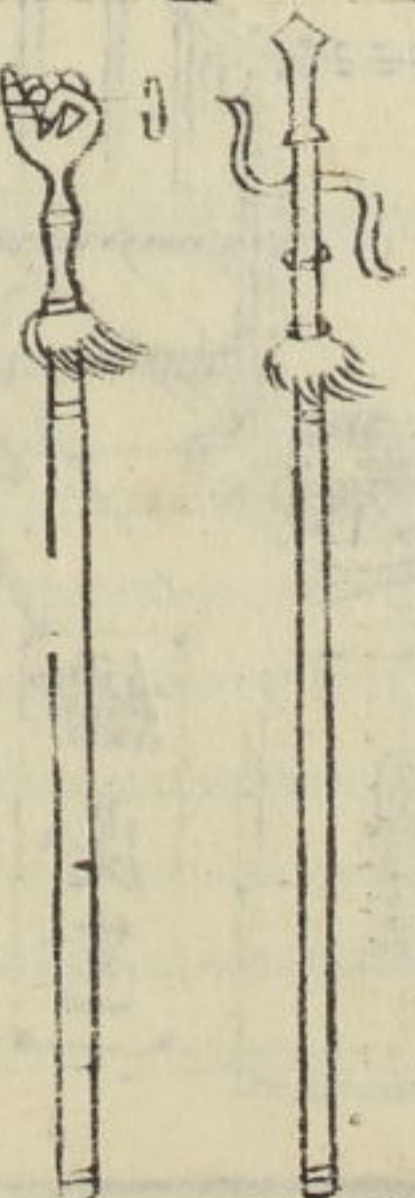
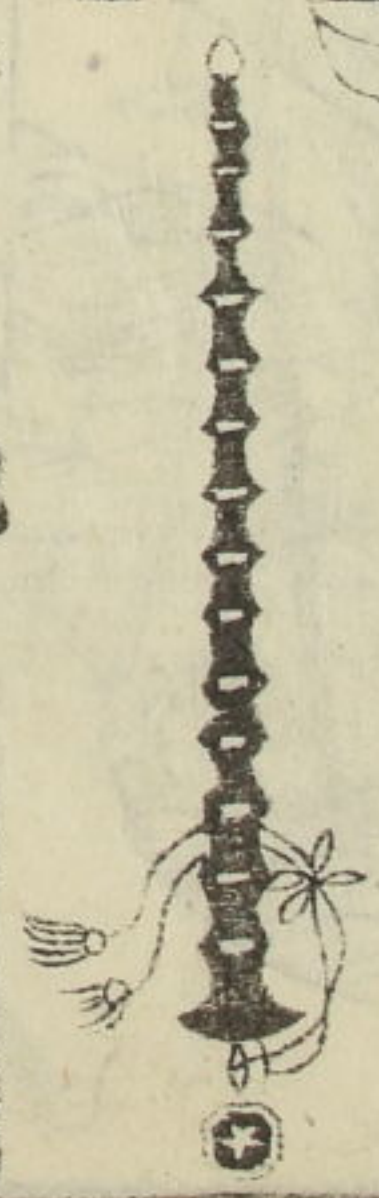
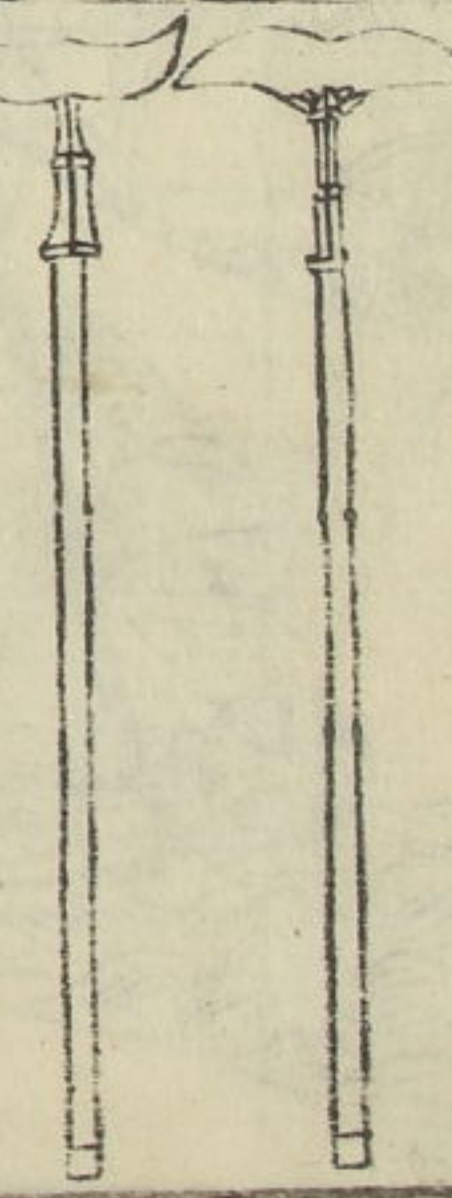
二節刀

文叉

武叉

銅拳

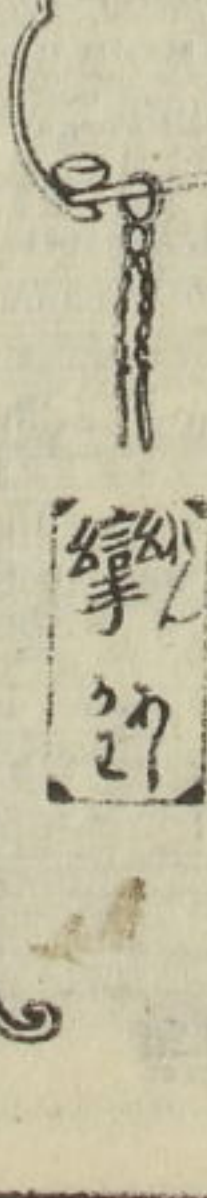
柀咭



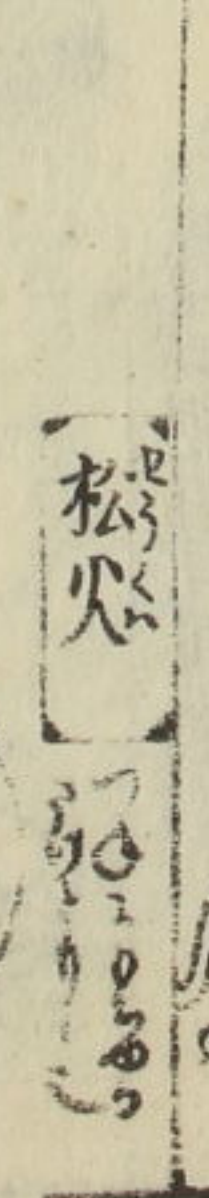
柀



書燈



葛灯



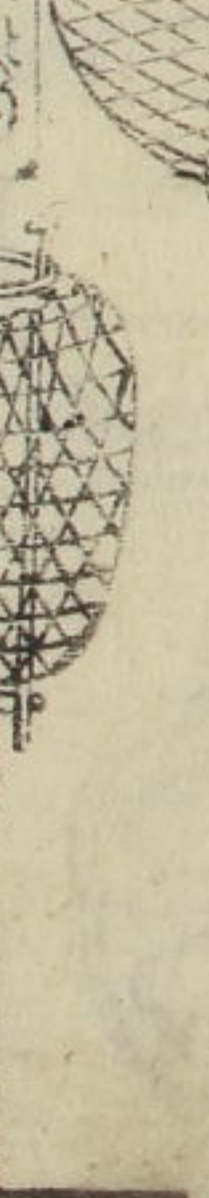
目灯



柀灯



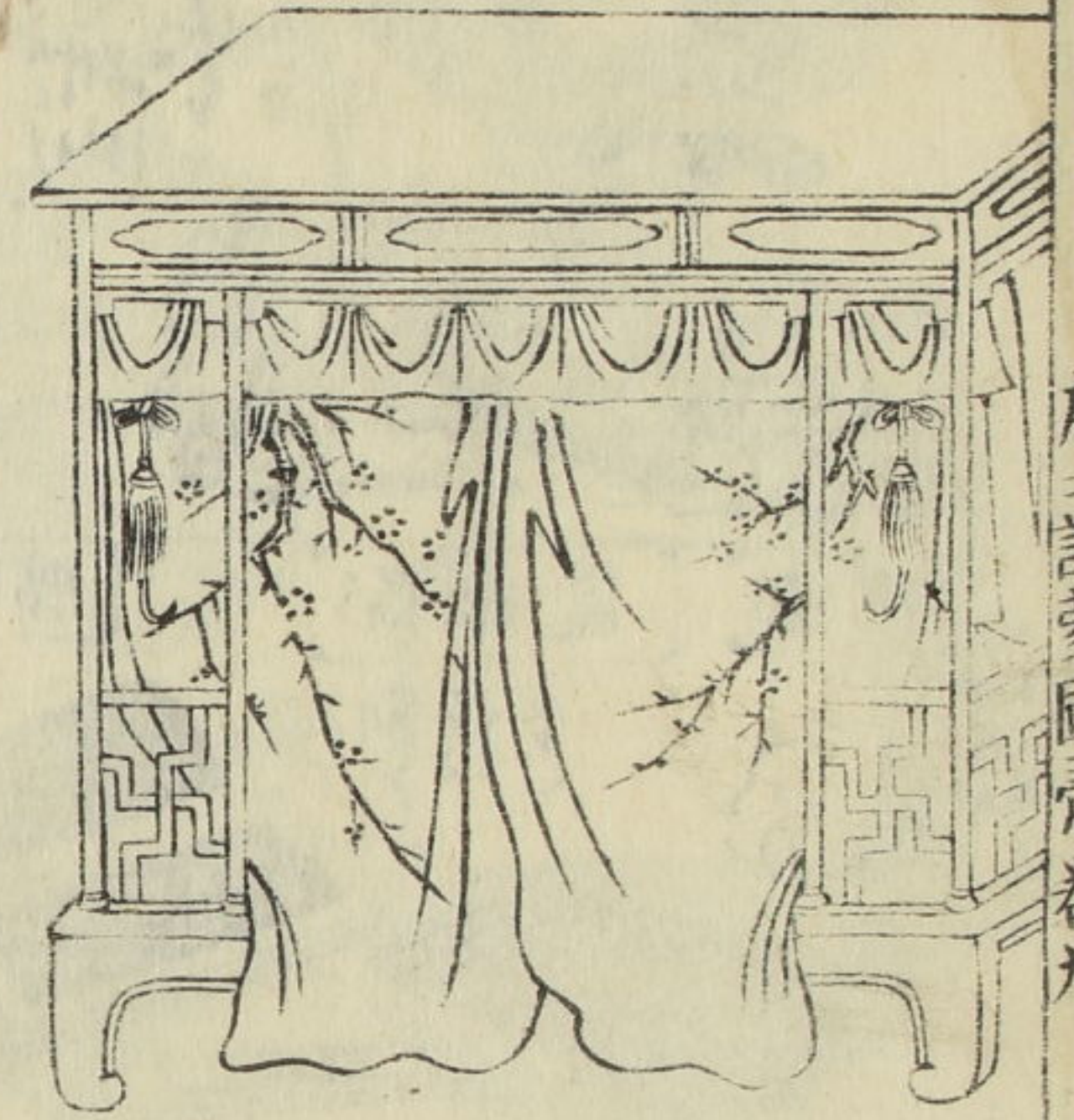
柀灯



柀灯



帳床



唐土書夢園言卷九

倒龍氣

一名海水精
和のふい
どつ石と注
とてつる
北条ニ注
水と入て東
とこつれ
硝子ハ石
別ゆかり
佛昂瓷
和のふい



鏡里千

天蠶織類



桑梯



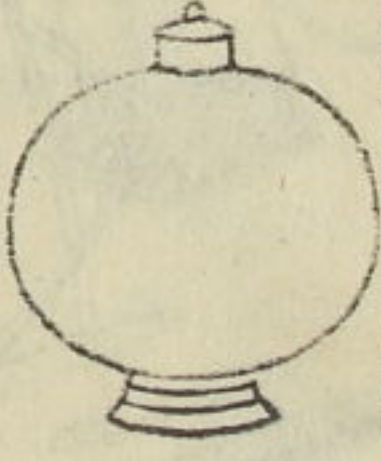
酒旗



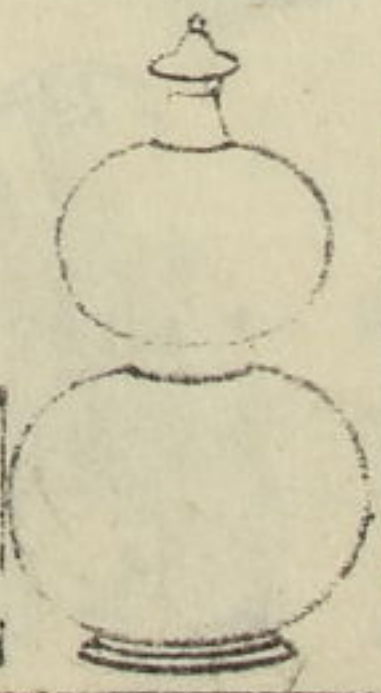
臺盤



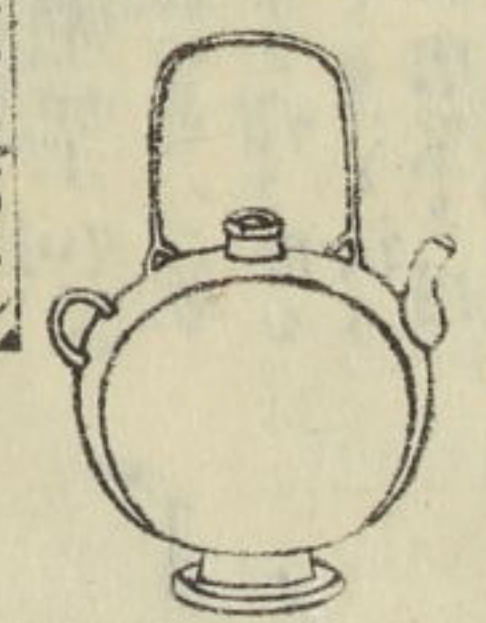
大極尊



葫蘆樽



偏提



茶瓶

盆瓦老



瓢杯



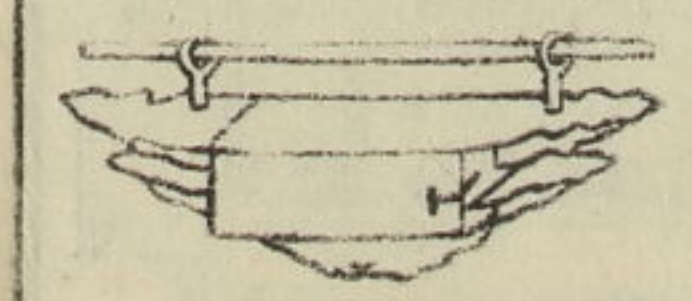
棕將軍



鎌



上同



貝光祿

斧斫 桑鉤 桑籠 切刀 剗刀 桑網



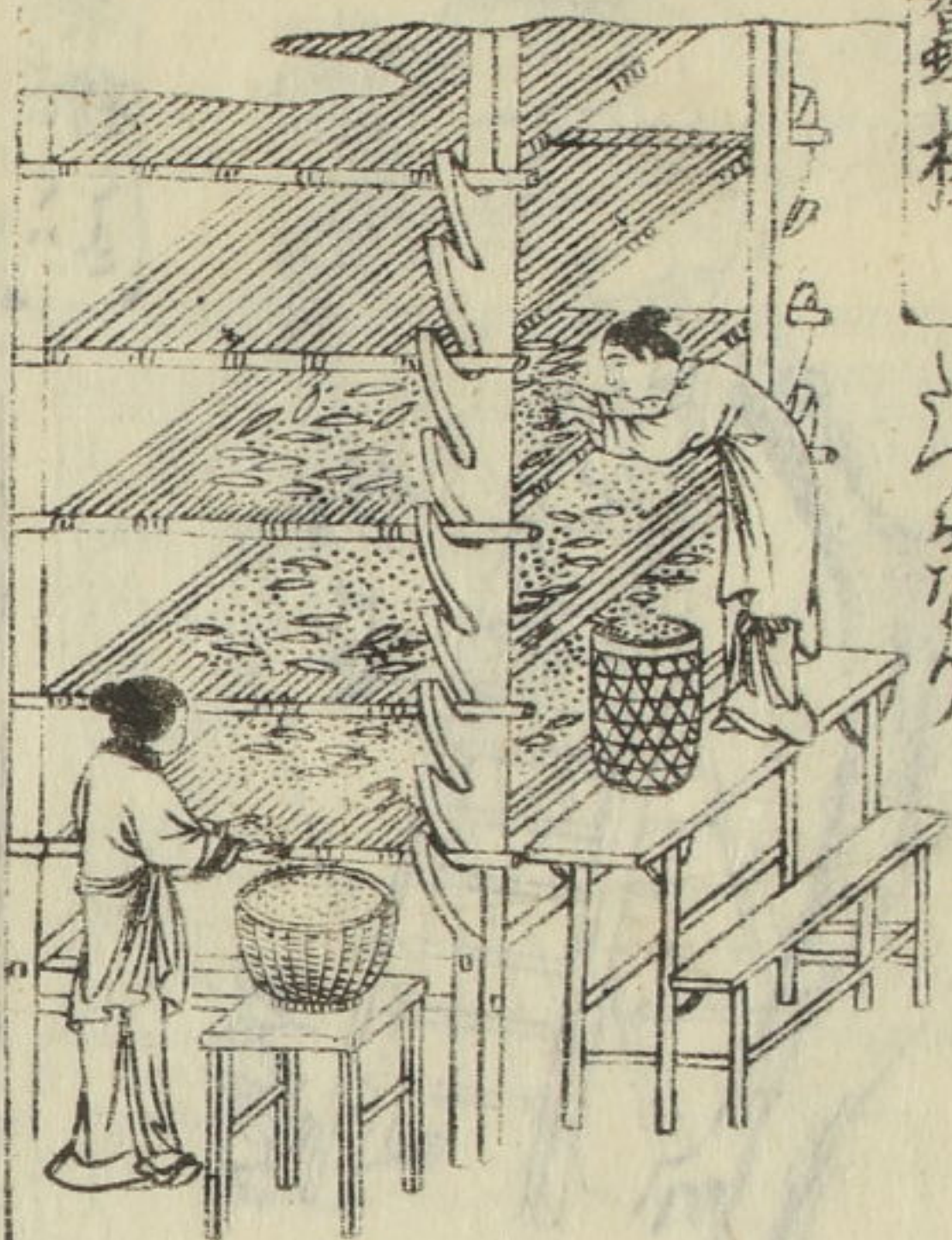
桑の皮とさく斧



桑の皮とさく

替蝨植

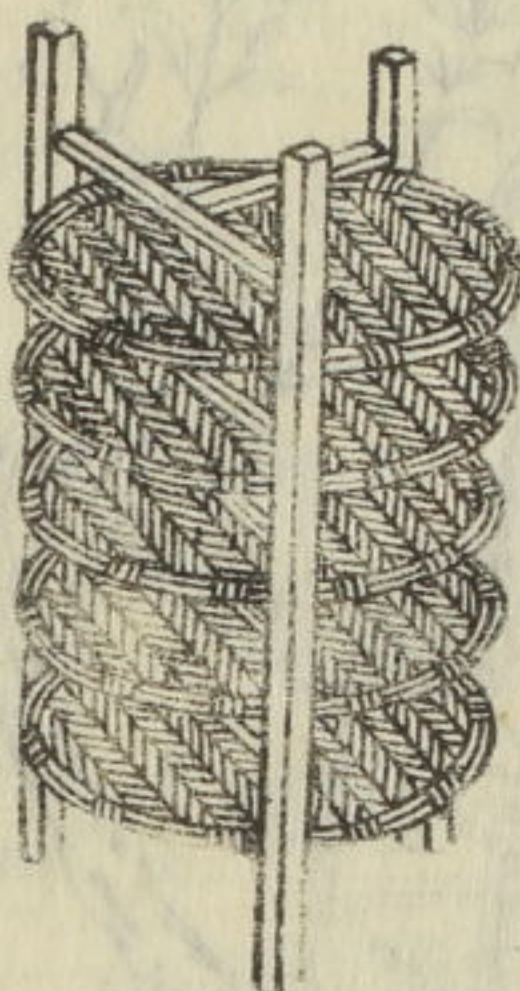
唐土計家區言卷九
植の植にみいふかとのとみ
とつらかり



替蝨椽

替蝨椽は替蝨の泊と架の長一丈三尺
替蝨と五月す器なり

替蝨筐



替蝨杓

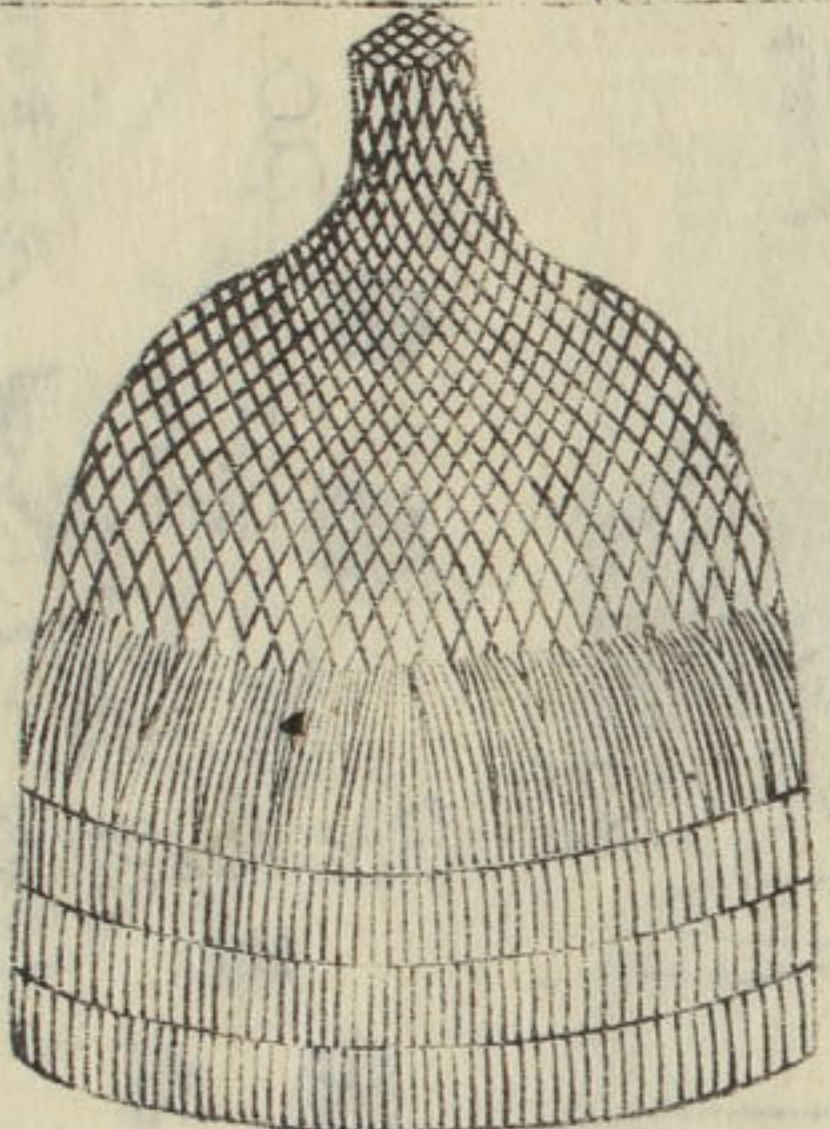


替蝨籠

替蝨籠と地
うつくし
替蝨と架
桐の葉と
替蝨籠
一丈と一き
十升に地
二丈と一
封して七
日おぼし
五いん



替蝨竹族
高梢叢柴
ついで芝急溜
さてかどつこ
圓亭のく
替蝨のまの
所
造や南北
のりらひ
圓の南方



替蝨架

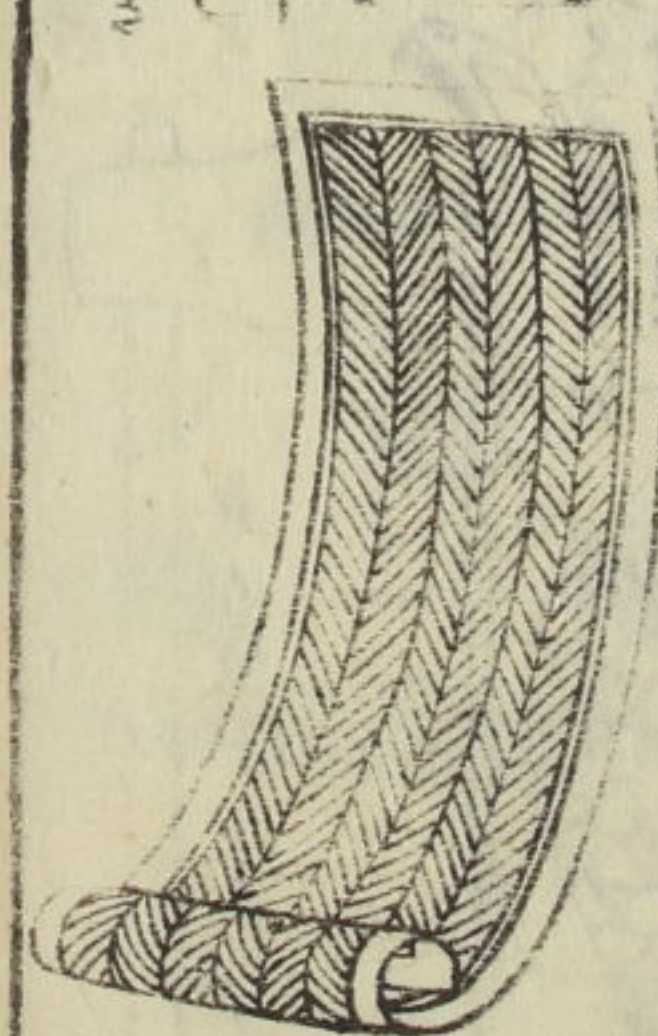
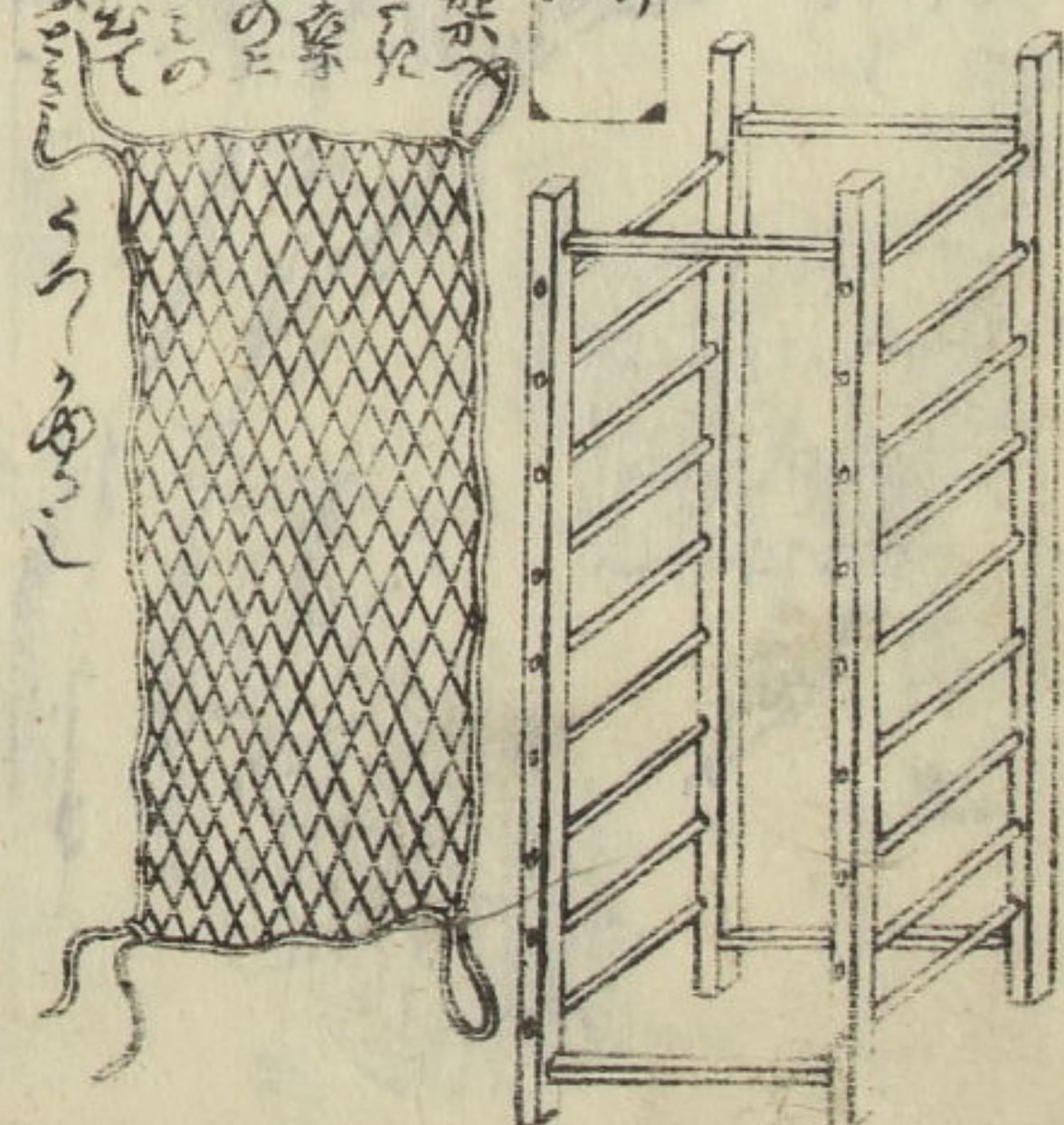
替蝨網

替蝨別架
うつ替
四の網
と入替
こま
まよと

替蝨箔

替蝨椽の中
同
長七尺
五尺

替蝨籠



九

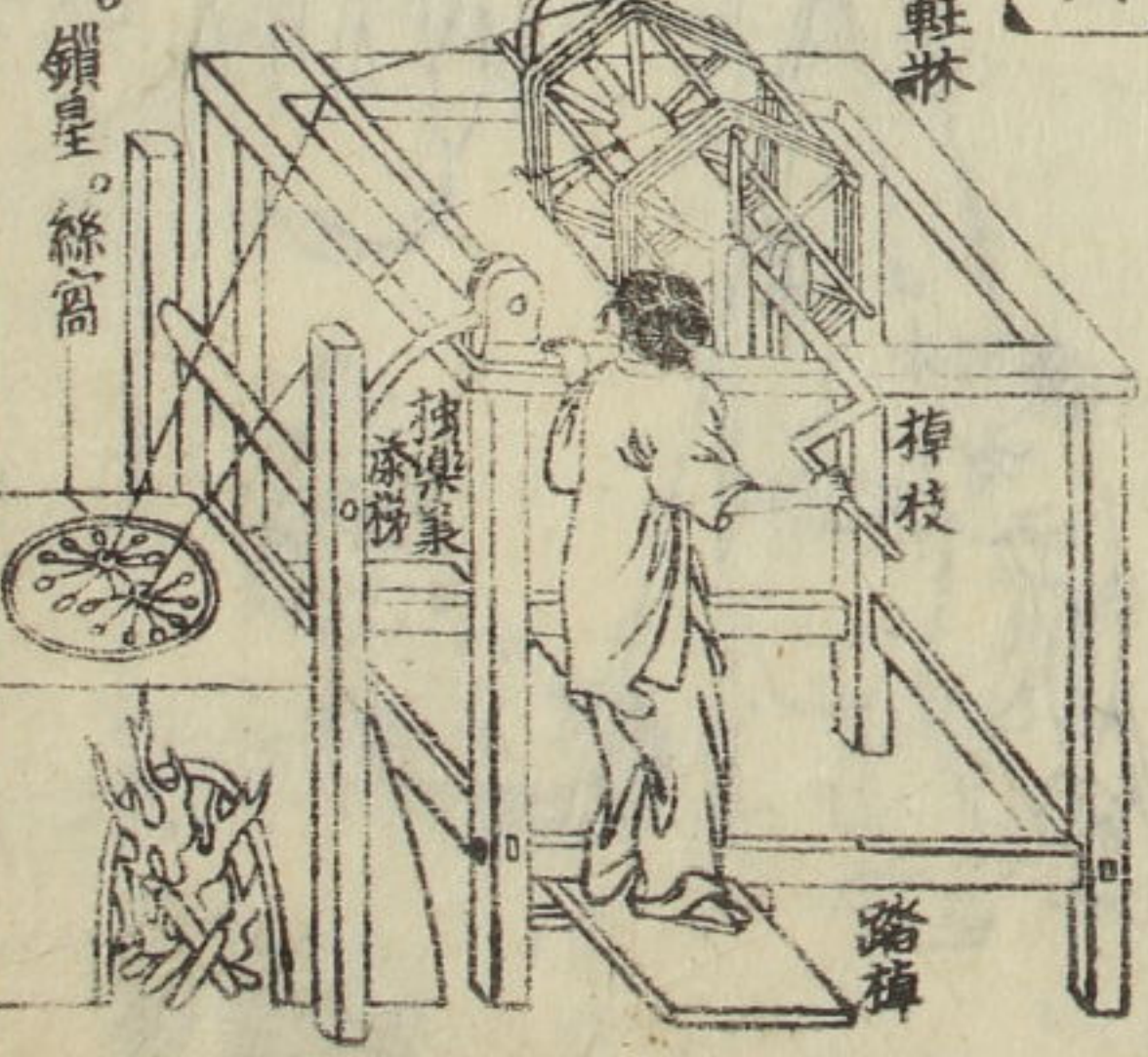
替蝨籠

替蝨籠
蓋籠
と
あ
い
と
ろ
能
出



北線車

北線車は
南北の
南園ハ
訓家
園
故
北園と
あ



唐土計家區言卷九

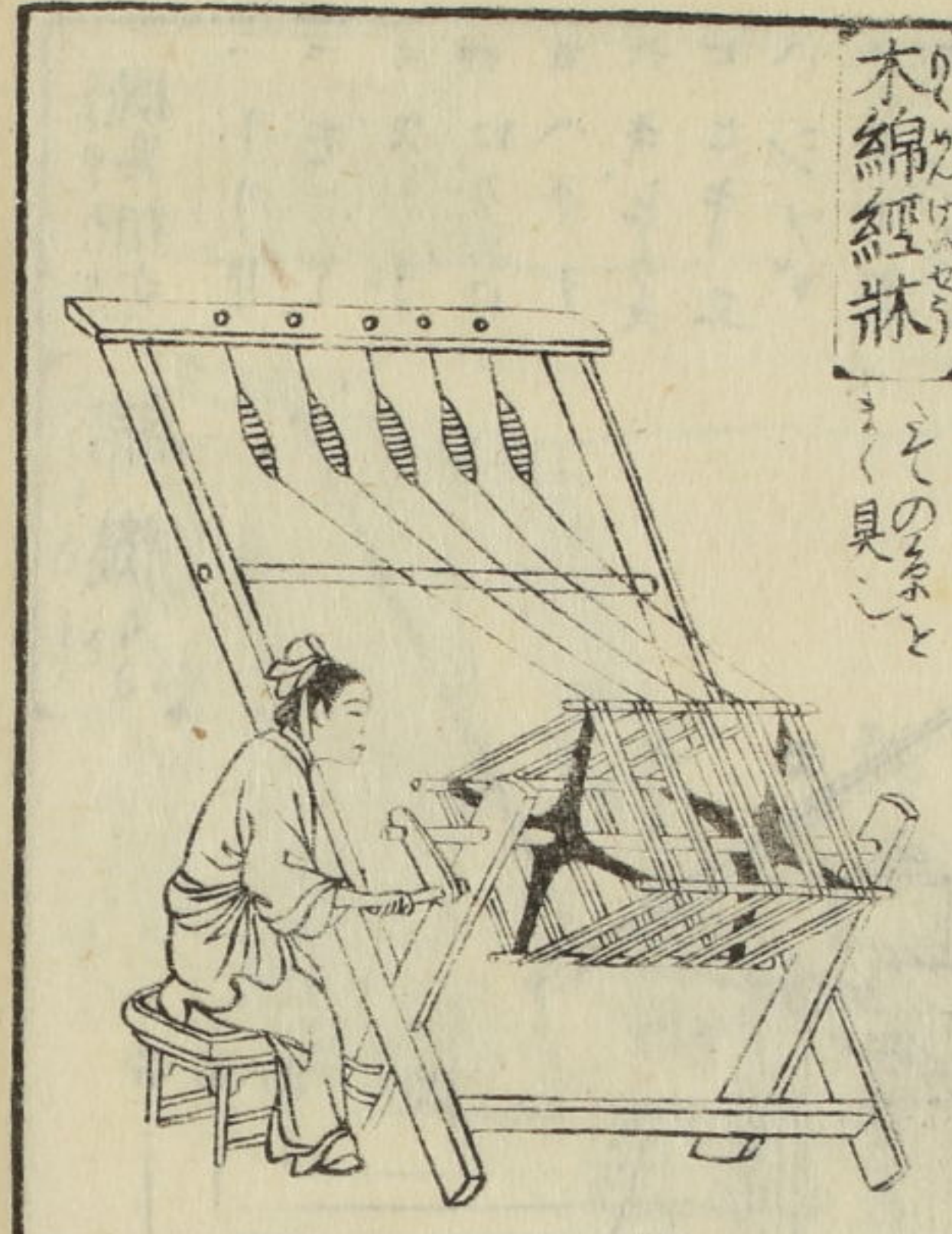
木綿彈子
古制ハ竹と以
小弓とつら
て強つ近代
の制、各別
長五六尺
強羊腸
つら推え
うひのお
陸雷れや
今云とめ
木綿經林



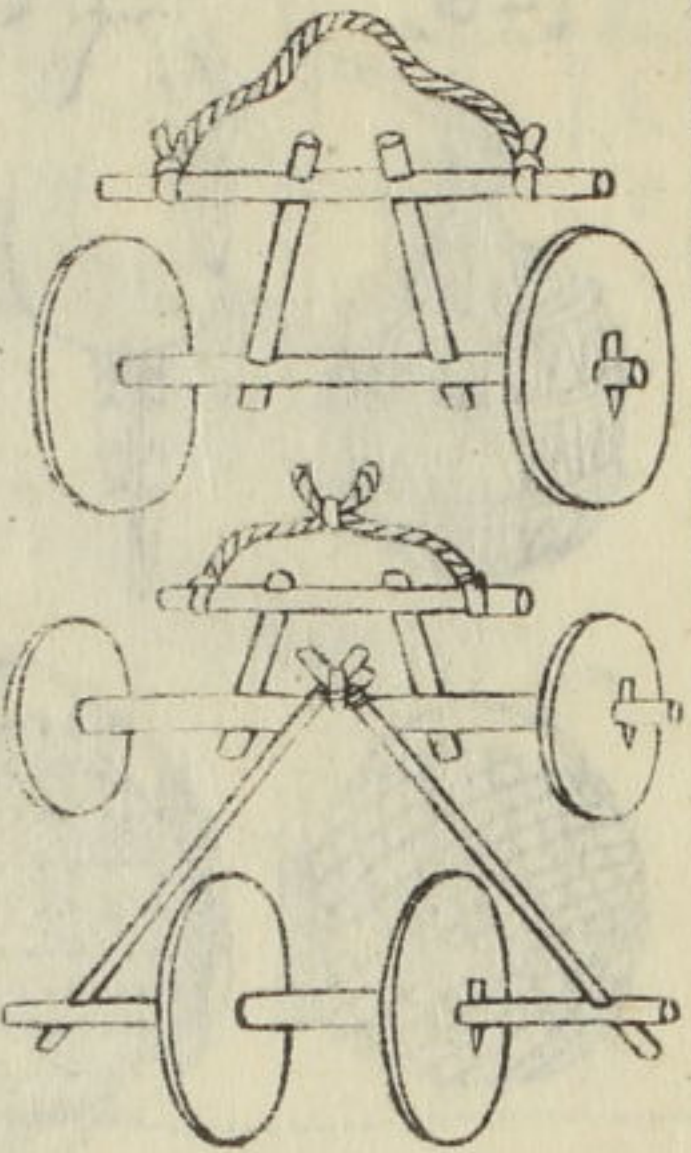
この糸と
まく具

木綿捲延
綿毛と
のうて無
糸竹と
後筒と
か、率
紡て糸と
か、
今、糸の
まき又
こし

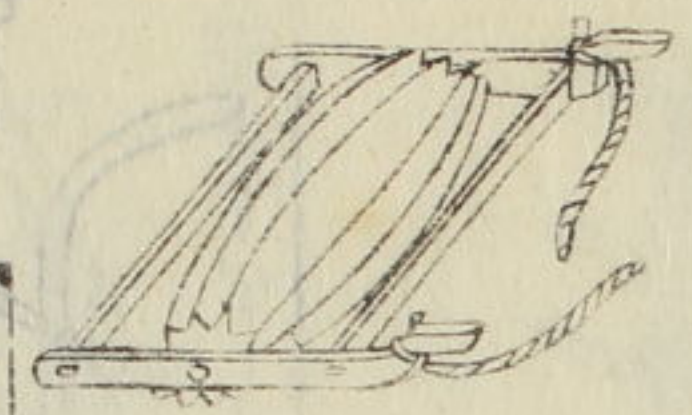
いとわ
具



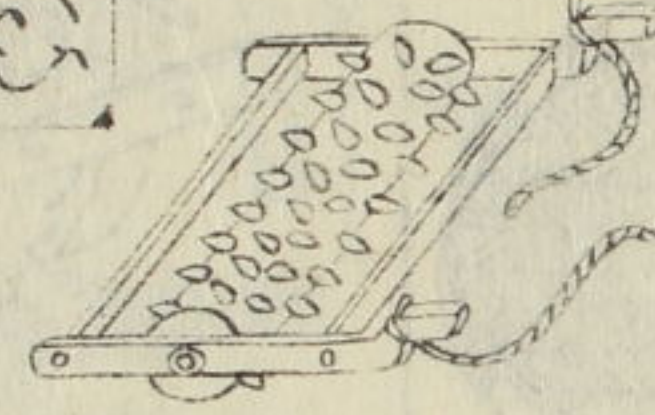
田家農具
砵車
地とつ
うひ具



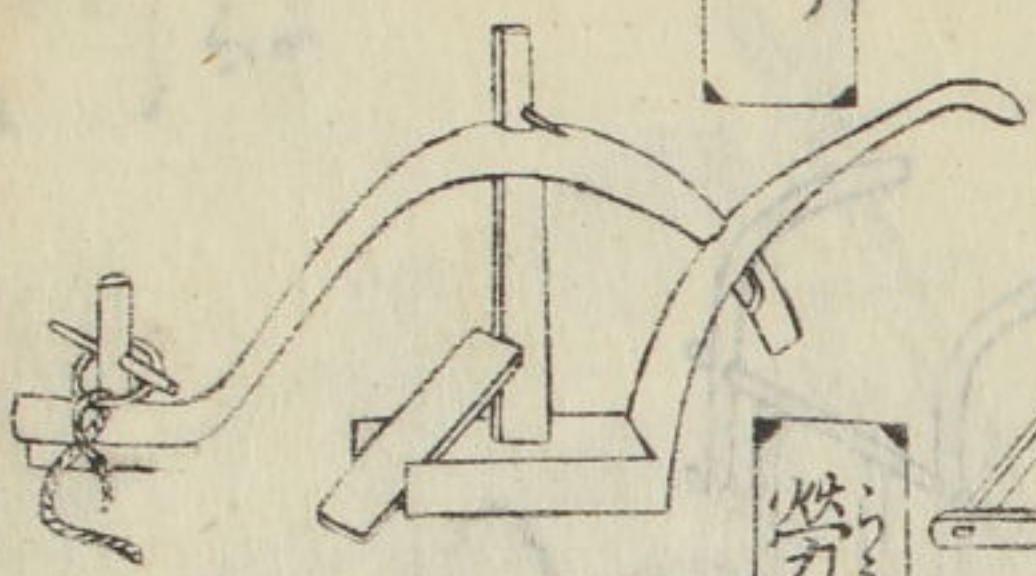
砵毒



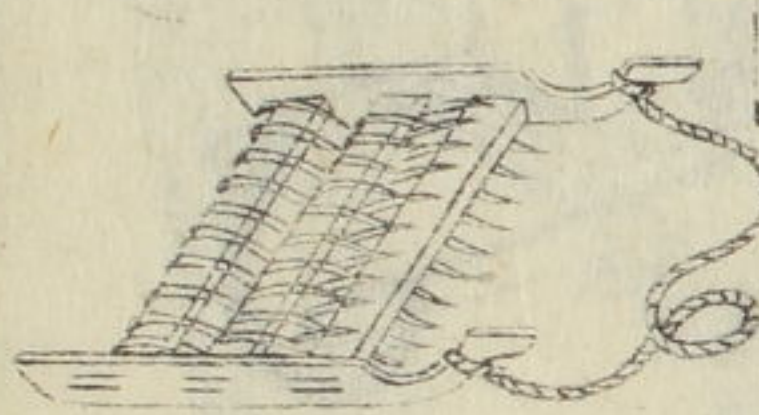
水
砵
磔



磨刀



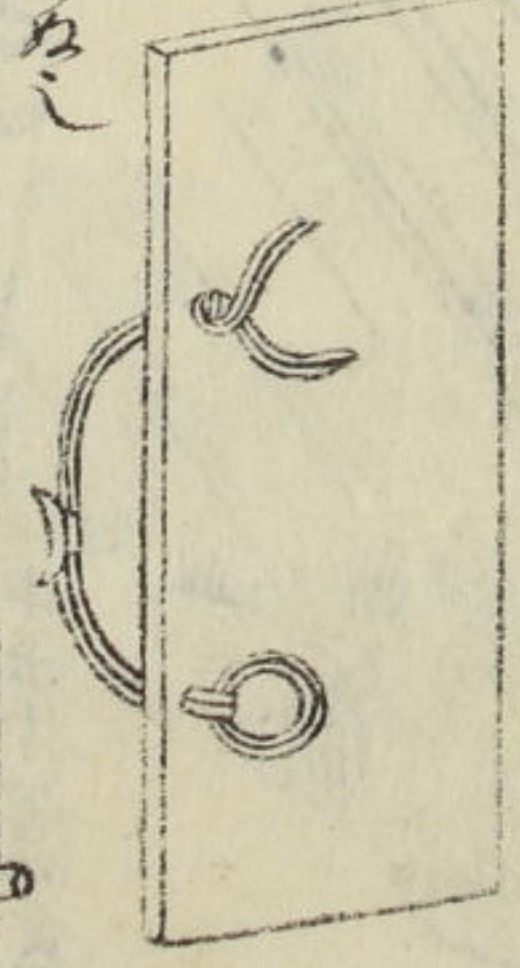
磨
刀
の
具



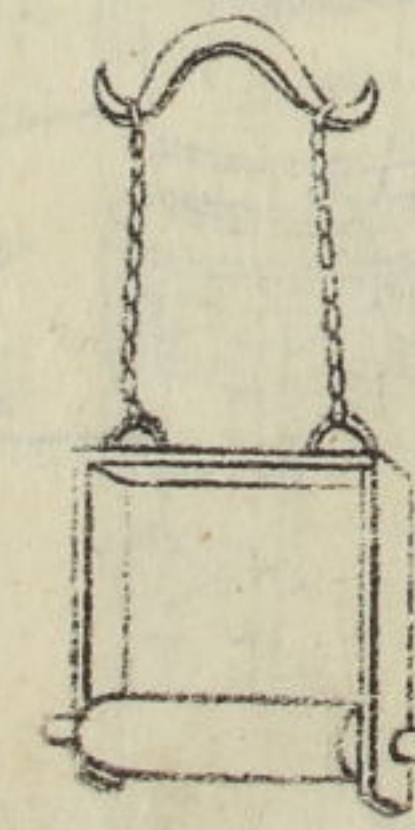
刮板
土とつ
具



平板
泥田
具
平
板



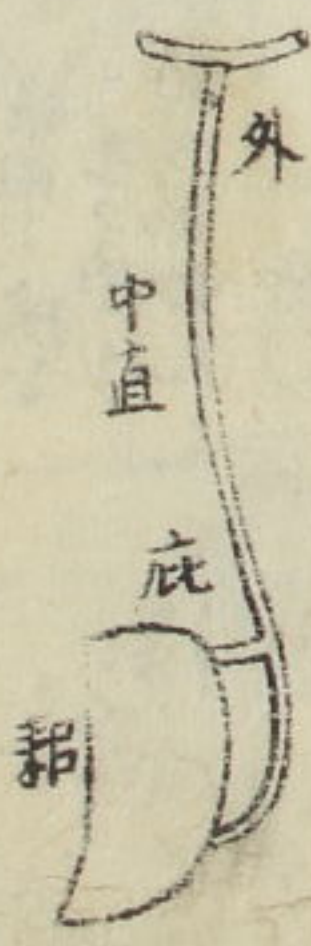
輓軸
上
軸



長鏡
田
鏡



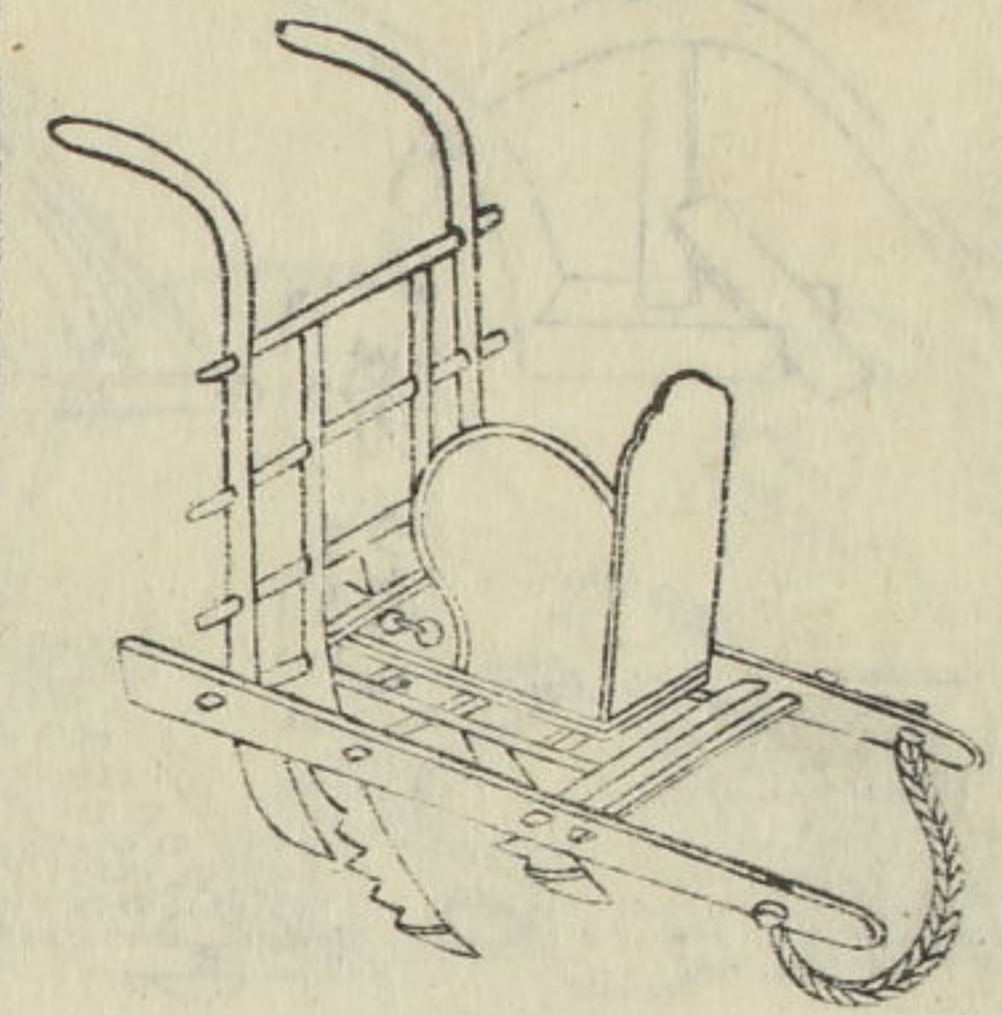
耒耜
農
具



林農具
の
具

篋車

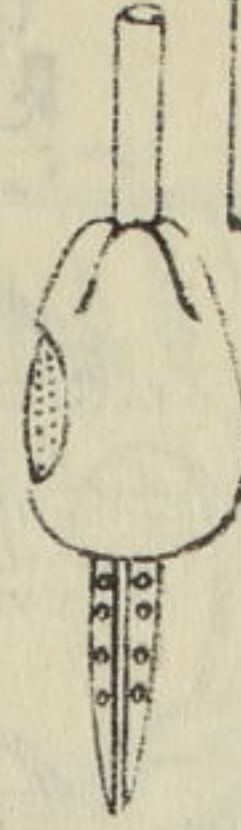
くわまゝ
しゆふ
具し



曬
般
木

瓠
種
器

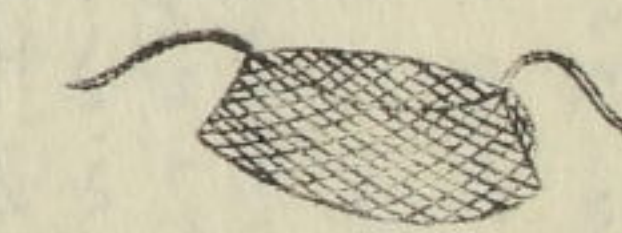
種
篋
器



唐土
詩
家
圖
三
片
卷
九

蔴馬

田の州と時
うまに衣の
そとこむ具



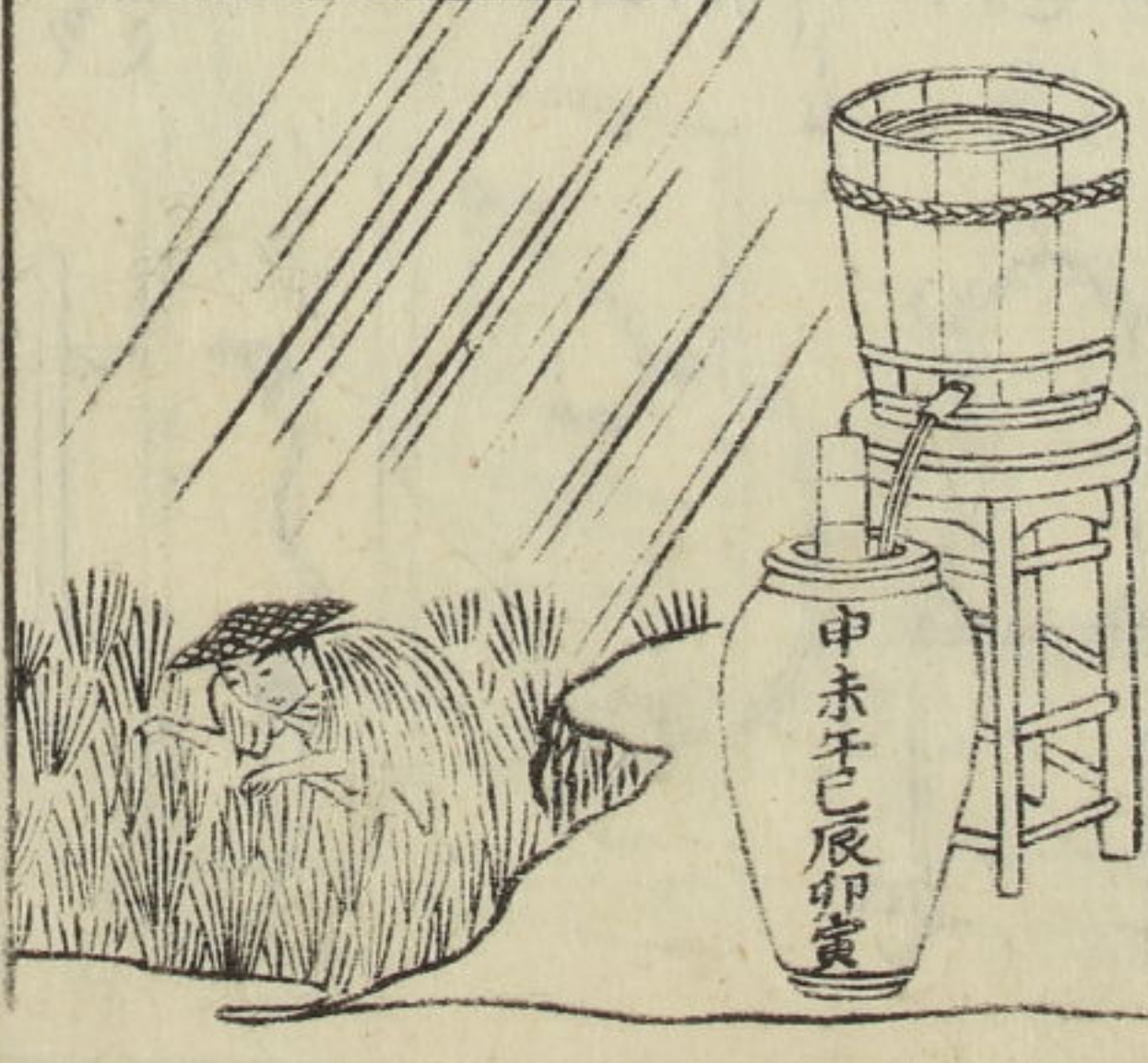
秧馬

泥田に秧
うまの
のこものこ



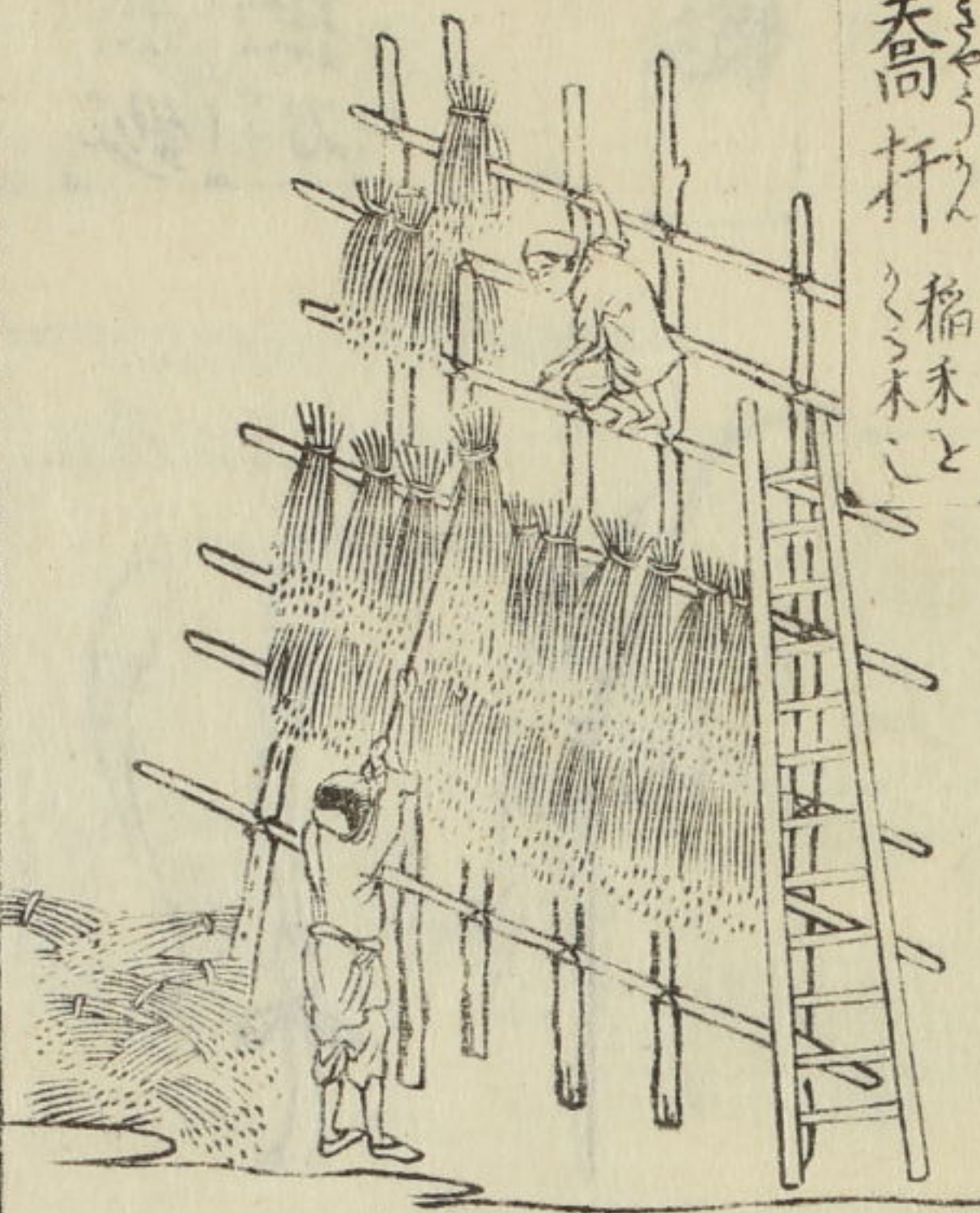
田
漏

農家の用
て時刻と
うろ器かん
其制壺内
あまを
刻むと
いし壺水
下
うろ水
転てあ
たれた
わろこ



喬
杆

稻
米
と



夾
笥
元

稻
夾
タ
と
う
ろ
か
り



攪
稻
篋

い
ね
こ
さ
び
り



竹
師
叔
笥

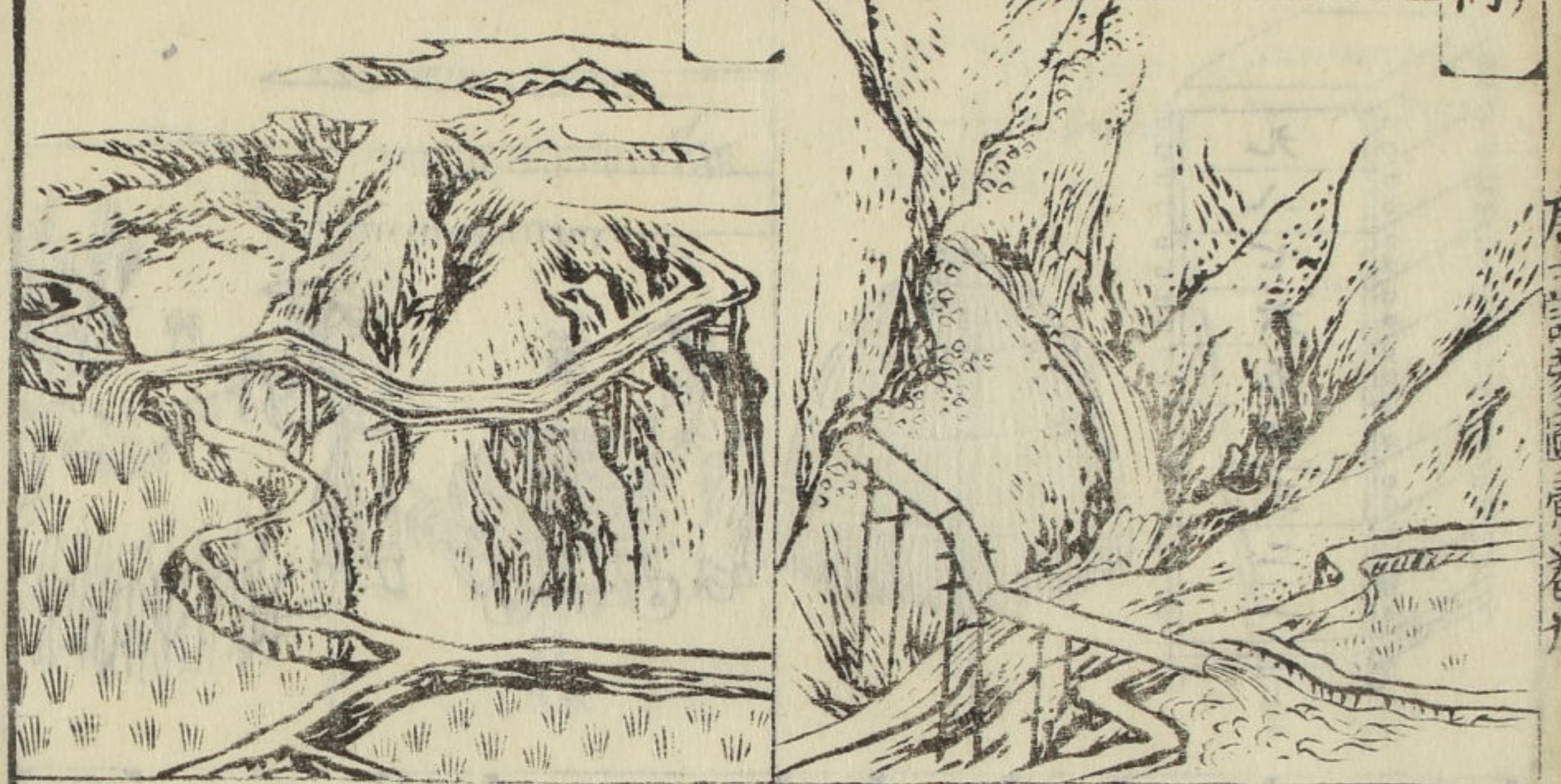


水筒

此制法は
遠き水
を用ひ
竹筒を
つなぎ
つゝ
水へ引
く

架槽

はらも上
の木筒
と同一
尺槽と
筒との
間の
この



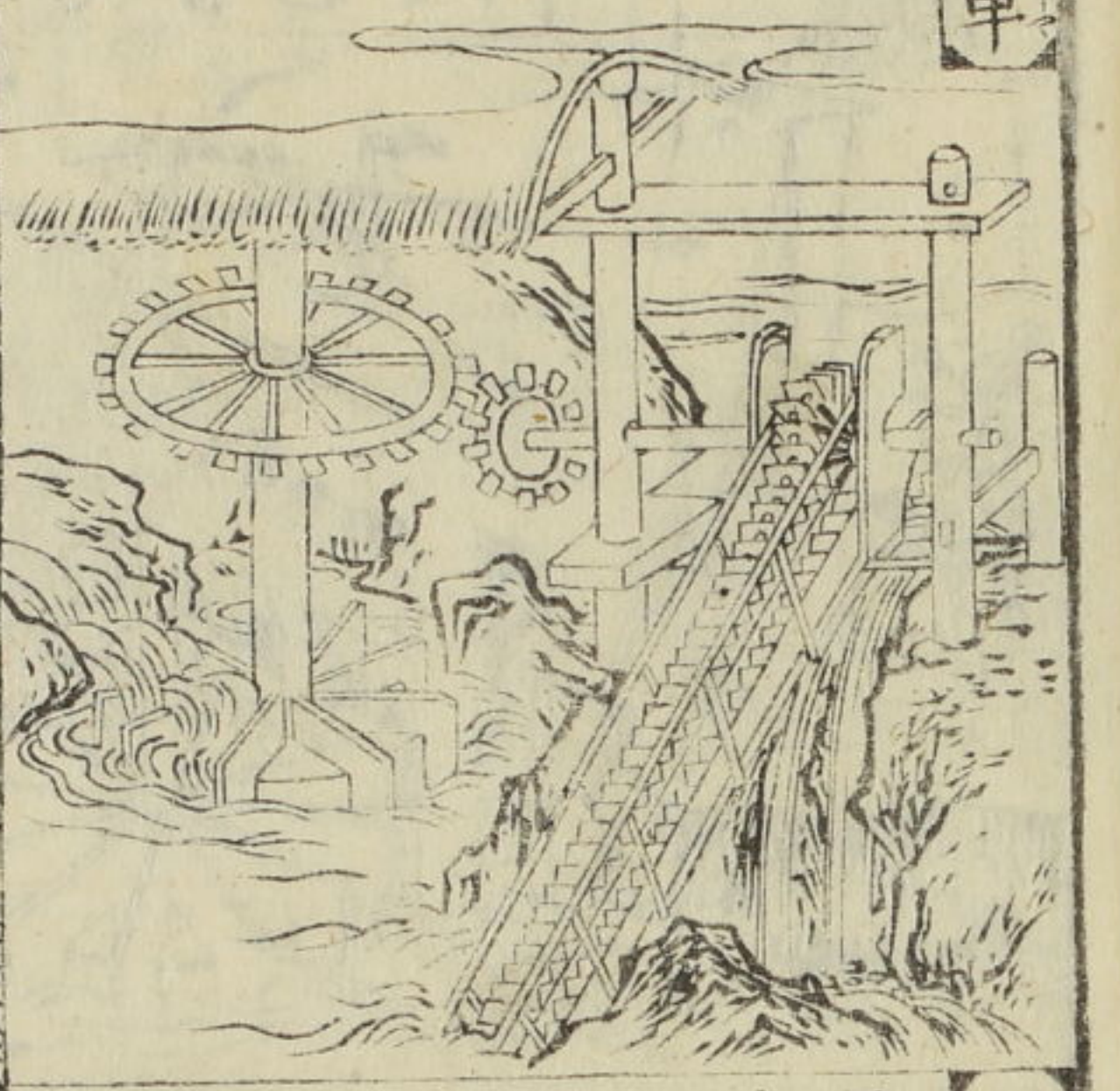
高筒筒車



この筒は
各輪と
径は人
槽の
一尺輪
と水と
水との

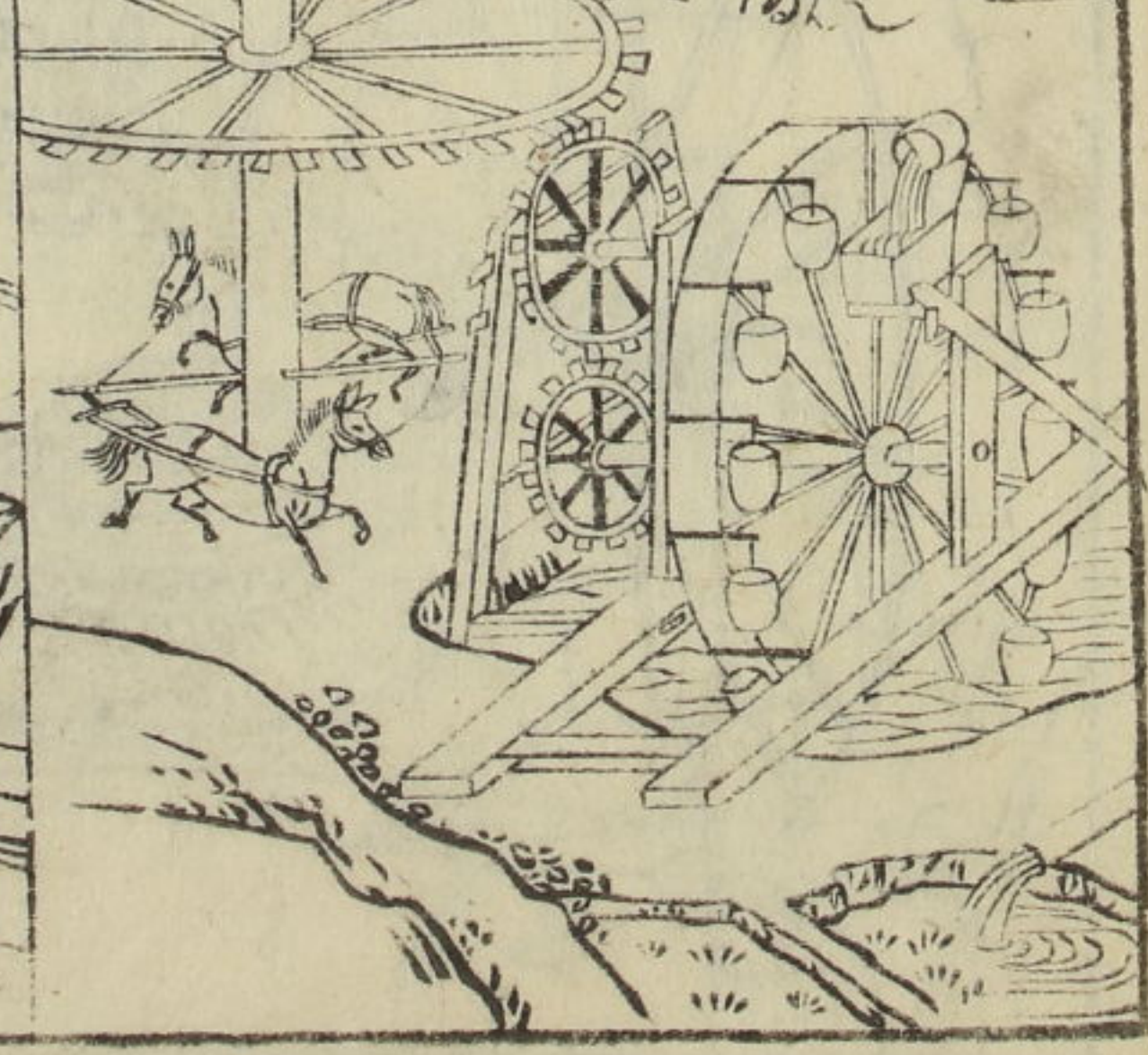
水轉翻車

此制は
流水の
山岸邊
よひ
の動と
つて水
と入る
車軸
と入る
人か



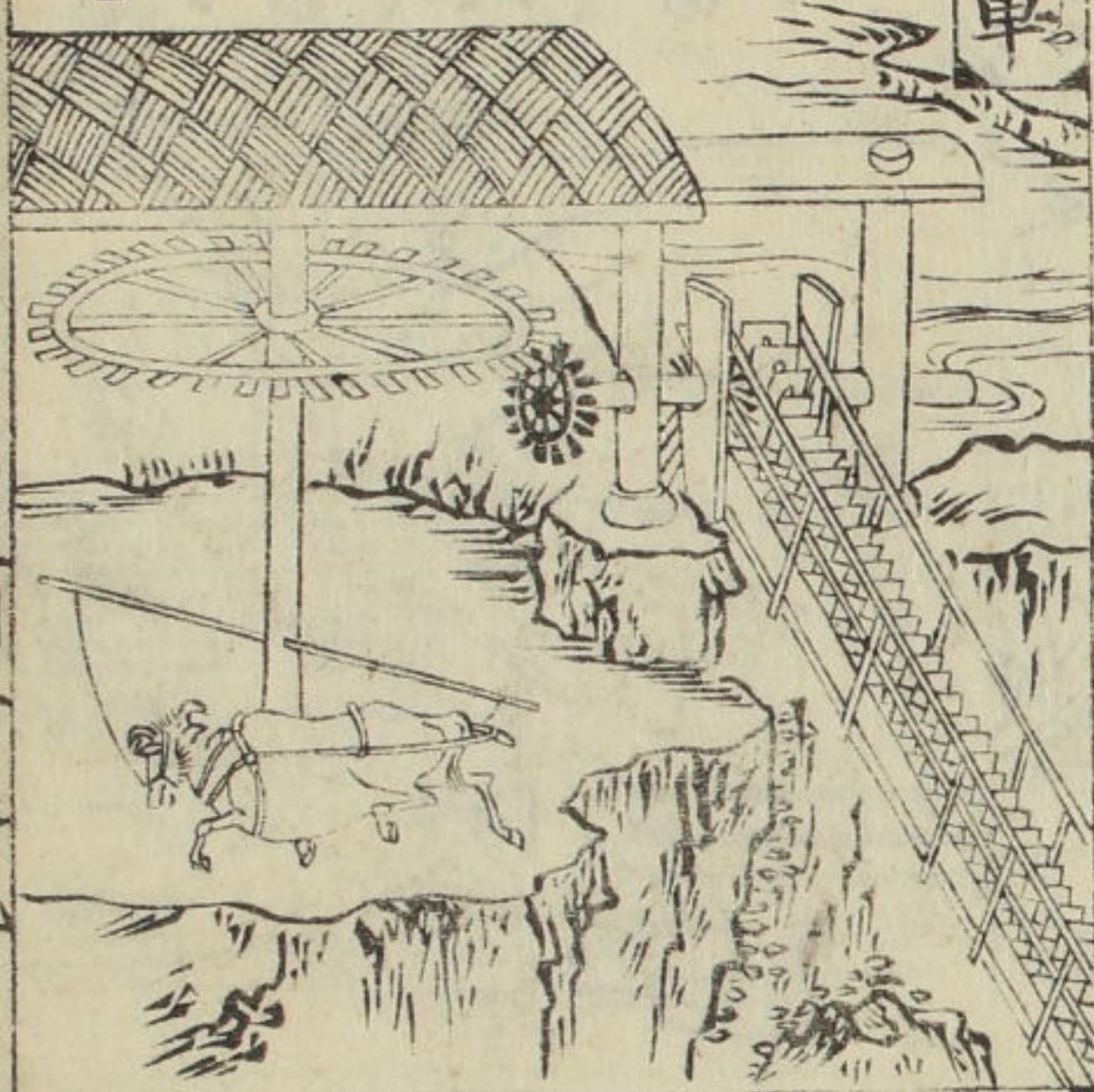
筒輪

此制は
岸下の
水と高
この田
必と此
と用へ



牛曳水車

流水つ
と用ひ
水轉翻
車の制
同く
人か
て畜力
以て功
を



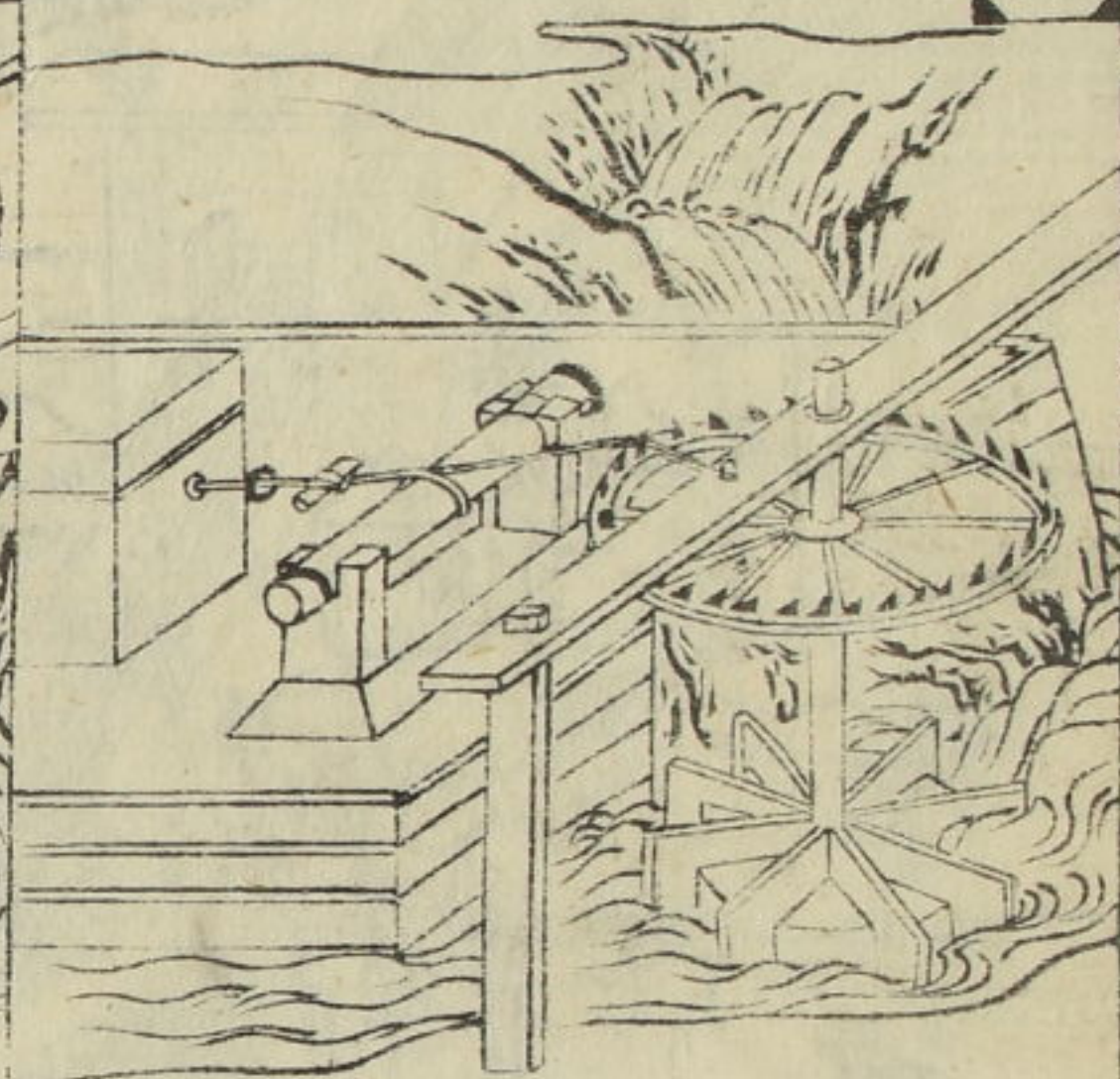
刮車

此制は
岸下の
水と高
この田
必と此
と用へ



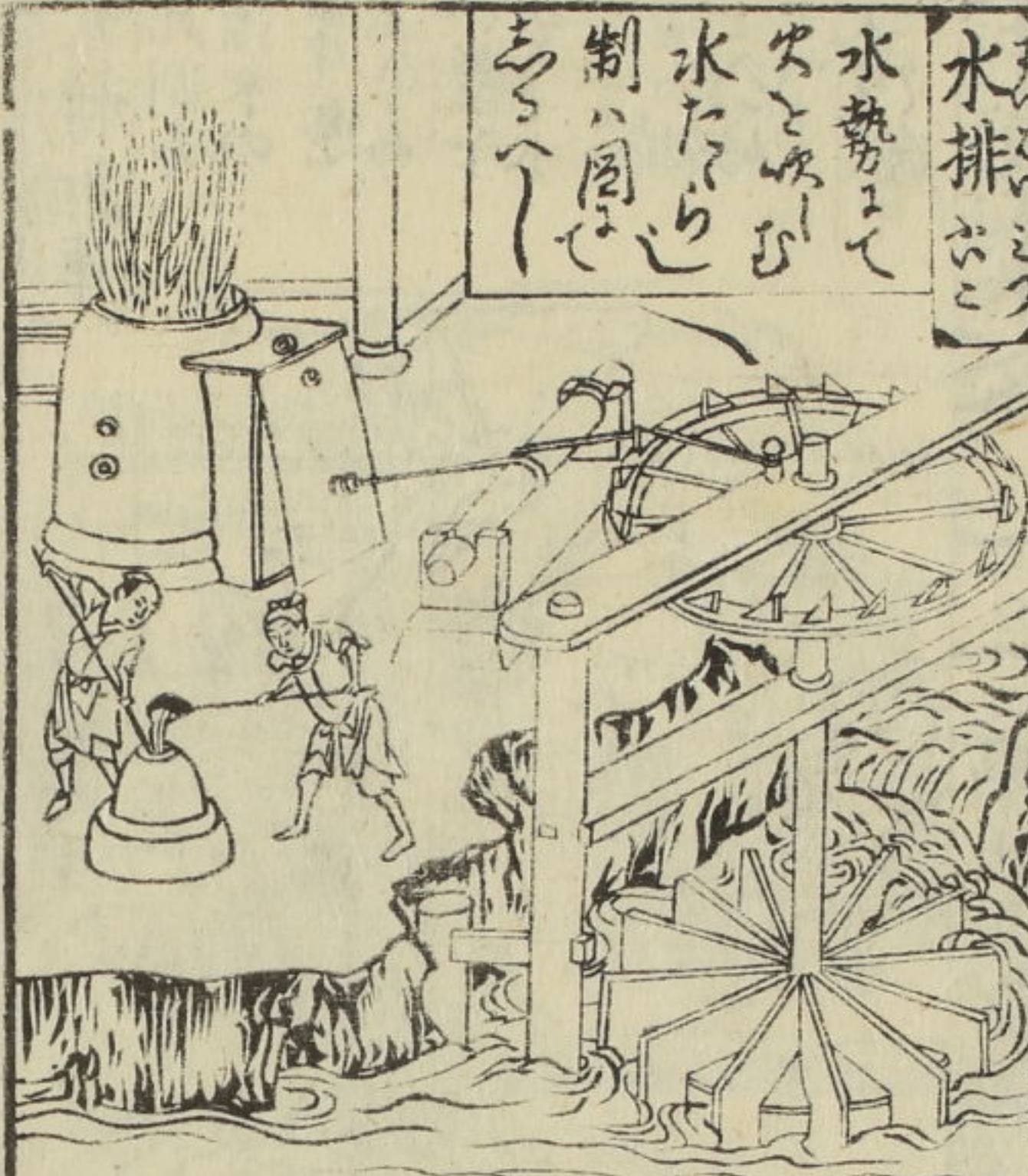
水打蘿

此具水
隨用
麵之
令及
巧下
水能
同



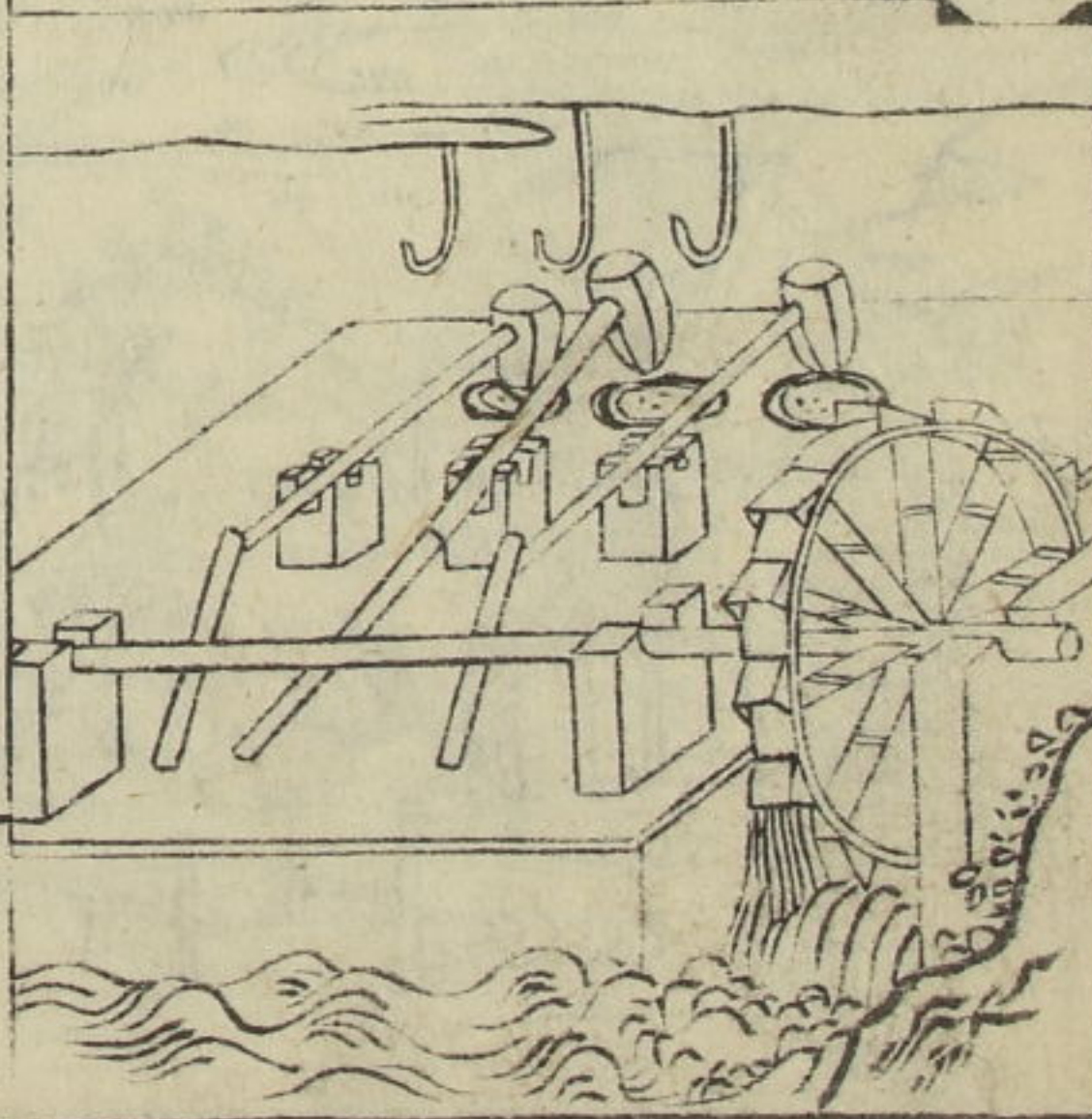
水排

水勢
火と
水た
制ハ
あへ

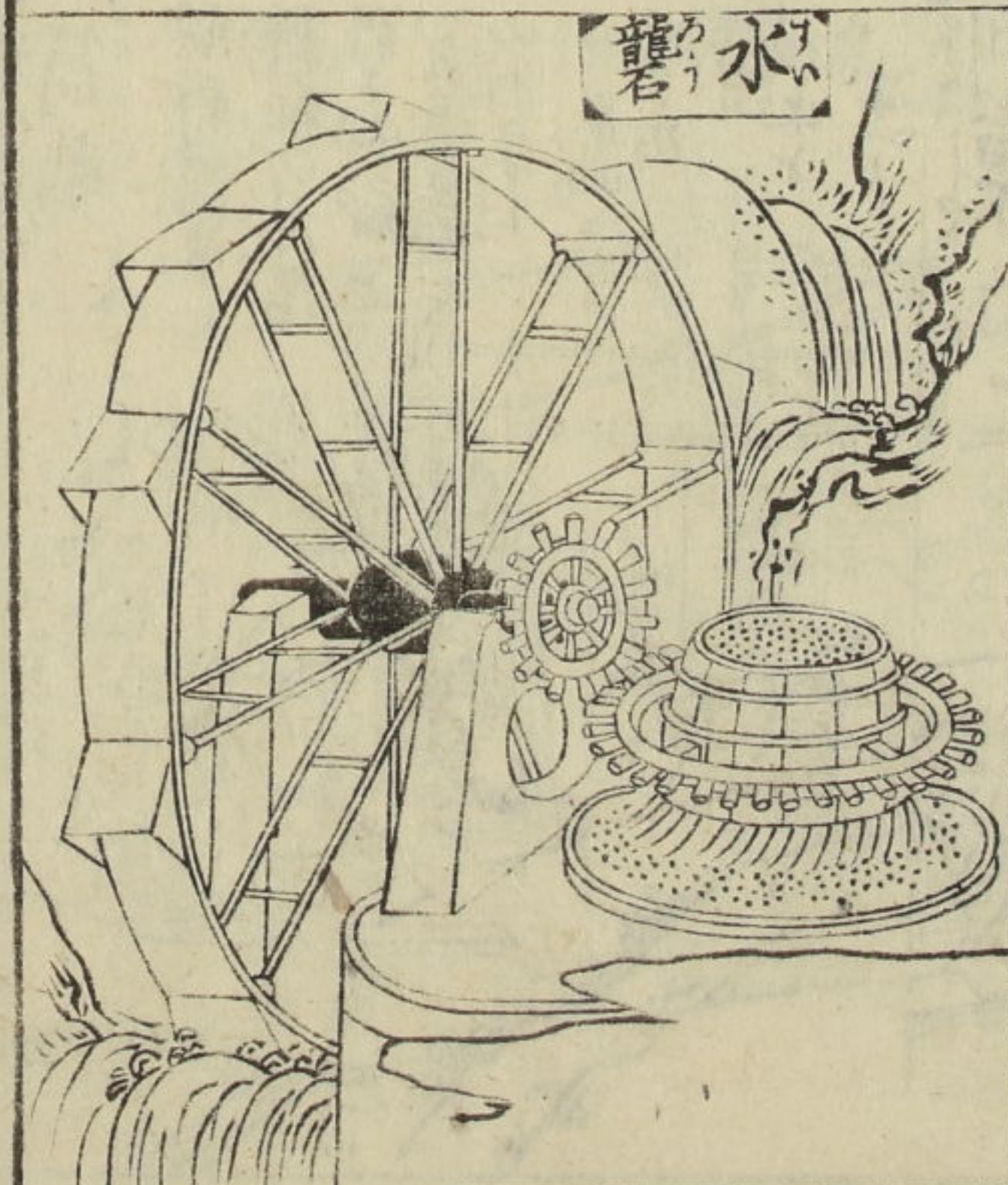


水碓

連機
水勢
加
亂の
家水
十區
いふ

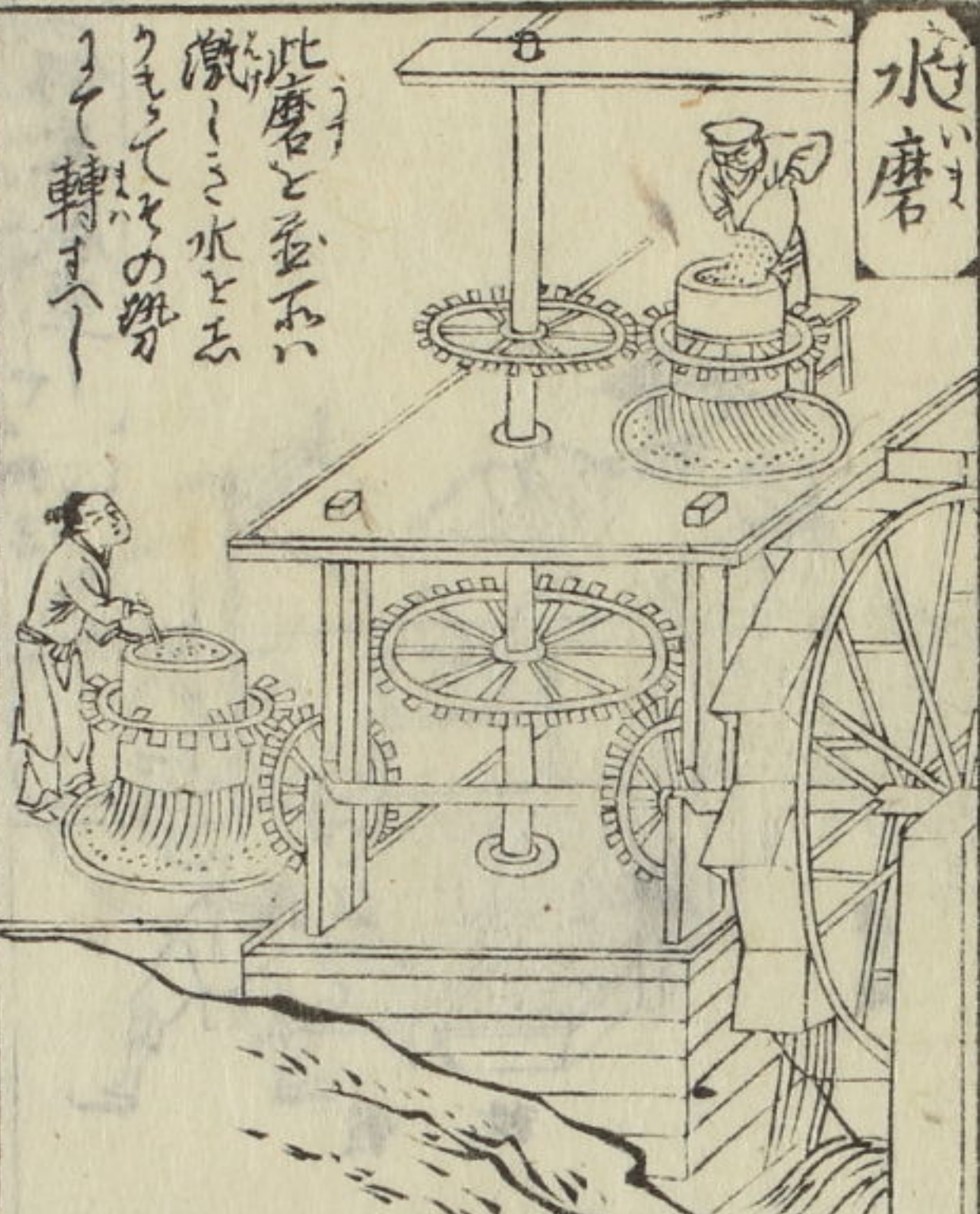


水碓



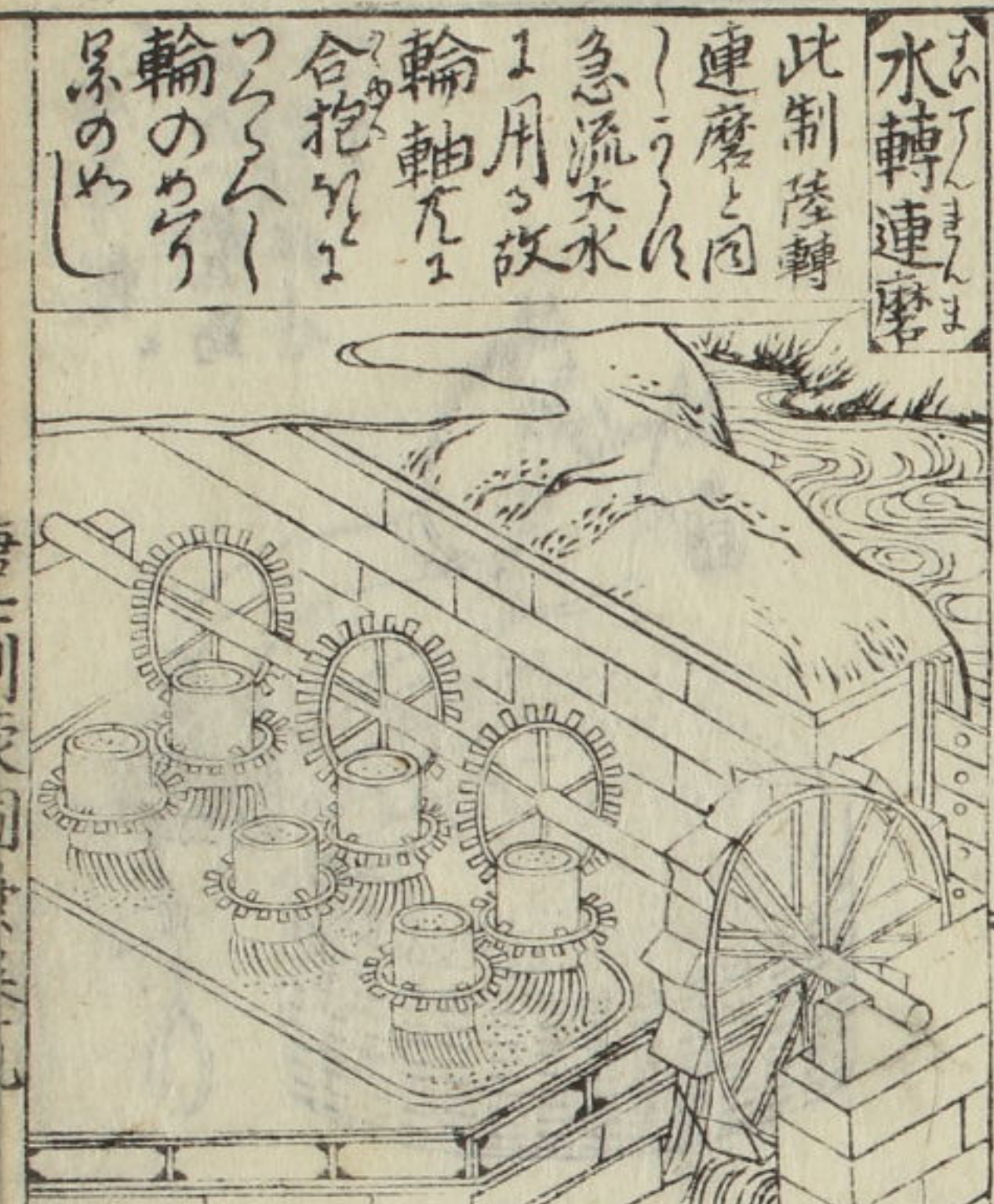
水磨

此磨と
激
くも
くも
くも



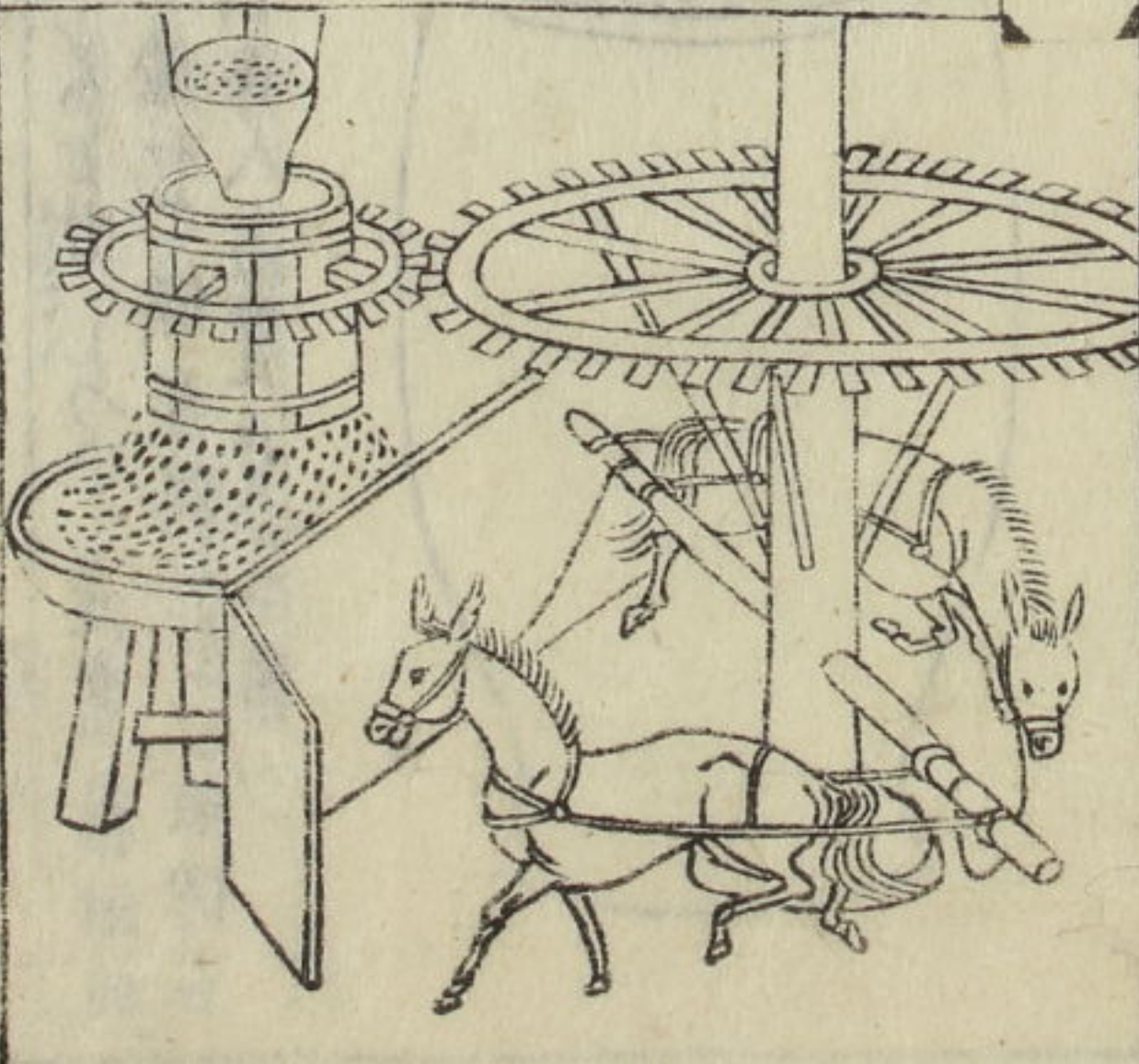
水轉

此制
連磨
急流
上用
輪軸
合抱
つら
輪の
深の



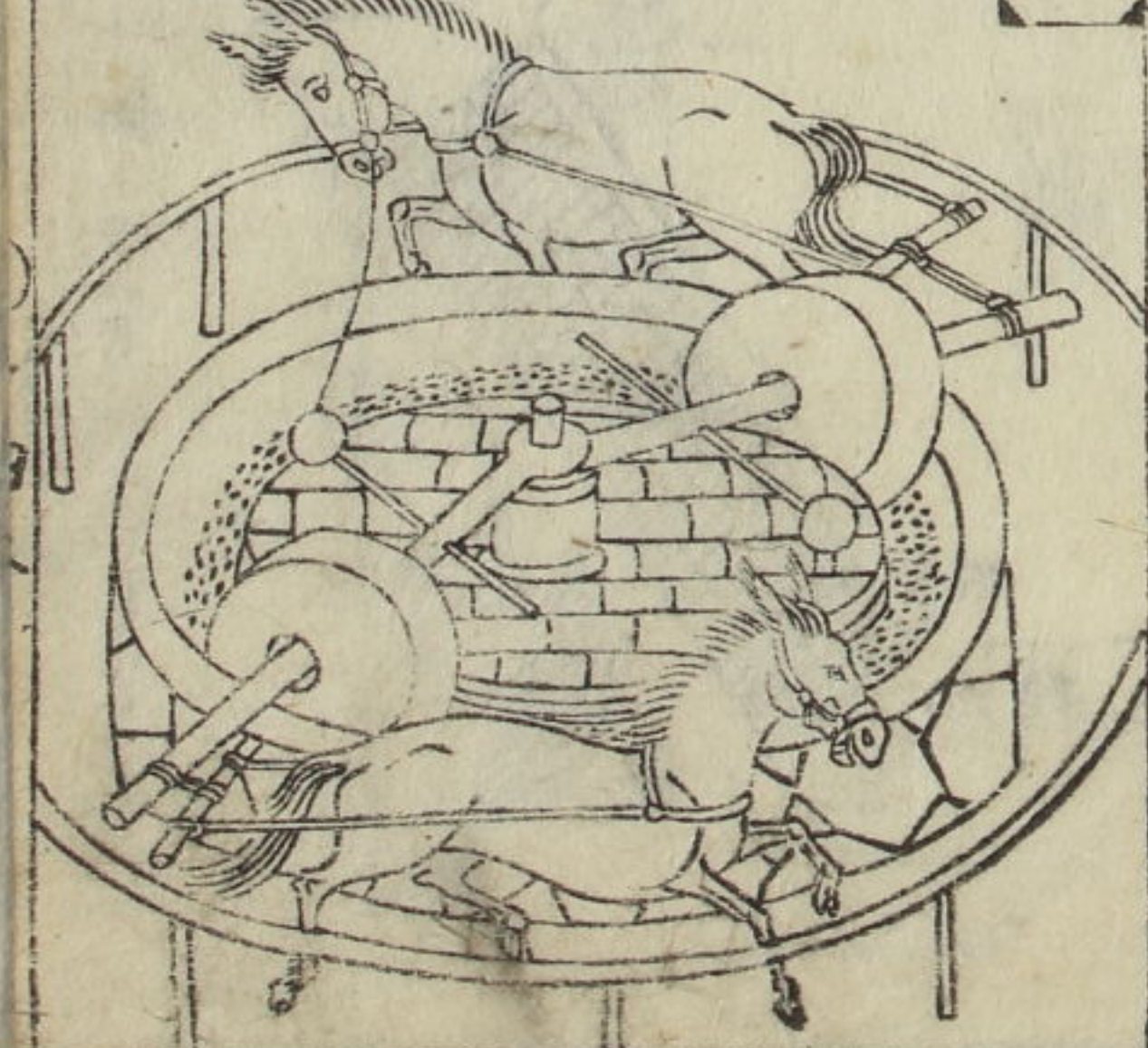
龍石

礮
礮
去器
竹を
馬を
カと
まね



石

り
つら
まて
とつ
おの
おの
利



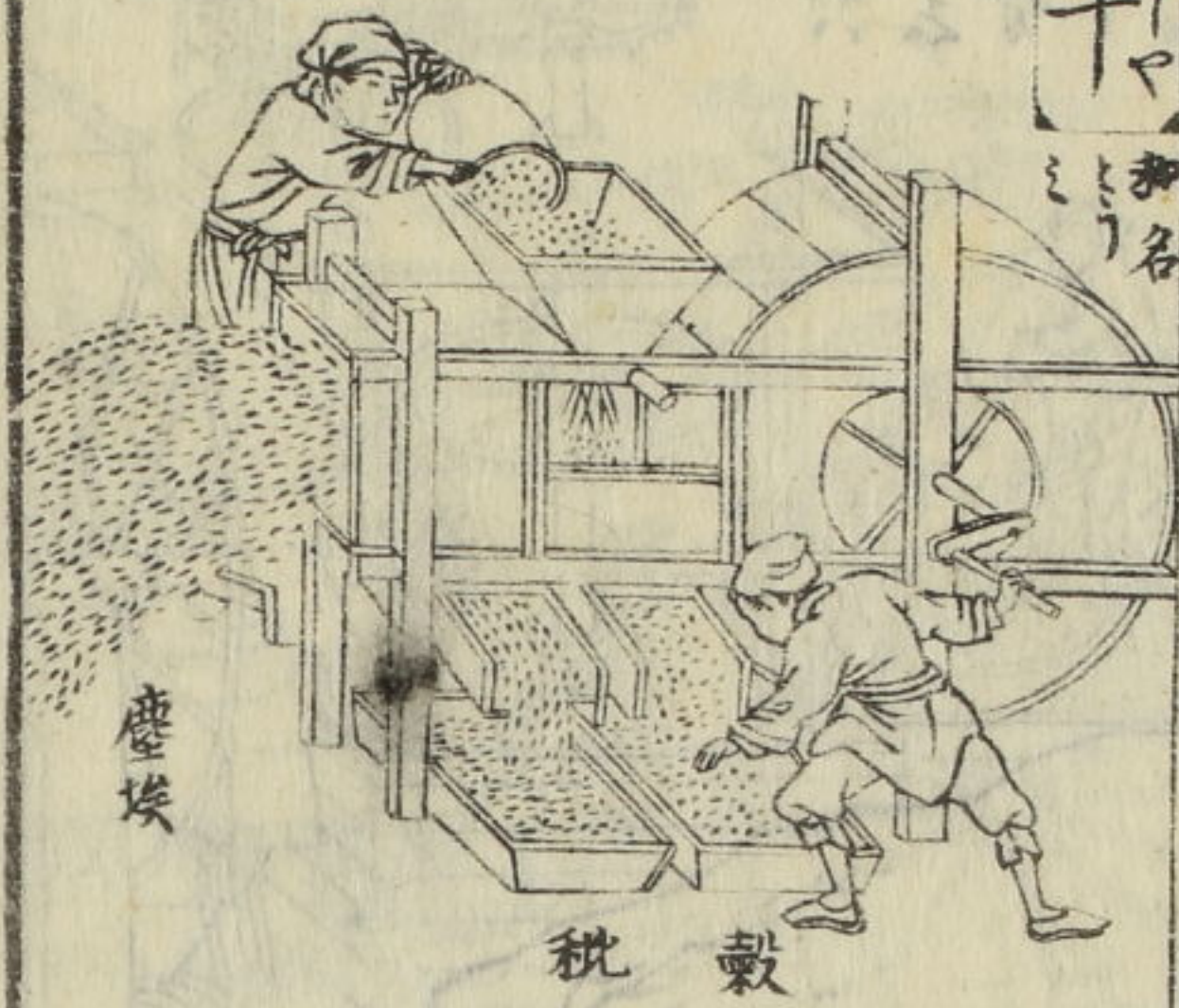
海青輓

此名ハ執鳥島の
の松比心
いり



扇米風車

新名
しり

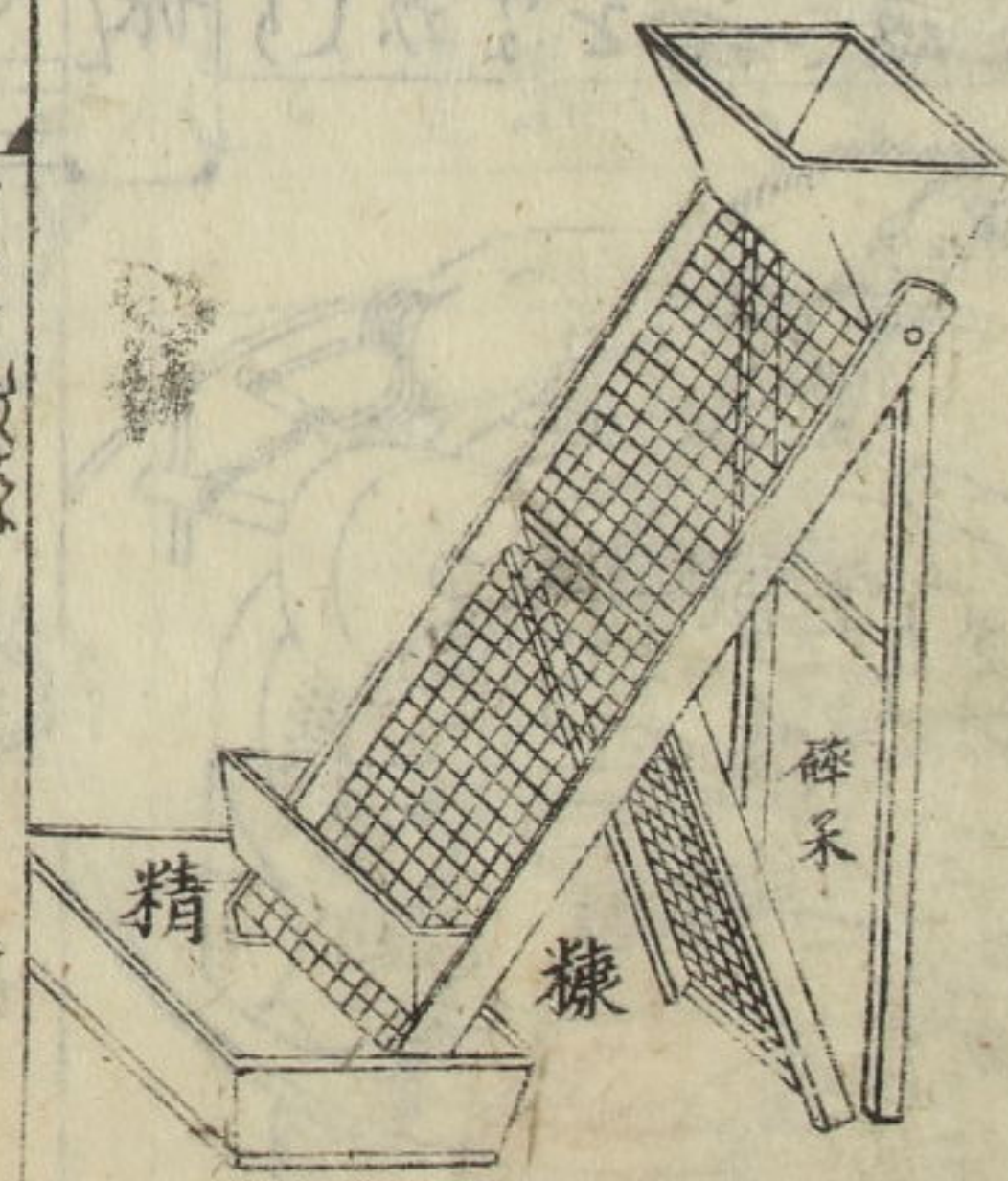


塵埃

秕 穀

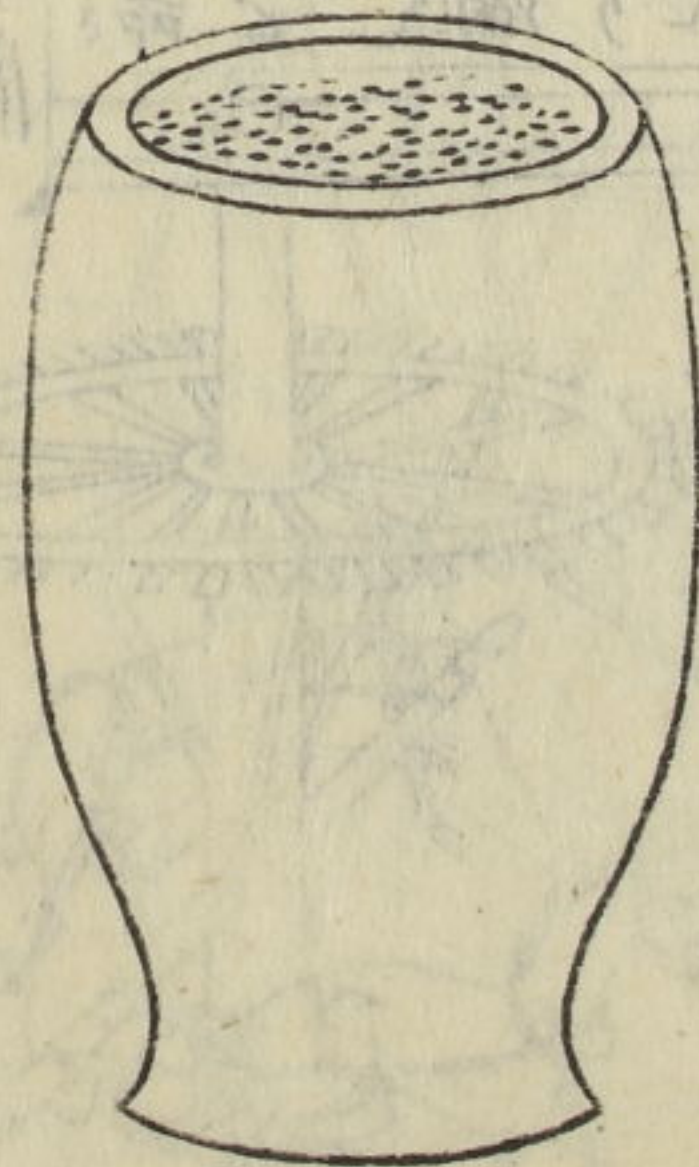
颺風飛

和子
十四段



儋

米と貯
儋石之儲
晉劉毅家無儋石
之儲一應劭曰存人名譽受二斛



十耀齋
芳玉



小
花
名



